〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	002	07	といふ考へも無く，昔の通りに仮名違ひ	を	して見ようといふ仮名組だからといつて左祖した
	を	005	01	冠りを正し二時間も三時間も手習ひなど	を	して居るものでは無い．ドシドシと土足で踏み込
	を	006	10	しても免れぬことで現に漢学先生に講釈	を	して貰ふと本についてやるので本につかないでは
	を	012	05	私が知つて居るだけを今日諸君に御話し	を	しようと思ひます．私が「地球の位置」と題をつ
	を	012	14	で有りますが其れに付てはちょとお話し	を	しておかねばならないことが有ります．其れは地
	を	014	15	言ふと現に既に測量して有ります．測量	を	しますとはドンナことかと言ひますと地球の中心
	を	015	02	心得て居るなら分ります．地球上で測量	を	しますにも十里も二十里も先きを一々間縄を打つ
	を	015	02	十里も先きを一々間縄を打つたり足ぶみ	を	して調べはしませぬ．唯最初の一個所だけを直に
	を	021	16	か消さないとか子供の水懸論の様なこと	を	して果は大戦争に及ぶと云ふ様なことなぞは火星
	を	024	02	熱や光りを持たない，皆太陽から仕送り	を	して貰つて居るのです．例へば太陽は一軒の主で
	を	028	17	組み合つて居る星も矢張り同じ様な運動	を	して居ますのが有ります．して見ますと果して我
	を	030	10	ますアマノガハといふものは此の盆の形	を	して居るとしまして，そこの中に我々の太陽系が
	を	033	06	せうが発起人諸君から亨二にも是非演説	を	してくれとのお頼みゆゑ亨二は亨二だけの賛成い
	を	035	16	智慧を研いたからで御坐りませう，報国	を	しようとか大事業を仕遂げようとかいふに酒を飲
	を	037	05	ゆゑ先づ初めに社会と云ふことから講釈	を	しませう．社会と云ふことは一つのきまりたる解
	を	039	12	に立つ者だけで無ければ他の社会と戦争	を	したときに其の社会を保ちゆくことが出来ぬ．其
	を	041	05	い．其の時，孔子や耶蘇が言ふ様なこと	を	して居たならば其の社会は立ちはせぬ．其の時の
	を	042	17	ことは固より許すが其れが為めに人の害	を	してはならぬと云ふばかりぢゃ．然るに支那は道
	を	043	13	禽獣にまで慈悲を施し決して残酷なこと	を	してはならぬと云ふことを教ふることぢゃ．され
	を	044	05	法も耶蘇教も矢張り已むことを得ぬこと	を	したのぢゃ．併し極めて必要なる点は越えてしま
	を	045	16	刑罰の権をもちて居ることぢゃ．悪い事	を	した人を害するに首を斬るとか又は懲役に処する
	を	045	17	か禁獄に処するとかするが其れは悪い事	を	した人の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪い事をし
	を	045	17	人の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪い事	を	したから刑罰に処するが当然ぢゃと云ふ説も有ら
	を	046	01	るが当然ぢゃと云ふ説も有らうが悪い事	を	したとて同じ人間同士で有りながら一方の人間を
	を	046	04	歩との為めに必要な事ぢゃ．併し悪い事	を	した人から云へば政府の為めに害せられるのぢゃ
	を	046	08	ば刑罰が有る訳で刑罰の有る上は悪い事	を	した人は到底害を受けるのぢゃ．其れぢゃから法
	を	046	16	や澳地利や印度などに往いて残忍のこと	を	したり又亜細亜各国に対して勝手次第のことをし
	を	046	16	り又亜細亜各国に対して勝手次第のこと	を	したり忌憚なく不条理のことを為したり其れのみ
	を	047	13	てしまひ，安南でも緬甸でも勝手のこと	を	して実に道徳にも何にも構はぬ．又耶蘇教師まで
	を	048	12	国は有機物の一部分ぢゃから無理なこと	を	しても国威を輝かさなければならぬと云ふことも
	を	068	09	して裁判官代言人検察官に就て実地研究	を	して後始めて第二回試験即ち高等官吏登用の大試
	を	074	13	して身体には疾病が有るとか或ひは油断	を	して居ると人に金を取らるゝとかいふことが断え
	を	075	03	侶に頼んで罪を攘ひ除けるとかいふこと	を	しなければならない．其の他，雨がふりつゞいて
	を	076	02	もので御坐んす．尤もこれに一つお断り	を	して置かなければならぬといふのはこれは事業上
	を	080	08	坐ります．一個人たるものが皆んな油断	を	して滞るならば即ち箇様な人間を含む所の社会は
	を	088	11	ことを知らで森林の中で弓を射て世渡り	を	して家を立ることを知らねども其の儘で満足して
	を	091	15	は年たけて居りまして．海にも陸にも旅	を	して二回ばかり地球を周りましたが耶蘇基督に係
	を	099	04	国人は何故斯くの如く乗客につらきこと	を	したか二十五名の人は何故斯くの如く不幸な目に
	を	102	09	野蛮の国では無い．二千年来特別の開化	を	して居るから団情さへ西洋へ通ずれば感心させる
	を	103	02	へねばなりませぬ．然らば如何なる改良	を	したならば日本人は真面目になり得べきか．私は
	を	107	01	べく恨むべきの極にして「情け無いこと	を	した」といふより外は私は言を尽すことが出来ま
	を	113	09	見れば酒といふものは先づ悪い方に勘定	を	しなければ，ならないので酒を節するは固よりせ
	を	117	16	によく有るまいと思ひます．昔から禁酒	を	したり，また願酒とて神様に祈らなければ下等の
	を	118	03	立して守ると人と約束をするのとは約束	を	した方が固くなるわけゆゑ此の節酒会にても成る
	を	119	13	世の中を救はうと云つて色々と骨折苦心	を	して居ることは実に容易ならざることで有ります
	を	121	15	事を調べて居て，これは酒の為めに盗み	を	したのだ，これは婦人の為めに賊を働いたのだこ
	を	123	03	其の人は木曽の三尾と云ふところに教員	を	して居る人でありますが其の人の話しに其処では
	を	123	07	せぬか，日本も広いことだから随分穿鑿	を	しましたら酒に付ては沢山に色々なことがありま
	を	127	15	喜んで受け容れます．而して色々の骨折	を	して近来聞いた所の新発明などを基督教に符合さ
	を	140	12	言訳を致したとか斯様な情けないクラシ	を	して居たと申します．これは馬琴自ら書いた物の
	を	148	08	も行政上の便益を為さぬときは調べ直し	を	しなければなりませぬ．人員疎密を調べるといふ
	を	149	08	ふ所で杉亨二先生がスタチスチック課長	を	して居られたときにも政表といふ字を使つて居ま
	を	151	10	なことを言ふことが出来ないといふ制限	を	しなければならない．総て人民の公法上で定まつ
	を	156	03	しい．先づ一つ，むつかしいことの話し	を	しませう．皆さま御存じのことだが昔は天が円く
	を	156	05	て居て私なども子供のとき孔子様の学問	を	した時分には天が円いと思つて居たが近来は法外
	を	163	13	が大閤様でも権現様でも信長の様なこと	を	したことは無い．「小，忍びざれば則ち大謀を乱
	を	166	11	した．昔の学風といふものは事実の穿鑿	を	しない．たゞ考への上の道理を以て事実を見下す
	を	169	04	頃に其の自由心が世界の開化に仲間入り	を	しやうとて其れには彼れの長を取り我が短を補は
	を	173	16	）何にせよ早かれ遅かれ必ず移住の運動	を	しなければ，ならぬことがあります．其の訳はと
	を	180	01	御坐りますまい．彼のジョン，ハワルド	を	して欧羅巴諸国の監獄改良のために甘じて一身を
	を	180	06	ウ／キルボルフォールスやクラルクソン	を	して奴隷廃止のために千辛万苦を甘ぜしめた者は
	を	183	07	妻をもつて居れば内証ではドウいふこと	を	しても苦しくないといふことでは御坐りません．
	を	183	16	破れば忽ち離別されるけれども夫が放蕩	を	したり或は妾を蓄ひても妻は何ともいふことが出

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	188	08	申し上げませぬと行政法の原則に大関係	を	しますから其れを今日チョット申し上げて見たう
	を	197	16	惑星の運動のことを発明したのみで満足	を	しないで，総ての学者の苦しんで居る所の彗星と
	を	198	05	ら，話しに枝は咲きますがザットお話し	を	しておきませう．先づ楕円とはドンナもので有る
	を	199	06	ウかと彗星の軌道，即ちあるく道の勘定	を	しました．勘定してドウして分ると云ふことは，
	を	199	17	百八十二年の八月に出ました彗星で勘定	を	しました．其の時に観測をした人はフランスでは
	を	200	01	た彗星で勘定をしました．其の時に観測	を	した人はフランスではＰｉｃａｒｄイギリスでは
	を	200	09	べれば直に分る筈ぢゃ，何も面倒な勘定	を	して其の軌道を調べなくても，よささうなもんぢ
	を	201	11	すると極丁寧な人はコッチへ向いて答礼	を	してくれますし，其れより少しドウかした人はた
	を	201	15	，ソコデ其のソバにゆくと暫くはお辞儀	を	してヒマがとれます．しかし木星なら木星が通る
	を	202	07	三箇月の間，寐食を廃する位にして勘定	を	しました．其れも充分の計算にはゆきませんが多
	を	203	03	ｕと云ふ二人とも計算の上手な人が勘定	を	して今度は千八百三十五年の十一月の十三日に太
	を	206	04	其れならば前にも有るだらうと段々穿鑿	を	しました所，其の前に千七百八十六年，千七百九
	を	208	10	か，それとは違ふかと云ふことはたゞ旅	を	した位では分りません．其れと同じことで彗星は
	を	208	12	ーットしたもの故に一部分一部分に研究	を	しなければいけません．彗星は大抵頭と尾と云ふ
	を	210	08	カナカ突き当らなくて，アトで大こまり	を	した者も有りました．少したつと今度はまた山師
	を	210	12	はドウかソンナ説の流行らない中に用心	を	しなければなりません．しかし彗星が地球に必ず
	を	211	16	ヒトリ，イギリスの天文学者が夜あかし	を	して居つた所，何だか天が変になつて北光でも無
	を	212	07	，利益にならうか測り知れません．観測	を	したくも十分に観測が出来ず，行かうと云つても
	を	212	13	ゆるであらうと思ひます．お互に長生き	を	して其の頃また彗星の話をするのも随分面白いこ
	を	214	03	でさへ傍ら狂歌師や川柳前句の点者など	を	したもので馬琴などは初めの中は和漢の故事が入
	を	214	16	り，また演劇に至つてはナホサラ真の理	を	して見せるものゆゑ文筆の業では及ばない所の人
	を	215	11	西洋の小説も支那の小説も並べてお話し	を	しなければ面白くないが私は西洋の小説は勿論，
	を	215	16	．ソコデ計略を考へて或る日，鱈と相談	を	して「貴様の眷族が多いか私の眷族が多いか眷族
	を	215	17	多いか私の眷族が多いか眷族の多少競べ	を	しやう」と云ひました．ソレデ鱈が眷族を連れて
	を	216	01	た．其の上に兎が乗つて一つ二つと勘定	を	しながら行く中に海を渡つてしまつた．さて因幡
	を	216	05	大己貴の神は医薬を始めた神だから療治	を	したかも知れませぬが，これは子供などに話す為
	を	219	10	外に両名ばかり集つて世間の女の品定め	を	し女の種姓のことや器量のことや芸能のこと或ひ
	を	222	16	した．これは舞ばかりで無く高い所で芸	を	したり又は刀を使つたり又はヲカシイことを言つ
	を	227	14	位の様で有ります．其れならば天子は何	を	して居られたかと云ふと真正の主権者なるは勿論
	を	228	01	で丁度，列国の一国主が其の列国の世話	を	して居たと云ふやうなものです．何にしろ日本と
	を	229	10	有るから区長は郡長の仕事と戸長の仕事	を	して居ります．今，性質から云へば区は郡の下に
	を	231	15	尤も行政上では施政者が議政の仲間入り	を	してやることが有ります．町村会で戸長が議長に
	を	233	16	た本を翻訳して其れを教科書にする支度	を	しなければならないと云ふことを言ひました．そ
	を	235	11	就ては今の学問をする人は昔の人の難儀	を	したことを十分に考へるやうにしたいと云ふこと
	を	236	15	つた．高野長英や渡辺華山なども西洋学	を	した為めに災にかゝつたので有つた．其の外，西
	を	236	15	にかゝつたので有つた．其の外，西洋学	を	した為めに藩を逐はれ，また苦しめられた者も沢
	を	245	17	は刑とは何かと申しますると昔は悪い事	を	した者が有れば之を罰するに刑を以てする其の意
	を	246	01	ありましたから彼れは斯くの如き悪い事	を	した．因つて牢屋に，はふりこんで早く殺してし
	を	246	03	は多く過ちの有るものであるから悪い事	を	したとて其の人が頭から足の先きまで悪いと云ふ
	を	246	04	で悪いと云ふことでも無し，また悪い事	を	した日から何十年の間，死ぬまでも悪い人と云ふ
	を	247	13	は所謂，道具じかけで有りまして悪い事	を	したから斯くの如き現在の地獄の苦みを受けると
	を	251	13	また知らずにウッカリやつた者とは区別	を	しなければなりませぬ．ところで弁別心なくして
	を	253	10	ります．其の故は種子を蒔いて之を世話	を	して其の実を収むると云ふまでには三月或ひは四
	を	255	12	と昔の大名の中には随分宜しくないこと	を	して大名になつた先祖が無いとは言はれますまい
	を	257	08	得ず公けの救助と私の救助とを以て救助	を	しなければなりませぬ．また並みの少年を養育す
	を	262	17	めて仕事をさせるときは如何しても話し	を	しない訳には参りませぬ．其れで話しをするとロ
	を	202	05	る式を与へました．其の式によつて勘定	を	仕出さうと云ふに随分大変な仕事でフランスのＬ
	を	148	14	ませぬ．五万人以上とか壱万人以上とか	を	市街といふ風にしたいが人員調査の方で，それが
	を	015	03	て調べはしませぬ．唯最初の一個所だけ	を	直に測りまして，あとは器械で角度と云ふものを
	を	090	13	不信者さへも耶蘇基督の性質と其の行状	を	頻りに称美いたします．また近来様々の不信者の
	を	224	06	ことや自殺だの情死だの強盗だののこと	を	仕組み根が下等の人の見るもので有るから猥雑な
	を	220	07	から今の雑劇に至るまで其の書の中の事	を	仕組んだものが多いから安宅の関で弁慶が勧進帳
	を	162	14	私は思ふ．この酒誥の中に酒を飲んだ者	を	死刑に処するといふことの有るのはチト苛酷に過
	を	190	11	でする裁判といふものがある．例へば人	を	死刑に処するといふときには必ず勅裁を経るとい
	を	266	15	りましては雑居法を用ひまして其の模様	を	試験し，いよいよ改悛したるに相違ないときには
	を	240	05	きには該景況は則ち内務大臣に代つて之	を	視察したるもので有りますから私の見たるところ
	を	110	10	とである．また外国の例に保険附きの船	を	沈めて保険料を取うといふこともある．我々は公
	を	004	02	なければならない，トルピドで敵の軍艦	を	沈めるばかりが競争では無い．こちらで出来ない
	を	232	01	ることは有りますが議会で議決したこと	を	施政者が行ふと云ふが原則で有ります．之に付て
	を	259	13	如きことであります．第三，救助の人数	を	時節によつて定限すること．これは濫りに誰でも
	を	230	05	多の県を合せて一つの軍管を置いて全国	を	七軍管に分ち，海軍では全国を五つの海軍区に分
	を	003	02	ことも出来るけれども方便の方はたゞ之	を	知つて居ても仕方が無い．言葉だの文字だのは智
	を	003	03	文字だのは智識の方便即ちテダテで其れ	を	知つただけでは役に立たぬ．されば其の方便と真

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（を）	を	004	11	い眠つて居る蟻である．だが其の蟻は字	を	知つて居ることは日本人の上手な者よりは余計に
	を	007	04	を知ふ世の中．なかなか漢字の貴いこと	を	知つては居やうが不便なことを知つて居る者は無
	を	007	05	貴いことを知つては居やうが不便なこと	を	知つて居る者は無く何でも漢字が盛な有様である
	を	013	03	所とふくれた所が有ります．そこで直径	を	知つて居りますと幾何学を少しやつた人は直に周
	を	054	01	天文地理だとか何だとかむつかしいこと	を	知つても用事を弁ずることを知らない．初学で下
	を	064	13	が人力車のたゞチョット便利と云ふこと	を	知つて緊要なる衛生上の害を知らぬ所から出来た
	を	089	08	ればなりませぬ．然らざれば己れが暁き	を	知つても能く進歩することは出来ませぬ．併しな
	を	092	10	ならば況して尚ほ智慧を備へて居て道理	を	知つて居る諸君においてをや．若し諸君御銘々が
	を	102	11	の話しを聞くに西洋で日本の実際の有様	を	知つてる人は万人に一人も無いは勿論，日本はド
	を	109	02	じませうや．彼等乗客は水夫等は船の事	を	知つて居るから其の言ふ通りにしたらば助かるだ
	を	109	12	す．して見れば，この人等は端艇の効用	を	知つて居つたに違ひ無い．然るに三人の人も助か
	を	109	13	かつて居らない．三人の人が端艇の効用	を	知つて居つたら他の二十二名は必ず其の人より伝
	を	114	17	．して見ると本当に命の惜いといふこと	を	知つて居るものは人類ばかりと言つて，よいもの
	を	149	09	とです．故にスタチスチック家は行政法	を	知つて居らなければ要用なる調べは出来ず，また
	を	156	10	地球儀，を見て地が回るんだと云ふこと	を	知つて居るが前に地が回ると聞いては，みんな驚
	を	177	08	何々に拙いなどといふ種々様々なる事実	を	知つて本国なる我が日本帝国を広く大きくする手
	を	187	02	に処女マリヤが救世主の母となつたこと	を	知つた時に神を讃美して「我心主を崇め我が霊は
	を	196	16	から出てドンナ所へひつこむと云ふこと	を	知つたらば彗星を怖れるの念は滅つて来るに違ひ
	を	218	09	社会の婦人は深窓の中に居つて世態人情	を	知つて居ないから其れを知らせやうと云ふ心組で
	を	238	01	が出来ませう．ただ今日のヤサシイこと	を	知つて昔の二大難事を知らぬと昔から当り前だと
	を	270	06	分ほどに当りまする．また読むことだけ	を	知つて居りまする者が千三百四十三人ありまして
	を	270	07	に当りまする．また読むことと書くこと	を	知つて居りまする者が千七百七十八人ありまして
	を	270	09	．また読むことと書くことと算へること	を	知つて居りまする者が七百八十七人ありまして丁
	を	071	03	斯の如く陳べますが諸君益々進んで学識	を	実業に利用せられ明裁判官明代言人とならむこと
	を	190	01	．この執行権は立法権の議決したること	を	執行するに付て執行権者は一人で御坐んすが其の
	を	190	05	といふ方で，其れから行政上の法律規則	を	執行するのが行政府である．第三には裁判権であ
	を	191	08	説を読んで見ましても裁判をするは法律	を	執行するに止まる．政を行ふのも亦，法律を執行
	を	191	09	行するに止まる．政を行ふのも亦，法律	を	執行するに止まるものであるから行政権，司法権
	を	242	13	と申します．其の意味は刑の学，即ち刑	を	執行するの学問と云ふことで有りまする．故に監
	を	243	05	はすものを立法権と云ひ，また右の望み	を	執行するものを執行権と申しまする．この立法権
	を	243	05	権と云ひ，また右の望みを執行するもの	を	執行権と申しまする．この立法権及び執行権を相
	を	244	02	務は政府と行政権と司法権とを設けて之	を	執行しますれば，これだけにて天下のことは，ま
	を	248	13	を為すだけに止まりまして，さて其の刑	を	執行するのは監獄で有りまする．また，刑事上の
	を	266	02	の犯罪予防部の事業は二つの場所にて之	を	執行いたしまする．其の甲の場所は矯正院（則ち
	を	267	01	未決監則ち監倉と申しまする所に於て之	を	執行いたしまする．さうして，これには必ず分房
	を	267	09	り立つところの放免者保護会社に於て之	を	執行いたしまするので此の会社に於ては或ひは授
	を	104	03	は最もむつかしきことなれども日本に之	を	実行するは，さまでむつかしきことではあります
	を	152	08	ものであり行政法では憲法できめた原則	を	実際に行ふものであります．また之を適用するに
	を	189	07	，執行権の方は立法権できめましたこと	を	実際に行ふといふ趣意で御坐います．然るに立法
	を	190	04	をするもの，行政府は政府できめたこと	を	実際に行ふ即ち政を行ふといふ方で，其れから行
	を	244	10	政治の執行で，これは内閣で定めた政治	を	実際に行ふことで有りまする．第四は憲法の執行
	を	244	11	の執行で，これは憲法に於て定めたこと	を	実際に行ふことで有りまする．第五は裁判の執行
	を	047	08	の間に道徳が行はれぬのを歎くのは順序	を	失して居る．其れよりは一つに寄りて大きな社会
	を	164	15	轍の已に樹つを見る．懊悔頓に生す，機	を	失して贖ふ莫し祇に徒手して帰るを得たり．此に
	を	058	16	スと云ふ病はかういふものだと云ふこと	を	実地に就て説明する種が無くなつて先生方が大こ
	を	151	09	此の公法の原則，即ち憲法で定めた原則	を	実地に適用し，また制限する．例へば人民は言論
	を	061	16	．斯の如く人力車濫用の弊たる我が邦人	を	して暗々裏に健康を害すること頗る大いなるもの
	を	065	07	五里霧中にさまよひ居るときですから之	を	して進ましめやうとするも将た退かしめやうとす
	を	097	09	を尽され道徳上の罪人なる船長ドレーキ	を	して亦法律上の罪人たるに充分なる証拠を蒐集す
	を	104	05	ではなし．而して西洋人と交際し西洋人	を	して日本の国情を識らしむるの地位にある者は無
	を	110	11	思ふより外は無い．若しや我輩の疑ふ所	を	して事実に違はざらしめば彼等はマーダーの犯罪
	を	113	01	らむことを熱望いたします．人類的の欲	を	して動物的の欲を制せしむべし明治十八年六月二
	を	132	02	斯の如くに用ふるならば，この貴い学術	を	して宗教につかへさせることが出来ます．この仕
	を	134	05	等を誹りて悪を行ふものと言へる世の人	を	して爾等の善き行ひを見て神を崇めしめむ為めな
	を	164	07	在り聞く数年前，法君那波倫第三，提督	を	して船を駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼時不毛
	を	164	14	惜む君の謀る所已に晩し余早に兵艘三隻	を	して前往駐守せしむと．客之を聞き猶ほ以て戯れ
	を	034	17	なつた人が有りますが酒を飲んで大事業	を	仕遂げたといふ人は無い．大事業を仕遂げた人は
	を	034	17	事業を仕遂げたといふ人は無い．大事業	を	仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲の深い人で今日
	を	035	17	御坐りませう，報国をしようとか大事業	を	仕遂げようとかいふに酒を飲んではそんなことは
	を	222	03	じやうで有つたが晩年には注意して意匠	を	支那の小説に採るやうにしました．こゝが他の作
	を	003	01	理上化学上の智識をこちらへ得れば風雨	を	凌ぐことも出来れば暑さ寒さを防ぐことも出来，
	を	177	12	が今其の書いたものを読んで，この演説	を	しまひませう．右は一席の演説にて一大事の方法
	を	077	02	くのである様のことが社会の事柄の多分	を	占めて居ることで御坐んす．さう致すと法律は害

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（を）	を	184	02	はれて居る中は決して婦人が正当の地位	を	占め真正の幸福を受ることは出来ません．また，
	を	185	09	風が行はれて居る中は婦人が正当の地位	を	占め真正の幸福を得る等といふことは思ひも寄ら
	を	089	03	無く恐るゝことも無くして人の真の有様	を	示しまた人の種々の不足不完全を明らかに教ゆる
	を	249	12	を述べませう．此のことに付ては次に図	を	示して申て上げませう．人生れて，丁年に至るま
	を	089	16	く様になります．併しながら高尚な目的	を	示すものは何であるかと云へば基督教で御坐りま
	を	169	08	国の人心は西に向つて貿易の利とは反対	を	示すやうに見えます．これには色々な訳もありま
	を	228	17	中で家邸又は公園と云ふ如きものが過半	を	占めるときは之れを町と名づけ，また耕作地の方
	を	229	01	れを町と名づけ，また耕作地の方が過半	を	占めるときには之を村と名づけるとでも区別しな
	を	232	03	府県会又は常置委員会に下して其の意見	を	諮問することを得ると云ふことが有ります．或る
	を	107	11	ドを分つて四種としてあります．第一種	を	ジャスチファイァブル，ホミサイドと言ひますが
	を	259	10	第一，救助其の宜しきを得て濫救の予防	を	主とし惰民製造の予防に注意すること．第二，土
	を	266	05	との三つで有りまするけれども専ら教育	を	主と致します．乙の場所は懲治場で有りまして此
	を	266	11	ては階級法を用ひまして最初は専ら懲戒	を	主として分房法を用ひます．而して大分，悔悟の
	を	016	05	地球の直径十一分の三，即ち地球の直径	を	十一に割つて其の三つにほか当りませぬ．そこで
	を	188	15	政治になりますまで国の組織となる憲法	を	十一度取り変へましたが立法権と執行権とは分別
	を	236	04	今ならば一月か二月かゝつて出来ること	を	十年かゝつても二十年かゝつても出来ない位で有
	を	097	09	して亦法律上の罪人たるに充分なる証拠	を	蒐集することに尽力されむことを願ひます．私の
	を	223	02	弥の父子が奮発して其れまでの猿楽の舞	を	修正して多くの新曲を作り滑稽にかゝつた方は狂
	を	267	09	ては或ひは授業の方法を与へ又は出獄人	を	周旋して通常の雇人と致すことに尽力するので有
	を	086	01	の確実なこと，また其の間違ひ無いこと	を	充分証拠だてることも有らうと存じます．なぜと
	を	086	09	切なものなれども，これ等の高尚なもの	を	充分に説きませぬ．これ等の大切なものは此の世
	を	242	07	所も有り，また一方から申せば右心得方	を	充分に敷衍するに於ても利益が有らうと考へられ
	を	270	01	ればなりませぬ．若し此の間に家庭教育	を	充分にしませぬと之が為め終身のカタハモノを造
	を	235	11	学問をする人は昔の人の難儀をしたこと	を	十分に考へるやうにしたいと云ふことをお話しし
	を	113	05	ことは善いことに違ひない．例へば学問	を	修業するなどといふことは少しも非難すべき廉は
	を	119	06	諸君のお骨折で此の会の盛んになつたの	を	祝して何かお話しでもしようと思つて居ましたが
	を	235	05	其れに次では諸君の今日卒業されたこと	を	祝するので，尤も別に珍らしい言葉を以て祝する
	を	191	16	関することをきめる権力といふものは之	を	主権と名づける．この主権は誰に在るかといふと
	を	037	11	Ｓｃｈäｆｆｌｅ等の人々が此の如き説	を	主張して居ることぢゃ．そこで社会は実に動物植
	を	101	10	にして西洋の開化に酔ひ忽ちにして改良	を	主張し忽ちにして改革を計画し而して採長補短の
	を	182	06	で御坐りますがキリスト教は即ち此の教	を	主張する者で一夫多妻は貴賤貧富の差別なく誰で
	を	252	06	まして親族，又は関係者から願ひ出る者	を	出願懲治者と申しまして，また出願人は誰も無い
	を	239	05	月九の午前六時に上野発の汽車にて東京	を	出立いたし，福島，宮城，岩手，青森に道を取り
	を	145	06	委員と致し其の委員が好いと認めた新著	を	出版しまた手本になるべき西洋小説を翻訳させ検
	を	145	07	るべき西洋小説を翻訳させ検定の上で之	を	出版せしめ続々売り出すがよからう．其の中には
	を	126	10	御坐ります．今から私は其の色々の仕方	を	順に従つて申し上げ，また兼ねて其の得失を弁じ
	を	240	04	ぬ．例へば内務大臣が「監獄実際の有様	を	巡閲して来れ」と私に命ぜられたときには該景況
	を	240	10	娘を見に参つて性質が温良か然らざるか	を	巡閲して帰れば其れは○○君に代つて見たるもの
	を	164	04	を承け学事視察の為めに欧羅巴亜米利加	を	巡回し支那へ帰つて作つた書物で其の人から私の
	を	255	13	いとは言はれますまい．或ひは自分の妻	を	将軍へ妾同様に売り付けて其の禄高を増して貰つ
	を	085	05	ませう．併しながら私が思ふに此の演題	を	証拠だてるには種々の新しい事柄を演べ出すに及
	を	101	08	受くる原因でありませう．まづ第一に何	を	証拠として日本人は真面目でない強情でない頑固
	を	205	03	う云ふ災が有つたと，イツでも前のこと	を	証拠に引いて，こはがつたので有りますが，其れ
	を	061	12	ませうが現今に至つては非常に濫用の弊	を	生じて斯の如き必要の場合にのみ使用せずして事
	を	061	17	のと思ひます．所で斯く人力車濫用の弊	を	生じたる所以を考るに其の原因となるべきもの種
	を	062	14	如き種々の原因よりして人力車濫用の弊	を	生じ来り三助でもオサンドンでもダルマでもムヤ
	を	074	01	も，さうで無い．需要といふものが価値	を	生じ其れ故に労力が生ずるといふことを言ふたも
	を	122	10	病を起したり発狂したり夫婦の間に不和	を	生じたり家の乱れを醸したりするのも酒から起る
	を	209	15	で御坐ります．なぜなれば説の間に誤り	を	生じ易く若し軽々しく言ふときは天文学者でも無
	を	079	05	で御坐ります．これ即ち人間社会の進歩	を	成就する為めには基督教は必ず無ければならぬと
	を	082	08	徳的の進歩を致しませねば完全なる進歩	を	成就することが出来ませぬ．たとひ，イクラ人の
	を	085	16	坐ります．それから，また完全なる進歩	を	成就する為めに道徳の進歩は必要であるなどのこ
	を	089	14	す．人はメアテとする所ないならば進歩	を	成就することが出来ませぬ．少しづゝ進歩するか
	を	090	17	りませぬ．第六．併しながら種々の進歩	を	成就する為めには骨折りと熱心などのものが無け
	を	092	02	から見ても基督教は人間の完全なる進歩	を	成就せむとするに必要なるもので御坐ります．基
	を	092	04	な宗教をうちゃつて置いて完全なる進歩	を	成就したる人はドコにも無いと思はれます．あま
	を	163	04	こともむづかしかつたらう．信長の大業	を	成就することの出来なかつたのは色々訳も有るだ
	を	040	02	は弱くては徳義の人では無かりた．盗賊	を	賞するのと同じことで何でも強いのが徳義で有り
	を	073	15	ｏｎｏｍｙといふものの中に凡そ物の価	を	生ずるといふものは二個の全く反対したるものよ
	を	075	09	は其れだけの金を使つても新たなるもの	を	生ずるとか新たなることを拵へるとかいふことが
	を	076	09	極的の学科即ち法律学の如きは直接に物	を	生ずるもので無いと言ひませうが一個人の上に付
	を	099	13	ものは災難の場合に当りて殊に義侠の心	を	生ずるものなること論ずるを俟たず．且船長は幾
	を	119	17	して見ると人心に伝染する内密の流行病	を	生ずるもので有つて御承知の通り流行病には疱瘡

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	256	16	するの余り悪事を働くと云ふので犯罪人	を 生ずることになりまするから，貧民を救助すれば
	を	096	06	其の怠務に因りて人を殺したることは之	を 証せねばなりませぬ．其の暗礁に乗りあげてより
	を	062	02	か或は軽蔑せらるゝとか思ふ所の卑屈心	を 生ぜしめたるは原因の一です．なぜなれば紳士貴
	を	064	12	のは必竟前に申した通り人力車濫用の弊	を 生ぜしに因るものにしてツマリ人民が人力車のた
	を	125	17	1氏が何々と示した故に私とても基督教	を 承諾することが出来ぬと．これ等の色々の不承知
	を	128	08	者皆よく互に同意して近来の色々の新論	を 承知するまで待つ方が宜しう御坐りませう．其の
	を	128	11	若し遂に各国の学者皆な近来の色々の論	を 承知するときは此の論が我が宗教に関係したるも
	を	182	12	に違ひありませんが今若し日本国中の人	を 上中下の三等に区別して其の中執れに妾を蓄る者
	を	168	11	ないのでは無い大変な狼狽を始めて日本	を 焦土としても戦ふとか何とかイヤモウ大変で何も
	を	034	07	分つて来ます．また今日智慧を研き身体	を 丈夫にしようといふ様な総てのことといふものは
	を	035	01	今日の行ひをよく省みて智慧を研き身体	を 丈夫にし財を惜む欲の深い人だと思はれます．小
	を	035	16	西や英吉利などの人が皆酒を慎んで身体	を 丈夫にして智慧を研いたからで御坐りませう，報
	を	036	08	お力を以て益々盛大にし智慧を研き身体	を 丈夫にし財を貯へる様に致したいものと思ひます
	を	065	09	は速に之を除き，益あるものは力めて之	を 奨励し以て我が国民の健康を満足せしめむとする
	を	060	15	せう．されば私は尚ほ一層進んで其の害	を 詳論しやうと思ひますが例へば今茲に種々の色を
	を	114	04	訳が無い．他の動物は却つて自然のもの	を 食して腹が満つれば其の上には欲は無いが人類は
	を	067	08	か諸君に祝辞を呈し併せて私の感ずる所	を 諸君の前に申し述べようと思ひます．諸君は我が
	を	071	08	云ふ如き盛時に遭遇するの栄を得むこと	を 諸君と共に熱心希望することで御坐います．法律
	を	121	10	ウしたらば此の調べが付うかと云ふこと	を 諸君に御相談致したい．箇条と云ふのは酒を多く
	を	122	15	ことにしたらドウであらうかと云ふこと	を 諸君に御相談致したい．勿論かういふことは急に
	を	123	09	ることだからドウか只今私の申したこと	を 諸君がお調べ下さる訳にはいくまいかと云ふ御相
	を	034	05	中には兎が餅を搗いて居るとか雷は大鼓	を しょつて居るとか言ひましたが段々に開けて来て
	を	034	06	が餅を搗いて居るでは無く，又雷は大鼓	を しょつて居るものでは無いといふことが分つて来
	を	046	02	て同じ人間同士で有りながら一方の人間	を 処罰することの出来る法則は誰が立てたことか．
	を	216	14	霊異記だの感霊録だのと云ふ仏法の霊験	を 書物に著したものの中には小説めいたことも有り
	を	151	12	即ちモーラル，ペルソンヌでこれは財産	を 所有し負債を起すことの出来るものが無形人であ
	を	152	04	なりませぬ．第四には全国，府県，町村	を 所有者，負債主，債主の三つに分けて研究しなけ
	を	006	03	い．兎角，人は一方より外には見ること	を 知らぬもの．併し考へて見れば外の方も分る，考
	を	053	04	ました．さういふ訳で見ると言葉は漢字	を 知らなければ分らない．「しゅっぱん」と言つて
	を	053	13	も「ほへと」でも宜しいがモロコシの字	を 知らないうちに仮名を教へ仮名の字面を知りまし
	を	054	02	かしいことを知つても用事を弁ずること	を 知らない．初学で下り而して舟を漕ぎ，畑へ弁当
	を	054	05	に書物を皆な焼いてしまつても英仏の本	を 知らないでも何でも知れる様に知れるものを作る
	を	061	03	覧のときは又未開化人の用ゆるものたる	を 知られませう．故に概して言ふときは半開化人の
	を	062	08	体運動は衛生上に必要なものと云ふこと	を 知らざる野蛮人の多きと我が邦人民の身体の価直
	を	064	13	と云ふことを知つて緊要なる衛生上の害	を 知らぬ所から出来たものにして則ち半開化の害で
	を	065	06	は未だ半開化の人物が多く文明の何たる	を 知らずして所謂五里霧中にさまよひ居るときです
	を	082	16	もので御坐りましたが其の人民が真の神	を 知らず偶像を拝し本当な道徳を知らず一体道に疎
	を	082	17	が真の神を知らず偶像を拝し本当な道徳	を 知らず一体道に疎いものであつたに由つてツマリ
	を	083	08	明らかに御坐りますけれども本当の道徳	を 知らず道徳の進歩いたさずして居るに由つて今日
	を	088	11	亜米利加の土人は自分の不完全なること	を 知らで森林の中で弓を射て世渡りをして家を立る
	を	088	12	中で弓を射て世渡りをして家を立ること	を 知らねども其の儘で満足して居ります．モウ多年
	を	090	02	る人には目的が無く己れの貴いゆくさき	を 知らずと云ふことが御坐りませぬ．知らぬことが
	を	126	02	督教を破らむとする者の中には一向学術	を 知らず，また基督教の原因と趣意と目的と結果を
	を	126	04	て申しますならば箇様な人は未だイロハ	を 知らざる中に，かの貴い古事記，万葉集などを批
	を	126	12	ります．この者は一向疑ひを起さず恐れ	を 知らず己れの力を疑ふことを致さずして自分の智
	を	139	12	本では貴まれて居ますが西洋では其の名	を 知らぬ人も有るとか申します．素より大家のこと
	を	141	07	且卓見が無いのと小説の本意と言ふもの	を 知らずして之を進歩せしめざりしとに因りませう
	を	141	09	が無くつて品行が悪くて之を改良する道	を 知らぬ．斯様なことで有れば卑しめらるゝも当然
	を	149	10	政法を知るには是非ともスタチスチック	を 知らなければいけませぬ．全く相須つて用を為す
	を	173	02	が田舎の隅のものまでよく知つて居て恩	を 知らぬものを「恩しらず」だとか「不実者」だと
	を	196	04	で御坐ります）．今日は兎角，物の理屈	を 知らないで居ながら「何でもないことだ」と言ふ
	を	196	05	とだ」と言ふのが流行りまして旧は理屈	を 知らなくつて「こはい」と言つたものが，今では
	を	196	06	「こはい」と言つたものが，今では理屈	を 知らなくつて「何でもない」と言ふ．何によらず
	を	196	11	て，他の惑星や太陽や月なとは皆な性質	を 知らなくつても知つた積りで「朝，太陽が出たに
	を	218	10	居つて世態人情を知つて居ないから其れ	を 知らせやうと云ふ心組で作つたものと見えます．
	を	225	06	ありますから其の辺のことにトント勝手	を 知らぬ我輩などが漫りに喙を容れる所では無いと
	を	238	01	日のヤサシイことを知つて昔の二大難事	を 知らぬと昔から当り前だと思つて骨折り方もいゝ
	を	241	15	ますけれども監獄全体は如何と云ふこと	を 知らずしてカタッパシのことを聞かれても何も役
	を	242	14	カ軽々しきものでは有りませぬ．監獄学	を 知らずして監獄のことを取り扱ひまするのは政治
	を	242	15	監獄のことを取り扱ひまするのは政治学	を 知らずして天下の大政を掌ると何ぞ異なるところ
	を	247	07	心は改まることは出来ませぬ．此の目的	を 知らずして「終身懲役と有るから何でも此の女は
	を	252	01	せぬが根性の悪い者，また悪事の何たる	を 知らざる者が有ります．これは純粋の不良少年で
	を	254	01	る者，第二は資金のなき者，第三は仕事	を 知らざる者．其れで，この第一の資金を多少有す

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	254	07	のは前のと同様でありまして第三の仕事	を 知らざる者も，これもドウも仕方が無いから，ま
	を	255	17	，懲戒の厳にして酷なるべからざること	を 知らなければなりませぬ．犯罪人と貧民との関係
	を	084	17	坐りませぬ．世の種々の国の様々の進歩	を 調ぶると云ふことは万国史を勉強する人には至つ
	を	082	11	本当な進歩がキット出来ませぬ．万国史	を 調ぶれば只今申したことの証拠は真に沢山ありま
	を	128	06	なるべきものも御坐ります．学術の歴史	を 調ぶれば暫くの間，盛んにはやりて不意に消えて
	を	013	13	．で有りまするからして学者が天のこと	を 調べます序に我々には天の中で別にツレは有るま
	を	121	15	たのでは無いが）警視庁では随分其の事	を 調べて居て，これは酒の為めに盗みをしたのだ，
	を	121	16	の為めに人の物を盗んだのだと云ふこと	を 調べて居ります．実に結構なことと存じます．其
	を	122	08	行きます．また独逸でコレラ病に罹る者	を 調べたのには平常酒を多く飲む者が余計にコレラ
	を	122	14	からドウいふ塩梅に只今私の申したこと	を 調べたら宜からうか銘々最寄最寄ででも調べるこ
	を	147	13	即ち行政法であります．また山林のこと	を 調べましても川がイクツあるといふことを調べま
	を	147	13	調べましても川がイクツあるといふこと	を 調べましても例へば此の川にはイクラの費用がか
	を	149	01	んせうがたゞスタチスチック学ばかりの	を 調べて居つたら役に立ちますまい．規則を立ると
	を	151	17	原則を調べるには第一には憲法との関係	を 調べなければなりませぬ．第二には行政官吏，行
	を	200	10	筈ぢゃ，何も面倒な勘定をして其の軌道	を 調べなくても，よささうなもんぢゃ」とおつしゃ
	を	258	16	監獄の中に置いてあります．これは全国	を 調べたら随分ありませう．これは放免者保護会社
	を	012	09	云ふことが有りましたが，さういふこと	を 調べるは何と言ふ学問かと云ふに，地理学と言つ
	を	014	16	心から月の中心まで何里あると云ふこと	を 調べるので有ります．「ドウして其れが知れるだ
	を	032	11	先きを言つたので地理書は地球の中の事	を 調べる学問で私は地球の外へ出て言つたので有り
	を	106	11	るに非ずして免状を取り上ぐべきや否や	を 調べる為めである．故に刑事上の裁判に非ずして
	を	147	10	見るとスタチスチックで日本帝国の境界	を 調べるといふことがあるが，これ等は何等の為め
	を	147	11	境界はこれだけのものであるといふこと	を 調べるのであるが其の事実は何から調べるかとい
	を	147	17	れからまた季候の如きにしましても季候	を 調べるのは是非，必要でありますがスタチスチッ
	を	148	08	直しをしなければなりませぬ．人員疎密	を 調べるといふことはドレほど日本に備つて居るか
	を	149	03	のこと，また来住のこと往住のことなど	を 調べるにしてもドレだけの行政法律規則をこしら
	を	151	17	接して居るものです．故に行政法の原則	を 調べるには第一には憲法との関係を調べなければ
	を	176	06	い．学科といふは其の術に入り用なもの	を 調べるものであります．この調べの方法は事実の
	を	176	10	．我が国人の外国へ出稼ぎ移住する有様	を 調べることが第一でありますから先づ海外に出稼
	を	208	06	と調べるのは，むつかしい．ソンナこと	を 調べるのは，むつかしいが運動を調べるのはヨホ
	を	208	06	ナことを調べるのは，むつかしいが運動	を 調べるのはヨホド易い．大抵の人が時計を持つて
	を	210	11	す．其れでエウロッパの通俗天文のこと	を 調べる人はショッチュウ其れ等の迷ひを解くこと
	を	053	14	を知らないうちに仮名を教へ仮名の字面	を 知りましたら先づ「は」の字と「な」の字を知れ
	を	089	04	教で御坐ります．人若し己れの真の有様	を 知りたいならば先づ新約書旧約書を研究するなら
	を	109	17	へて見れば日本人はミスミス溺れること	を 知りながらドウなつても構はぬといつて現に居つ
	を	149	16	法とかいふものを一回か二回で其の趣意	を 知りたいといふ考へで講究するといふ理由で御坐
	を	240	12	の性質如何を知ると云ふことは○○君之	を 知りたる訳にして私が知るのでは有りませぬ．故
	を	255	16	よく心に銘して監獄の賤しからざること	を 知り，監獄の大切なることを知り，懲戒の厳にし
	を	255	17	らざることを知り，監獄の大切なること	を 知り，懲戒の厳にして酷なるべからざることを知
	を	003	16	習はなければならない様になつて居て字	を 知ることが何より彼より大切なことになつてある
	を	013	04	ますと幾何学を少しやつた人は直に周囲	を 知ることが出来ませう．地球の周囲を測つて見ま
	を	038	02	したる所の一個の有機物ぢゃと云ふこと	を 知るべきことぢゃ．そこで日本国民は日本国民と
	を	038	11	知らぬが智慧が開けて来ると漸々に其れ	を 知る様になると云ふなれども近頃の説では野蛮の
	を	041	03	の人は知らぬが開けて来ると漸々に其れ	を 知る様になる」と云ふ理屈は立たなくなる．中華
	を	109	14	二名は必ず其の人より伝聞して其の効用	を 知るであらう．これ等の事実であるに同胞が端艇
	を	114	12	が有る，かうすれば害が有るといふこと	を 知るは人類に限つて居るので其れだから，この命
	を	134	06	坐ります「人の善悪は其の実によつて之	を 知るべし」と仰せられました．または「悪き木は
	を	149	10	れば要用なる調べは出来ず，また行政法	を 知るには是非ともスタチスチックを知らなければ
	を	153	16	勢力を及ぼすものであります．故に憲法	を 知ることが必要でありますが其れは憲法学に長じ
	を	158	03	通り万物万事が政治は政治学，万物の理	を 知るのが物理学でやるのだからドウしても動きま
	を	178	05	答研究して学理の上より我が帝国の将来	を 知るの方法あらば何の仔細もなきことなれば有志
	を	212	08	出来ないで，これまで知れなかつたもの	を 知ることが出来ます．また金や銀や宝石を持つて
	を	219	16	有つたればこそ千年の後までも其の風俗	を 知ることが出来て歴史編纂などの大いなる資けと
	を	221	01	と見えます．しかし其の時代の人情風俗	を 知るにはよいもので後に馬琴などが趣向を古めか
	を	235	16	通りで有つた．第一は書物を読んで事柄	を 知ると云ふことが容易で無かつた．先生と云ふも
	を	236	03	稽古も実にむつかしいことで一つの言葉	を 知るにも容易なことでは分らない．字を引く字引
	を	240	11	て見たるものであるから，其の性質如何	を 知ると云ふことは○○君之を知りたる訳にして私
	を	176	12	女と記し，姓名，生国，職業，年齢など	を 記し，また其の行く先きの地名を記し，其れが一
	を	176	12	齢などを記し，また其の行く先きの地名	を 記し，其れが一時の出稼ぎであるか永住であるか
	を	176	13	出稼ぎであるか永住であるかといふこと	を 記し，行く先きの地で人が生れゝば記し死ねば除
	を	176	14	，また帰国して職業を為す人があれば之	を 記し彼れに除きて此に入れるなど，総て移住出稼
	を	218	15	氏の君や其の他の人々の平日の動作言行	を 記して其の間に時々の景色と歌とを交ぜたやうな
	を	135	17	委しく造つて御坐ります．また緯度経度	を 記す為めにハリガネが縦横にチャンと引つ張つて
	を	053	14	りましたら先づ「は」の字と「な」の字	を 知れば「はな」とはこんなものだと教へ「み」と

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	108	05	ドレーキ等の所為は何に当るといふこと	を	審究するのが必要のことと考へます．然るに其の
	を	036	03	社会」と言つては通り兼る様です．其れ	を	信仰する人が有れば其れまでのことですが「大い
	を	103	08	しめたのである．即ち弁慶が天台の宗旨	を	信仰し清正が法華宗を信仰したればこそ固く信じ
	を	103	08	弁慶が天台の宗旨を信仰し清正が法華宗	を	信仰したればこそ固く信じて疑はず百折不撓の精
	を	103	14	であります．斯くの如く昔時の人は宗教	を	信ずるが故に気力あり今時の人は之を信ぜざるが
	を	186	08	のと致します．故に新約書にもキリスト	を	信ずる者の中に在つては「或は奴隷或は自主或は
	を	209	13	学芸雑誌に出して置きましたが，あの説	を	信ずれば，あれまでで有ります．が，しかし其れ
	を	103	15	教を信ずるが故に気力あり今時の人は之	を	信ぜざるが故に気力なし．さすれば日本人を真面
	を	075	01	方のは疾病に罹ると医者を頼むとか権利	を	伸張せむが為め法律家を頼むとか又内乱とか暴行
	を	075	11	を失はむとする故に法律家に頼んで権利	を	伸張するのはたゞモトの権利を失はぬだけである
	を	092	12	教を心に得て身に行ふに由つて能く己れ	を	進歩させる時は兼ねてまた貴国の社会を進歩させ
	を	092	12	を進歩させる時は兼ねてまた貴国の社会	を	進歩させるの有り難い好結果は必ず現はれませう
	を	141	07	と小説の本意と言ふものを知らずして之	を	進歩せしめざりしとに因りませう．尤も馬琴，三
	を	229	13	のを区長と名づけますのですから，戸長	を	人民で撰挙するときには，区長も人民で撰挙しな
	を	095	09	せぬ．英国領事裁判所に於て被告人のみ	を	審問して無罪を言ひ渡したるは審理の道を尽さぬ
	を	019	08	太陽のおそばさらずが有ります．此の星	を	水星とも申します．次に木星と言ふ星が有ります
	を	264	01	法と称する方法を用ひます．則ち幼年者	を	数組に分ち，長幼の別を正しくし以て教育感化す
	を	209	03	，どのやうな小さい星でも見えます．尾	を	すかして大きな星が見ゆるなら宜う御坐りますが
	を	209	02	常に稀薄なものであらうと云ふ証拠は尾	を	透して，どのやうな小さい星でも見えます．尾を
	を	059	14	利な物を悦び奇麗な物を愛し，うまき物	を	好き楽を欲するものでありますから（無くては大
	を	174	17	うに思ふが維新以来モハヤ其の五分の一	を	過ぎましたからサホド遠いものではありませぬ．
	を	095	03	れば斯の如き場合に在つては必ず乗組人	を	救はなければなりませぬ．然るをノルマントン号
	を	119	12	て西洋の学者などは其れが為めに世の中	を	救はうと云つて色々と骨折苦心をして居ることは
	を	091	14	．なぜなれば耶蘇基督は罪悪よりして人	を	救ひ出す為めに此の世に生れ多くの艱難に遭ひ遂
	を	095	02	常一般の人でも他人の危きに臨んでは之	を	救ふが道徳上の義務で御坐りませう．況んや其の
	を	096	07	たから救ひ得られさうなものであるに之	を	救ふことの出来なかつたのは恐らくは怠つたもの
	を	013	04	．そこで直径を知つて居りますと幾何学	を	少しやつた人は直に周囲を知ることが出来ませう
	を	015	01	いが」と疑ふ人が有ります．併し測量術	を	少し心得て居るなら分ります．地球上で測量をし
	を	116	11	考へて見ると両度とも二三日も続いて酒	を	過したあとで，あつたから全く酒の為めだと思つ
	を	113	06	き廉は無いが其れですら節せずに余り度	を	過すときは其の為めに身体を悪くするやうなこと
	を	086	05	歩と所謂文明開化を妨げるもの，また之	を	進ませるものは如何なるもので御坐りますか，ま
	を	181	02	うと存じます．我々は固より婦人の地位	を	進むるにはキリスト教の力に依らなければならぬ
	を	108	11	転手等は我々同胞に再三端艇に乗ること	を	勧めたが我々同胞は固く拒んで乗り移らなかつた
	を	171	17	易の道を開いたこと我が国人に阿片の禁	を	勧めたこと（あれが若し勧めて，くれなからうも
	を	077	12	会の為めに利を興し害を除き蒼生の幸福	を	進められむことを切に希望いたします．基督教は
	を	147	15	ふのは行政法であります．これ等の事実	を	スタチスチックで調べるのは行政法の便益になる
	を	148	03	，この土地には鉱物があるとかいふこと	を	スタチスチックで調べるならば其の鉱物といふも
	を	015	16	るには里でも間に合ひかねるから物さし	を	ズット大きくして地球の直径を物さしにします．
	を	044	11	．支那は道徳の国なれども決して己の利	を	すてて他人の為めにすると云ふ主義が本当には行
	を	099	17	ることを考へ而して二十五名の我が同胞	を	棄てた放擲したウッチャッタといふ所から見たと
	を	060	17	の童子に示さば童子は必ずダイヤモンド	を	捨て張り子の虎を取りませう．又諸君が田舎に於
	を	244	14	其れから第六は全国の利益に関すること	を	総て執行いたしまする．其の中にても殊に秩序安
	を	001	04	て外山正一君演説今日この席に於て演説	を	することは思ひもよらざることで御坐りました．
	を	001	05	らざることで御坐りました．然るに演説	を	するに立ち至りたるは先日この会の役人の片山淳
	を	005	13	冑を着て鎗長刀を持つて西洋人とイクサ	を	するがよからう．漢字と西洋字と競争が出来る訳
	を	006	08	ウだとか傍がドウだとか言つて虫の講釈	を	するにも虫の訳は説かないで字の講釈をするのが
	を	006	08	をするにも虫の訳は説かないで字の講釈	を	するのが多い．動物学の講義でも植物学の講義で
	を	006	12	でも本を持つて一枚一枚に一字づゝ講釈	を	する，本を見なくては講釈をすることが出来ない
	を	006	12	字づゝ講釈をする，本を見なくては講釈	を	することが出来ない．今日は物理学でも化学でも
	を	021	13	位で有ります．今日理学や其の外の学問	を	する人が満足する有様に至らないので追々開化が
	を	027	08	の端から，かたつ方の端までゆくに瞬き	を	する程の時間はかゝりませぬ．月まで行きますに
	を	033	13	い．我が邦では子が生れるにも酒，縁組	を	するにも酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒，喪礼でも
	を	039	02	て一例を挙れば盗賊を働いたり強盗など	を	する者を貴ぶ社会さへも有る．其の様な社会では
	を	039	03	社会さへも有る．其の様な社会では強盗	を	する者が一番貴ばれる．其れのみならず強盗をす
	を	039	03	者が一番貴ばれる．其れのみならず強盗	を	する者が善で，せぬ者は悪と云ふことになりて居
	を	039	04	りて居る．其れはナゼぢゃと申せば強盗	を	するほどの者で無ければ社会を守ることが出来ぬ
	を	047	01	洋の各国同士でも道理の立たぬ様なこと	を	するのは互に社会を為さぬ者同士の間では当然の
	を	060	08	人がドウいふ芸術が出来てドウいふ働き	を	するかと云ふに芸術の点に至つては誠にハヤお恥
	を	090	10	受けて世渡りするものは必ず種々の進歩	を	する訳で御坐ります．第五．種々の進歩を致さう
	を	105	16	たら仮令我が兵庫県知事が如何なる求刑	を	するとも英国領事は決して法廷を開く訳は御坐り
	を	118	02	．一体，一人で孤立して守ると人と約束	を	するのとは約束をした方が固くなるわけゆゑ此の
	を	120	02	有りますが其れ等は表に見ゆるから予防	を	することも，かなへますが酒疫の方は内心に起る
	を	142	16	女がほれる遂に勘当を喰ふ其れから困難	を	する後に団く理まるめでたしめでたしと云ふ其の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	145	10	改良する様にもならうと思ひます．其れ	を	するには困難するところが有ります．さしあたり
	を	148	13	至つて少ない．併し地方自治といふこと	を	するには独立させなければなりませぬ．五万人以
	を	161	07	が，一体，紂王といふ人はムヤミなこと	を	する人で孕み女の腹を剖いて胎を見たり，聖人に
	を	161	12	は楽みに始つても終りには兎角喧嘩など	を	するもので荘子にも「陽に始りて陰に終る」とか
	を	171	01	ければよいと思つて居る位で，また仕事	を	する者も上手になつて居ますから欧羅巴に行つて
	を	189	12	を議するときには政府の委員が出て討論	を	する．また立法権で法律を議決したときには執行
	を	190	04	と口に云ふと政府は憲法の範囲内で仕事	を	するもの，行政府は政府できめたことを実際に行
	を	191	06	力其れから政を行ふの力，其れから裁判	を	するの力とかう申したので権力即ち大権といふも
	を	191	08	テスキューの説を読んで見ましても裁判	を	するは法律を執行するに止まる．政を行ふのも亦
	を	193	09	追々憲法を立るとか，またかういふこと	を	するとか，また人民の権理を保護するとかいふ保
	を	193	13	開以来の原則に違ひ無い．かういふこと	を	する，アーいふことをするといふのは外国の例な
	を	193	13	い．かういふことをする，アーいふこと	を	するといふのは外国の例などを見てこれをも参照
	を	201	06	るもので有ります．一体，彗星は長の旅	を	する間にはミチグサをくつて来ます．ミチグサを
	を	204	02	ふものが有りました．星占学とは星で占	を	する学と云ふことで実は学でもなく，また術でも
	を	204	06	は大心配をされて，色々くだらないこと	を	するやら何やらして其の疲れかしてトウトウ三年
	を	211	07	所へ這入つて来ると丁度何か化学の試験	を	する時に壜が破裂して悪い瓦斯がソコラにちらか
	を	212	13	お互に長生きをして其の頃また彗星の話	を	するのも随分面白いことで有りませう．其の時こ
	を	213	06	来，不才だから新しい見解を立てゝ議論	を	するなどと云ふことは大不得手の方で古い事を穿
	を	217	06	趣向で至つて澹泊で有るが，これは註解	を	する者があつて穿鑿したところが宝楼閣経と云ふ
	を	218	02	大筆で今以て和文を作るにも言語の学問	を	するにも必要なもので有ることは云ふまでも有り
	を	222	16	つたり又はヲカシイことを言つて身ぶり	を	するもので有りましたが北条時代には田楽が盛に
	を	231	17	り，また府県知事が自ら議会へ出て討論	を	すると云ふことも出来まする．此の如く干渉する
	を	235	11	ことは思ひの外，多いに就ては今の学問	を	する人は昔の人の難儀をしたことを十分に考へる
	を	237	10	れに反して御一新後，今日になつて学問	を	する人は右二つの大難事が全く消滅しました．先
	を	237	12	と何でも勝手に出来る．また西洋の学問	を	するのは人間の当り前のやうになつて西洋のこと
	を	246	16	役，強役と名づけて之を懲らしめること	を	すると，訳が分らなくつて，いぢめられるやうに
	を	250	11	上げませう．即ち丁年以上の者が悪い事	を	すると不良民，所謂る罪人となりまする．此の不
	を	251	02	身刑の者があるが，これは死ぬまで稽古	を	する訳であるか」と云ふ疑ひを起す人が有りませ
	を	254	11	ひは仕事を教へ或ひは通常の雇人に世話	を	すると云ふやうなことを致さなければなりませぬ
	を	262	17	をしない訳には参りませぬ．其れで話し	を	するとロクなことは稽古しないと云ふことになり
	を	266	04	恣不良の幼年者を感化し以て犯罪の予防	を	することで有ります．これ等に施す方法は教育と
	を	116	15	はなけれども併し此の会に加はつて約束	を	すれば自分一人で，きめて居るよりも余程よいと
	を	040	17	賊を働いたり子供を殺したり夫婦の配偶	を	せなんだり老人や親などを殺すのさへも其の時に
	を	042	10	る心はすてて只管他人の為めになること	を	せねばならぬと云ふこと，又法と云ふものは己を
	を	046	03	の為めにすておく訳にゆかぬから悪い事	を	せぬ人が已むことを得ず立てた法ぢゃ．当然と云
	を	067	06	得ました．且法律経済の二科に就て卒業	を	せられたる所の数十人の諸君が卒業証書を得られ
	を	089	06	まいと存じます．第二．また種々の進歩	を	せむとする御方は必ず賤き有様を免れて貴い有様
	を	116	12	つて其れからは自分でも，さういふこと	を	せぬやうにしたれば去年も今年も腸胃痛が起らな
	を	025	04	と言ふものは大事のもので天文学のこと	を	星学と言ふ位で有りますから星のことを言はなけ
	を	152	03	教上の自由とか民事上の権理とか皆これ	を	制限し規定する所の行政法律規則を研究しなけれ
	を	264	13	居りまする監獄法などを参酌して一覧表	を	製しましたが之を御覧になると監獄学の一斑は一
	を	113	01	たします．人類的の欲をして動物的の欲	を	制せしむべし明治十八年六月二十七日大日本節酒
	を	071	06	共に我が国の文明の基礎となるべき機関	を	製造陶冶せられむことを望みまする．又我が国に
	を	159	10	草木，鳥獣，人のカラダ，タマシヒまで	を	製造するが西洋の教へ方で東洋には向きが悪い．
	を	259	14	誰でも来いと云ふやうに救助しては惰民	を	製造する訳になりまして甚だ不都合で有ります．
	を	191	05	リスには力の種類が三つある．即ち法律	を	制定するの力其れから政を行ふの力，其れから裁
	を	017	05	つくものは太陽で有ります．太陽は距離	を	精密に測量することの出来るものの中にはいつて
	を	099	10	しノルマントン号の船長が我々日本人民	を	西洋人と同等の人間と見しならば斯くの如き事件
	を	148	09	上の市街は日本にイクツあるといふこと	を	西洋のヤール，ブックに就て見ると先づ東京とか
	を	231	15	ます．町村会で戸長が議長になつて議場	を	整理し可否同数のときは議長之を決すると云ふこ
	を	062	12	き贅沢ぶくろを下げ背には大いなる文庫	を	背負ひ足には廻板然たる木履を穿ち，おまけに頭
	を	202	09	にはなるかも知れないと云つて其の結果	を	世間に出しました．いよいよ天文学で竟にこれま
	を	275	13	者，並びに出願懲治者の教育保護の事業	を	世間の有志者，有力者に於て非常に尽力せられま
	を	113	15	つかしいことになつて居ります．併し之	を	節しないときには先刻からお話しの有つた通り身
	を	116	13	も腸胃痛が起らなかつたを見れば全く酒	を	節した効能だらうと思はれます．かく自分一人で
	を	113	05	内講義堂に於て加藤弘之君演説何でも物	を	節するといふことは善いことに違ひない．例へば
	を	113	10	方に勘定をしなければ，ならないので酒	を	節するは固よりせねばならぬことぢゃといふこと
	を	113	11	飲食といふものは人の大慾であるから之	を	節するといふことは至つてむつかしい．抑々飲食
	を	113	14	有るだけに，また欲が熾んに有るから之	を	節するのは甚だむつかしいことで誰でも知つて居
	を	114	02	ならない．一体，動物といふものは食欲	を	節することは出来ないものなれど人類といふもの
	を	114	07	の欲も他の動物より熾んになるのに其れ	を	節することが出来ないといふては他の動物に対し
	を	115	07	誠に困つたもので人類といふものは其れ	を	節するやうにしなければ他の動物に対しても言訳
	を	116	14	らうと思はれます．かく自分一人でも酒	を	節することは出来ぬではなけれども併し此の会に

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	117	07	に自然と低い飲食の欲，即ち動物的の欲	を	節することが出来ませう．其れでこそ此の会が必
	を	263	07	と申しまして，これは分房法と雑居法と	を	折衷してこしらへたるもので有りまして刑期の初
	を	077	12	し害を除き蒼生の幸福を進められむこと	を	切に希望いたします．基督教は社会進歩の為めに
	を	178	06	ことなれば有志の学者は講究あらんこと	を	切望に堪へず．基督教と婦人の地位明治二十年三
	を	113	14	かしいことで誰でも知つて居る通り飲食	を	節用するといふことは昔から今日まで，むつかし
	を	001	07	席を願ふに付ては其の方にも席上の演説	を	せよとのこと．私は一向仮名のことに付ては不案
	を	069	14	にせよ，父兄たる者子弟たる者善く注意	を	せよ」と云ふ忠告を致しました．斯の如くは志願
	を	253	10	験が有ります．其の故は種子を蒔いて之	を	世話をして其の実を収むると云ふまでには三月或
	を	092	03	ます．基督教は即ち進歩の宗教で常に人	を	善の方へ進ませて貴い方へ上げる宗教で御坐りま
	を	045	07	の権が有るが女には其れが無い．又議員	を	選挙する権も亜米利加のは州によりて普通選挙の
	を	063	04	には日本の人力車は大約二十万にして之	を	全国の人員に比例して見ると人民百八十五人に付
	を	121	09	論ばかりではいけませぬから，よく事実	を	穿鑿したらば弥々節酒の効能も起らうかと思はれ
	を	160	03	あらうか，死んだなら消つきりのものか	を	穿鑿するのが教法の持ち前でござす．さう煎じつめ
	を	166	12	来ませぬ．今の学風はさうで無い，事実	を	穿鑿して事実の上から道理を見上げる仕方だから
	を	213	06	などと云ふことは大不得手の方で古い事	を	穿鑿するのが持ち前イヤ病ひで御坐いますから，
	を	068	12	業し其れより大学に入り三年間法律学科	を	専修し第一回の試験を受けて見習生となり少くも
	を	185	14	見えます．兎に角に，これより此の悪習	を	洗滌するには矢張キリスト教の力を借りなければ
	を	165	01	を見る可き也．我が日本帝国人民の将来	を	前知するの説及び其の方法明治二十年一月十六日
	を	165	10	して其の題は「我が日本帝国人民の将来	を	前知するの説と方法」といふことであります．一
	を	165	11	す．一寸さきはヤミの世といふのに将来	を	前知するといふのは，むづかしいことで之を説く
	を	227	09	軍と云ふものが有りましてイクラか大名	を	総裁して居りました．これに就ては任命の仕方や
	を	248	10	が必要で有ります．警察に於ては犯罪人	を	捜索して之を裁判所に引き渡し又は嫌疑者を捜索
	を	248	11	索して之を裁判所に引き渡し又は嫌疑者	を	捜索して之を裁判所に引き渡すものでありまして
	を	104	07	会なれば，この社会のみ英語を話し英文	を	草し英語を以て著述し英語を以て演説すれば我々
	を	059	03	ると云ひますから下水流しなどの穢い所	を	掃除してプンとする鰯の頭や香の物のキレッパジ
	を	024	13	云ふことも知れました．此の家内のこと	を	総称して太陽系と言ひます．系は系図の系の字で
	を	275	15	ましたから，これも遠からずして其の効	を	奏することになりませうと考へまする．之を要す
	を	107	07	て如何であらうか実に気の毒なことで之	を	想像するに忍びませぬ．さて，このことに付き船
	を	238	04	の学者と云はれるものになつた者のこと	を	想像されて其の志を以て勉強されることを望みま
	を	134	04	に在りて善き行ひを為すべし，これ爾等	を	誹りて悪を行ふものと言へる世の人をして爾等の
	を	096	01	取れませぬ．今法理上より言へば凡そ罪	を	組成するには内部と外部との元素が無ければなり
	を	230	11	見ますと例へば十五の町村が有つて一郡	を	組成し其の十五の町村が聯合して共有して居るの
	を	091	02	人間の権力腕力などのものを怖れぬ豪傑	を	育てる為めには至極善い宗教で御坐ります．新約
	を	068	12	ものは年令満十八歳にして中学の予備科	を	卒業し其れより大学に入り三年間法律学科を専修
	を	069	03	れます．箇様に年令満十八歳にて中学校	を	卒業し其れより高等司法官吏に任用せらるゝまで
	を	130	15	の二つのものは則ち遙か上に立派な天体	を	具へて居る大空と人の霊魂の中に住む所の道徳法
	を	088	16	ヤハリいけませぬ．立派な家を建て家財	を	備へてやつてもソコに住居いたしませぬ．山奥に
	を	092	10	結果が御坐りますならば況して尚ほ智慧	を	備へて居て道理を知つて居る諸君においてをや．
	を	104	01	にも申したるが如く日本人は浮薄の本性	を	備へ居りまするが大改革を行ふには最も適当の人
	を	109	05	二百噸以上四百噸以下の商船は端艇二艘	を	備へ，四百噸以上六百噸以下は三艘，六百噸以上
	を	109	07	以上一千五百噸以下のものは六艘の端艇	を	備へなければならぬことにきまつて居ります．而
	を	192	04	公論に決すといふことを言はれた．これ	を	其の時分からの先生に承りますと公論といふはお
	を	256	15	結果は犯罪人を予防すること，即ち貧民	を	其の儘に打ち捨て置くときには窮するの余り悪事
	を	267	15	パの有名なる学者たちの考へましたもの	を	其の極宜しい所だけを引き抜いて申したので有り
	を	270	04	した八千四百十四人の者の教育の度合ひ	を	其の入院の時に調べましたのを見ますると一丁字
	を	085	15	善き事柄の上に色々と他の善きモノゴト	を	添へ加へること．此の三つで御坐ります．それか
	を	198	11	モット早いテダテが有ります．其れは石	を	空に向けて斜に抛りますと真直で無く抛物線の形
	を	232	02	府県会規則にありまして，よく其の文言	を	諳んじて居ませぬが府県知事は府県会又は常置委
	を	208	15	にそれぞれ違つたもので有ります．これ	を	それぞれに調べますのは，むつかしいと云ひます
	を	198	02	運動してあるに違ひ有るまいと云ふこと	を	算盤で，はぢき出したと言ひたいが，実は鉛筆で
	を	130	15	く思へば思ふほど我れ之に感服しまた之	を	尊敬す．この二つのものは則ち遙か上に立派な天
	を	222	13	は衰へまして今は僅かに東舞と倭舞の類	を	存し，また神楽，催馬楽に古風を伝へて居ります
	を	246	12	は非常に大切なるところで若し此の目的	を	存じませぬと枝葉に至つて大変な間違ひを来しま
	を	268	10	したる者を僅かに数日の間，留め置き之	を	他の監獄に送り付けることになつて居りまする．
	を	219	12	落ち付いて深切で夫の相談相手になるの	を	第一にすることにツマリ論が落着しました．して
	を	110	15	ども神戸在留の英国領事は既に一旦船長	を	怠慢なしと認めたるものであれば幾分か公平の裁
	を	227	07	ひは国と云ひ其の州とか国とか云ふ一部	を	大名が所持して居りました．この大名と云ふもの
	を	022	08	一寸の玉を地球の雛形とし一丈一尺の玉	を	太陽の雛形とします．さうすると一番近い星即ち
	を	023	08	三里で有ります．地球の雛形の一寸の玉	を	太陽の雛形一尺一寸ばかりの玉より三丁と十四間
	を	026	05	ます．さつきの雛形を用ひますと海王星	を	太陽から三里ばかりの所へ置きまして此の星をば
	を	267	12	せぬと常に何千何万と云ふ将来の犯罪人	を	絶えず世間に出すと云ふ結果になりまする．前の
	を	132	14	す．基督教の仕方で御坐りませぬ．偽り	を	倒すよりも真を立てる方がよい仕方で御坐ります
	を	179	06	弊風を改良すること取り分け婦人の地位	を	高くすることにはキリスト教は最も親密な関係あ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	180	08	教では御坐りませんか．殊に婦人の地位	を	高くしたのは全くキリスト教の力で御坐ります．
	を	186	14	其の他にもまたキリスト教が婦人の地位	を	高くし且，之に真正の幸福を与へる理由は種々御
	を	144	10	小説を得んには小説家の資格と云ふもの	を	高めておきたいと思ひます．其れには西洋の学問
	を	075	04	らない．其の他，雨がふりつゞいて田地	を	耕すことが出来ぬといふなら土工家を雇ひ或ひは
	を	181	09	して一人以上の妻を有つことを許さず妾	を	蓄るごときことは決して許さぬことで御坐ります
	を	182	13	上中下の三等に区別して其の中孰れに妾	を	蓄る者が最も多数であるかと尋ねたら如何で御坐
	を	182	17	ん．若し今，日本中の人に各二三人の妾	を	蓄る力があつたらドウで御坐りませう．其の結果
	を	183	03	とも思はぬことで御坐ります．男子は妾	を	蓄ることを何とも思はず婦人もまた人の妾となる
	を	183	16	されるけれども夫が放蕩をしたり或は妾	を	蓄ひても妻は何ともいふことが出来ず，たゞ出来
	を	036	09	々盛大にし智慧を研き身体を丈夫にし財	を	貯へる様に致したいものと思ひます．財を貯へる
	を	036	09	貯へる様に致したいものと思ひます．財	を	貯へると言つても決して吝嗇になるといふのでは
	を	110	07	いからと言つて或ひは船室から我々同胞	を	出さぬかつたかも知れない．曾に其れのみで無い
	を	060	16	色を着けたる張り子の虎とダイヤモンド	を	出して三歳の童子に示さば童子は必ずダイヤモン
	を	074	07	るなどと申すことなど，これ等は皆な金	を	出しまするど丁度快楽なるものか，便利なるもの
	を	110	08	い．今日の新聞で船長は四千弗の保釈金	をを	出し其の外の者も保釈を許されたといふからには
	を	144	08	，申す通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸	を	出したと言ふものは私の眼力が無く眼界が狭くつ
	を	145	14	のダシテが有つて私も一万円私も二万円	を	出しませうとてモハヤ十五六万円あるさうで二三
	を	163	05	れが信長の大疵だ．或るとき七合入の盃	を	出して柴田勝家に酒を飲ませ其れから明智光秀に
	を	166	09	事実によりて色々に考へ種々様々な論説	を	出し問答研究し，また物理学，機械学，数学など
	を	184	08	とはせんでも若し何時でも勝手次第に妻	を	出して他の女を娶ることが出来ては一夫一婦の教
	を	184	09	ません．自分の気に入らぬと云つては妻	を	出し，子が無いと云つては出し，自分には気に入
	を	184	15	ストの許へ来て「人は何の故に係らず妻	を	出しても支障御坐りませんか」と問ふた時にキリ
	を	185	01	すべき筈はない．姦淫の故でなくして妻	を	出して他の女を娶る者は姦淫を行ふ者で其の出さ
	を	204	15	，彗星とトルコ人を調伏すべし」と触れ	を	出しました．あとで調べて見れば，これは全くハ
	を	096	17	しい．故に全国の人民は証拠を集め材料	を	確かめなければなりませぬ．而してこの証拠を如
	を	108	08	になるか，メンスローターになるか事実	を	確かめなければならぬが未だ取り調べが出来ずし
	を	163	04	は色々訳も有るだらうが論より証拠，酒	を	嗜んで狂乱の様子が有つた様だ．其れが信長の大
	を	163	17	といふ人は勇気はすさまじいものだが酒	を	嗜んで昼夜酣飲して，おまけに善く飲む者があれ
	を	253	17	種類が三つ有りまする．其の第一は資金	を	多少有する者，第二は資金のなき者，第三は仕事
	を	254	02	を知らざる者．其れで，この第一の資金	を	多少有する者は長い間，監獄に居りまして窮屈な
	を	185	09	申さねばなりません．斯様に軽々しく妻	を	出す風が行はれて居る中は婦人が正当の地位を占
	を	189	12	することがあります．例へば法律の草案	を	出すとか，また法律を議するときには政府の委員
	を	090	04	とが御坐りませぬ．第四．また人の進歩	を	助くるには人の導きになる教，色々の教訓が余程
	を	095	04	然るをノルマントン号の船長は我が同胞	を	助けなかつたのは実に道徳上に於て罪すべき人で
	を	275	12	りまする．これ，また非常に監獄の整頓	を	助けたるものに相違御坐いませぬ．また近頃は感
	を	081	08	大なこと新発明の賑かなること人の快楽	を	助けるものの能く完全したこと商法と製造の隆盛
	を	128	03	しい論の中に無証拠な設理即ち後の穿鑿	を	助ける為めに学者が仮りに設ける所の色々の論，
	を	145	08	其の事業を拡張したなら遂に社会の道徳	を	助ける様にもなり風俗を直し政治を改良する様に
	を	034	04	ましたシビリザションといふものの意味	を	尋ねますれば月の中には兎が餅を搗いて居るとか
	を	060	01	覧なされ今如何様な田舎に行つても山奥	を	尋ねても熊の居らないではないザンギリアタマの
	を	097	02	は敢て難いことではありますまい．海底	を	探ね，また他に名案を施したらば罪跡が現はれな
	を	097	02	来ませぬ．併し水潜り器機もあれば証拠	を	尋ねるのは敢て難いことではありますまい．海底
	を	191	17	ふと天皇陛下に在るので天皇陛下が詔勅	を	出せば既に定まつたことを改むることが出来る．
	を	004	17	かユウチュウカンと長い毛の筆で偏冠り	を	正し二時間も三時間も手習ひなどをして居るもの
	を	142	12	ませんが武門の世となつて殆んど其の跡	を	絶ちズット下りまして馬琴の八犬伝を書いた時分
	を	084	07	る里数が能く分つて居り且蒸汽船が横浜	を	たつた日どりと時間と知れてあつたならば向ふに
	を	074	07	ふとか又は家政の為めに田地を買ひ貸家	を	建つて家賃を取るなどと申すことなど，これ等は
	を	173	04	なると「畜生」などと嘲けり罵つて交り	を	絶つのが今日民間の常であります．我が国の人は
	を	107	10	りますが今其の不文法に拠りますと人命	を	断つことをホミサイドと申し，このホミサイドを
	を	142	01	仕組と言ふものが肝腎なもので斯様な家	を	建つるには此処に斯様な柱を建て，また宴会室に
	を	251	09	受くるだけで通常の良民と同様に其の身	を	立つることが出来まることになつて居りまする
	を	158	12	ガの孔子様まで萌黄の蚊帳をつつて線香	を	たてゝ臍を隠したか，ドウだか其れは私にはお請
	を	088	13	とも御坐りまして器械をやつたこと学校	を	建て教師を遣はしたことも御坐りましたがドウも
	を	088	15	しましたがヤハリいけませぬ．立派な家	を	建て家財を備へてやつてもソコに住居いたしませ
	を	142	01	で斯様な家を建つるには此処に斯様な柱	を	建て，また宴会室には斯様と其の他軍艦を造るに
	を	193	16	寄つて国を為して居るといへば例へば家	を	建てて住ふといふのが目的であれば此の原則には
	を	204	05	しからんことが有るから功徳の為めに寺	を	建てて坊主の俸給をお廃しなさい」と言ひました
	を	033	15	か強くするとか云つて何社とか何会とか	を	立てて人間社会の大事業を企つる時などには，い
	を	034	11	有りませぬか．かういふ所から私共も説	を	立てて見て世間で酒を飲む人はどんな人が多いか
	を	045	08	州によりて普通選挙の国も有るが又制限	を	立てて丁年の男子は誰でも選挙にかゝると云ふこ
	を	117	10	すると一人でするのとは違ひますから会	を	立てて約したことが有ると自から奮発する心にも
	を	134	15	総ての行ひを以て基督教に付て堅い証拠	を	立てねばなりませぬ．基督教の反対論に答へむに
	を	157	09	ト申さんか」「へー申しません」と誓ひ	を	立てた．さうして「申しませんことは申しません

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	159	09	言ひました．西洋の教へ方は天で，天主	を	立て天上，天国，天界，大地，草木，鳥獣，人の
	を	164	01	手にしたといふことだが，酒の為めに身	を	立て家を興したといふ者は一人も無し，亡国廃家
	を	169	17	テの類で自ら思ひ立つて艱難しても一身	を	立てたい富を求めやうといふ考への者のやうに見
	を	172	06	返して，くれたこと罪人引き渡しの条約	を	立てたこと条約改正の議に第一の同意者となつた
	を	213	06	違ひ．私は性来，不才だから新しい見解	を	立てゝ議論をするなどと云ふことは大不得手の方
	を	217	15	仏経に提婆品だの普門品だのと云ふ品目	を	立てたのに拠つたもので有りませう．其れは源氏
	を	218	04	やうな実事を書いたものにも巻々の標目	を	立てゝ小説めかしたのは同体の仮名文だからで有
	を	223	10	尽しと名称を改め，京と江戸とに狂言座	を	立てました．其の始めは踊とヲカシミとが主にな
	を	002	17	に過ぎざる智識が有りまする．例へば家	を	建るとか織物を織るとか大砲を拵へるとか薬を煉
	を	142	05	々いけません．凡そ仕組と申すものは家	を	建てるに致せ軍艦を造るに致せ小説を著すに致せ
	を	194	01	カハリは無い．穴の中に居るとか石の家	を	建るとかいふのは其の時々の経験に本づいて，や
	を	085	06	最初から既に弁じた所を以て充分の証拠	を	立てることが出来やうと存じます．既に申しまし
	を	088	12	らで森林の中で弓を射て世渡りをして家	を	立ることを知らねども其の儘で満足して居ります
	を	132	14	方で御坐りませぬ．偽りを倒すよりも真	を	立てる方がよい仕方で御坐ります．第七．基督教
	を	149	02	調べて居つたら役に立ちますまい．規則	を	立るとか法律を立るとかいふことが知れゝば出生
	を	149	02	役に立ちますまい．規則を立るとか法律	を	立るとかいふことが知れゝば出生のことにしても
	を	193	08	せぬから後にします．それから追々憲法	を	立るとか，またかういふことをするとか，また人
	を	152	09	を，こしらへます．故に憲法と行政法と	を	例へて見ると憲法はアタマで行政法は手足であり
	を	240	07	る．然れば内務大臣の許可なくしては之	を	他人に言ふことは出来ませぬ．例へば私の友人に
	を	241	01	来て遂に○○君の配偶者になるべきもの	を	他人に望まれ其の配偶者となると云ふことが出来
	を	058	03	言で支那の孔子ですら「之を好む者は之	を	楽しむ者に如かず」と申しました位で仮令むつか
	を	054	13	さて又今まで修身の道は我が国では孝経	を	たのみにして居るのですが漢字が無くなると孝経
	を	075	01	すが只今申した方のは疾病に罹ると医者	を	頼むとか権利を伸張せむが為め法律家を頼むとか
	を	075	01	を頼むとか権利を伸張せむが為め法律家	を	頼むとか又内乱とか暴行等があつて，こはくてた
	を	038	14	応した術を用ひて其の社会を維持し進歩	を	謀らねばならず，又開けた国では其の有様により
	を	038	15	其の有様によりて其の社会を維持し進歩	を	謀らねばならぬ．故に野蛮の社会などで誰も斯く
	を	235	08	ほ小成に安んずるとイケヌから益々進歩	を	謀られむことを希望しますると云ふことを一言い
	を	040	14	これは実に余儀ないことで維持と進歩と	を	謀りてゆくには必要ぢゃ．其れゆゑ今申した様に
	を	180	14	存じます．然らば目下我が邦の社会改良	を	謀り殊に婦人に正当の地位と真正の幸福を與へん
	を	042	17	めると云ふことは無い．たゞ自分の利益	を	謀ることは固より許すが其れが為めに人の害をし
	を	047	02	社会を為して居らぬからには自分の利益	を	謀るだけでありて自分の利益と他の利益と合はね
	を	193	12	と見ますとこれ皆な王政復古といふこと	を	度々述べられてありますから政治上の原則は開闢
	を	275	06	扱ひ未決中の者でも少し面倒な者には毒	を	たべさして殺すと云ふやうなことも流行つたり，
	を	216	02	因幡の地へ上つた所が鰐は「兎が私たち	を	だました」と云つて怒つて兎の皮を剝いで行きま
	を	116	04	に勝たれるからのことで，さういふこと	を	矯むるには，この節酒会などは至つて宜しいもの
	を	044	03	し殺伐なることも有るから教法者も其れ	を	矯めようと云ふので右様の教を起したのぢゃ．曲
	を	179	04	助君演説婦人矯風会の目的は社会の弊風	を	矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の品位を
	を	246	08	を罰すると云ふことで，即ち其の人の心	を	矯め直すと云ふ趣意で，即ち人心の改良を図ると
	を	266	09	きに至つて家族法を用ひまして其の模様	を	験しして専ら教育を施し丁年に至れば通常の人民
	を	102	17	て然るなれば此の大原因たるところの弊	を	矯め直さねばならぬ．即ち私が示したる二個の要
	を	251	15	を設けて，こゝでイクラかの間これが心	を	矯め直すことを図ります．此の者を不論罪懲治者
	を	039	12	ば他の社会と戦争をしたときに其の社会	を	保ちゆくことが出来ぬ．其れぢゃから働かぬ者を
	を	184	16	にキリストは之に答へて「元始に神は人	を	男女に御造りなされた故に人が夫婦になれば最早
	を	104	04	はありますまい．設令全国を挙げて英語	を	談ぜしむるは，むつかしきこととした所で上流社
	を	104	05	つかしきこととした所で上流社会に英語	を	談ぜしむるは，さまでむつかしきことではなし．
	を	047	09	る様にしたいものぢゃ．其れの出来ぬの	を	歎息するのが歎息の順序で其の後に猶ほ道徳が行
	を	047	10	道徳が行はれぬならば其の時こそ其の事	を	歎息すべきことぢゃ．欧羅巴人が亜米利加の土人
	を	193	11	採用するやうに見えまするが天子の勅詔	を	段々と見ますとこれ皆な王政復古といふことを度
	を	023	13	．私は大きなことが言ひたいから一万里	を	小さいと言つたのでは無い，海王星の距離などに
	を	230	10	産と云ふ名のものが有るさうです．其れ	を	近ごろ調べて見ますと例へば十五の町村が有つて
	を	016	06	見ますと直径一寸の玉を拵へまして其れ	を	地球の雛形にすると其の玉から三尺離して直径二
	を	017	10	八倍半ほど有ります．さつきの一寸の玉	を	地球の雛形としまして太陽の雛形はドンナもので
	を	017	15	ルリを回つて居ると同様に太陽のグルリ	を	地球が始終グルグルと回つて居る．さうすると我
	を	018	10	る所は有りませぬ．そこで太陽のグルリ	を	地球が回つて居る，其の一遍回つて元の所へ来ま
	を	022	07	う．先づさつき申しました直径一寸の玉	を	地球の雛形とし一丈一尺の玉を太陽の雛形としま
	を	003	08	力の進歩が出来て来る．八時間の使ひ方	を	智識の方便の方に使ひ過ればイヤでもオーでも真
	を	060	06	構な世の中になりましたが併し私も絹衣	を	着し休日に休むといふことを強ち悪く言ふのでは
	を	125	03	今この一席の間に其の色々の邪魔と妨げ	を	チャント部分けして委さに説くことが出来ませぬ
	を	274	16	年にこれまた非常の英断を以て地方監獄	を	中央政府の直轄と定め以て大いに改良を加へまし
	を	272	04	，流刑，及び禁獄の刑に処せられたる者	を	集治する所で有りまする．尤も集治監には二種類
	を	272	06	，流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身の者	を	集治いたしますので，島地の集治監は単に徒刑，
	を	272	07	監は単に徒刑，流刑に処せられた者だけ	を	集治いたします所でありまする．さて，島地集治
	を	228	17	云ふ如きものが過半を占めるときは之れ	を	町と名づけ，また耕作地の方が過半を占めるとき

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	119	01	のことで有ります．飲酒より生ずる弊害	を 調査するの方法を論ず明治十八年十二月二十日大
	を	148	06	方では大事なものであります．併し人員	を 調査するのはドレほどスタチスチックの法に適つ
	を	166	10	中も益々開け行くこととなつて人間世界	を 調子よく今日まで開いて参りました．昔の学風と
	を	262	07	どと云ふものでは有りませぬ．全く罪人	を 懲治，感化すると云ふ場所で有りまする．今欧米
	を	272	02	より願ひ出でたる出願懲治者（末丁年）	を 懲治する所でありまする．第四，巳決監．こゝに
	を	138	01	読みましたときには上下を着た人に小言	を 頂戴いたす様な心持ちも有りませうがリットンや
	を	264	07	年犯罪者を除いて其の他の総ての犯罪人	を 懲必＊し感化する所で有りまして則ち俗に称する
	を	204	15	日正午には鍾を鳴らせ，彗星とトルコ人	を 調伏すべし」と触れを出しました．あとで調べて
	を	090	13	また近来様々の不信者の中にも耶蘇基督	を 直接に誹る者が滅多に御坐りませぬ．人を完全な
	を	164	03	いふ書を読みましたが，これは天道溯原	を 著述した丁韋良といふ人が二三年前，支那政府の
	を	272	13	もので其の中，集治監だけは内務大臣之	を 直轄し，留置場，監倉，懲治場，巳決監は東京府
	を	036	12	なることを希ひます．賛成いたした趣意	を ちょつとお話し申しますまで．社会外に道徳なし
	を	099	05	くの如く不幸な目に逢ふたかといふこと	を 沈思黙慮するが必要のことであらうと考へる．諸
	を	073	07	託を受けて居りますゆゑ何か新奇なこと	を 陳述いたしたう御坐んすが格別の思ひ付きも御坐
	を	019	11	優美を貴む国で有りますから大層此の星	を 珍重しました．肉眼で見ましては木星に少し小さ
	を	140	11	草稿料を呉れないから待つて呉れろと手	を ついて言訳を致したとか斯様な情けないクラシを
	を	034	05	の意味を尋ねますれば月の中には兎が餅	を 搗いて居るとか雷は大鼓をしょつて居るとか言ひ
	を	034	06	ふものは，かういふもので決して兎が餅	を 搗いて居るでは無く，又雷は大鼓をしょつて居る
	を	027	03	くのはいくらか時を費します，若し時間	を 費さないで行つたら不思議です．そこで明りが或
	を	027	03	く距離です，明りの行くのはいくらか時	を 費します，若し時間を費さないで行つたら不思議
	を	049	02	説かねば意を尽さぬなれども既に一時半	を 費して最早五時にもなり猶ほあとの演説も有るこ
	を	003	12	けるが少なくつて智識の方便に莫大の時	を 費すことになつて居る．今喋々といふにも及ばな
	を	027	04	或る所から出て或る所に達するには時間	を 費すに違ひ無いが併し余ほど早いもので太陽から
	を	034	14	を飲んでは身体を弱らし智慧を鈍くし財	を 費すことになつて種々様々に人に弊害を及ぼして
	を	202	04	され其の他の惑星からは何日ばかり時間	を 費せらるゝと云ふことを勘定する式を与へました
	を	116	16	も余程よいといふは仲間で約束して虚言	を つかないやうにといふことが一つ殖えて来るから
	を	243	09	政府即ち内閣大臣等を設け之に執行の事	を 掌らしめ．天皇陛下が此の二大政権事務の上部を
	を	087	08	，これ等のもの皆な天地万物を造り且之	を つかさどりたまふ造物主のミコゝロに逆らひ之に
	を	190	16	違ふ所は行政裁判では行政上に関する事	を 掌り司法裁判では刑法と民法に関する事を掌ると
	を	250	04	に家庭教育，即ち両親，其の他に於て之	を 掌り，また身体の教育，即ち体育と申しまするも
	を	252	02	かういふ者は先づ両親等に於て其の懲治	を 掌りまするけれども元来，斯くの如き子供がある
	を	164	08	しめ碧林の小島彼時不毛の地たり人の之	を 主どるなしを経略せんと欲す．一日行て亜丁に抵
	を	190	16	掌り司法裁判では刑法と民法に関する事	を 掌るといふ区別です．この行政裁判は行政法の部
	を	242	15	するのは政治学を知らずして天下の大政	を 掌ると何ぞ異なるところが有りませうや．先づ監
	を	243	14	実際の運転は総て行政権に於て之が執行	を 掌ることで有ります．また司法権は法律の執行を
	を	243	15	とで有ります．また司法権は法律の執行	を 掌ることで有りまするが単に民法，刑法だけの執
	を	243	16	が単に民法，刑法だけの執行，又は適用	を 掌ることとなつて居りまして其の他の法律，即ち
	を	245	16	，監獄は前に申し上げたる通り刑の執行	を 掌る所で有りまする．就ては刑とは何かと申しま
	を	246	10	坐います．よつて監獄に於ては刑の執行	を 掌る即ち人心の改良を掌ると云ふもので有ります
	を	246	10	に於ては刑の執行を掌る即ち人心の改良	を 掌ると云ふもので有りまする．只今申したる点は
	を	052	17	て来たので御坐ります．其の間に平仮名	を 使つたのは草紙物語より出でまた漢文に訓読を下
	を	074	08	か，便利なるものがはいつて来るので金	を 使つただけの効能が別に顕はれるもので御坐んす
	を	075	09	すがドウも消極的の価値は其れだけの金	を 使つても新たなるものを生ずるとか新たなること
	を	149	08	長をして居られたときにも政表といふ字	を 使つて居ました．日本でいふマツリゴトは行政の
	を	172	04	たこと耶蘇正教を我が民間に（大層な金	を 使つて）布いてくれたこと下の関の償金を返して
	を	192	16	がなさつて居られる．其の下に文武百官	を 使つても執行権は天子が持つて居られる．其れで
	を	222	16	ばかりで無く高い所で芸をしたり又は刀	を 使つたり又はヲカシイことを言つて身ぶりをする
	を	055	06	ないといふ様なことがあり拠ろ無く漢字	を 使はなければならない様な訳で私どもも孫の頃は
	を	088	13	まして器械をやつたこと学校を建て教師	を 遣はしたことも御坐りましたがドウもいけませぬ
	を	051	12	りなされた方が使へるだけは仮名の文字	を 使ひ，成るたけモロコシ文字を省いて書くといふ
	を	223	16	ふものが段々流行して其れに合して人形	を 遣ふことになりました．元文，宝永の時分には竹
	を	043	16	出来て害になる禽獣を除き用に立つもの	を 使ふて其れで開ける様になりて来たのぢゃ．若し
	を	190	09	皇帝陛下の名義を以て判決すといふ言葉	を 使ふ所があります．また裁判の中にも執行権者が
	を	261	01	つて監督者が有れば一方にばかりしか銭	を 使ふと云ふことの無いやうになりませう．第七，
	を	157	06	起るからコペルニカスの弟子のガリレオ	を つかまへ「おのれは太い奴だ」と言つて，トウト
	を	252	07	児でもしやうとする傾きの者があれば之	を つかまへて来て懲治しなければならぬもので有り
	を	247	03	が有つたさうです．ソコデ今，此の母親	を 捕へて処刑し監獄に入れたと御覧なさい．其の母
	を	172	12	の価の不平均なのに乗じて大いなる利益	を 攫み去つたことがあつて其の仕方は子供を，すか
	を	253	11	要することで有りまするから濡れ手で粟	を 攫むと云ふやうなことは考へませぬやうになりま
	を	062	10	からまり木履はポクリポクリして忽ち足	を 疲らし殊に婦人の如きは裾の方には綿を入るゝこ
	を	145	01	の二派を集めて筆の立つ人に西洋の智識	を つぎこむ様にしたら宜しからうと思ひます．其れ
	を	118	01	これでよいと思ひます．若しも人に虚言	を つくやうな人ならば節酒会にも，はいらぬ方がよ
	を	240	01	何，国事犯等の景況如何，何々何々と矢	を つく如くに詰問せられました．けれども元来，上

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	014	07	唯ボンヤリして何だか分らず俗に兎が餅	を	搗くのだと言ひます処が余程はつきり見えまして
	を	049	02	て此の事に就ては猶ほ委しく説かねば意	を	尽さぬなれども既に一時半を費して最早五時にも
	を	095	09	審問して無罪を言ひ渡したるは審理の道	を	尽さぬものである．尚ほ尽すべき道があるべきの
	を	097	08	所は諸君充分に力を合して証拠蒐集に力	を	尽され道徳上の罪人なる船長ドレーキをして亦法
	を	238	07	ります．呉々も諸君，さう云ふやうに力	を	尽されて勉強されたときには昔に百倍する功績の
	を	110	13	ら我輩は英国領事に向つて充分なる審理	を	尽し以て公平至当なる裁判を下されむことを冀望
	を	124	14	る神と共に働くものは己れの大切な職分	を	尽しながら多くの助けと益を受ける筈では御坐り
	を	048	03	しく違ふては居らぬことで随分互に深切	を	尽すと云ふことが有る．併し国と国との間になる
	を	107	01	無いことをした」といふより外は私は言	を	尽すことが出来ませぬ．たゞこの感情を言ひ現は
	を	141	14	味通りに講じますは誰でも出来るが話し	を	作つて旨く聞かせるのは甚だむつかしいもので御
	を	162	02	康叔を衛に封じたときに酒誥といふもの	を	作つて康叔を戒めた．この酒誥といふものが酒の
	を	217	10	るべき学者が始めて此の空中楼閣の話し	を	作つたものと見えます．しかしながら天に昇つて
	を	218	08	有つて一様で有りませぬが，ツマリ物語	を	作つた趣意は先づ慰みもので日長のときや雨夜な
	を	161	06	が有る．殷の紂王などは酒の池，肉の林	を	造つたといふが，一体，紂王といふ人はムヤミな
	を	162	06	は則ち酒を用ふべし蓋し天の我が民に酒	を	作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献の礼を行はし
	を	015	04	で角度と云ふものを測り三角と云ふもの	を	作りまして三角から三角に移り次第に先へ進んで
	を	027	02	なりますから星学者は広大無辺の物さし	を	作ります．其れは何で有るかと云ふと明りの一秒
	を	220	16	和の頃より浅井了意が東海道名所記など	を	作り，井原西鶴が一代男や一代女などを作り其の
	を	220	16	を作り，井原西鶴が一代男や一代女など	を	作り其の他，色々の作が出来ましたが其の言葉つ
	を	221	13	有りましたが後には画入読本と云ふもの	を	作りました．其の趣向は重もに浄瑠璃本に出たも
	を	221	16	水なども日用の言葉を以て一家の人情本	を	作りましたは何れも洒落本の口調から変化したも
	を	221	17	以来，三馬も種彦も画入読本と云ふもの	を	作りましたが奇怪なことは勿論，自殺や残酷なこ
	を	223	03	れまでの猿楽の舞を修正して多くの新曲	を	作り滑稽にかゝつた方は狂言として別にしました
	を	223	12	また狂言作者と云ふ者も出来て続き狂言	を	作り元禄，宝永の時分になつては三番続き五番続
	を	087	08	問ふならば，これ等のもの皆な天地万物	を	造り且之をつかさどりたまふ造物主のミコゝロに
	を	089	16	基督教で御坐ります．この教は即ち万物	を	造りたまふ造物主のミコゝロに基づいた宗教なれ
	を	270	01	にしませぬと之が為め終身のカタハモノ	を	造り出すことになりまする．実に恐るべきことで
	を	080	15	貴くし，また人を活発にする新しい原素	を	つくる仕方で御坐ります．此の三つの仕方は一個
	を	054	06	らないでも何でも知れる様に知れるもの	を	作ることが肝腎だと思ひます．先づ小学校の本，
	を	218	01	殊に源氏物語は非凡の大筆で今以て和文	を	作るにも言語の学問をするにも必要なもので有る
	を	224	03	瑠璃狂言，世話狂言と区別し年々新狂言	を	作るに付ては兎角，時の好みを追つて人気に適ふ
	を	003	01	出来れば暑さ寒さを防ぐことも出来，船	を	造ることも出来れば敵の首を取ることも出来るけ
	を	142	02	建て，また宴会室には斯様と其の他軍艦	を	造るにも仕組と言ふものは大切なものなれども，
	を	142	05	仕組と申すものは家を建てるに致せ軍艦	を	造るに致せ小説を著すに致せ最も大切なるもので
	を	257	09	年を養育するのは将来に善良有益の人民	を	造るもので有りまするから其の費用は誰が出して
	を	012	05	うと思ひます．私が「地球の位置」と題	を	つけて致します演説は先づ今申しました位を目的
	を	075	05	来ぬといふなら土工家を雇ひ或ひは水口	を	つけて水を去るなどといふ様なこと実に挙げて算
	を	080	02	よりこのかた人間社会の種々の進歩に気	を	つけて見れば其の中に種々の大切な事実，面白い
	を	060	16	やうと思ひますが例へば今茲に種々の色	を	着けたる張り子の虎とダイヤモンドを出して三歳
	を	215	01	れ其れから劇場に見物に行くのにも礼服	を	着けて見物に行くと云ふことで殊に近日西洋学者
	を	007	17	ふ訳ならば唐紙などはやぶるがよい．墨	を	付けてよごしたものは，なほやぶるがよい．され
	を	008	03	人が多い．一刻も早く無くなすことに気	を	付けなければならないのに．されどウチワばかり
	を	034	04	ぬ．然るに今日，日本で「文明」と訳字	を	付けましたシビリザションといふものの意味を尋
	を	062	11	は裾の方には綿を入るゝこと恰も飾り餅	を	付けたるが如く左右には長き贅沢ぶくろを下げ背
	を	108	17	いふときには，おもなる人の避け方に気	を	付けて必ず其の人の避ける方向に向つて避けるに
	を	143	09	ら人を感動せしめるぞと云ふところに気	を	付けねばならぬ極高尚なもので有ります．或ひは
	を	148	16	問に関係するものでは無いからソコに気	を	付けなければ要用な調べも出来ませぬ．また年齢
	を	269	17	専ら十二歳より十八歳位までを非常に気	を	付けて監督養育しなければなりませぬ．若し此の
	を	053	01	出でまた漢文に訓読を下して，すて仮名	を	附け其れが段々一種の真片仮名文になつたものと
	を	123	05	れると其れから先き母親が指の先きに酒	を	附けて始終其の子供に嘗めさせると云ふことが慣
	を	174	06	い，イヤなものですが之に銭といふ皮肉	を	附けて見ると其のシャレ骨が活き活きして感じる
	を	174	11	字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮肉	を	附けて見て篤と考へたらば活きますまいか感じま
	を	220	11	其れは画の方が重もで其の上へ説き明し	を	附けたもので福富の草紙と云つて善と悪のヂーサ
	を	123	02	ウいふ結果を得るかと云ふ様なことを気	を	付ける様にしたら，さまでむつかしいことでも有
	を	222	14	舞の類を存し，また神楽，催馬楽に古風	を	伝へて居ります．中古以来，僧家に延年の舞と云
	を	238	06	始と云ふ書などを見るとオランダの医術	を	伝へた難儀などのことは一々出て居ります．今か
	を	158	12	えます．サスガの孔子様まで萌黄の蚊帳	を	つつて線香をたてゝ臍を隠したか，ドウだか其れ
	を	211	12	が有ります．実はコッチが彗星の中へ頭	を	突こんだことが現に有つたのです．尤も僅の間で
	を	034	17	は無い．大事業を仕遂げた人は何れも酒	を	慎んで欲の深い人で今日の行ひをよく省みて智慧
	を	035	16	が独逸や仏蘭西や英吉利などの人が皆酒	を	慎んで身体を丈夫にして智慧を研いたからで御坐
	を	023	17	跡でお話ししませう．今まで申したこと	を	つゞめて申しますと太陽は大きい熱い明るい玉で
	を	266	14	分けて入れます．此の場合には専ら感化	を	つとめまする．而して感化も其の効があらはれま
	を	162	08	を戒めて曰く農民は平日土物を愛し耕作	を	勤め能く其の父兄に事へ商賈は車牛を牽て遠きに

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	074	14	いふことは必要なことで御坐んす．其れ	を 務めて除かむことを欲しまするには人を雇はんけ
	を	186	12	を挙ればキリスト教に於ては女子の教育	を 勤めること，また婦人が社会のために働くことを
	を	059	04	ンとする鰐の頭や香の物のキレッパジ等	を 常に堆積せざる様に奇麗にして御覧なされ屹度チ
	を	098	15	殺人罪の告訴を為し人民は競ふて義捐金	を 募り遭難者の遺族に贈るなど寔に懇切なことであ
	を	167	09	ことは分りますまい．西洋に往つて理合	を つめて来たからこそ分つたのに違ひない．アーい
	を	215	17	しやう」と云ひました．ソレデ鱈が眷族	を 連れて来て隠岐から因幡の方へ一パイになりまし
	を	156	15	があると云つて学問に学問，究理に究理	を 積んでトウトウ地が回るのだと言ひ出した．其の
	を	135	14	の見渡す所が広く且遠くなります．聖書	を 手に持つて而して聖書に説く所の高い所より世の
	を	253	17	で有りまする．其れから放免囚即ち監獄	を 出ました者の中で種類が三つ有りまする．其の第
	を	254	08	めると云ふ次第でありまするから，監獄	を 出ましたる放免者と名づける者は十分の九分九厘
	を	106	08	不法の所為あるに於ては其の海員の業務	を 停止し又は其の免状を没収するの処分を為すべし
	を	067	08	いました．其れ故に私は聊か諸君に祝辞	を 呈し併せて私の感ずる所を諸君の前に申し述べよ
	を	250	06	育を終りまして並の人間になりましたの	を 丁年者と申しまする．丁年者は則ち良民と唱へま
	を	221	05	鶴の風により，ますます俗耳を喜ばせる	を 手柄とし専ら遊里の事態などを書いた八文字屋本
	を	152	08	則を実際に行ふものであります．また之	を 適用するに付て規則といふものを，こしらへます
	を	226	09	ましても其の目的たる行政上の法律規則	を 適用すると云ふことと一個人の権利，利益と全国
	を	244	12	権に於て罪人あるときは之に刑法上の刑	を 適用するけれども，其の刑の執行は執行権の中の
	を	246	07	不変の一大原則で有りまする．因つて刑	を 適用すると云ふことは野蛮時代はイザ知らず，今
	を	267	01	まする．さうして，これには必ず分房法	を 適用いたしまする．其の趣意は未決者はまだ罪人
	を	087	01	教は丁度これ等の貴きものに付て人の心	を 照す為めに万民の中に設けられたもので御坐りま
	を	090	07	即ち「神の御言葉はこの浮世の旅人の道	を 照す光りの如し」と云ふ明文が御坐ります．また
	を	062	17	べき用事あるに当つて午后四時頃より家	を 出るときは充分先方に達し得べきに左なくしてナ
	を	142	16	理まるめでたしめでたしと云ふ其の範囲	を 出ることは有りません．凡そ小説と云ふものはた
	を	127	17	す．この様な教師が学者たちの色々の論	を 天の黙示，或は神の示現の如くに喜んで受け容れ
	を	070	03	生国の有様は斯の如くで御坐いますが眼	を 転して我が国の裁判官代言人の有様を観ますれば
	を	159	10	洋の教へ方で東洋には向きが悪い．天地	を 天主がこしらへたことは言はれない．地が動くの
	を	037	08	とぢゃ．そこで此のネーション即ち社会	を 動植物の如き有機物に比したことは昔より有りた
	を	065	08	とです．先覚者たる者は能く事物の是非	を 淘汰し健康に害あるものは速に之を除き，益ある
	を	100	01	るより外はない．彼等は実に我々日本人	を 同等の人間と思はぬに相違なし．若し彼等にして
	を	100	02	思はぬに相違なし．若し彼等にして我々	を 同等の人間と考へたるならば其の平常，義侠に富
	を	080	15	立つて居る人の種々の善き所に加へて人	を 貴くし，また人を活発にする新しい原素をつくる
	を	085	14	の善き性質また人の得益になる原素，人	を 貴くするものを能く養ひて盛んにすること．また
	を	086	04	れ等の善き性質，人の益になる原素，人	を 貴くする所のものは如何なるもので有りますか，
	を	087	09	た人の善き性質，人の益になる原素，人	を 貴くするモノゴトは如何なるものかと基督教に問
	を	063	09	り多いなれども欧米に在ては非常に時間	を 貴び鉄道のステーションに於ても五分も待つて居
	を	177	07	の人心の向ふ所は何の国を好み何の政体	を 貴び何の風俗を喜び職業は何々に巧みで何々に拙
	を	185	16	儒道仏道の行はれた結果として昔より男	を 尊び女を卑しむ風が御坐りますがキリスト教は之
	を	039	02	挙れば盗賊を働いたり強盗などをする者	を 貴ぶ社会さへも有る．其の様な社会では強盗をす
	を	143	10	ります．或ひは論者が有つて貴様は小説	を 貴ぶが小説と云ふものは卑しむべきもので有る，
	を	143	12	いたものだと申しますが私は斯様なもの	を 貴ぶのでは有りません，斯様なものは之を擯斥す
	を	159	04	つて仏者が仏経を重んじ儒者が四書五経	を 貴ぶと同じに大切のものにして，あるものでござ
	を	186	13	を励ますこと，婦人特有の温柔謙遜の徳	を 貴ぶこと，其の他にもまたキリスト教が婦人の地
	を	019	11	れは運動が随分のろい，支那は物の優美	を 貴む国で有りますから大層此の星を珍重しました
	を	004	15	ャンをかしい．さて日本人は昔から支那	を 貴んで其の字を用ひて居るから支那をお師匠さん
	を	234	14	近世に至つてもギリシャやローマの言葉	を 貴んで其れで無ければ学問は出来ない，自分の国
	を	115	04	のに違ひは無い．其れだから人類的の欲	を 動物的の欲に勝たせなければならない．さて命が
	を	209	05	るかと云ひますに頭は説が不揃ひで明り	を 通すもので有る，明りを通すもので無いと色々説
	を	209	05	が不揃ひで明りを通すもので有る，明り	を 通すもので無いと色々説が有りましてハッキリと
	を	209	06	ッキリと申せませんが，しかし中に明り	を 通すと云ふ方が多くして尤もらしく，通さないと
	を	020	03	居ります．所で此の星は地球の軌道の外	を 通つて太陽を繞つて居ますから若し太陽の向ふの
	を	022	04	いものも有れば近いものも有り，内の方	を 通つて居るものも有り外の方を通つて居るものも
	を	022	05	，内の方を通つて居るものも有り外の方	を 通つて居るものも有る．一番遠方に居るのが海王
	を	120	09	て来まして此の節は私の居る神保町近辺	を 通つて見ても麦酒屋が沢山に出来ました．昔は私
	を	240	05	有りますから私の見たるところは私の目	を 通つて内務大臣の目の中に這入つたもので有りま
	を	255	15	な賤しむべきもので有るから華族の門前	を 通つて来たら家へ這入る前に塩をかけると云ふや
	を	026	08	此の一番近い星まで往くには非常な距離	を 通らねばなりませぬ．箇様に遠くに居ながら，あ
	を	041	05	文明を以て鳴る国でも一度は彼様な風習	を 通りて来たに違ひ無い．其の時，孔子や耶蘇が言
	を	199	10	線で有つて楕円では有りません．抛物線	を 通る彗星はドンナで有るかと云ひますと，極遠の
	を	254	17	ぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋の前	を 通ると家へ帰つて門前で塩をかけると云ふ風も有
	を	038	05	ては道徳とは如何なるものかと云ふこと	を 説かねばならぬことぢゃが道徳と云ふものは支那
	を	067	01	在ることでありませう．李国の司法制度	を 説き併せて所感を述ぶ明治十九年七月十一日専修
	を	164	13	重寄にあたり敢て延擱せず即時に以て襯	を 解く可しと．英将従容として言て，曰く惜む君の
	を	167	12	ことは出来ますまい．新しい人間の問題	を 解くにはイクラ一切経をひつくりかへして見ても

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	210	11	を調べる人はショッチュウ其れ等の迷ひ	を	解くことを書いて居りますが，日本などではドウ
	を	038	04	．次に「社会外に道徳なし」と云ふこと	を	説くに付ては道徳とは如何なるものかと云ふこと
	を	165	11	知するといふのは，むづかしいことで之	を	説くといふのも亦むづかしい．また，この題は一
	を	165	12	づかしい．また，この題は一人一己の事	を	説くものでは無くて一国人民の総体の上に関係す
	を	165	13	くて一国人民の総体の上に関係すること	を	説くのだから論ずる所も大きくなります．この人
	を	165	15	から誰にも分りませぬ．人間社会のこと	を	説くのは今研究中で之について色々の学派があつ
	を	165	16	て人間の自由や同等権利など一偏の道理	を	説く学派もあり，神は造物内にもあれば人も神の
	を	234	17	を用ひないでも自国の言葉で十分，学理	を	説くことが出来るやうになり，ギリシャローマの
	を	039	16	徳義と云ふことでありて行ひの正しい人	を	徳義の有る人と云ふ訳では無く強い人を徳義の有
	を	039	17	を徳義の有る人と云ふ訳では無く強い人	を	徳義の有る人と云ふのぢゃから何でも強くなくて
	を	100	12	同胞二十五名の人が斯くの如き非命の死	を	遂げたものであらうと考へる．若し果して，さう
	を	237	08	利害を顧みず志を堅くして右の二大難事	を	遂げて来たのは実に感服の外ありませぬ．実に今
	を	080	17	畢竟，人の総ての進歩，総ての改正改革	を	遂げる為めに用ゆべき方法は斯の如きもので御坐
	を	137	09	から日々法律や政治の改良のことには筆	を	執つて居る其の言ひ慣れたる自分の勝手なことを
	を	140	04	は左様な訳で無し．日本で馬琴が専ら筆	を	執つて居ります時分に西洋ではウ／ヲタースコッ
	を	131	14	．卒業生が学術のよくシッカリした事実	を	取つて而して之を以て其の演べる所の宗教の色々
	を	169	06	れからして自由心が，さういふ風に方向	を	取つたに違ひない．そこにまた疑ふといふものは
	を	197	13	陽は之を引き付けやうとするので其の間	を	取つて，太陽のマハリを回つて居ります．コンナ
	を	200	02	ｅｅｄなどで有ります．其の観測の結果	を	取つてＨａｌｌｅｙが調べましたれば其の道は抛
	を	204	12	十六年はトルコ人がコンスタンチノプル	を	取つて三年と云ふ時で今にもキリシタン宗門破滅
	を	216	04	つてかわいさうだと思召されかまのはな	を	取つて池に散らし其の上に，ころがして療治話し
	を	060	11	ゞ権利とか自由とか聞きかぢりの不理屈	を	唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒を呑み煙草
	を	187	09	々我を福ある者と称ふべし」と此の凱歌	を	唱へつゝ神のため国のために御尽力あるべきこと
	を	009	02	だなら遂には誰も漢字廃すべからずの論	を	唱へる人も無からう．この子供等がオトナになつ
	を	015	16	て参ります．さて地球から月までの距離	を	唱へるには里でも間に合ひかねるから物さしをズ
	を	094	01	る法律は其の土地に住するものは内外人	を	問はず支配するものにて殊に裁判は其の犯罪の地
	を	241	03	他人の為めに巡閲したることは善悪利害	を	問はず其の人の許可を得て言ふことと致さなけれ
	を	033	14	国を開化させるとか文明にしようとか国	を	富すとか強くするとか云つて何社とか何会とかを
	を	207	05	ふ人は知りませず，私は其の頃はまだ気	を	とめませんで有りましたが……また話しに枝がさ
	を	271	14	よりまするとと拘留の刑に処せられたる者	を	留め置くこともありまする．第二，監倉．これは
	を	071	05	業を期待せられ又学科上に就て教師の任	を	執らるゝ方は一層の勉励と培育とを加へられて共
	を	030	08	確に見ゆる様で有ります．其れには譬へ	を	取らないといけませぬ，こゝによい物が有ります
	を	074	13	有るとか或ひは油断をして居ると人に金	を	取らるゝとかいふことが断えず御坐んすが斯の如
	を	153	03	ふものから税を取りドウいふものから税	を	取らないといふことは行政法できめることであり
	を	168	01	行はれて居ますが若し今すぐに此の文字	を	取られて御覧なさい，日本はヤミになりませう．
	を	015	05	ありますに地球の表面に於て二個所の点	を	取りまして先づ精密に其の距離を測りまして其れ
	を	025	17	を回る軌道の半径即ち地球と太陽の距離	を	取りませう．此の物さしの両端から測量して見て
	を	044	01	も強い人種が弱い人種を打ち負かして勝	を	取りたからぢゃ．若し初めより耶蘇の教が行はれ
	を	060	17	子は必ずダイヤモンドを捨て張り子の虎	を	取りませう．又諸君が田舎に於て真赤に塗りたる
	を	153	03	有ると定めるが併しドウいふものから税	を	取りドウいふものから税を取らないといふことは
	を	164	11	ぞ意はん英将，便に乗じ衣袋の内より紙	を	取りて数字を揮灑し某弁に頤指し施措を飛行し復
	を	169	04	仲間入りをしやうとて其れには彼れの長	を	取り我が短を補はなければならない何でもやらな
	を	171	05	何十万といふ人を欧羅巴に移住して仕事	を	取り金を取るといふことは，むづかしからうと存
	を	239	06	立いたし，福島，宮城，岩手，青森に道	を	取り，其れより秋田を経て山形に参り，山形より
	を	239	07	潟より長岡，高田を経て信州長野へと道	を	取り，其れから信州上田追分等より有名なる碓氷
	を	106	10	や無罪なるやを判決するに非ずして免状	を	取り上ぐべきや否やを調べる為めである．故に刑
	を	242	14	ませぬ．監獄学を知らずして監獄のこと	を	取り扱ひまするのは政治学を知らずして天下の大
	を	274	10	言いたしませう．監獄は実に数万の囚徒	を	取り扱ふ所で前に述べましたる如く一種の人心改
	を	223	11	シミとが主になつて居つたが段々と古事	を	取り込み，また狂言作者と云ふ者も出来て続き狂
	を	107	08	に対して求刑が有るからには英国の法律	を	取り調べるのが必要であると考へます．英国の法
	を	199	09	．さて彗星の毎日の観測を以て其の軌道	を	取り出して見ますと皆な抛物線で有つて楕円では
	を	275	17	点はタッター一つでありまする．此の一つ	を	取り違へまするとと，あとは皆な狂つて参りまする
	を	085	08	来やうと存じます．既に申しましたこと	を	取り撮んで其の大意を繰りかへして言ふならば此
	を	246	14	噛んで，くゝめるやうに説諭して其の心	を	取り直させると云ふのが当り前のところ，其の所
	を	184	03	ません．キリスト教は即ち此の無理圧制	を	取り除かんとするもので御坐ります．第二には聖
	を	179	15	るゝ者は之を放ち凡て世の不釣合不平均	を	取り除き人に自由幸福を与へる者で御坐ります．
	を	181	15	ゝらなければなりません．もし其の根本	を	取り除けば其の枝に結んだ様々の悪弊は自ら消滅
	を	030	12	して星の沢山見ゆる部分は帯の形して天	を	取りまいて居る様に見ゆる筈で有ります．そこか
	を	163	15	箇様になつたのを見れば酒の為めに天下	を	執ることも出来ずにしまつた．酒の為めに物事に
	を	003	02	も出来，船を造ることも出来れば敵の首	を	取ることも出来るけれども方便の方はたゞ之を知
	を	028	03	明りの分量を比較して段々と距離の比例	を	取ると非常の遠くに居ます星が有ります．今のα
	を	074	07	政の為めに田地を買ひ貸家を建つて家賃	を	取るなどと申すことなど，これ等は皆な金を出し
	を	163	03	秀に弑されなかつたら大閤様も其の天下	を	取ることもむづかしかつたらう．信長の大業を成

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	171	05	いふ人を欧羅巴に移住して仕事を取り金	を	取るといふことは，むづかしからうと存じます．
	を	237	01	なければならぬと云ふので有つたが其れ	を	取るだけで其の外に学ぶべきことで有ると思つて
	を	110	10	外国の例に保険附きの船を沈めて保険料	を	取うといふこともある．我々は公平な考へからし
	を	192	12	れからよいと思つたことは直言しろ肺肝	を	吐露しろといふこともありましたが，これも公議
	を	150	07	住して居る者との関係を規定したるもの	を	内公法と言ひます．この内公法中で刑法，治罪法
	を	145	09	遂に社会の道徳を助ける様にもなり風俗	を	直し政治を改良する様にもならうと思ひます．其
	を	276	03	れば何卒して其の心を改良させたい，之	を	直して善良なる人民にしてやりたいと云ふので暫
	を	186	04	卑の風は免れません．而して此の不釣合	を	直すのも亦キリスト教で御坐ります．何となれば
	を	053	08	家で気の短い様な気の長い様な性質で気	を	長くしなければならぬ所は気を長くすることも有
	を	053	08	性質で気を長くしなければならぬ所は気	を	長くすることも有り気を短くしなければならぬ所
	を	053	09	所は気を短くする所も有ります．たゞ気	を	長くばかりしては，いつまでも事は出来ませぬ．
	を	115	05	ない．さて命が大切だと知つたならば命	を	長くするやうにして人類的の欲を重んじなければ
	を	055	08	仮名の本を読ませたくも本が無いから涙	を	流して漢字をやらして居ります．ドウゾ皆様のお
	を	091	14	生れ多くの艱難に遭ひ遂に己れが貴い血	を	流したので御坐ります．申すも憚り有る様なれど
	を	175	07	とも，やりとげやうと，いふので額に汗	を	流して骨も折る．家族でも子がみな死ぬと親も先
	を	256	11	ます．これは洪水，暴風雨等の為めに田	を	流し畑を荒されたる等の時に起るもので，これは
	を	218	08	慰みもので日長のときや雨夜などの徒然	を	慰むる為めで有りました．また傍ら上等社会の婦
	を	105	08	組海員に対して我々同胞二十五名の亜魂	を	慰め遺族の怨みを晴らすべき判決が有りさうなも
	を	106	13	腹に葬られたる我が同胞二十五名の亜魂	を	慰め其の遺族の怨みを晴すべき公平正当の裁判あ
	を	213	11	ふ差別が有りますがドチラが多く人の心	を	慰め面白がらせ楽しませるかと申すに小説と云ふ
	を	276	10	があつたとしますると，獄吏は其の囚徒	を	なぐつて懲すと云ふやうな大間違ひを致すことに
	を	006	15	ういふ訳で有るから私は一刻も早く漢字	を	無くなしたいと申した所が，さううまくは参りま
	を	254	03	いと云ふ考へを起しまして忽ち其の資金	を	無くなしてしまふ者が多く有りますから，これ等
	を	067	14	併しながら我々は隴を得て蜀を望むの欲	を	抛つことが出来ませぬから諸君も今日の卒業を以
	を	047	07	ねば其の時こそ始めて道徳の行はれぬの	を	歎くがよい．今各国の間に道徳が行はれぬのを歎
	を	047	08	がよい．今各国の間に道徳が行はれぬの	を	歎くのは順序を失して居る．其れよりは一つに寄
	を	005	08	リカへ留学したものでトルピドへ破裂丸	を	投げつけたは誰なるぞ．字は書ける奴だか書けぬ
	を	046	14	ことぢゃ．其れ故ドウしても一つの社会	を	為さぬ者同士の間に道徳の行はれると云ふことは
	を	047	01	理の立たぬ様なことをするのは互に社会	を	為さぬ者同士の間では当然のことであらうと思は
	を	049	01	の為めに出来たものぢゃ．其れ故，社会	を	為さぬ者同士の間に其れが行はれぬのは当然のこ
	を	110	15	認めたるものであれば幾分か公平の裁判	を	為さざるかの疑ひ無きを得ませぬ．故に寧ろ其の
	を	148	07	ックの法に遵つて居つても行政上の便益	を	為さぬときは調べ直しをしなければなりませぬ．
	を	195	10	な彗星が出ました」と言つて互に御挨拶	を	なさつたことと存じます．これが只今から三年前
	を	231	07	ひますと，天皇陛下が内閣に居られて政	を	為さると其の下に大臣会議と云ふものが有り其の
	を	193	09	また人民の権理を保護するとかいふ保証	を	なされたことがあるです．我々は古代の事に暗い
	を	168	16	ぎとめ色々とモノゴトに修繕を加へ改良	を	なして段々かういふ世の中にしましたが開化の勢
	を	171	02	になつて居ますから欧羅巴に行つて衣食	を	なして富を求めやうといふことはドウもむづかし
	を	176	11	が第一でありますから先づ海外に出稼ぎ	を	なし移住をなす人があれば男は男と記し女は女と
	を	029	10	らして我々の眼に見ゆる星は何かの部分	を	為して居るといふことが粗分る様で有ります．諸
	を	045	04	が，さうして見れば貴族一般が人民の害	を	為してあるに違ひ無い，法律の上で一般人民を害
	を	045	11	権を得たものは権を得ぬものに向ふて害	を	為して居るに違ひ無い．女に参政の権を与へぬの
	を	046	12	「社会外に道徳なし」と云ふことは社会	を	為して居らぬ者同士の間に道徳は無い．英国とか
	を	046	17	第のことをしたり忌憚なく不条理のこと	を	為したり其れのみならず同じ開けた西洋の各国同
	を	047	02	は当然のことであらうと思はれる．社会	を	為して居らぬからには自分の利益を謀るだけであ
	を	098	15	るや否や政府は命を下して殺人罪の告訴	を	為し人民は競ふて義捐金を募り遭難者の遺族に贈
	を	106	07	思料する場合に於ては一応其の事の審問	を	為し若し果して海員たるの任に堪へざるか若しく
	を	108	12	つたといふことである．併しかゝること	を	為したかドウかは我々が粗々判定することが出来
	を	148	15	れが調ばつて居ないといふと折角だが用	を	為しませぬ．五万でイヤなら勝手にしろと言ふな
	を	162	03	の酒誥といふものが酒のことに付て文章	を	為した元祖だ．其の酒誥は至極面白い文章では有
	を	171	06	に行くだらうか．学術を研究したり移住	を	為したりするはドコがよからうといふに北亜米利
	を	176	01	なり運動も自在なのによつて今日の英国	を	為した訳であらうと思はれます．我が国人も近来
	を	193	16	如くなければならぬのは人間が寄つて国	を	為して居るといへば例へば家を建てて住ふといふ
	を	231	12	す．府県になりますと知事が一人で施政	を	為し議政の方は府県会また常置委員会が有ります
	を	250	13	めさせたいが，学校では他の善い者の害	を	為し且つ学校の講釈ぐらゐでは，おつつかないか
	を	251	06	改良は覚束ないだらうと云ふやうな悪事	を	為しました者は已むを得ず終身の刑に処しまする
	を	034	16	見ましても酒を飲まない人は古へより功	を	成し国家の為めになつた人が有りますが酒を飲ん
	を	162	11	て天倫の楽みを全くすべし若し故なく群	を	成し相聚り酒を飲む者あれば其れを縦すことなく
	を	176	11	りますから先づ海外に出稼ぎをなし移住	を	なす人があれば男は男と記し女は女と記し，姓名
	を	048	08	段々と相結合して先づ一の社会様のもの	を	為すことになり一つの法律を用ふる様になるであ
	を	076	07	と看做しますときは経済学も消極的の用	を	為すもので御坐んして殊に之を講究するといふこ
	を	077	06	一に必要なもので又今の様に相須つて用	を	為すものであれば同一の業を為すものだとまで申
	を	077	07	相須つて用を為すものであれば同一の業	を	為すものだとまで申しても宜しう御坐んす．故に
	を	091	07	体，人の進歩を妨げて最も大いなる邪魔	を	為すものは何で御坐りませうか．人間を衰へさせ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	091	11	所謂罪悪で御坐ります．世の進歩の妨げ	を	為すものはこの罪悪で御坐ります．万国万民の救
	を	095	01	の原理より言ひますれば身を殺しても仁	を	為すといふことがありまして尋常一般の人でも他
	を	105	11	於て開かれたる法廷を以て船長等の再審	を	為すものである」と報道するものもあります．然
	を	106	08	を停止し又は其の免状を没収するの処分	を	為すべし」といふことがあるが英国領事が言ひ渡
	を	108	03	め謀つて人を殺す場合のみでなくて悪事	を	為すの結果，人を殺すに至つたものも亦マーダー
	を	120	06	して貴き人間を腐敗させる刺戟剤の働き	を	為すものだ」と言ひました．此の移住と云ふこと
	を	134	04	れまするに「爾等，世に在りて善き行ひ	を	為すべし，これ爾等を誹りて悪を行ふものと言へ
	を	149	11	らなければいけませぬ．全く相須つて用	を	為すものに違ひありませぬ．併しスタチスチック
	を	170	13	りますまい．朝鮮や満州や支那には移住	を	為すものが多くありますまい．日本人は新しいこ
	を	176	14	ゝば記し死ねば除き，また帰国して職業	を	為す人があれば之を記し彼れに除きて此に入れる
	を	188	09	う御坐います．凡そ人間が集まつて社会	を	為すときには此の社会に関する事をきめる権力が
	を	190	03	は行政府である．これも法律規則の執行	を	為すので，行政府と政府の区別を一と口に云ふと
	を	237	17	変な学者になり，また大いなるイサヲシ	を	為すことが出来ませう．ただ今日のヤサシイこと
	を	248	12	下し，果して罪ある者には刑の言ひ渡し	を	為すだけに止まりまして，さて其の刑を執行する
	を	263	05	犯数，等の区別によつて其の雑居の分ち	を	為す位なもので有りまする．此の方法は最も不完
	を	267	17	するから此の方法を参考して実際の事業	を	為すときには必ず大いなる効能が有らうと存じま
	を	157	11	．実に度胸の大きな奴さネ．これは学問	を	なすつた方は御存じのことだが其の時は堤のきれ
	を	144	08	見受けませぬ．今，申す通り古人の糟粕	を	嘗めずに一機軸を出したと言ふものは私の眼力が
	を	093	01	御坐りませう．ノルマントン号船長の罪	を	鳴らさんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし
	を	093	06	説諸君．私は「ノルマントン号船長の罪	を	鳴らさんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし
	を	099	01	み又外国人の不道徳なるを怒つて其の罪	を	鳴らしたからとても其れで我々が満足するといふ
	を	204	15	まして，ローマ法皇は「毎日正午には鍾	を	鳴らせ，彗星とトルコ人を調伏すべし」と触れを
	を	003	15	病の原因を見出すこともお留守にして字	を	習はなければならない様になつて居て字を知るこ
	を	003	15	電信機の改正もせずに机の前に坐つて字	を	習ひ，コレラ病の原因を見出すこともお留守にし
	を	003	13	．それで今我が国の有様で居ますと文字	を	習ふヒマの為めに稲を植るヒマも水車改正の時も
	を	007	09	鹿にする．其れだから役所から帰ると字	を	習ふ．習ふと益々上手になる．其れだから漢字を
	を	007	11	に名筆のお方があるので少輔も大輔も字	を	習ふ様になる．すると書記官も仕方が無いから習
	を	236	01	たのだが其のオランダ通事も初めは蘭字	を	習ふことは禁ぜられて蘭語を仮名で書いたことだ
	を	155	09	といふのだから，ざつとマア学問の献立	を	ならべなければ学者らしく見えない．先づ学問と
	を	024	09	同じ向に彼の四つの衛星が時としては玉	を	並べた様に四つとも一直線に見えます．其の次ぎ
	を	125	05	ゞ一つの著るしいものを択んで而して之	を	成るたけ委しく説くことは私が今いたしたいと思
	を	047	13	も何にも構はぬ．又耶蘇教師までも其れ	を	何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき
	を	174	13	でも其の通りになりますが経済学者は之	を	何と見たか聞きたいものと存じます．さて今，申
	を	183	02	思議に思ふのは世間で妾や権妻といふ者	を	何とも思はぬことで御坐ります．男子は妾を蓄る
	を	183	03	ことで御坐ります．男子は妾を蓄ること	を	何とも思はず婦人もまた人の妾となることを何と
	を	183	03	とも思はず婦人もまた人の妾となること	を	何とも思はず甚しきは妾を置き妾となることを却
	を	199	05	しう御坐ります．さて，このやうな考へ	を	Ｎｅｗｔｏｎが起しまして実際しかしながら彗星
	を	157	01	羅馬法皇と言つて，やかましい人が教法	を	握つて居るんだが，日本では此の間まで宮様が教
	を	243	09	め．天皇陛下が此の二大政権事務の上部	を	握られて天下の事を御親裁あらせらるゝもので御
	を	246	06	悪いので有るから其の罪を悪んで其の人	を	悪まずと云ふことを言はれました．是れ実に万世
	を	111	02	輩はたゞ船長の卑怯にして義気に乏しき	を	悪み我が同胞及び印度人の不幸なる厄難に際会し
	を	246	06	則ち其の所行が悪いので有るから其の罪	を	悪んで其の人を悪まずと云ふことを言はれました
	を	264	03	申しまするは例へば百人の囚人あれば之	を	二十人づゝに分ち，五つの家族の如きものをこし
	を	034	14	ぬが私は酒を飲んでは身体を弱らし智慧	を	鈍くし財を費すことになつて種々様々に人に弊害
	を	202	11	ロッパ中で待つて居つたです．この有様	を	日本の作者に言はせましたら「各々カタヅをのん
	を	132	07	々の働きは水の外面に文字を書き或は刀	を	抜いて空気を切るが如くに一向アトにシルシの残
	を	163	09	酒を飲むがイヤなら之を飲めと言つて刀	を	抜いて其の口にあてがつた．光秀は仕方が無いか
	を	129	16	りませぬか．勿論，学術に於ては鬼の角	を	ぬきとるの効力が御坐りませぬけれども鬼の角を
	を	121	16	を働いたのだこれは貧乏の為めに人の物	を	盗んだのだと云ふことを調べて居ります．実に結
	を	142	03	は大切なものなれども，たゞ柱を削り塀	を	塗るは普通の職人にも出来る．小説家は其の仕組
	を	069	07	なり千八百八十五年には八百十八人試験	を	願つた者が御坐いました．随つて見習生即ちＲｅ
	を	054	17	い．其れ故矢張り仮名で書いた修身の本	を	願ひたいと思ひます．さて書物はヤミクモに作る
	を	058	06	不敬に存じますから此の段は何卒御海容	を	願ひます．さて，これから半開化衛生上の害を述
	を	069	06	に増して千八百七十八年には登用大試験	を	願ひたる者四百七十人に過ぎませぬでしたが千八
	を	097	09	る証拠を蒐集することに尽力されむこと	を	願ひます．私の演説は此に止めませう．尚ほ委し
	を	119	09	ら諸君にも御賛成で有るなら何分お骨折	を	願ひたい．其れは外では無い矢張り酒の事で今も
	を	036	12	のお骨折りを以て大悠の社会になること	を	希ひます．賛成いたした趣意をちょつとお話し申
	を	001	06	たに付き懇親会を催して参議方の御臨席	を	願ふに付ては其の方にも席上の演説をせよとのこ
	を	138	06	ーのフ／ヒロソフ／ヒーを貸して呉れ之	を	寐しなに一ページ読みたまへと申されました．私
	を	236	05	も出来ない位で有つたが，さう云ふこと	を	熱心な人が刻苦して勉励したなれども其のイサヲ
	を	111	08	て将来再たび斯の如き事のなからむこと	を	熱望いたします．人類的の欲をして動物的の欲を
	を	002	17	とか繰物を繰るとか大砲を拵へるとか薬	を	煉るとか其の外物理上化学上の智識をこちらへ得
	を	250	10	まする．此の悪い道に飛び込みまする者	を	年齢を以て二つに区分いたして申し上げませう．

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	234	07	先生になれば其の人が自分の学び得た所	を 脳髄から練り出して来て其れを講義として教ふる
	を	234	10	校は右様なる先生が嘗て学び得たる学理	を 脳髄から練り出して日本語を以て教ふる学校の元
	を	173	06	うといふ気風があります．国内でも強盗	を のけては，きつたり，はつたりするものは先づ無
	を	174	02	十八年まで毎年の生れた数から死んだ数	を 除いたものと就籍等の増人数を四箇年に平均する
	を	174	08	数三千八百十五万一千二百十七人の端数	を 除いて仮りに三千八百万人として一箇年一人前の
	を	264	06	申しまして，此の部に於ては幼年犯罪者	を 除いて其の他の総ての犯罪人を懲必＊し感化する
	を	120	15	したのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害	を 除かんとの骨折苦心から出た話しで有りますが日
	を	043	15	りたが人間の智慧が出来て害になる禽獣	を 除き用に立つものを使ふて其れで開ける様になり
	を	065	08	是非を淘汰し健康に害あるものは速に之	を 除き，益あるものは力めて之を奨励し以て我が国
	を	077	09	得たる所を以て社会の為めに利を興し害	を 除きまることが恰も電気の積極消極の様なもの
	を	077	12	科を以て同一に社会の為めに利を興し害	を 除き蒼生の幸福を進められむことを切に希望いた
	を	085	12	なる原素，また人の位を下げる所のもの	を 除き去りまた滅ずること，また一つは何れの人に
	を	074	03	所のもので其の一のものは之に反して害	を 除くといふもので御坐んする．なるほど利を興す
	を	074	04	坐んする．なるほど利を興すの必要と害	を 除くの必要と，必要は同じことではあるが利を興
	を	074	05	必要は同じことではあるが利を興すと害	を 除くと其の事柄に至つては同じものではない．利
	を	074	10	といふことになります．又之に反して害	を 除く方で御坐んすが，これは世の中に快楽幸福が
	を	074	14	ふことが断えず御坐んすが斯の如きこと	を 除くといふことは必要なことで御坐んす．其れを
	を	075	06	其れ等のことが消極的のものであつて害	を 除く方に付て居る様のもので御坐んす．而じて其
	を	075	15	のガハに使用するのは積極的のもので害	を 除く方は消極的のものであるとして見るときは法
	を	076	14	考へて見ますに利を興すといふことと害	を 除くといふことは口で言ひ文字で書く様に判然と
	を	077	01	するに至つては実に錯雑を致します．害	を 除くのが利を興すのであり利を興すのが害を除く
	を	077	02	くのが利を興すのであり利を興すのが害	を 除くのである様のことが社会の事柄の多分を占め
	を	077	03	ることで御坐んす．さう致すと法律は害	を 除くものであるとか経済は利を興すものであると
	を	150	10	くいです．この公法の中で刑法，治罪法	を 除けば憲法といふのが一つであります．憲法は其
	を	067	15	に従事せられ赫々の光華を得られむこと	を 望みます．而して私は法律科卒業の諸君に特に望
	を	071	03	用せられ明裁判官明代言人とならむこと	を 望み未だ卒業に至らざる諸君は益々刻苦勉励せら
	を	071	06	となるべき機関を製造陶冶せられむこと	を 望みまする．又我が国に於て新聞記者が「最早法
	を	238	04	想像されて其の志を以て勉強されること	を 望みます．尤も今お話ししたことでは事実などは
	を	055	10	の世界にしてしまひ，秦の始皇の大決断	を 望む準備が出来る様で無ければなりませぬと思ひ
	を	067	14	いませぬ．併しながら我々は隴を得て蜀	を 望むの欲を抛つことが出来ませぬから諸君も今日
	を	069	05	はらず孛漏生には司法官及び代言人たる	を 望む者年々に増して千八百七十八年には登用大試
	を	030	14	違ひない．其れですから，さつきの問題	を のばして「地球は何の中であるか」と言つたら「
	を	067	01	せう．孛国の司法制度を説き併せて所感	を 述ぶ明治十九年七月十一日専修学校卒業証書授与
	を	124	09	は今漸く世に出まして善く励んで基督教	を のべ伝へるうちに必ず二た通りのことを経験いた
	を	135	09	せう．即ち「万国を周りて万民に此の教	を のべ伝へよ」といふことで御坐ります．また若し
	を	085	05	演題を証拠だてるには種々の新しい事柄	を 演べ出すに及ぶまいと存じます．なぜなれば此の
	を	051	07	支那文字の不便なこと仮名の便利なこと	を 述べられましたから今日私はそこは申しませぬ．
	を	055	11	なりませぬと思ひます．この自分の持論	を 述べて諸君に伺ひますので御坐ります．半開化は
	を	058	07	ます．さて，これから半開化衛生上の害	を 述べやうと思ひますが凡て世の開化と云ふことは
	を	080	04	と存じまするゆゑ先づ其の重もなるもの	を 述べ而して後に本論に取りかゝりませう．第一．
	を	093	07	尽力すべし」といふ題に付て簡短に意見	を 述べやうと思ひます．一たび英船ノルマントン号
	を	094	09	は英吉利法によらずして法理に付て考へ	を 述べやうと思ひます．諸君．我輩は日本人で御坐
	を	175	15	かなければなりませぬからチョイと凡例	を 述べましたまでのこと．また英国人は「人は地球
	を	177	13	せう．右は一席の演説にて一大事の方法	を 述べたれば学理上には不都合なることも多かるべ
	を	179	07	教と婦人の地位との関係に就て聊か考へ	を 述べやうと存じます．さて紀元前およそ七百年頃
	を	210	02	日は否となるかも知れません．これも説	を 述べられぬ一つの理由で有ります．其れからモウ
	を	222	09	はこれまでとして，これから演劇のこと	を 述べませう．演劇は舞と，能の狂言とが転変して
	を	225	07	関はりませぬで，たゞ古るめかしいこと	を 述べて諸君のお耳を煩はしました．行政法大意第
	を	233	06	卒業の年で有りましたか私が参つて祝辞	を 述べましたが其の後ち段々盛んになつて先刻幹事
	を	243	02	りまするから第一に監獄の行政上の位置	を 述べませう．さて監獄は行政上に於て如何なる部
	を	243	03	云ふことを述べるには先づ行政権のこと	を 述べなければなりませぬ．凡そ一国には二大政権
	を	249	12	まする．これよりは監獄と教育との関係	を 述べませう．此のことに付ては次に図を示して申
	を	268	03	ます．さて，これより欧洲の監獄の種類	を 述べませう．これには二つの区別が有りまして一
	を	278	02	日の監獄に関する実例監獄の改良のこと	を 述べました．これで監獄全体に係る事柄は了解せ
	を	278	08	した通り本論は専ら監獄全体に係る事柄	を 述べたので有りまするから細密なる点にまでは及
	を	179	10	預言者の語を引て「我は貧しき者に福音	を 宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ者を放た
	を	057	07	つて祝し且会頭及び幹事諸君に厚くお礼	を 陳べなければならぬことが御坐います．総て我々
	を	057	16	ことを賀する訳で御坐います．次で本題	を 陳べやうと思ひますが其の演説の前にモウ一つ諸
	を	058	04	」と申しました位で仮令むつかしいこと	を 陳べても脳髄に這入らぬときは何にもなりませぬ
	を	213	07	小説なり演劇なりに付て故事来歴の大略	を 演るまでで決して当今流行の改良をはかるなどと
	を	209	16	学者でも無いものがヤジムマに彗星の説	を 述べるやうになりますから．実に天文学はまだこ
	を	221	15	馬，一九などは今日の言葉を用ゐて滑稽	を 述るのに妙を得，為永春水なども日用の言葉を以
	を	238	09	なさるやうに致したいと思ひまして祝辞	を 述る序でに一言其れだけのことを御忠告いたしま

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	243	02	於て如何なる部分に属するかと云ふこと	を 述べるには先づ行政権のことを述べなければなり
	を	034	12	飲む人は無欲の人であつて多慾の人は酒	を 飲まぬものだらうと思ひます．諸君はドウ思し召
	を	034	16	を用ひませぬ．歴史などを見ましても酒	を 飲まない人は古へより功を成し国家の為めになつ
	を	115	11	いといふことで有ります．他の動物は酒	を 飲まないが人類は酒を飲む．然るに人類が其の品
	を	116	05	会といふ申し合せが有ると，なるたけ酒	を 飲まないやうになり，多く飲む者も少なく飲むや
	を	163	06	るとき七合入の盃を出して柴田勝家に酒	を 飲ませ其れから明智光秀にも飲めと言つたが光秀
	を	135	02	も知れませぬ．若し私ども専らに基督教	を のみ研究し且弁論するならば我れ等の区域，我れ
	を	122	07	して「例へば私が酒飲みだと私の子が酒	を 飲み孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて行きます．
	を	060	12	を唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒	を 呑み煙草を喫し無益の美服を飾り放蕩を極め身を
	を	203	05	来るだらうと言ひました．今度はカタヅ	を のむと云ふ程では有りませんが計算の結果は，ど
	を	033	13	賀でも酒，喪礼でも酒といふ様に総て酒	を 飲むことが慣習になつて居ます．其の外，近来国
	を	034	11	ふ所から私共も説を立てて見て世間で酒	を 飲む人はどんな人が多いかと歴史などから考へて
	を	034	12	多いかと歴史などから考へて見ますと酒	を 飲む人は無欲の人であつて多慾の人は酒を飲まぬ
	を	035	02	の深い人だと思はれます．小欲の人は酒	を 飲むことを好んで前に述べた様なことは致しませ
	を	035	07	事実に合ふことで有りませう．それで酒	を 飲む者は無欲だといふことがよく分りませう．己
	を	115	11	す．他の動物は酒を飲まないが人類は酒	を 飲む．然るに人類が其の品行の悪くなるを惜むと
	を	115	13	けれども品行をよくしたいと思つても酒	を 飲むと，やゝもすれば酒の為めに品行を破る．酒
	を	120	04	経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ人は「酒	を 飲むことが世界に流行する所を見れば各の住民は
	を	120	12	ク，ジョルナルなどを見ますと麦酒など	を 飲む為めに費す所の金高は大層なことで有るから
	を	121	06	げることも出来る様になりませう．「酒	を 飲む為めに人間の品位が余程下つた」と西哲は言
	を	121	07	つて人間の品位が段々と上るべきのが酒	を 飲む為めに却つて段々と下つて来る様では実にあ
	を	122	07	くつて罪を犯す者が多い．而して其の酒	を 飲むことが子孫に遺伝して「例へば私が酒飲みだ
	を	122	08	が酒飲みだと私の子が酒を飲み孫が亦酒	を 飲むと云ふ様になつて行きます．また独逸でコレ
	を	161	08	剖いて見たりしたが，これ等は畢竟，酒	を 飲むといふことから導かれたものと見ゆる．酒と
	を	162	11	全くすべし若し故なく群を成し相聚り酒	を 飲む者あれば其れを縦すことなく尽く執へて以て
	を	163	09	し伏せて其の項に騎りかゝりサー飲め酒	を 飲むがイヤなら之を飲めと言つて刀を抜いて其の
	を	164	01	く飲む者があれば卑賤から取り立てゝ酒	を 飲む相手にしたといふことだが，酒の為めに身を
	を	172	01	なからうものなら日本人もヨッポド阿片	を 飲むことになつて居ませう）外国の酒類の輸入を
	を	163	09	りかゝりサー飲め酒を飲むがイヤなら之	を 飲めと言つて刀を抜いて其の口にあてがつた．光
	を	095	04	乗組人を救はなければなりませぬ．然る	を ノルマントン号の船長は我が同胞を助けなかつた
	を	202	11	本の作者に言はせましたら「各々カタヅ	を のんで待つて居つた」と．でも言ひませう．とこ
	を	034	09	ので有ります．然る他にかのナルコチカ	を 飲んで食物と同様に思ふのは実に条理が分らぬこ
	を	034	13	君はドウ思し召すか知れませぬが私は酒	を 飲んでは身体を弱らし智慧を鈍くし財を費すこと
	を	034	16	し国家の為めになつた人が有りますが酒	を 飲んで大事業を仕遂げたといふ人は無い．大事業
	を	035	17	うとか大事業を仕遂げようとかいふに酒	を 飲んではそんなことは出来ますまい．そこでヒロ
	を	122	06	層な調べになつて居ますが多く虚弱で酒	を 飲んで行ひが悪くつて罪を犯す者が多い．而して
	を	161	16	ないものは無いくらゐだ．夏の桀王も酒	を 飲んだに違ひ無からうが酒池肉林で国を亡ぼした
	を	162	07	文王また群臣の小子に教へて曰く常に酒	を 飲んで以て其の官職を怠ること勿れまた民の小子
	を	162	14	無いものと私は思ふ．この酒誥の中に酒	を 飲んだ者を死刑に処するといふことの有るのはチ
	を	255	07	徳上の範囲に属する所業，即ち何某が酒	を 飲んだとか，或ひは躍つたとか何某に対して失敬
	を	216	03	たちをだました」と云つて怒つて兎の皮	を 剝いで行きました．所へ大己貴の神が通りかゝつ
	を	002	11	，仮名遣ひを改めようがドウせうが漢字	を 廃さうといふものなら左袒するといふ主義で仮名
	を	002	12	で仮名のみならず羅馬字でも宜しい漢字	を 廃さうといふものなら何でも左袒する．そこでナ
	を	009	04	便利になりはせまいかと思はれる．漢字	を 廃さうとならば先づかういふ方法．併し廃さうで
	を	051	14	ら一旦に仮名のみを用ひてモロコシ文字	を 廃してしまつたらドウだといふに其れは順序の悪
	を	064	14	化の害でありませう．所で，この人力車	を 廃して馬車なり何なり拵へて御覧なされ人力車を
	を	064	15	として居る二十余万の人は犬馬の如き業	を 廃し国益となるべき立派な他の業を営むことも出
	を	064	17	ことも大いに減じませう．されば人力車	を 廃して馬車に代るは頗る緊要なことで日本もモウ
	を	082	16	ましたが其の人民が真の神を知らず偶像	を 拝し本当な道徳を知らず一体道に疎いものであつ
	を	005	05	お世話になつたがこれからはお前も漢字	を 廃するがよい，廃さなければクルベーだぞと忠告
	を	007	09	習ふと益々上手になる．其れだから漢字	を 廃するのが益々イヤになる．其れでよいことで有
	を	008	12	漢字はなかなか廃されませぬ．さて漢字	を 廃するなら方法は如何といふに今俄に廃さうとい
	を	202	06	Ｌｅｐａｕｌｔ夫人と三箇月の間，寝食	を 廃する位にして勘定をしました．其れも充分の計
	を	129	15	はけしからぬものにして人の額に鬼の角	を 生えさせるもので御坐ります．実にをかしいこと
	を	139	03	を利用することを誤りますと随分，道徳	を 破壊してしまふことも風俗を素乱することも出来
	を	013	04	囲を知ることが出来ませう．地球の周囲	を 測つて見ますと長い所が僅か一万二百五里ほかな
	を	104	06	西洋人と交際し西洋人をして日本の国情	を 譲らしむるの地位にある者は無論，上流社会なれ
	を	142	10	ません．これに付て，モ一つ小説の改良	を 計らねばなりませんが源氏物語や枕の草子の出来
	を	247	10	獄に於ては二つの方法を以て人心の改良	を 図りまするもので有ります．其の第一は懲戒法と
	を	251	15	でイクラかの間これが心を矯め直すこと	を 図ります．此の者を不論罪懲治者と申します．ま
	を	015	03	りまして，あとは器械で角度と云ふもの	を 測り三角と云ふものを作りまして三角から三角に
	を	015	06	所の点を取りまして先づ精密に其の距離	を 測りまして其れから先きは地球の上で或る距離を
	を	015	07	測る時の通りに例の角度で月までの距離	を 測り出します．随分此の測量はむつかしいが天文

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（を）	を	015	11	しを替ると云ふのは例へば糸などの長さ	を 測りまして此の糸は八寸だと言へば，どの位の長
	を	025	14	れば論にならない．星の距離は月の距離	を 測りますのから見ますと余ほどむつかしくなりま
	を	101	13	を見まするに何れの国にても一事の改革	を はかるときには必ず二三の反対のあるものである
	を	213	08	大略を演るまでで決して当今流行の改良	を はかるなどと云ふ面白い話しでは有りませぬ．マ
	を	237	05	で有つたから昔の学者は決して自分の利	を 図る為めに西洋学を学ぶので無くて西洋のことを
	を	246	09	矯め直すと云ふ趣意で，即ち人心の改良	を 図ると云ふもので有りまする．故に刑と云ふ字は
	を	270	14	．然れば犯罪人を減少するは教育の普及	を 図ることが第一の仕事でありまする．俗に智識が
	を	014	14	い小さいの論は立ちませぬから先づ距離	を 測るのが第一番のことで有ります．そこで月まで
	を	015	06	して其れから先きは地球の上で或る距離	を 測る時の通りに例の角度で月までの距離を測り出
	を	164	10	るかと．時に客，已に酔郷に入り遂に実	を 吐き相告げ並に詢ふに前進の程途を以てす．なん
	を	215	08	ので御坐います．さて閑話休題と云ふ字	を 馬琴などが使つて「アダシゴトは，さておき」と
	を	019	04	這入ると云ふ夢を見たので生れた子の名	を 白とつけ字は太白と言つて酒飲みの詩人で世に知
	を	276	04	やりたいと云ふので暫くの間，其の自由	を 剝ぐと云ふことにきめたので有りまする．故に維
	を	276	11	如き囚徒が有りましたときには其の自由	を 剝ぐことが今，一層長くなるだけの罰に止めて然
	を	089	13	坐りませぬ．第三．また人の種々の進歩	を 励ます為めには人の目の前にある貴い目的，高尚
	を	186	13	こと，また婦人が社会のために働くこと	を 励ますこと，婦人特有の温柔謙遜の徳を貴ぶこと
	を	004	09	やられてしまふ．フランスはまだイクサ	を 始めたといはぬを分らぬことと思ふ者もあれど実
	を	168	11	たの騒ぎたゝないのでは無い大変な狼狽	を 始めて日本を焦土としても戦ふとか何とかイヤモ
	を	216	05	治話しで御坐います．大己貴の神は医薬	を 始めた神だから療治をしたかも知れませぬが，こ
	を	223	04	国と云ふ女が上京して歌舞伎と云ふこと	を 始めました．これは念仏踊だのヤゝ子踊だのと云
	を	224	11	ることで有りますが此の頃，貴顕の方々	を 始めとして有志の人々が演劇改良会と云ふものを
	を	237	03	思はれることで有つた．私などが西洋学	を 始めたのは今から三十年ばかり前で丁度御一新か
	を	170	11	．さて日本人が一たび海外に移住の運動	を 始めるやうになつたらドコを好んで行きませうか
	を	176	03	すから追々勇み進んで移住出稼ぎの運動	を 始めるやうになりませう．これはチョイと考へる
	を	254	07	これもドウも仕方が無いから，また盗賊	を 始めると云ふ次第でありまするから，監獄を出ま
	を	164	07	数年前，法君那波倫第三，提督をして船	を 駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼時不毛の地たり
	を	222	08	アソビモノに過ぎなくて士君子は見るの	を 恥るやうな様子が有りました．小説の来歴はこれ
	を	102	02	ら苟くも利があると見たなれば必ずそれ	を 外さない．糞汁も厭はない芋のシッポも嫌はない
	を	230	08	は全国，府県，町村であつて郡は此の中	を 外れて居ります．フランスの例でも外れて居りま
	を	250	09	るけれども，また時としては此の本街道	を 外れて他の悪い道に飛び込むことが有りまする．
	を	278	06	ではありまするが現在のことは学術の部	を 外れて行政の実際に関係いたしまするから此の講
	を	177	17	之を発明すと呼びつゝシュラキセの市中	を ハダカにて，かけまはりしも見る人はをかしかり
	を	039	02	した野蛮の有様に付て一例を挙れば盗賊	を 働いたり強盗などをする者を貴ぶ社会さへも有る
	を	040	16	き者は却りて擯斥される風習になり盗賊	を 働いたり子供を殺したり夫婦の配偶をせなんだり
	を	121	15	盗みをしたのだ，これは婦人の為めに賊	を 働いたのだこれは貧乏の為めに人の物を盗んだの
	を	251	12	歳以下でも二十歳以上の者と同様の悪事	を 働いた者は其の心に弁別が有つた者と，また知ら
	を	251	16	者と申します．また弁別心が有つて悪事	を 働いた者は已むを得ず之を罰します．此の者を幼
	を	256	16	打ち捨て置くときには窮するの余り悪事	を 働くと云ふので犯罪人を生ずることになりまする
	を	176	15	ることは一切載せて其の地，其の人に網	を 張つたやうに一つも漏らさぬやうに，しなければ
	を	084	10	りました．これ則ちコロンボスが新世界	を 発見した時に当ります．また或る時は機械と製造
	を	064	02	心臓病を起し肺病に罹り其の他種々の病	を 発してワカジニするもの頗る多くありますが曾て
	を	251	17	が有つて悪事を働いた者は已むを得ず之	を 罰します．此の者を幼年囚と申します．此の二つ
	を	064	06	を引き疾駆するものに於ては一層の劇症	を 発す可きは当然のことでありませう．現に人力車
	を	064	04	婦人に在てはヒステリ症（俗に血の道）	を 発することを論じましたが乗車する人ですら斯の
	を	064	05	したが乗車する人ですら斯の如く心臓病	を 発するでありませう．況んや之を引き疾駆するも
	を	064	07	が是れ必竟努力疾行するに由つて心臓病	を 発するが為めです．然るに如何なる者が之を営業
	を	245	17	まると昔は悪い事をした者が有れば之	を 罰するに刑を以てする其の意味はカタキウチ即ち
	を	246	08	は野蛮時代はイザ知らず，今日では所行	を 罰すると云ふことで，即ち其の人の心を矯め直す
	を	275	09	九日の太政官達第八十一号を以て監獄則	を 発表せられましてから非常の改良を加へました．
	を	166	04	分りませぬが併し畢竟，人間生活の真理	を 発明しやうといふ為めに骨折り最中で其の事実と
	を	177	17	が入浴の内より俄かに飛びだして我れ之	を 発明すと呼びつゝシュラキセの市中をハダカにて
	を	197	16	そこでNewtonは惑星の運動のこと	を 発明したのみで満足をしないで，総ての学者の苦
	を	104	07	論，上流社会なれば，この社会のみ英語	を 話し英文を草し英語を以て著述し英語を以て演説
	を	234	09	門学校と云ふものは出来ないと云ふこと	を 話したことが有りましたが，則ち此の専修学校は
	を	179	11	べ伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ者	を 放たんために世に遣されたり」と仰せられました
	を	179	14	直くし喰しきは易くし圧制らるゝ者は之	を 放ち凡て世の不釣合不平均を取り除き人に自由幸
	を	201	13	も有るので有ります．彗星が太陽のソバ	を 離れて来ると一体，主人と云ふは太陽ばかりの筈
	を	202	03	りますが，この人が出まして彗星が太陽	を 離れて方々を回つて居るうちに木星からどの位後
	を	214	02	るもので士分の者などは表向き見ること	を 憚つたもので有りました．また従前小説家と云ふ
	を	051	12	名の文字を使ひ，成るたけモロコシ文字	を 省いて書くといふ様に日又一日に仮名文字の用ひ
	を	247	09	ふことは無い，寧ろ余計に苦しめて彼奴	を 早く殺してしまふ方が刑の趣意に適ふだらう」な
	を	105	08	々同胞二十五名の霊魂を慰め遺族の怨み	を 晴らすべき判決が有りさうなものだのに不当にも
	を	106	13	胞二十五名の霊魂を慰め其の遺族の怨み	を 晴すべき公平正当の裁判あらむことを翼望する場

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	075	03	ばならず又凡夫であれば僧侶に頼んで罪	を	攘ひ除けるとかいふことをしなければならない．
	を	074	15	らぬ．而じて其の労力に向つて報酬の金	を	払ふ其の労力を供給してくれる人は其れを供給し
	を	161	11	慢といつて他人の言ふことを聴かずに我	を	張るといふことが起る．下等社会などでは楽みに
	を	201	03	年の初めとばかりで何月何日と云ふこと	を	Ｈａｌｌｅｙが言ひませんだつたのは，これも諸
	を	053	04	分らない．「しゅっぱん」と言つても本	を	版にすることだか船の出るのだか分らない．其れ
	を	223	12	なつては三番続き五番続きの狂言の趣き	を	版にしたのを今も好事家は持つて居ます．これは
	を	105	09	だのに不当にも神戸在留の英国領事は之	を	判決して無罪としたのは実以て言語同断の次第で
	を	106	10	したるもので其の有罪なるや無罪なるや	を	判決するに非ずして免状を取り上ぐべきや否やを
	を	177	09	を防ぎ止むることも出来，益々日本帝国	を	繁昌させることが出来ませう．先づ箇様な訳で先
	を	260	17	ひを超ると惰民製造の弊を来すと云ふの	を	判断するのは容易いことで有る．よつて監督者が
	を	179	10	とあり，またキリストも此の預言者の語	を	引て「我は貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める
	を	162	09	作を勤め能く其の父兄に事へ商賈は車牛	を	牽て遠きに往き其の所得を用ひて其の父母を孝養
	を	028	03	ますまい．そこで色々な星の明りの分量	を	比較して段々と距離の比例を取ると非常の遠くに
	を	041	02	来たものと見える．前に申したのは風習	を	比較する近頃の学者の考へであるが其れで見ると
	を	070	08	座います．而して孛漏生と日本との人口	を	比較するが要用で御坐いますが孛漏生の人口は二
	を	064	05	心臓病を発するでありませう．況んや之	を	引き疾駆するものに於ては一層の劇症を発す可き
	を	089	09	ませぬ．併しながら人の心の中に厚き志	を	引き起さするには基督教が極優れたもので御坐り
	を	197	13	るいてズットにげやうとする，太陽は之	を	引き付けやうとするので其の間を取つて，太陽の
	を	018	11	言ふもので有ります．そこで太陽が地球	を	引きつれて居るばかりで外に地球のツレは無いか
	を	024	11	土星これは余程贅沢な星で八つほど眷属	を	引きつれて居ります．次ぎに天王星海王星これに
	を	267	16	の考へましたものを其の極宜しい所だけ	を	引き抜いて申したので有りまするから此の方法を
	を	236	03	を知るにも容易なことでは分らない．字	を	引く字引も無いし，読む本も無いと云ふ始末でヨ
	を	233	11	たけムツカシイ所へは行かずに稍々程度	を	下くして日本語を以て教ふると云ふのが誠に宜し
	を	164	12	を取りて数字を揮灑し某弁に頤指し施措	を	飛行し復た客と酌む．夜闌にして客始めて謝し去
	を	269	17	母たる者は専ら十二歳より十八歳位まで	を	非常に気を付けて監督養育しなければなりませぬ
	を	159	11	しらへたことは言はれない．地が動くの	を	ビックリすると同じことで軍配がドコへ落ちるか
	を	167	12	しい人間の問題を解くにはイクラ一切経	を	ひつくりかへして見ても漢土の本を万巻読んで見
	を	261	05	まする．前に段々と論じて参りました所	を	ひつくるめて申しまするとと学校と慈恵と監獄とは
	を	197	10	太陽は夥しいもので地球や其の外の惑星	を	ひつばりますのは，丁度，地球が他の物をひつば
	を	197	10	ひつばりますのは，丁度，地球が他の物	を	ひつばると同じやうに，ひつばります．地球が只
	を	061	14	つて尚ほ人力車を用るあり，或は又運動	を	必要とする男女学校生徒にして僅か近傍の学校に
	を	129	17	るの効力が御坐りませぬけれども鬼の角	を	人の額に生えさせるものでも決して御坐りませぬ
	を	184	17	は無く一体である．神が合せ給ふたもの	を	人が離すべき筈はない．姦淫の故でなくして妻を
	を	191	04	たところがモンテスキューの言つたこと	を	人が解し違ひたので同氏がイギリス国の制度を論
	を	133	04	坐りました．けれども其の時に基督信徒	を	ひどい目にあはせた所の残酷な者さへも信者の愛
	を	018	17	ては非常に早く動く星です．支那人は之	を	ひどく恐れまして螢＊惑がどこそこに来ると，ど
	を	190	03	の執行を為すので，行政府と政府の区別	を	一と口に云ふと政府は憲法の範囲内で仕事をする
	を	009	06	には随分ムダのことも有る故ムダのこと	を	一言演るまでで有りまする．地球の位置明治十八
	を	150	01	行政法はドウいふものであるといふこと	を	一言申し上げるやうにしませう．凡そ法律は公法
	を	188	06	行政法の釈義並に行政法と憲法との関係	を	一言申し上げておきました．就ては今日よりは全
	を	229	06	はなして区と定めるので例へば東京市街	を	一つの区としてドコの郡にも属せぬと云ふやうに
	を	262	16	ホド実際に困難でありまして多くの囚人	を	一つの場所に集めて仕事をさせるときは如何して
	を	126	04	ざる中に，かの貴い古事記，万葉集など	を	批評し且非難せむとするが如きもので有りまする
	を	003	07	時間遊んで八時間勉強する．其の八時間	を	百般のことに使ふ訳にはいかない．されば此の八
	を	171	16	なつたこと我が国，の第二海外貿易の道	を	開いたこと我が国人に阿片の禁を勧めたこと（あ
	を	192	08	には違ひ無い．また明治二三年に公議所	を	開いたのも其の通り，其れから左院を置いたも其
	を	192	09	ら左院を置いたも其の通り，地方官会議	を	開いて之に人民に代つて事を議せしむるといふこ
	を	275	11	典獄，即ち監獄長を集めまして典獄会議	を	開かれまして監獄取扱上の細密なることを打ち合
	を	086	16	い．若し基督教の基本になつて居る聖書	を	開き見るならば，これ等の事柄がサッパリ分らぬ
	を	103	11	於て「かゝる深山に分け入りて，この山	を	開きしは，さぞ困難なことなりしならむ」と弘法
	を	105	17	領事は兵庫県知事の請求を容れ現に法廷	を	開き船長以下の審問に着手したといふことである
	を	054	04	．この用を弁するには仮名を用ふること	を	開くに如かずと思ひます．また後のことを考へる
	を	105	16	る求刑をするとも英国領事は決して法廷	を	開く訳は御坐りますまい．然るに諸君も知らるゝ
	を	162	04	は有るが，むづかしいから私が其の大意	を	ひらたく申して見れば汝の皇考文王方伯と為り西
	を	127	07	ず色々の外の際に移りて天地の間の道理	を	広く論ずる間には，なみの人の如くに色々の間違
	を	176	04	が，さうで無い．移住出稼ぎは日本帝国	を	広く大きくするので，あれば本国なる日本帝国も
	を	177	08	なる事実を知つて本国なる我が日本帝国	を	広く大きくする手段を運らすに至つて便利であつ
	を	216	15	いたことも有りますが，これは僧徒が道	を	弘める為めのもので小説とは少し性質が違ふこと
	を	143	13	貴ぶのでは有りません，斯様なものは之	を	擯斥する積りで有ります．たとへば米八丹治郎の
	を	139	04	随分，道徳を破壊してしまふことも風俗	を	紊乱することも出来る．之を害用するときは甚だ
	を	138	14	いに連れて其のキゝメも多い．また社会	を	讒刺する小説の如きも大いに効能が御坐ります．
	を	086	06	と其の基本は何で御坐りますか，人の心	を	深く動かして人間社会を改める所の盛んな勢力は
	を	100	16	まじ．即ち我々が斯く軽蔑されたる原因	を	深くたづね遠く慮り遂に軽蔑されぬ様な計画をめ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	103	13	て日蓮記を読んで見ても昔しの人が物事	を深く信じて疑はざるところは明治今日の我々が及
	を	130	14	の感心なものあり．我れ此の二つのもの	を深く思へば思ふほど我れ之に感服しまた之を尊敬
	を	080	08	な油断をして滞るならば即ち箇様な人間	を含む所の社会は必ず進歩せいで止まつて居る訳で
	を	130	17	話しで御坐ります．数へも出来ぬ日月星	を含む所の大空が人の色々の新論，新説，新発明に
	を	125	09	づいたもので有りませうか．傍聴人の耳	を塞ぎ，よく其の心を奪ふものは何で御坐りませう
	を	146	07	風俗を改良することも出来，道徳の腐敗	を防ぎ社会を改良することも出来やうと思ひますれ
	を	177	09	利であつて，また予じめ国人増殖の後難	を防ぎ止むることも出来，益々日本帝国を繁昌させ
	を	003	01	れば風雨を凌ぐことも出来れば暑さ寒さ	を防ぐことも出来，船を造ることも出来れば敵の首
	を	264	11	た者を保護して正業に就かしめ其の再犯	を防ぐ所で有りまする．今，欧米の監獄専門家の意
	を	017	16	ると我々はモウ威張れない．今までは月	を附属にして居つたが今度は我々が太陽の家来と言
	を	252	05	これ等も懲治しなければなりませぬ．之	を二た通りに分ちまして親族，又は関係者から願ひ
	を	093	09	ことが世上に現はれてより嚮々或ひは之	を筆に訴へ或ひは之を口に唱ふることになりました
	を	120	06	は酒と麦酒とは世界に移住して貴き人間	を腐敗させる刺戟剤の働きを為すものだ」と言ひま
	を	274	05	兵卒を養ふ者と致しますると三万八千人	を殖すことはイト易いでありませう．これにて欧米
	を	188	10	事をきめる権力が無ければならぬ．其れ	をフランスではプーヴォアールと言ひイギリスでは
	を	114	14	的の欲と言ふぢゃ．今，犬猫に向つて棒	をふり上ぐれば，すぐに逃げるのは，これは命が惜
	を	216	10	あるくときに人に射殺されてカラダに塩	をふりかけられる前表で有らう」と答へましたが果
	を	261	17	り，フランスにおきましては監獄のこと	をプリゾンと申します．其の意味はツカマへておく
	を	251	11	度は未丁年の不良者でありまして此の者	を不良少年と名づけまする．此の不良少年の中には
	を	007	04	出ると直に毛氈と唐紙を持つて来て名筆	を揮はれむことを請ふを競ふ世の中．なかなか漢字
	を	221	02	知るにはよいもので後に馬琴などが趣向	を古めかしくして高尚に構へたものよりは却つて考
	を	251	16	が心を矯め直すことを図ります．此の者	を不論罪懲治者と申します．また弁別心が有つて悪
	を	231	09	与かる．其れから各省の大臣は行政事務	を部分けして担任して居りまして，各大臣の側らに
	を	188	13	は全く相異つて居るものでドウしても之	を分別しなければなりませぬ．フランスでは千七百
	を	232	04	税規則第三条掲載の事項は府県会の議決	を経なければならぬけれども府県に固有のことでも
	を	232	11	コレコレのことは是非とも府県会の決議	を経て行へ，但し諮問の場合に於ては必ず其の意見
	を	239	06	，岩手，青森に道を取り，其れより秋田	を経て山形に参り，山形より酒田に出で，酒田より
	を	239	07	船にて新潟へ参り，新潟より長岡，高田	を経て信州長野へと道を取り，其れから信州上田追
	を	058	10	こと も出来，また諸君が東京より奏楽者	を聘して奏楽をお聞きなさることも出来ると云ふの
	を	023	07	処にあり，海王星は三寸八分の球で太陽	を距ること二里二十五丁幾ど三里で有ります．地球
	を	111	04	．元来彼等は一般に日本人其の他東洋人	を蔑視し之を蔑視するの極，之を虐待して殆ど彼等
	を	111	04	は一般に日本人其の他東洋人を蔑視し之	を蔑視するの極，之を虐待して殆ど彼等と同種類の
	を	242	12	一つの学問となつて居りまする．此の学	をペノロジーと申します．其の意味は刑の学，即ち
	を	190	11	を死刑に処するといふときには必ず勅裁	を経るといふやうなことは自為裁判の種類でありま
	を	084	17	様々の進歩を調ぶると云ふことは万国史	を勉強する人には至つて面白いことで，また有益な
	を	237	16	学生は昔し厄を身に引き請けながら学問	を勉強した人のことを考へて其の心持になつて，や
	を	085	04	とで御坐りますゆゑに，これから段々之	を弁じませう．併しながら私が思ふに此の演題を証
	を	126	10	に従つて申し上げ，また兼ねて其の得失	を弁じませう．第一．年若き卒業生の中に珍らしい
	を	104	02	は最も適当の人民であります．即ち国語	を変ずるといふことは他国にありては最もむつかし
	を	054	04	の地が出来て肝腎のものを失ふ．この用	を弁するには仮名を用ふることを開くに如かずと思
	を	054	02	何だとかむつかしいことを知つても用事	を弁ずることを知らない．初学で下り而して舟を漕
	を	105	14	如く誤認せる論者に対しては一言其の妄	を弁ぜねばなりませぬ．若し該言渡にして論者の思
	を	096	13	るといふに充分なる証拠を探さずして之	を謀殺に当る故殺に当るといふは少しく大早計と言
	を	172	17	ければ我が国人は永く之を忘れずして恩	を報ずることがあらうと思はれます．其れはなぜか
	を	180	12	なさい．実にキリスト教国とキリスト教	を奉ぜぬ国の最も大なる差別は何かと問はゞ婦人の
	を	243	12	ち内閣にして，こゝに於ては天下の政治	を法律と憲法との範囲内に於て定めることにして，
	を	150	06	もので国と国との関係を規定したるもの	を外公法または万国公法と言ひ，国と国民と其の国
	を	065	03	や丸髷島田の増減は日本男女の文明如何	を卜するに足るものと思ひます．諸君如何です．さ
	を	099	14	ずるを俟たず．且船長は幾多船客の生命	を保護すべき責任のあるものである即ち当時の主人
	を	152	07	民の政事上，宗教上，民事上，等の権理	を保護するものであり行政法では憲法できめた原則
	を	193	09	ういふことをするとか，また人民の権理	を保護するとかいふ保証をなされたことがあるです
	を	264	10	の部に於ては罪人の放免となりました者	を保護して正業に就かしめ其の再犯を防ぐ所で有り
	を	100	15	ず啻に訴訟を起すのみならず啻に義捐金	を募集するのみならず，外に多くの考へが無くては
	を	074	14	とで御坐んす．其れを務めて除かむこと	を欲しまするには人を雇はんければならぬ．而じて
	を	106	08	は其の海員の業務を停止し又は其の免状	を没収するの処分を為すべし」といふことがあるが
	を	059	14	悦び奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽	を欲するものでありますから（無くては大変だ）今
	を	059	17	学問が無くても奇麗なものや便利なもの	を欲するのは自然の性です．御覧なされ今如何様な
	を	043	13	仏教では人間のみならず禽獣にまで慈悲	を施し決して残酷なことをしてはならぬと云ふこと
	を	097	03	りますまい．海底を探ね，また他に名案	を施したらば罪跡が現はれないことはありますまい
	を	250	15	を設けまして，こゝに於て懲戒と教誨と	を施して此の罪人の心の教育を致しまする．其れに
	を	252	16	て末丁年の不良少年には教育を与へ教誨	を施し，これにても不充分なるがゆゑ，また懲戒を
	を	253	07	部と致して之に教育，教誨，懲戒の三事	を施します．尤も其の不良の度合ひに応じて右各科
	を	258	09	，これには教育，即ち智育，徳育，体育	を施し且，懲戒，懲治を施し，また将来，就業の準

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	258	09	智育，徳育，体育を施し且，懲戒，懲治	を	施し，また将来，就業の準備として仕事の教育も
	を	259	03	慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで，救助	を	施しますには或ひは公けの救助を以てし，或ひは
	を	266	09	用ひまして其の模様を験しして専ら教育	を	施し丁年に至れば通常の人民に入れることで有り
	を	250	02	之を未丁年者と唱へまして専ら之に教育	を	施すべき時で御坐います．未丁年者の教育は智慧
	を	274	15	府の直轄と致しました為めに大いに改良	を	施すことが出来ました．また，イギリスに於ては
	を	156	14	カスといふ人が考へたので其の人は天文	を	骨を折つて見たが日蝕や月蝕が算盤に合はないこ
	を	107	10	其の不文法に拠りますと人命を断つこと	を	ホミサイドと申し，このホミサイドを分つて四種
	を	240	15	と云ふことも有ります．例へば人のこと	を	褒めると云ふことならばイクラ褒めても差支ない
	を	132	05	す．昔より今に至るまで此の聖書の効力	を	滅ぼさうと思ふ所の敵が多う御坐りましたけれど
	を	060	12	益の美服を飾り放蕩を極め身を過まり家	を	亡ぼし遂には獄内に籠城するか又はモルヒネ往生
	を	161	05	ふものは大変な悪いもので其の為めに身	を	亡ぼし家を亡ぼし国を亡ぼすものが有る．殷の紂
	を	161	05	変な悪いもので其の為めに身を亡ぼし家	を	亡ぼし国を亡ぼすものが有る．殷の紂王などは酒
	を	161	16	を飲んだに違ひ無からうが酒池肉林で国	を	亡ぼした元祖は殷の紂王だらうと思はれる．武王
	を	162	01	王はふかく其れに感じたものと見えて殷	を	亡ぼして後，弟の康叔を衛に封じたときに酒誥と
	を	163	16	舞を好み相摸の北条は酒を好み皆其の国	を	亡ぼした．福島正則などといふ人は勇気はすさま
	を	130	07	術が基督教の敵になり或は基督教が学術	を	滅ぼし或はまた学術が基督教を滅ぼすものなりな
	を	033	09	れたことと見えて或は「後世酒を以て国	を	亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒は百薬の長」と
	を	033	11	数千年来行はれてありますが酒を以て国	を	亡ぼすといふ方には世間で賛成者が少くして酒は
	を	161	05	ので其の為めに身を亡ぼし家を亡ぼし国	を	亡ぼすものが有る．殷の紂王などは酒の池，肉の
	を	130	08	教が学術を滅ぼし或はまた学術が基督教	を	滅ぼすものなりなどのことは誠に拙き論で御坐り
	を	218	06	語，源氏物語などはイサヽカ有つたこと	を	本にして作り広めたのも有り，またマルマル無い
	を	137	10	居る其の言ひ慣れたる自分の勝手なこと	を	本会にて申すも如何と存じ何か教育上に関係した
	を	145	06	著を出版しまた手本になるべき西洋小説	を	翻訳させ検定の上で之を出版せしめ続々売り出す
	を	215	02	で殊に近日西洋学者は競つて西洋の小説	を	翻訳するとか又は自分で著述するやうになり，俳
	を	233	16	を起すには今より西洋の名家の書いた本	を	翻訳して其れを教科書にする支度をしなければな
	を	253	10	いと云ふ実験が有ります．其の故は種子	を	蒔いて之を世話をして其の実を収むると云ふまで
	を	127	15	しい説，新らしい論，新らしい考へなど	を	誠とし且喜んで受け容れます．而して色々の骨折
	を	264	02	す．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別	を	正しくし以て教育感化することになつて居ります
	を	255	13	妻を将軍へ妾同様に売り付けて其の禄高	を	増して貰つたと云ふやうなことも無いではありま
	を	103	15	ぜざるが故に気力なし．さすれば日本人	を	真面目ならしむるの手段は宗教を盛んにするにあ
	を	075	12	失はぬだけである．此の如きは国家の富	を	増すものでは無くて富を減ずるもので有るから国
	を	218	16	言行を記して其の間に時々の景色と歌と	を	交ぜたやうなもので馬琴や京伝の小説のやうに斬
	を	222	17	楽が盛に行はれて其の舞の中に故事など	を	交ぜてすることとなりました．これが演劇の濫觴
	を	223	06	左衛門は女に出たち，伝助と云ふ滑稽家	を	交ぜて踊りました．念仏踊と云ふは空也上人から
	を	229	09	にあらず町村にあらず丁度，郡と町村と	を	マゼコゼにしたやうなもので有るから区長は郡長
	を	063	16	は炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯	を	股に狭んでウタヽネし時ならざるに食ひ時ならざ
	を	068	16	定の俸給を得まするまでには平均三箇年	を	待たなければなりませぬ．其れはＡｓｓｅｓｓｏ
	を	068	17	ｓｏｒが多い故裁判官となるには三箇年	を	待たねばならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生国
	を	099	14	に義侠の心を生ずるものなること論ずる	を	俟たず．且船長は幾多船客の生命を保護すべき責
	を	128	13	ませう．卒業生が各国の学者たちの判断	を	待ちまする間に基督教が不意に衰へてしまふ気遣
	を	054	13	．手紙の書き方の本は物集先生の御著述	を	待つて居ります．さて又今まで修身の道は我が国
	を	044	03	で右様の教を起したのぢゃ．曲りたもの	を	真直にしようと云ふには真直にしたばかりては直
	を	126	03	，また基督教の原因と趣意と目的と結果	を	全く覚らざる者が多う御坐ります．例へて申しま
	を	162	10	間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫の楽み	を	全くすべし若し故なく群を成し相聚り酒を飲む者
	を	093	09	ずして船長並に他の乗組人等が其の生命	を	全うしたといふことが世上に現はれてより嘗々或
	を	020	07	距離が非常に近くなる上に丁度太陽の光	を	マトモに受けて満月の様に見ゆるので余程よく其
	を	053	16	どれほどかの年月教へたら上等科のこと	を	学ばないで文通が出来やう．田舎の様子を見ます
	を	237	12	人間の当り前のやうになつて西洋のこと	を	学ばぬ人は世に歯せられぬと云ふ有様になつて来
	を	235	12	ふことをお話ししたい．昔の西洋のこと	を	学ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医術，其の後，砲
	を	236	09	．モウ一つの大難事と云ふは西洋のこと	を	学ぶと云ふことが其の時分の社会の為めに嫌はれ
	を	237	04	の時分でさへも開けぬ藩では西洋のこと	を	学ぶのは甚だ悪む有様で有つた．さう云ふ有様で
	を	237	06	者は決して自分の利を図る為めに西洋学	を	学ぶので無くて西洋のことを学べば自分の身を害
	を	267	06	無い者が非常に性質の悪い者のしたこと	を	学ぶといふやうなことになりまする．故に此の部
	を	237	06	めに西洋学を学ぶので無くて西洋のこと	を	学べば自分の身を害することは有つても利するこ
	を	054	16	ればならない．我が国は支那の本で修身	を	学んだが修身は支那よりは日本がよい．其れ故矢
	を	089	06	の進歩をせむとする御方は必ず睦き有様	を	免れて貴い有様へ進むの志が無ければなりませぬ
	を	091	12	基督の御功績に由らざれば人が此の罪悪	を	免れて本当の自由を得て進歩することが出来ませ
	を	091	16	が耶蘇基督に係はらず彼の恐ろしい罪悪	を	免れた人に遇ふたことは一度も御坐りませぬ．今
	を	105	12	ります．然れどもこれ等は総て誤謬たる	を	免れませぬ．我輩は固より英国領事の裁判を以て
	を	062	07	以下のものは無理にも乗車して上等社会	を	まねる様になつたのです．第二は身体運動は衛生
	を	183	14	これまでの考へでは妻たる者は必ず貞操	を	守らなければならぬが夫は必ずしも守るに及ばず
	を	039	05	せば強盗をするほどの者で無ければ社会	を	守ることが出来ぬからぢゃ．又生れ子を殺す風習
	を	118	03	ゆゑ此の節酒会にても成るたけ堅く約束	を	守る人の多く有るやうに致したいと思ひます．私

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	183	08	なく神の前に在つて真実に一夫一婦の道	を 守ることで御坐ります．一夫一婦と申しても此処
	を	183	10	ます．儒者の教にも妻が夫に対して貞操	を 守るべきことは随分喧しく説いてあるやうで御坐
	を	183	11	やうで御坐りますが夫が妻に対して貞操	を 守るべきことはトント説いてないやうで御坐りま
	を	183	12	は夫たるものも妻たるものと同様に貞操	を 守るの義務あることを教へます．此の義務に於て
	を	183	14	女の区別は御坐りません．双方共に貞操	を 守るの義務あるもので御坐ります．然し，これま
	を	016	09	す．党類で有るのみならず地球のグルリ	を 回つて居ります．地球が真中にチャンとして居つ
	を	017	15	きい．其れのみならず月が地球のグルリ	を 回つて居ると同様に太陽のグルリを地球が始終グ
	を	020	02	＊惑星で有ります．矢張り太陽のグルリ	を 回つて居る星で地球と同様に自分には明りを持た
	を	020	17	ました通り此の星も同しく太陽のまはり	を 回つて居りまして地球が内の方を回つて居ますと
	を	020	17	まはりを回つて居りまして地球が内の方	を 回つて居ますと火星が外を回つて居ます．これが
	を	021	01	地球が内の方を回つて居ますと火星が外	を 回つて居ます．これが我々の第二の道づれで有り
	を	021	09	には人間は高慢で日も月も地球のグルリ	を 回つて居る．動物は地球の表面にしか居ない，智
	を	028	13	く今一つは小さく，かたつ方がかたつ方	を 回つて居ます．丁度地球が太陽を回り，月が地球
	を	029	03	は見えないがよく調べると何かのグルリ	を 回つて居る様に見ゆるといふ場合が有りますから
	を	197	09	は我々の地球と同じことで太陽のグルリ	を 回つて居る，太陽は夥しいもので地球や其の外の
	を	197	13	するので其の間を取つて，太陽のマハリ	を 回つて居ります．コンナ塩梅にして回つて居るこ
	を	199	14	した．さうするとグリツト太陽のマハリ	を 回つて見えなくなつてしまつた彗星が再び帰つて
	を	202	03	の人が出まして彗星が太陽を離れて方々	を 回つて居るうちに木星からどの位後らかされ其の
	を	028	13	たつ方を回つて居ます．丁度地球が太陽	を 回り，月が地球を回る様に見えます．して見ると
	を	091	16	．海にも陸にも旅をして二回ばかり地球	を 周りましたが耶蘇基督に係はらず彼の恐ろしい罪
	を	135	08	きなされたで御坐りませう．即ち「万国	を 周りて万民に此の教をのべ伝へよ」といふことで
	を	025	17	ぬ．今度の物さしは地球の太陽のグルリ	を 回る軌道の半径即ち地球と太陽の距離を取りませ
	を	028	13	ます．丁度地球が太陽を回り，月が地球	を 回る様に見えます．して見ると一つが親分で，あ
	を	167	12	切経をひつくりかへして見ても漢土の本	を 万巻読んで見ても分りますまい．ヤッパリ新しい
	を	065	09	は力めて之を奨励し以て我が国民の健康	を 満足せしめむとするは則ち先覚者の義務です．実
	を	179	10	直く嶮しきは易くせられ人々みな神の救	を みん」とあり，またキリストも此の預言者の語を
	を	179	12	と仰せられましたが千八百年以来の歴史	を みて此の言の決して偽りで無いことが知れます．
	を	197	01	ウでは無いかと思ひましても，其の帽子	を 看て大学の学生だと云ふことが知れゝばモウこは
	を	067	07	十人の諸君が卒業証書を得られましたの	を 観まして大いに感ずる所が御坐いました．其れ故
	を	070	03	眼を転して我が国の裁判官代言人の有様	を 観ますれば従前判事と唱へる奏任以上の者は僅に
	を	006	12	つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本	を 見なくては講釈をすることが出来ない．今日は物
	を	019	04	き此の母が長庚星が懐に這入ると云ふ夢	を 見たので生れた子の名を白とつけ字は太白と言つ
	を	020	11	海は無いと云ふことを申しましたが火星	を 見ますと陸も有れば海も有る，海が有れば蒸発気
	を	024	07	なものが四つついて居る．望遠鏡で木星	を 見ますとドンナけちな望遠鏡でも星の真中の所に
	を	029	11	．諸君御存じで有りませうが秋の頃に天	を 見てお出でなさると真つ白なものが有りませう，
	を	034	15	慾の人は余り酒を用ひませぬ．歴史など	を 見ましても酒を飲まない人は古へより功を成し国
	を	053	17	学ばないで文通が出来やう．田舎の様子	を 見ますに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎の百姓
	を	057	11	のは実に有り難いことで此の近県の様子	を 見まするに此の埼玉県下は最も衛生が盛んにして
	を	061	01	見るか又東京に於ても支那の公使館の門	を 見られたならば必ず古代未開時の風たるを覚らる
	を	062	03	と思つて徒歩にて市中に出るときは人之	を 見て某はこの暑いのに人力にも乗らないで，ある
	を	093	12	賞罰があるやといふことを研究したもの	を 見ませぬ．故に已むを得ず私が一言，諸君に陳べ
	を	101	12	でよく分つて居ります．西洋各国の歴史	を 見まするに何れの国にても一事の改革をはかると
	を	120	12	リスのスタチスチック，ジョルナルなど	を 見ますと麦酒などを飲む為めに費す所の金高は大
	を	121	01	した通り西洋の学者は西洋の飲酒の弊害	を 見て説いたことで有りますが私はドウも日本でも
	を	134	02	人に任せて置きます．そこで私が基督教	を 見たので有ります」と答へました．只今説きます
	を	134	05	のと言へる世の人をして爾等の善き行ひ	を 見て神を崇めしめむ為めなり」また耶蘇基督御自
	を	134	09	を耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひ	を 見て天に在す爾等の父を崇むべし」と．この言葉
	を	136	01	人が表の口にはいり裏へ出まして其の庭	を 見ますれば誠に面白くも無く，また分らぬやうに
	を	138	10	い話しに連れ後はドウなるかと先き先き	を 見て夜る二時でも三時でも構はずトウトウ夜を明
	を	138	15	また西洋の著作中にも其の善きものは之	を 見て自ら反省することもあれば随つて社会の道徳
	を	142	15	ります．春水の梅暦が先づお手本でドレ	を 見ても一つこと．初めに情夫が有つて其れに女が
	を	143	14	ます．たとへば米八丹治郎の本ならば之	を 見て男なら丹治郎になつて見たい女なら米八にな
	を	152	11	行政法は附属物であります．併し珊瑚珠	を 見て，これは動物か植物かと言ふと同じく憲法と
	を	156	09	バカリの小僧がたでも天球儀，地球儀，	を 見て地が回るんだと云ふことを知つて居るが前に
	を	161	07	なことをする人で孕み女の腹を剖いて胎	を 見たり，聖人には七つの竅が有るといふがドウだ
	を	169	12	との人数，年齢，職業などを書いたもの	を 見ませぬから委しいことは知りませぬが先づ亜米
	を	193	14	いふことをするといふのは外国の例など	を 見てこれをも参照して細則をきめるだけで人民の
	を	207	05	多く御坐りました．私は日本で此の流星	を 見たと云ふ人は知りませず，私は其の頃はまだ気
	を	208	07	の人が時計を持つて汽車の出る時に時計	を 見，汽車の止る時に時計を見て，ミチノリの書い
	を	208	07	出る時に時計を見，汽車の止る時に時計	を 見て，ミチノリの書いたものと見合せれば，何時
	を	216	08	た所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜，夢	を 見たが霜が多く降つて私のカラダを覆つたが何か
	を	228	06	な有様で御坐います．其れで地方の区別	を 見ますと大名の下に今の郡長のやうなものを置き
	を	240	10	て来て貰ひたい」と云ふので私が其の娘	を 見に参つて性質が温良か然らざるかを巡閲して帰

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	241	16	も役に立ちますまい．例へば或る人の邸	を	見に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の端の
	を	241	16	ば或る人の邸を見に行つて其の邸の全体	を	見ずに，ただ溝の端の竹が一本曲つて居るとか折
	を	270	04	の度合ひを其の入院の時に調べましたの	を	見まするど一丁字をも知らざる者が四千四百七十
	を	273	14	所となりまする．而して其の在監人の数	を	見まするど，未決者は一万四千二百二十二人，已
	を	274	02	百五十二人となりまする．今，其の費用	を	見まするど国庫支出，及び地方税支弁にて明治十
	を	237	16	は無い．其れだから今日の学生は昔し厄	を	身に引き請けながら学問を勉強した人のことを考
	を	250	01	至るまで（即ち二十歳に至るまで）は之	を	未丁年者と唱へまして専ら之に教育を施すべき時
	を	166	13	無い，事実を穿鑿して事実の上から道理	を	見上げる仕方だからモノゴトの道理がタシカで「
	を	166	14	じるやうになつて来ます．事実から道理	を	見上げるのだから誰も駁つことは出来ますまい．
	を	200	15	ますが，丁度そんなもので，彗星の正体	を	見顕はさうと思へば必ず其の道によつて考へて来
	を	262	11	囚をおきまして，夜も昼も他の囚徒と面	を	見合すことも，話しをさせることも有りませぬ．
	を	003	15	の前に坐つて字を習ひ，コレラ病の原因	を	見出すこともお留守にして字を習はなければなら
	を	144	07	ますまいが其れにしてはタント好い小説	を	見受けませぬ．今，申す通り古人の糟粕を嘗めず
	を	136	02	けれども遂に二階に上つて，かの庭の景	を	見下すならば誠に面白いもので有ります．此の帝
	を	166	11	しない．たゞ考への上の道理を以て事実	を	見下す仕方だからモノゴトに，あてはむることは
	を	035	16	人が皆酒を慎んで身体を丈夫にして智慧	を	研いたからで御坐りませう，報国をしようとか大
	を	034	07	いふことが分つて来ます．また今日智慧	を	研き身体を丈夫にしようといふ様な総てのことと
	を	035	01	の深い人で今日の行ひをよく省みて智慧	を	研き身体を丈夫にし財を惜む欲の深い人だと思は
	を	036	08	段々諸君のお力を以て益々盛大にし智慧	を	研き身体を丈夫にし財を貯へる様に致したいもの
	を	271	16	者を拘禁して置く所であります．故に之	を	未決監とも申しまする．第三，懲治場．こゝには
	を	008	17	．そして傍ら仮名か羅馬字で綴つたもの	を	短い言葉より始め，次第に長い言葉に移り，言葉
	を	053	09	ばならぬ所は気を長くすることも有り気	を	短くしなければならぬ所は気を短くする所も有り
	を	053	09	も有り気を短くしなければならぬ所は気	を	短くする所も有ります．たゞ気を長くばかりして
	を	121	03	見せた方が宜からうと思はれます．事実	を	見せたら其れからして論も起らうし，また弊害が
	を	121	02	ることが，むづかしくて盲人に七色の色	を	見せる様なものだからよく事実を挙げて見せた方
	を	219	03	今の如き媒妁人と云ふものは無くて婦人	を	みそめると先づ便りを求めて公然と文をやり其の
	を	116	09	と思ふことも無く，また酒の為めに品行	を	乱したといふ覚えも無い．されども二三年前の春
	を	029	15	支那では「銀河」と言ひます，銀に其れ	を	見立てたのは奇麗だからで有ります，併し銀より
	を	197	08	あの時はザツトしたことで，申さば人別	を	みたやうなものだけで，委しいことは言ひません
	を	024	05	星には二つほど眷属が有る，二つほど月	を	みた様なものが有る，其れは衛星と言ひます．こ
	を	213	16	維新の初めには小説と云ふものは人の心	を	乱り風俗を害するなどと云ふ説も有りました．其
	を	163	13	ことは無い．「小，忍びざれば則ち大謀	を	乱る」と論語にもあるが信長などは大望の有る身
	を	232	13	会と云ふことを研究しますには，また之	を	三つ即ち第一には中央行政，第二には府県行政，
	を	253	06	て，この矯正院に於ては其の中の仕切り	を	三つに分けまして出願懲治者の部，不論罪懲治者
	を	054	05	と前に申した秦の始皇の話しの様に書物	を	皆な焼いてしまつても英仏の本を知らないでも何
	を	129	06	恐れて居ります．箇様な人は世俗の学問	を	皆な基督教の大敵とするもので御坐ります．これ
	を	068	07	第二回の試験までは見習生となつて実務	を	見習はなければなりませぬ．（見習生はＲｅｆｅ
	を	180	03	らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我	を	見まひ獄にありし時，我に来ればなり，此の兄弟
	を	053	15	みる」，其の間に「を」を加へて「はな	を	みる」といふ様に教へ其れで年始暑寒用の手紙と
	を	003	10	知れきつたこと．それで今我が国の有様	を	見るにドコへ時が一番かゝつて居るかといふと肝
	を	014	06	其の位なものです．其れから望遠鏡で月	を	見ると中々妙なもので肉眼で見ては唯ボンヤリし
	を	047	16	思はれる．さりながら今日，世界の有様	を	見ると各国の有様が昔と事違ひ商売が開け工業が
	を	053	06	と言ふとカラウタの会だと思つて其の字	を	見ると「斯文」と言つた様な理屈で仮名にすると
	を	057	14	もある様ですが斯く衛生の盛んなる有様	を	見るのは必竟当路者の尽力多きに居るものと思ひ
	を	060	17	又諸君が田舎に於て真赤に塗りたる寺院	を	見るか又東京に於ても支那の公使館の門を見られ
	を	103	10	また弘法大師の如き日蓮上人の如きもの	を	見るも其の通りである．今試みに諸君が森林欝蒼
	を	158	11	註を書いた時分に天の怒りだと書いたの	を	見ると朱子先生も雷のことは知らなかつたと見え
	を	164	15	為す．至れば則，果して英幟の已に樹つ	を	見る．懊悔頓に生す，機を失して贖ふ莫し祇に徒
	を	164	16	たり．此に由て之を観れば酒の事を誤る	を	見る可き也．我が日本帝国人民の将来を前知する
	を	172	10	生糸などの大得意先きで，これは貿易表	を	見ると，よく分ります．たゞ北亜米利加人が我が
	を	177	04	た有様もありませうし，また変つた有様	を	見ることも出来ませう．其の年々の大数を得るに
	を	182	01	しきに適はなければ決して真の文明社会	を	見ることは出来ません．ナゼなれば夫婦の関係は
	を	200	13	また女になつて出て来るので始めて芝居	を	見る者などには同じ団十郎でも見分けは出来ない
	を	216	12	．尤も此のやうなことは支那の昔の書物	を	見ると随分ありますから小説の起原はドコでも，
	を	223	14	書のやうなもので其の時分の演劇の有様	を	見るに足るもので御坐います．そこで操人形と云
	を	225	01	から数年ならずして必ず目ざましい改良	を	見ることが出来ませうが演劇の方はまだ見物の了
	を	238	06	せぬが杉田先生の蘭学事始と云ふ書など	を	見るとオランダの医術を伝へた難儀などのことは
	を	136	09	りながら神の御眼を借りて世の中の有様	を	観れば面白いことは言はれぬ程にて覚ることは実
	を	164	16	祇に徒手して帰るを得たり．此に由て之	を	観れば酒の事を誤るを見る可き也．我が日本帝国
	を	008	07	程の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外	を	見れば盛でも何でも無い．他国の有様を見れば気
	を	008	08	を見れば盛でも何でも無い．他国の有様	を	見れば気違ひにでもならなければならない位の違
	を	025	10	か分らない．家根の上から下をあるく人	を	見れば小さい，山の上から人のあるくのを見れば
	を	025	11	見れば小さい，山の上から人のあるくの	を	見れば，まるで蟻のはふ様に見える，其れだから

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	080	10	の働き方，其の発達の仕様，其の方法等	を	見れば三つの明らかな手続きが御坐ります．総て
	を	116	13	れば去年も今年も腸胃痛が起らなかつた	を	見れば全く酒を節した効能だらうと思はれます．
	を	120	04	人は「酒を飲むことが世界に流行する所	を	見れば各の住民は，ほとんど飲酒家の鑑札を持つ
	を	135	14	聖書に説く所の高い所より世の中の有様	を	見れば天地の間の限り無き道理が実に明かになり
	を	136	07	ならば人が下い所からして世の中の有様	を	見れば面白いことも少なく覚ることも浅う御坐り
	を	163	14	望の有る身でありながら箇様になつたの	を	見れば酒の為めに天下を執ることも出来ずにしま
	を	217	02	其の作者は分りませぬが文体の古雅な所	を	見れば延喜以前のもので有りませう．竹取物語の
	を	031	10	て総ての物体が瓦斯か固体かと云ふこと	を	見分けることが出来る様になりまして此の純粋の
	を	230	13	の所有財産と云ふやうなものが有れば郡	を	無形人とすべきや否やは考へものです．府県，郡
	を	161	10	とか放逸に流れるとか色欲に耽るとか物	を	貪るとかいふことが起り，また我慢といつて他人
	を	060	13	内に籠城するか又はモルヒネ往生等に極	を	結ぶ者多くあります．是れ則ち半開化の害であり
	を	134	07	せられました．または「悪き木は善き実	を	結ぶこと能はず」などと仰せられましたことも御
	を	153	13	政法では符牒が無いと分らないから名前	を	ムヤミに変ることを禁じます．またお前の所のム
	を	247	04	のに何の構つたことが有るものか，其れ	を	ムヤミにおれをいぢめるのは訳の分らないことだ
	を	229	01	た耕作地の方が過半を占めるときには之	を	村と名づけるとでも区別しなければならないと思
	を	016	10	真中にチャンとして居つて月が其グルリ	を	旋つて居ります．して見ると月は分明に地球の眷
	を	020	04	で此の星は地球の軌道の外を通つて太陽	を	繞つて居ますから若し太陽の向ふの方に此の星が
	を	021	12	だものが有るかも知れない．段々と想像	を	回らして見るとハテシが無い位で有ります．今日
	を	100	17	たづね遠く慮り遂に軽蔑されぬ様な計画	を	めぐらすが最も必要であらうと考へる．然らば何
	を	177	08	なる我が日本帝国を広く大きくする手段	を	運らすに至つて便利であつて，また予じめ国人増
	を	184	08	し何時でも勝手次第に妻を出して他の女	を	娶ることが出来ては一夫一婦の教も何の役にも立
	を	185	01	．姦淫の故でなくして妻を出して他の女	を	娶る者は姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者
	を	185	02	娶る者は姦淫を行ふ者で其の出された婦	を	娶る者も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられま
	を	060	11	余地があつても桑を植ゑ蚕を養ふの利益	を	も考へず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢりの不
	を	060	11	きかぢりの不理屈を唱ひ父兄の言ふこと	を	も用ひずして酒を呑み煙草を喫し無益の美服を飾
	を	133	17	て来ましたので御坐る．昔は極軽い事柄	を	も，かの人に任せることは出来なかつたれど今，
	を	139	15	かみさんまでが其のクシャミの仕様まで	を	も，うかゞつて居ます．フランスのビクトルヒュ
	を	142	04	其の仕組をこしらへたる上に仕上げまで	を	も立派にやらなければならぬから凡才では中々い
	を	187	03	が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤	を	も眷顧たまふが故なり今より後，万世まで人々我
	を	192	01	を改むることが出来る．また新たに何事	を	もきめることが出来るといふのが今日の有様即ち
	を	193	14	するといふのは外国の例などを見てこれ	を	も参照して細則をきめるだけで人民の自由とか所
	を	214	15	てあつて，かの高尚な哲学の及ばない所	を	も識り得ると云ふトテツも無いことになり，また
	を	228	04	国で租税を異にし裁判を異にし法律規則	を	も異にして居りましたから，ツマリ日本の行政法
	を	229	07	街と云ふ意味で，所によると，また其れ	を	も数区に分つと云ふやうな意味で有ります．して
	を	242	02	る方も有りませうが，中には監獄の如何	を	も知らない方が無いとは云はれますまい．曾て旅
	を	245	08	るから幸に之を利用して，これ等のこと	を	もやられる訳で万，已むを得ざるときは秩序安寧
	を	264	05	し，また感化にも尽力し，且職業の教育	を	も施しますことになつて居りまする．第二は懲必
	を	270	05	の時に調べましたのを見まするに一丁字	を	も知らざる者が四千四百七十二人ありまして丁度
	を	274	13	十五年五月五日の法律を以て府県監獄費	を	も国庫より支弁することと致し全国の監獄は総て
	を	117	17	が有ることぢゃから此の類の人は禁酒会	を	設くるも宜しからう．其れは決して悪いといふで
	を	253	03	する．付てはこれ等の者の為めに矯正院	を	設くることになつて居ります．この矯正院と言ふ
	を	260	14	すべきもので有りまする．第六，監督者	を	設くること．これは相当の方法が立ちました上は
	を	117	10	うに致したいもので有ります．すべて会	を	設けてすると一人でするのとは違ひますから会を
	を	148	01	ド必要であると言へば測候所といふもの	を	設けて其の費用は国庫より支弁するとか府県会で
	を	153	07	ふこと）を定めれば行政法では其の取締	を	設けます．また人民は同等のものであるといふこ
	を	243	07	．けれども一方に於ては元老院等の議会	を	設けて国民全体の望みに適ふやうに事を議決せし
	を	243	09	，また一方に於ては政府即ち内閣大臣等	を	設け之に執行の事を掌らしめ．天皇陛下が此の二
	を	244	01	する如く立法権事務は元老院，又は国会	を	設けて之を行ひ，執行権事務は政府と行政権と司
	を	244	02	，執行権事務は政府と行政権と司法権と	を	設けて之を執行しますれば，これだけにて天下の
	を	250	15	ばならないと云ふので，監獄と云ふもの	を	設けまして，こゝに於て懲戒と教誨とを施して此
	を	251	15	罪を論せずして，たゞ懲治場と云ふもの	を	設けて，こゝでイクラかの間これが心を矯め直す
	を	254	10	理由よりして放免者保護会社の如きもの	を	設けて或ひは仕事を教へ或ひは通常の雇人に世話
	を	131	15	の色々の面白い譬喩とし，また固い証拠	を	設けることが出来ます．さすれば学術といふもの
	を	132	10	人の色々の間違ひを駁つよりも真の道理	を	設ける方が余程よいもので御坐ります．若しあな
	を	150	15	憲法の趣意を拡張する為めに法律，規則	を	設けるもので憲法で定まつて居るものの細密なる
	を	153	10	るものといふことを憲法できめるが鉄道	を	設ける為めに土地を買ひ上げるとかいふことは行
	を	141	02	たと申します．また日本の小説家の品格	を	申さば源氏物語の紫式部や枕の草子の清少納言な
	を	020	11	．月の観測の時には海は無いと云ふこと	を	申しましたが火星を見ますと陸も有れば海も有る
	を	032	07	．若しも其の通りで有ると始めにお話し	を	申しました通りに段々推しつめて行つて丁度今日
	を	042	13	ひと云ふ様なものぢゃ．併しこれは極度	を	申したことで本当は今日でもさうはなりて居らぬ
	を	076	13	ら論じまして右の通りになるといふこと	を	申しましたので御坐んす．さて私が考へて見ます
	を	080	01	リ文明開化の方へ段々と進んで行くこと	を	申します．抑も昔よりこのかた人間社会の種々の
	を	083	02	御存じで御坐りませう．欧羅巴中古の例	を	申しますならばイスパニヤとポルトガルの二箇国

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	083	05	す．また地理によつて諸君に近い国の例	を 申しますならば隣りの支那で御坐ります．諸君御
	を	083	09	の毒千万で御坐ります．また時の近い例	を 申しますならば彼の仏蘭西の国を御覧なされ仏国
	を	087	05	の為めに少しばかりこの趣意の委しい所	を 申しませう．たとへば彼の人の悪しき性質，人の
	を	088	05	とを能く顕はす故に其の中の重もなる所	を 申しませう．第一．先づ種々の進歩を致さうと思
	を	092	05	こゝに擱きませうけれども，終りに一言	を 申したう存じます．この演説の初めに社会総体の
	を	171	14	縁があります．其れはナゼかといふこと	を 申しますれば北亜米利加合衆国人が我が国人に対
	を	215	09	おき」と致して小説と演劇との成り立ち	を 申しませう．先づ小説の成り立ちよりして来歴の
	を	215	10	先づ小説の成り立ちよりして来歴の次第	を 申しませう．しかし之を申すには西洋の小説も支
	を	222	10	してアー云ふ風になりましたと先づ大要	を 申して次に其の濫觴をザット述べませう．先づ我
	を	269	11	四分で有りまする．また年令を以て割合	を 申しまするとと十歳以下は百八十七人即ち二分二厘
	を	271	07	る．さて，これよりは日本の監獄のこと	を 申しませう．付ては先づ日本の監獄の種類から申
	を	022	03	にイクラも地球の仲間が有ると云ふこと	を 申し上げましたが其の中太陽から測りますと地球
	を	033	07	ゆゑ亨二は亨二だけの賛成いたした趣意	を 申し上げて見ようと思ひます．酒のことに付ては
	を	188	07	で御坐いますが主権に関係しましたこと	を 申し上げませぬと行政法の原則に大関係をします
	を	226	05	政上で二大原則の区別を致しますること	を 申し上げました．今日よりは純粋の行政部類に這
	を	188	06	た．就ては今日よりは全国行政といふ部	を 申し上げる順序で御坐いますが主権に関係しまし
	を	240	13	可なくしては他人に向ひ其の性質の如何	を 申し上げる訳には参りませぬ．尤も右の如きこと
	を	245	15	うから，こゝに於て監獄の目的及び方法	を 申し上げることに致しませう．さて，監獄は前に
	を	269	01	年）十二月三十一日の監獄に関する実例	を 申し上ることに致しませう．順序は前と違ひます
	を	273	02	七年十二月三十一日の監獄に関する実例	を 申し上ることに致しませう．（これは内閣統計局
	を	085	02	其の進歩に付て種々の大事なものの概略	を 申すならば以上の如きもので御坐ります．併しな
	を	215	10	して来歴の次第を申しませう．しかし之	を 申すには西洋の小説も支那の小説も並べてお話し
	を	245	04	ては総て普通の罪人，即ち常事犯のこと	を 申すので有りまする．此の他，行政権に於て関係
	を	255	04	る迷惑で有らうと考へます．コンナこと	を 申すと警察に於ても徳川時代にはオカッピキと申
	を	109	01	に海員の或る部分は端艇に乗つて居るの	を 目撃しながら乗客にして大船に残つて居ることを
	を	012	06	けて致します演説は先づ今申しました位	を 目的と致しますことで御座います．追々お話しし
	を	221	01	向の立て方まで下等社会のものに向くの	を 目途としたものと見えます．しかし其の時代の人
	を	041	17	違ふて居る．支那では上の方に十分，権	を もたせて上の者は下の者を圧制するがよい，下の
	を	020	02	つて居る星で地球と同様に自分には明り	を 持たないで太陽の明りを借りて照つて居ります．
	を	024	02	く運動しますがいづれも自分で熱や光り	を 持たない，皆太陽から仕送りをして貰つて居るの
	を	028	15	が二つは有りますが外に惑星の様に明り	を 持たない眷属が多分有るだらうと思はれます．し
	を	044	08	ねば其れで許すのぢゃ．且法は政府が権	を もちて居るから背けば罰することが出来るが道は
	を	045	15	ぬであらうと云ふことは政府が刑罰の権	を もちて居ることぢゃ．悪い事をした人を害するに
	を	184	07	で御坐りますが，たとひ一人で多くの妻	を 持ち又は妾を置くことはせんでも若し何時でも勝
	を	143	07	小説と云ふ美術で有るから是非勧善懲悪	を 持ちこまねばならぬものとすれば真正の小説は出
	を	022	06	千七百万里で有ります．そんな大きな数	を 持ち出しても例の通り見当が分り兼ねますから難
	を	137	04	義室に於て関直彦君演説小生は妙な問題	を 持ち出して諸君のお聞きを煩はすは小説改良論で
	を	255	05	ミに人の道徳内の悪事までも探索して之	を 持ち出しました．警察に於ては法律の違反者，又
	を	004	15	さて日本人は昔から支那を貴んで其の字	を 用ひて居るから支那をお師匠さんにして居るうち
	を	008	02	多い．何が証拠かといふに安んじて漢字	を 用ひて居る人が多い．一刻も早く無くなすことに
	を	026	05	といふ大きな数が出ます．さつきの雛形	を 用ひますと海王星を太陽から三里ばかりの所へ置
	を	031	08	な星のかたまりで望遠鏡のモットよいの	を 用ひたら粒々と見ゆるもので有るまいかと云ふ疑
	を	034	15	慾の人はさうで無い，大慾の人は余り酒	を 用ひませぬ．歴史などを見ましても酒を飲まない
	を	038	14	ことで野蛮の社会では野蛮に相応した術	を 用ひて其の社会を維持し進歩を謀らねばならず，
	を	051	14	ては思へない．そんなら一旦に仮名のみ	を 用ひてモロコシ文字を廃してしまつたらドウだと
	を	052	04	い話しとして）数字の外はモロコシの字	を 用ひぬことと触れ出し一字使つた者は懲役一年，
	を	052	07	，究理のことでも歴史でもモロコシの字	を 用ひたので無ければ横文字の書物より外は無いか
	を	052	14	はもと古事記日本書紀よりこのかた漢文	を 用ひて公文は漢文で書くことになりましたが漢文
	を	053	02	はれます．もと漢学の開け始まりは漢語	を 用ひた方が上品の様なおつな習はしがあつて漢語
	を	054	15	張り経文は漢字であり，さうなると耶蘇	を 用ひなければならない．我が国は支那の本で修身
	を	055	05	がよいと言つて自分で用ひても人が仮名	を 用ひないから漢字で無ければならないといふ様な
	を	060	02	はないザンギリアタマの無い所や蝙蝠傘	を 用ひない所は少ないと云ふは必竟これ等は便利で
	を	090	09	ゝロを教ゆるもので御坐ります．基督教	を 用ひ天の光りを受けて世渡りするものは必ず種々
	を	162	09	へ商賈は車牛を牽て遠きに往き其の所得	を 用ひて其の父母を孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭
	を	234	16	々開けて今日ではギリシャローマの言葉	を 用ひないでも自国の言葉で十分，学理を説くこと
	を	244	15	ので，之を維持せむには陸軍，又は海軍	を 用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄を用ふること
	を	244	15	には陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは警察	を 用ひ，また監獄を用ふることになります．故に秩
	を	244	17	の中，内乱，外乱に関することは陸海軍	を 用ひ，日々の取締に関することには警察を用ひ，
	を	245	01	用ひ，日々の取締に関することには警察	を 用ひ，悪人取締の為めに監獄を用ふることとなり
	を	263	08	有りまして刑期の初めは厳密なる分房法	を 用ひ，其の後ち段々と改悛の情状をあらはすに随
	を	264	01	の部に於ては重もに家族法と称する方法	を 用ひます．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別を
	を	266	07	を入れまする．其の方法は最初は分房法	を 用ひ沈黙させて其の所為の悪かつたことを回想せ
	を	266	08	悟の徴をあらはしたときに至つて家族法	を 用ひまして其の模様を験しして専ら教育を施し丁

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	266	11	行いたしまする．此の所に於ては階級法	を 用ひまして最初は専ら懲戒を主として分房法を用
	を	266	12	まして最初は専ら懲戒を主として分房法	を 用ひます．而して大分，悔悟の徴をあらはしまし
	を	266	12	，悔悟の徴をあらはしました者は緘黙法	を 用ひまして昼は多くの囚徒同様の場所に於て仕事
	を	266	15	看認めらるゝときに至りましては雑居法	を 用ひまして其の模様を試験し，いよいよ改俊した
	を	267	07	まする．故に此の部の事業は必ず分房法	を 用ひなければなりませぬ．第四の出獄人授業部の
	を	089	11	坐ります．無下に賤い人でも若し基督教	を 用ひるならば進歩するの志が必ず厚くなりますれ
	を	162	06	長に戒めらるゝには惟々，祭祀は則ち酒	を 用ふべし蓋し天の我が民に酒を作らしむるは郊社
	を	006	05	へさへすれば分るだらう．また今日漢字	を 用ふるが為めに教育上実に奇々怪々なる結果が有
	を	008	13	は出来ないが若し幾年から仮名か羅馬字	を 用ふると国会設立の様にしたいといふなら明治百
	を	048	08	会様のものを為すことになり一つの法律	を 用ふる様になるであらう．尤もどれほど年数がた
	を	054	04	のものを失ふ．この用を弁するには仮名	を 用ふることを開くに如かずと思ひます．また後の
	を	131	17	今に有名なる説教師は大概皆な此の仕方	を 用ふるもので御坐ります．卒業生若しよく謹んで
	を	162	15	に過ぎた様だが乱国を治めるには重き典	を 用ふるといふことがあるから其の当時に在つては
	を	244	16	軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄	を 用ふることになります．故に秩序安寧の中，内乱
	を	245	01	には警察を用ひ，悪人取締の為めに監獄	を 用ふることとなりまする．尤も監獄には国事犯等
	を	247	15	者で有りますから此の外部の道具じかけ	を 用ふることと致します．其の第二は，教誨法即ち
	を	263	12	居りまするけれども皆な四つの中の一つ	を 用ふるだけに止ります．さて，また欧米諸国に於
	を	061	14	要する人の散歩するに方つて尚ほ人力車	を 用るあり，或は又運動を必要とする男女学校生徒
	を	221	15	した．また三馬，一九などは今日の言葉	を 用ゐて滑稽を述るのに妙を得，為永春水なども日
	を	022	07	も例の通り見当が分り兼ねますから雛形	を 以て解き明しませう．先づさつき申しました直径
	を	033	09	も辛苦されたことと見えて或は「後世酒	を 以て国を亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒は百薬
	を	033	11	は世間に数千年来行はれてありますが酒	を 以て国を亡ぼすといふ方には世間で賛成者が少く
	を	036	08	なる欲の仲間にはいつて段々諸君のお力	を 以て益々盛大にし智慧を研き身体を丈夫にし財を
	を	036	11	無いことでせう．どうか皆様のお骨折り	を 以て大慾の社会になることを希ひます．賛成いた
	を	041	04	は立たなくなる．中華と誇る国でも文明	を 以て鳴る国でも一度は彼様な風習を通りて来たに
	を	042	16	交際上におもなことで政府が道徳のこと	を 以て責めると云ふことは無い．たゞ自分の利益を
	を	043	01	ぬと云ふばかりぢゃ．然るに支那は道徳	を 以て天下を治めると云ふ三代の主義で法律は賤し
	を	055	09	らして居ります．ドウゾ皆様のお骨折り	を 以て全く仮名の世界にしてしまひ，秦の始皇の大
	を	063	08	して一千人に付き十五個の割合です．之	を 以て見れば欧米に在て車の比例は日本より素より
	を	067	14	ことが出来ませぬから諸君も今日の卒業	を 以て足れりとせず益々法律に経済に従事せられ赫
	を	069	01	箇年を待たねばならぬ訳で有ります．之	を 以て孛漏生国の司法官吏たること及び代言人たる
	を	077	09	るにも係はらず諸君が各々学び得たる所	を 以て社会の為めに利を興し害を除きますることが
	を	077	11	極とが親和する様に積極的消極的の学科	を 以て同一に社会の為めに利を興し害を除き蒼生の
	を	085	06	なれば此の演説の最初から既に弁じた所	を 以て充分の証拠を立てることが出来やうと存じま
	を	094	16	と此の憤怒の感情よりして証拠も無い者	を 以て有罪であるといふのは法理の許さない所で御
	を	095	10	すべき道があるべきのに，たゞ陳述のみ	を 以て其の裁判を畢りたるは俗に言ふ片落ち裁判で
	を	095	17	測に過ぎないことで御坐りませう．これ	を 以て謀殺に当る故殺に当るといふも其の説は取れ
	を	096	01	部との元素が無ければなりませぬ．謀殺	を 以て問ふには予謀殺意及び殺害の所為が無ければ
	を	097	07	か．この証拠蒐集のことは迚も二三の人	を 以て為し得べきことで無いから私が諸君に願ふ所
	を	104	07	この社会のみ英語を話し英文を草し英語	を 以て著述し英語を以て演説すれば我々の目的は達
	を	104	07	を話し英文を草し英語を以て著述し英語	を 以て演説すれば我々の目的は達するのであります
	を	104	11	るとにあることなれば窘に殺人罪の告訴	を 以て満足せず窘に義捐金にのみ熱心せず其の根本
	を	105	11	神戸の英国領事庁に於て開かれたる法廷	を 以て船長等の再審を為すものである」と報道する
	を	105	12	れませぬ．我輩は固より英国領事の裁判	を 以て至当なるものとは看做さず実に疎漏にして且
	を	105	14	る裁判であると思ふ．併しながら該言渡	を 以て一箇の刑事裁判の如く誤認せる論者に対して
	を	111	07	思はれる．故に我々は此の事に付て輿論	を 以て充分彼等の所業の不当なることを論じなけれ
	を	126	07	．箇様なお方にあふときは如何なる処置	を 以て成功することが出来ませうか．学術の色々の
	を	126	12	の力を疑ふことを致さずして自分の智力	を 以て総て学術に本づきたる反対論を駁つことが出
	を	126	14	と申されます．而してたゞ自分のミコミ	を 以てDarwin氏Spencer氏などの西洋
	を	127	08	ります．けれども卒業生が其の未熟な論	を 以て彼の専門家のよく熟したる論を駁つと云ふこ
	を	131	07	した本を研究して而して西洋の学者の論	を 以て西洋の学者の反対論に答へることは誠によい
	を	131	15	よくシッカリした事実を取つて而して之	を 以て其の演べる所の宗教の色々の面白い譬喩とし
	を	132	04	生は常に研究する所の新旧約聖書の明文	を 以て基督教の色々の反対論に答ふることが出来ま
	を	134	13	坐りまする．即ち世の中に於て善の勢ひ	を 以て総ての悪を止める為めに世に起された宗教で
	を	134	14	教の善を顕はして而して其の総ての行ひ	を 以て基督教に付て堅い証拠を立てねばなりませぬ
	を	162	12	へて以て宗周に送るべし我この群飲の者	を 以て死刑に処すべしといふのだ．書経には偽書が
	を	164	11	に実を吐き相告げ並に詢ふに前進の程途	を 以てす．なんぞぞ意はん英将，便に乗じ衣袋の内
	を	166	11	実の穿鑿をしない．たゞ考への上の道理	を 以て事実を見下す仕方だからモノゴトに，あては
	を	184	05	聖結婚の教即ちキリスト教に於ては結婚	を 以て神の定めたまふた律法とすることで御坐りま
	を	189	05	へて見ると事をきめるには二つ以上の頭	を 以てし，きめた事は一人の執行権者が行ふといふ
	を	190	09	は使ひませぬが外国では皇帝陛下の名義	を 以て判決すといふ言葉を使ふ所があります．また
	を	192	11	も立てられますが，ツマリ二つ以上の頭	を 以て万事を議することになつて居ります．其れか
	を	193	05	閣大臣より成り立つて居る．政府の名義	を 以てやることは天皇陛下のなされることである．

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	199	09	には及びません．さて彗星の毎日の観測	を	以て其の軌道を取り出して見ますと皆な抛物線で
	を	221	15	のに妙を得，為永春水なども日用の言葉	を	以て一家の人情本を作りましたは何れも洒落本の
	を	233	11	へは行かずに稍々程度を下くして日本語	を	以て教ふると云ふのが誠に宜しいことで有ります
	を	233	13	或る人が私に申しまするには今，西洋語	を	以て教ふる大学と云ふやうな専門学校が有るなれ
	を	233	15	も其ればかりでは仕方が無いから日本語	を	以て教ふる専門学校を起さねばならぬが其れを起
	を	234	10	得たる学理を脳髄から練り出して日本語	を	以て教ふる学校の元祖になりました．ドウしても
	を	235	03	有ります．そこで此の専修学校は日本語	を	以て教ふる専門学校の元祖で今日の如き盛大な有
	を	235	06	とを祝するので，尤も別に珍らしい言葉	を	以て祝することは出来ませぬが諸君の刻苦勉励で
	を	238	04	のになつた者のことを想像されて其の志	を	以て勉強されることを望みます．尤も今お話しし
	を	242	04	ました．因つて其の需に応じ八月二十日	を	以て副典獄，看守長，書記，看守，等凡そ四五十
	を	245	17	悪い事をした者が有れば之を罰するに刑	を	以てする其の意味はカタキウチ即ち復讐と云ふ考
	を	247	10	ませぬ．よつて監獄に於ては二つの方法	を	以て人心の改良を図りまするもので有ります．其
	を	250	07	，終りを善くする者は死亡するまで良民	を	以て終わりまする．只今，申したのは本街道で有
	を	250	10	．此の悪い道に飛び込みまする者を年齢	を	以て二つに区分いたして申し上げませう．即ち丁
	を	255	11	では有りますまい．若し，かういふこと	を	以て尊卑を定めると昔の大名の中には随分宜しく
	を	256	12	起るもので，これは日本では備荒儲蓄法	を	以て行なつて居りまする．さて貧民の救助の結果
	を	257	08	ては已むを得ず公けの救助と私の救助と	を	以て救助をしなければなりませぬ．また並みの少
	を	258	06	には別に甲乙は有りませぬ．此の二かど	を	以て救助いたしまする者に二つの種類が有りまし
	を	259	03	，救助を施しますには或ひは公けの救助	を	以てし，或ひは私の救助を以てし，或ひは私設救
	を	259	03	は公けの救助を以てし，或ひは私の救助	を	以てし，或ひは私設救助に政府，又は府県，町村
	を	259	04	府，又は府県，町村より補助するの仕方	を	以てやるべきもので有りまする．斯くの如く貧民
	を	260	03	一方にばかり偏したときには天下の財産	を	以て之を補ふとも引き足らないやうになりませう
	を	261	03	うと思ひます．其の方法は異名又は番号	を	以て行つても宜からうと存じまする．前に段々と
	を	262	14	云ひまして，これは昼間は厳密なる規則	を	以て囚徒を緘黙せしめ他の囚徒と同一の場所にて
	を	269	11	，即ち六割四分で有りまする．また年令	を	以て割合を申しますると十歳以下は百八十七人即
	を	274	04	の費用と云はざるを得ませぬ．此の費用	を	以て兵卒を養ふ者と致しまするとと三万八千人を殖
	を	274	13	に於ては千八百五十五年五月五日の法律	を	以て府県監獄費をも国庫より支弁することと致し
	を	274	16	ては千八百七十年にこれまた非常の英断	を	以て地方監獄を中央政府の直轄と定め以て大いに
	を	275	09	十四年九月十九日の太政官達第八十一号	を	以て監獄則を発表せられましてから非常の改良を
	を	040	07	が正しいので若し一人の夫が一人の女房	を	もつと却りて道に背くことになりて居る．箇様な
	を	150	12	なるものかと言ふに憲法では一国の権力	を	もつて居るもの即ち政府とか天皇とかいふものの
	を	183	07	一夫一婦といふことは公然さへ一人の妻	を	もつて居れば内証ではドウいふことをしても苦し
	を	193	11	は極新しいことであり，欧羅巴の新主義	を	もつて来て採用するやうに見えまするが天子の勅
	を	234	04	とは出来ない．まして専門学校で翻訳書	を	もつて教へるやうな先生が有つたからとて其の様
	を	259	05	貧民の救助は犯罪人の予防減少に大関係	を	もつて居りまするから此の救助の方法は監獄上よ
	を	005	13	て競争が出来るなら．甲冑を着て鎗長刀	を	持つて西洋人とイクサをするがよからう．漢字と
	を	006	12	と聞くとなかなか出来ない，いつでも本	を	持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本を見な
	を	007	03	どが地方へ巡回に出ると直に毛氈と唐紙	を	持つて来て名筆を揮はれむことを請ふを競ふ世の
	を	024	04	太陽の孫で有ります．地球の外にも眷属	を	持つた惑星が有るかと云ふに随分有る．先づ第一
	を	028	14	が子で有りませう．併し太陽系では明り	を	持つたものは太陽一つでしたが其の世界では確に
	を	028	15	太陽一つでしたが其の世界では確に明り	を	持つたものが二つは有りますが外に惑星の様に明
	を	054	02	．初学で下り而して舟を漕ぎ，畑へ弁当	を	持つて行く様になる．其れを用の弁ずるまで学ば
	を	070	05	四人で御坐いまして其の中に法学士の称	を	持つて居る人数は調べ落しましたが二十人たらず
	を	110	09	保釈を許されたといふからには現に大金	を	持つて居る人もあるに違ひ無い．これ等のことに
	を	120	05	れば各の住民は，ほとんど飲酒家の鑑札	を	持つて居る様なものだ」と述べました．またＯｅ
	を	182	10	夫一婦は即ち古より我が日本国の風で妾	を	持つ者は真の万人に一人か，千人に一人に過ぎな
	を	208	07	調べるのはヨホド易い．大抵の人が時計	を	持つて汽車の出る時に時計を見，汽車の止る時に
	を	212	08	知ることが出来ます．また金や銀や宝石	を	持つて来るかも知れませんが，古物学者などに取
	を	255	16	て有りますまい．よつて獄吏は此の趣意	を	最もよく心に銘して監獄の睨しからざることを知
	を	052	03	人があると定め其の人が仮名の会の仕事	を	尤もと思ひこんで（但しこれは我が国のことでは
	を	084	03	らば或る国の人が機械のこと学術のこと	を	専ら勉める間は其の外に種々の進歩が暫くの間止
	を	087	15	．この故に既に申し上げた通りこの聖書	を	専らに己の信仰と品行とのノリとする人はこれ等
	を	135	12	はるもので御坐ります．イヽエ，基督教	を	専らに研究しまた其の為めに励む者の趣意は決し
	を	218	12	善懲悪などと云ふ方では無くて人情の方	を	専らとして書いたので有るからドレにも男女の間
	を	224	04	ら狂言作者は学問はさておいて気転の方	を	専らとするやうになり，少し学問気の有る者の作
	を	063	01	けると云ひながら安閑として囲碁や将棋	を	弄び何の益もなきのみならず衛生に害ある囲碁等
	を	217	07	云ふ経にさう云ふことが書いて有つたの	を	基として作つたものと云ひますが，さすれば当時
	を	128	16	．頻りに色々の新らしい説，新らしい論	を	求めて風見の如くに今，不意に吹き出した所の風
	を	169	17	思ひ立つて艱難しても一身を立てたい富	を	求めやうといふ考への者のやうに見えます．其の
	を	171	02	ますから欧羅巴に行つて衣食をなして富	を	求めやうといふことはドウもむづかしいやうに思
	を	219	04	ものは無くて婦人をみそめると先づ便り	を	求めて公然と文をやり其の返書の体や歌のヨシア
	を	074	06	を興すことに付き譬へば学者ならば書物	を	求めるとか子供ならば玩弄物を買ふとか又は家政
	を	086	12	ば分るであらうかドコを探したならば之	を	求めることが出来ませうか．アヽ基督教の大切な

代表形	判	ページ	行		出現文脈	-
（を）	を	167	03	ッタリ合ふやうにしてゆくのだから事実	を	求めることが，むづかしくなり金も大層にかかる
	を	015	17	ら物さしをズット大きくして地球の直径	を	物さしにします．さうすると此の距離は三十と云
	を	001	06	名の会も大分盛大になつたに付き懇親会	を	催して参議方の御臨席を願ふに付ては其の方にも
	を	240	16	である」と他人に言ふときには良い評判	を	漏らしたる訳ではありますが，為めに競争者が出
	を	092	11	へて居て道理を知つて居る諸君において	を	や．若し諸君御銘々が耶蘇基督の高尚なる教を心
	を	144	12	だ然るべき人たちがソロソロ西洋の小説	を	訳したり又は著はしたりして参りましたがタカが
	を	209	12	私は先年フランスのＦａｙｅの彗星の説	を	訳して東洋学芸雑誌に出して置きましたが，あの
	を	276	15	まする．以上に縷陳いたしましたること	を	約説しまするに監獄の行政上の位置監獄の目的及
	を	217	03	所が中から奇麗なムスメが出たから其れ	を	養つた所が段々と美人の聞えが高くなつて言ひ寄
	を	060	10	ことを厭ひ，余地があつても桑を植ゑ蚕	を	養ふの利益をも考へず，たゞ権利とか自由とか聞
	を	257	06	啞，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之	を	養ふもので有りますが其の性質は単に救助と云ふ
	を	274	05	はざるを得ませぬ．此の費用を以て兵卒	を	養ふ者と致しまするに三万八千人を殖すことはイ
	を	004	06	人口が減らさるゝ間にも各国と共に競争	を	やつて居なくてはならない．それに平気になつて
	を	005	08	の戦争に誰か少しばかり戦争らしいこと	を	やつたのはアメリカへ留学したものでトルピドへ
	を	005	12	の有様では西洋人と競争したければ漢字	を	やつて居てはいけない．漢字をやつて居て競争が
	を	005	13	れば漢字をやつて居てはいけない．漢字	を	やつて居て競争が出来るなら．甲冑を着て鎗長刀
	を	088	13	訓いたしましたことも御坐りまして器械	を	やつたこと学校を建て教師を遣はしたことも御坐
	を	214	11	ときの外は必ず編笠を冠れ」の「アタマ	を	ヤッコにしてしまふ」などと云ふことで士は勿論
	を	074	15	を務めて除かむことを欲しまするには人	を	雇はんければならぬ．而じて其の労力に向つて報
	を	075	05	地を耕すことが出来ぬといふなら土工家	を	雇ひ或ひは水口をつけて水を去るなどといふ様な
	を	180	03	我が渇せし時，我に飲ませ旅せし時，我	を	宿らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我を見ま
	を	041	03	見ると「天然に定まりた道徳と云ふもの	を	野蛮の人は知らぬが開けて来ると漸々に其れを知
	を	117	05	酒会にはいつて居て申し訳が無い．信用	を	破つては済まないといふのが人類的の貴い欲で有
	を	116	17	つ殖えて来るからのことぢゃ．抑々約束	を	破らぬといふことはヤッパリ人類の高い欲だから
	を	116	17	ヤッパリ人類の高い欲だからドウか約束	を	破らぬやうにしたい．ドウゾ約したことは人に対
	を	126	02	近来の学術と云ふ貴い名によつて基督教	を	破らむとする者の中には一向学術を知らず，また
	を	115	14	を飲むと，やゝもすれば酒の為めに品行	を	破る．酒の為めに品行を破るやうでは人類といふ
	を	115	14	酒の為めに品行を破る．酒の為めに品行	を	破るやうでは人類といふものの甲斐はあるまい．
	を	183	15	が夫は必ずしも守るに及ばず，妻が貞操	を	破れば忽ち離別されるけれども夫が放蕩をしたり
	を	055	08	へます．其れはナゼだと申せば漢字の本	を	やめて仮名の本を読ませたくも本が無いから涙を
	を	134	13	ち世の中に於て善の勢ひを以て総ての悪	を	止める為めに世に起された宗教で御坐ります．故
	を	052	06	大決断をいたすと思ひなさい．今日其れ	を	やられては困る．さて其の焼かれた翌日は新聞を
	を	055	08	ませたくも本が無いから涙を流して漢字	を	やらして居ります．ドウゾ皆様のお骨折りを以て
	を	219	04	をみそめると先づ便りを求めて公然と文	を	やり其の返書の体や歌のヨシアシなどを考へて気
	を	048	01	日国と国との間には道徳に合はないこと	を	やるが一己人同士ぢゃとて他国の人でも国内の人
	を	052	12	書くにも甚だ困る．其の外一旦に大決断	を	やるのは宜い様で御坐りますが，いろいろまた困
	を	068	02	人は如何なる順序によつて如何なる資格	を	有するや又其の員数は如何，又其の需要と供給の
	を	068	04	ませうが孛漏生国では裁判官たるの能力	を	有するには二回の試験を要しまして第一回の試験
	を	074	16	其れを供給してもらふ人の為めには価値	を	有するので其の価値はＮｅｇａｔｉｖｅＶａｌｕ
	を	180	15	ためにはキリスト教は之に如何なる関係	を	有する者であるかと尋ぬるは最も肝要な問題で御
	を	257	13	の資本前貸しと犯罪人の予防との両性質	を	有するものでありまする．斯くの如く貧民救助の
	を	257	15	有り，又は救助と犯罪人予防との両性質	を	有するものも有りまする．よつて貧民救助の目的
	を	110	08	四千弗の保釈金を出し其の外の者も保釈	を	許されたといふからには現に大金を持つて居る人
	を	181	08	一人の夫にして一人以上の妻を有つこと	を	許さず妾を蓄るごときことは決して許さぬことで
	を	042	01	になりて居るが西洋では大いに人民の権	を	許してある．又支那では父子の間で子が親に対し
	を	185	04	なことが出来しても決して離別すること	を	許しません．尤もキリスト信徒は其の代りに妻を
	を	251	08	て悔悟遷善の徴をあらはした者は仮出獄	を	許しまして，たゞ警察上よりイクラかの監視を受
	を	263	09	悛の情状をあらはすに随つて段々に雑居	を	許して果して其の心を改良したるや否やを試みる
	を	042	11	こと，又法と云ふものは己を利すること	を	許すは固よりなれども唯其の為めに他を害するの
	を	044	16	行はれぬことぢゃ．即ち己を利すること	を	許すなれども他を害してはならぬと云ふことも矢
	を	266	16	よ改悛したるに相違ないときには仮出獄	を	許すことで有ります．第三の未決者監禁部の事業
	を	162	1-1	く群を成し相聚り酒を飲む者あれば其れ	を	縦すことなく尽く執へて以て宗周に送るべし我こ
	を	068	08	Ｒｅｆｅｒｅｎｄａｒと申します）これ	を	四年いたしまして裁判官代言人検察官に就て実地
	を	231	06	は，一人，議政は数人でやるのです．之	を	四段に分けまして上から言ひますと，天皇陛下が
	を	086	17	が御坐りませぬ．これ等の高尚なる事柄	を	世の人に委しく教ゆる為めに基督教は即ち世に下
	を	054	03	，畑へ弁当を持つて行く様になる．其れ	を	用の弁ずるまで学ばさうとすると不毛の地が出来
	を	257	09	しなければなりませぬ．また並みの少年	を	養育するのは将来に善良有益の人民を造るもので
	を	068	05	判官たるの能力を有するには二回の試験	を	要しまして第一回の試験は三年間大学に於て法律
	を	252	17	また懲戒を与へると云ふ此の三つの方法	を	要しまする．則ち監獄よりも教育だけ余計の用が
	を	061	10	ふに如何にも商業上其の他のことで至急	を	要する場合に於ては随分大いなる利益の有ること
	を	061	14	終日安居する人にして日々幾分かの運動	を	要する人の散歩するに方つて尚ほ人力車を用るあ
	を	069	05	が斯の如く多年学科上及び実地上の研究	を	要するにも係はらず孛漏生には司法官及び代言人
	を	094	07	ることであれば法律学上に於て研究する	を	要するは英吉利法で御坐りませう．併し私は英吉

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	104	09	ば我々の目的は達するのであります．之	を	要するにノルマントンの事件は悲しむ可し憤る可
	を	150	17	の法律規則また官府とかいふやうな機関	を	要する道具に関係の法律規則を言ふのであります
	を	154	02	それに付てはこれだけのスタチスチック	を	要するといふことを併せて述べて見たいと思ひま
	を	260	06	最も必要なことで，例へば一万円の年額	を	要する為めに三十万円の資本が備はつた上は其の
	を	275	16	することになりませうと考へまする．之	を	要するに我が国の現在の監獄改良は維新前の監獄
	を	070	10	万人以上多い所によつて見れば余程の数	を	要せねばなりませぬ．然るに前陳の如く僅で御坐
	を	251	17	た者は已むを得ず之を罰します．此の者	を	幼年囚と申します．此の二つの外に，まだ罪人と
	を	171	04	だらうと思ひます．迚も何十万といふ人	を	欧羅巴に移住して仕事を取り金を取るといふこと
	を	035	01	れも酒を慎んで欲の深い人で今日の行ひ	を	よく省みて智慧を研き身体を丈夫にし財を惜む欲
	を	115	10	れは外でも無い，人類といふものは品行	を	よくしなければ，ならないといふことで有ります
	を	115	13	うに，しなければならないけれども品行	を	よくしたいと思つても酒を飲むと，やゝもすれば
	を	127	14	また前に申した仕方の間違つて居ること	を	よく承知して学者が世に出す所の色々の新らしい
	を	247	17	にしなければならぬ」と云ふやうなこと	を	よく教ゆる法で有りまする．此の教誨法が有るの
	を	005	09	ける奴だか書けぬ奴だか知らぬが破裂丸	を	善く投げたり電気を善く使ふ奴が多くなればクル
	を	005	10	だか知らぬが破裂丸を善く投げたり電気	を	善く使ふ奴が多くなればクルベー如きが，いくら
	を	059	07	や海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢	を	善くし衛生に注意せらるゝので兵士の病気が減じ
	を	115	17	いといふことで第二の欲は今言つた品行	を	善くしようと，いふ欲で有りますが，ドウゾこの
	を	250	07	．丁年者は則ち良民と唱へまして，終り	を	善くする者は死亡するまで良民を以て終わります
	を	058	02	ーが曾て申しましたに「何でも総ての事	を	能く覚え能く忘れずに保存するにはオモシロミが
	を	080	14	の益になる所人の品位を上げる所のもの	を	能く養ふて盛んにするの仕方．また一つには現に
	を	085	14	人の得益になる原素，人を貴くするもの	を	能く養ひて盛んにすること．また一つは人が既に
	を	088	05	ます．これ等も亦基督教の緊要なること	を	能く顕はす故に其の中の重もなる所を申しませう
	を	088	07	分なること不完全なること劣つたること	を	能く承知して居なければなりませぬ．若し自分が
	を	088	17	進歩しやうとするならば己れの不足な所	を	能く承知しなければなりませぬ．併しながら人の
	を	090	01	れより貴いものが御坐りませぬ．基督教	を	能く心得たる人には目的が無く己れの貴いゆくさ
	を	090	15	せぬ．この浮世の荒野の中で基督の足跡	を	能く尋ね而して己れの足を之に合はして世渡りす
	を	214	14	説と云ふものは天下の真の象と真の理と	を	能く探り得る美術てあつて，かの高尚な哲学の及
	を	247	06	物に向つては其の悪いと云ふことの理由	を	能く述べませぬと到底，其の心は改まることは出
	を	058	14	た所が其の都府で下水を改良し水の通利	を	良くしてから其のチフス先生（先生ではない居候
	を	179	08	イザヤといふ預言者がキリストの御降臨	を	預言した語に「諸の谷は埋められ諸の岡は夷げら
	を	110	16	疑ひ無きを得ませぬ．故に寧ろ其の管轄	を	横浜に移し以て世人の嫌疑を避くること英国政府
	を	127	12	りませぬ．故に私もこの若い勇者の仕方	を	よしとすることは出来ませぬ．第二．また或る説
	を	088	01	せずして分らぬ御方は直に，この論じ方	を	善しと致しませぬかも知らぬけれども，この御方
	を	172	02	とになつて居ませう）外国の酒類の輸入	を	予防せしめたこと我が国の民間の教育に尽力して
	を	252	10	まして，また一方からするときは犯罪人	を	予防すると云ふのが趣意で有りまする．此の末丁
	を	256	15	ち慈恵で有りまして第二の結果は犯罪人	を	予防すること，即ち貧民を其の儘に打ち捨て置く
	を	008	15	また一つには仮名か羅馬字で綴つた文章	を	読ませるがよい．これは少しづゝ時をかくれば覚
	を	055	07	頃は楽にもなりませうが今の所では漢字	を	読ませるのは惜い月日だと思つても已むことを得
	を	055	08	ぜだと申せば漢字の本をやめて仮名の本	を	読ませたくも本が無いから涙を流して漢字をやら
	を	144	15	居り筆が流暢でも其の中には西洋の書物	を	読まない者も有る．また西洋の小説を読んだ者は
	を	131	11	ぬほどで御坐ります．たゞ一方の論のみ	を	読みまするお方はドコまでも基督教と学術との関
	を	137	16	洋のスペンサーやミル，ペンサム等の本	を	読みましたときには上下を着た人に小言を頂戴い
	を	138	08	して，ぢきに眠つてしまひました．小説	を	読みましては斯様に眠つてしまふことは出来ませ
	を	138	09	来ません．ウ／ヲタースコットの本など	を	読みまするど其の面白い話しに連れ後はドウなる
	を	141	13	常の智能力が入りまする．たとへば経書	を	読みましても其の意味通りに講じますは誰でも出
	を	164	03	々としてある．近ごろ西学考略といふ書	を	読みましたが，これは天道溯原を著述した丁韋良
	を	164	06	付て一つの話しが載つて居た．今其の文	を	読みませう．余亜丁に在り聞く数年前，法君那波
	を	220	08	ものが多いから安宅の関で弁慶が勧進帳	を	読み，箱根で工藤祐経が箱王丸に対面して赤木の
	を	131	12	は分ることが出来ませぬ．其の両方の論	を	読む者は世の中の色々の激しき論の為めに不安心
	を	213	12	字上のことで有るから其の面白みも文字	を	読む者に限り，また作者も多少の学問が無ければ
	を	138	02	がリットンやスコットのドラマやノベル	を	読めば寝ることを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふ
	を	052	07	ては困る．さて其の焼かれた翌日は新聞	を	読うと思つても新聞は無い，究理のことでも歴史
	を	145	05	う．其の中にまた和漢洋兼備の先生たち	を	撰り出して委員と致し其の委員が好いと認めた新
	を	221	05	が有つて西鶴の風により，ますます俗耳	を	喜ばせるを手柄とし専ら遊里の事態などを書いた
	を	059	14	所で人間の性と云ふものは兎角便利な物	を	悦び奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽を欲する
	を	177	07	は何の国を好み何の政体を貴び何の風俗	を	喜び職業は何々に巧みで何々に拙いなどといふ種
	を	061	04	ことで，たゞチョット見つきの良きもの	を	悦ぶのみで衛生上のことなどは夢にも考へませぬ
	を	187	03	「我心主を崇め我が霊は我が救主なる神	を	喜ぶ是れ其の使女の卑賤をも眷顧たまふが故なり
	を	187	08	「我心主を崇め我が霊，我が救主なる神	を	喜ぶ，今より後，万世まで人々我を福ある者と称
	を	071	02	す．さて今日は卒業諸君の聾出せらるゝ	を	喜んで沈黙するに忍びず斯の如く陳べますが諸君
	を	261	06	な相共に連絡しまするゆゑ各々其の釣合	を	宜しくし其の範囲をきめなければなりませぬ次第
	を	034	13	すか知れませぬが私は酒を飲んでは身体	を	弱らし智慧を鈍くし財を費すことになつて種々様
	を	174	02	死んだ数を除いたものと就籍等の増人数	を	四箇年に平均すると三十六万二千七百七十四人に

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	103	12	を感ぜらるゝに相違なし．而して日蓮記	を	読んで見ても昔しの人が物事を深く信じて疑はざ
	を	138	07	者だと思ひましたが其の意に随ひ其の本	を	読んで居りますと果して，ぢきに眠つてしまひま
	を	144	12	悦ばしいことには此の節は追々西洋の本	を	読んだ然るべき人たちがソロソロ西洋の小説を訳
	を	144	15	物を読まない者も有る．また西洋の小説	を	読んだ者は筆先が鈍し．兎角双方旨く参らぬから
	を	177	12	つたことがありますが今其の書いたもの	を	読んで，この演説をしまひませう．右は一席の演
	を	191	08	定したのでも無い．モンテスキューの説	を	読んで見ましても裁判をするは法律を執行するに
	を	235	14	で有りますが其の始めにオランダの書物	を	読んで，さうして医者になると云ふ人の辛苦した
	を	235	16	大難事は二た通りで有つた．第一は書物	を	読んで事柄を知ると云ふことが容易で無かつた．
	を	042	07	りて道と法とが分れたかと申すに道は他	を	利し法は己を利すると云ふことで分れたのぢゃ．
	を	044	14	居るものと思はれる．其れぢゃから他人	を	利して己の利益を顧みる勿れと云ふ主義も本当に
	を	045	12	る法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の人	を	利して一方の人に不利なる法律が立ちて居るのぢ
	を	042	07	が分れたかと申すに道は他を利し法は己	を	利すると云ふことで分れたのぢゃ．道と云ふもの
	を	042	09	くてはならぬと云ふことが本趣意で，己	を	利するの心を抱いてはならぬ，己を利する心はす
	を	042	09	，己を利するの心を抱いてはならぬ，己	を	利する心はすてて只管他人の為めになることをせ
	を	042	10	ならぬと云ふこと，又法と云ふものは己	を	利することを許すは固よりなれども唯其の為めに
	を	044	16	主義通りには行はれぬことぢゃ．即ち己	を	利することを許すなれども他を害してはならぬと
	を	188	11	リスではパウァーと言ひます．即ちこれ	を	立憲権力と言ひます．この立憲権力といふものは
	を	243	04	あるもので国民全体の望みを表はすもの	を	立法権と云ひ，また右の望みを執行するものを執
	を	262	10	場所で有りまする．今欧米の監獄の方法	を	略述しまするに其の方法が四通り有りまする．其
	を	139	03	もので御坐ります．併しながら此の小説	を	利用することを誤りますと随分，道徳を破壊して
	を	245	07	申す立派な道具が有りまするから幸に之	を	利用して，これ等のことをもやられる訳で万，已
	を	276	13	る．其の他，何事につけても此の大原則	を	了解しませぬと色々な害が起ることになりまする
	を	018	12	僕とタッタ二人づれで毎年太陽のグルリ	を	旅行する訳のものか，これは調べなければならな
	を	054	07	それから第三種は慰みの為めの本，それ	を	類を分けて見ますと御国より始めてモロコシ西洋
	を	064	04	ヒステリ症（俗に血の道）を発すること	を	論じましたが乗車する人ですら斯の如く心臓病を
	を	111	07	論を以て充分彼等の所業の不当なること	を	論じなければならぬと思ふ．而して将来再たび斯
	を	119	15	者が酒が人間社会に害の有ると云ふこと	を	論じたことは色々有りますが其の中にもＺｓｃｈ
	を	191	05	解し違ひたので同氏がイギリス国の制度	を	論じて申したのにイギリスには力の種類が三つあ
	を	194	04	次ぎには行政官権，行政議会，行政裁判	を	論じませう．今日は少し講旨と離れて居ることで
	を	219	10	のことや芸能のこと或ひは心ざまのこと	を	論じた所が妻とすべき女は容儀にも芸能にもよら
	を	278	05	．此の上は我が国の現在の監獄上のこと	を	論述すべきやの順序ではありまするが現在のこと
	を	105	01	と考へまする．ノルマントン号沈没事件	を	論す明治十九年十一月十八日「ノルマントン号沈
	を	119	01	．飲酒より生ずる弊害を調査するの方法	を	論ず明治十八年十二月二十日大日本節酒会の第三
	を	155	01	は先づやめませう．学問と宗教との極点	を	論ず明治十八年十月十日梅檀社員大演説会東京浅
	を	127	03	専門とする所の区域に限つて天然のもの	を	論ずる間は間違ひに陥ることは滅多に御坐りませ
	を	155	08	ト大きすぎますナ．学問と宗教との極点	を	論ずるといふのだから口はゞつたい訳さネ．極点
	を	251	14	ころで弁別心なくして行つた者は其の罪	を	論せずして，たゞ懲治場と云ふものを設けて，
	を	061	13	使用せずして事の緩急に拘らず道の遠近	を	論ぜず乗り回る様になり甚しきに至つては終日安
	を	063	15	少なくして炎暑厳寒を厭はず疾駆し風雨	を	論ぜず奔走し昼は炎天にさらし夜は湿気に触れ漸
	を	091	06	．併し人間社会の進歩は一個人と社会と	を	論ぜず一体，人の進歩を妨げて最も大いなる邪魔
	を	127	06	等の専門家が其の専門と致した所のこと	を	論ぜず色々の外の廉に移りて天地の間の道理を広
	を	191	07	つあるとも，また二つあるとも云ふこと	を	論定したのでも無い．モンテスキューの説を読ん
	を	172	04	の教育に尽力して，くれたこと耶蘇正教	を	我が民間に（大層な金を使つて）布いてくれたこ
	を	063	17	らざるに食ひ時ならざるに飲み昼夜寤寐	を	分たず実に人間たるものの得て為すべき業に非ず
	を	268	08	無かるべき筈で有りまする．普通の監獄	を	別ちますると其の第一は留置場と申しまして，こ
	を	271	12	たことだけ申し述べませう．普通の監獄	を	別ちますると第一，留置場．これは裁判所，及び
	を	107	11	とをホミサイドと申し，このホミサイド	を	分つて四種としてあります．第一種をジャスチフ
	を	177	01	うに男女の人数，年齢，職業などの種類	を	分つて其の国々にまとめ何年の調べとして五年も
	を	004	09	フランスはまだイクサを始めたといはぬ	を	分らぬことと思ふ者もあれど実はまだイクサにな
	を	247	13	き現在の地獄の苦みを受けると云ふこと	を	分らせるので有りまする．たゞ道理を講釈するだ
	を	018	14	りました，其の地球の同士は学者は其れ	を	惑星と名づけまする．いくらも有りますが最も名
	を	023	17	太陽は大きい熱い明るい玉で其のグルリ	を	惑星と言ふ世界が回つて居る．或は遠く或は遅く
	を	054	08	から第三種は慰みの為めの本，それを類	を	分けて見ますと御国より始めてモロコシ西洋の歴
	を	064	15	馬車なり何なり拵へて御覧なされ人力車	を	業として居る二十余万の人は犬馬の如き業を廃し
	を	268	10	りまする．此の所に於ては拘引したる者	を	僅かに数日の間，留め置き之を他の監獄に送り付
	を	146	08	て貰ひたいと思ひまして聊か諸君のお耳	を	煩はしたことで御坐ります．行政法大意第一回明
	を	225	07	ゞ古るめかしいことを述べて諸君のお耳	を	煩はしました．行政法大意第三回明治二十年五月
	を	137	04	生は妙な問題を持ち出して諸君のお聞き	を	煩はすは小説改良論で御坐りますが今日，世の中
	を	138	02	ットのドラマやノベルを読めば寝ること	を	忘るゝ様なことも有り飯を喰ふのが面倒な思ひも
	を	172	16	カで間違ひが無ければ我が国人は永く之	を	忘れずして恩を報ずることがあらうと思はれます
	を	216	02	て一つ二つと勘定をしながら行く中に海	を	渡つてしまつた．さて因幡の地へ上つた所が鰐は
	を	215	16	其の兎が内地の方へ渡らうと思つても海	を	渡ることが出来ない．ソコデ計略を考へて或る日
	を	217	02	竹取物語の大意は竹取の翁と云ふ人が竹	を	割つた所が中から奇麗なムスメが出たから其れを

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（を）	を	063	10	於ても五分も待つて居るときは人皆な之	を	笑ふ位の忙しき所にて日本にては五分はオロカ一
	を	113	07	ずに余り度を過すときは其の為めに身体	を	悪くするやうなことが有るので知れる．さて酒の
	を	116	09	は好きだが今まで酒の為めに大いに身体	を	悪くしたと思ふことも無く，また酒の為めに品行
	を	004	03	が競争では無い．こちらで出来ないもの	を	，あちらで善く拵へたり，こちらより上手に拵へ
	を	146	03	の儀ひはつきます．私はドッカの鼻いき	を	，うかゞつて金を集めることはイヤだ．この方は
	を	151	14	けるか如何して運転させるかといふこと	を	，きめなければなりませぬ．行政法といふものは
	を	152	09	また之を適用するに付て規則といふもの	を	，こしらへます．故に憲法と行政法とを例へて見
	を	153	02	ウいふ風に其の即位式を行ふといふこと	を	，きめる．また憲法で人民に納税の義務が有ると
	を	172	12	援み去つたことがあつて其の仕方は子供	を	，すかしたやうな所為だと譏る人もありますが，
	を	257	12	助し及び不良少年を矯正（即ち心の救助	を	）するは一時の資本前貸しと犯罪人の予防との両
	を	052	10	ふと大層な不都合が出て来て当分は手紙	を	「一筆啓上」と書く様にはいかないで仮名の運用
	を	173	03	ものまでよく知つて居て恩を知らぬもの	を	「恩しらず」だとか「不実者」だとか言ひ其の甚
	を	053	15	「み」と「る」で「みる」，其の間に「	を	」を加へて「はなをみる」といふ様に教へ其れで
をかしい	を	158	03	れは雷であの人は．あの人はと言ふと，	をかしい	が，あの雷のことに付ては論語に「迅雷風
	を	129	15	角を生えさせるもので御坐ります．実に	をかしい	ことでは御坐りませぬか．勿論，学術に於
	を	004	14	争せんなどとは，これこそチャンチャン	をかしい	．さて日本人は昔から支那を貴んで其の字
	を	156	11	テネ．いよいよ地が回ると決着したが，	をかしい	．地が回るとなると天が円いだの天が回る
をかしい	ヲ	222	16	い所で芸をしたり又は刀を使つたり又は	ヲカシイ	ことを言つて身ぶりをするもので有りまし
	ヲ	234	01	．そこで私が答へましたには其れは甚だ	ヲカシイ	ことで有る専門学校とも云ふ学校が翻訳し
をかしかり	を	178	01	をハダカにて，かけまはりしも見る人は	をかしかり	けん．コロンボスがアトランチックの海
をかしみ	ヲ	223	11	に狂言座を立てました．其の始めは踊と	ヲカシミ	とが主になつて居つたが段々と古事を取り
をば	を	026	06	から三里ばかりの所へ置きまして此の星	をば	一万九千九百里ばかりの所に置かなければなり
	を	114	13	るので其れだから，この命を惜しがる欲	をば	人類的の欲と言つて，飲食の欲の方は他の動物
をふ	ヲ	106	05	クトの第二十三節に「英国のボールド，	ヲフ	，トレード即ち商務局若しくは海事裁判所に於
ん	ん	164	11	ふに前進の程途を以てす．なんぞぞ意は	ん	英将，便に乗じ衣袋の内より紙を取りて数字を揮
	ん	157	09	てきゝませんからネ）「向後キット申さ	ん	か」「へー申しません」と誓ひを立てた．さうし
	ん	180	05	たイエス，キリストの愛では御坐りませ	ん	か．また彼のウ／キルボルフォールスやクラルク
	ん	180	08	兄弟たり」との聖書の教では御坐りませ	ん	か．殊に婦人の地位を高くしたのは全くキリスト
	ん	182	15	くほど其の割合が多くなるではありませ	ん	か．シテ見れば今の一夫一婦の風はこれが真理だ
	ん	184	01	ました．ナント無理な教では御坐りませ	ん	か．ナント不都合なことでは御坐りませんか．此
	ん	184	01	か．ナント不都合なことでは御坐りませ	ん	か．此のごとき風が行はれて居る中は決して婦人
	ん	184	16	故に係らず妻を出しても支障御坐りませ	ん	か」と問ふた時にキリストは之に答へて「元始に
	ん	142	10	，モ一つ小説の改良を計らねばなりませ	ん	が源氏物語や枕の草子の出来た頃は未だ小説が盛
	ん	142	11	は未だ小説が盛んであつたとは云へませ	ん	が武門の世となつて殆んど其の跡を絶ちズット下
	ん	143	16	．右等は未だ甚だしき猥褻でもありませ	ん	が随分人の前で読むことの出来ぬ奴があります．
	ん	144	09	力が無く眼界が狭くつてまだ見当りませ	ん	が只今の所では十銭か十五銭で買へるツマラヌも
	ん	155	06	まひに出たかつて，いゝことは有りませ	ん	が此の間からお請け合ひ申したことだから，やる
	ん	157	10	．さうして「申しませんことは申しませ	ん	が地は回ります」と言つた．実に度胸の大きな奴
	ん	157	13	回るか回らないか私には保証が出来ませ	ん	が其れから，まだ四百年にはなりませんテネ．其
	ん	182	12	知れません．成る程それに違ひありませ	ん	が今若し日本国中の人を上中下の三等に区別して
	ん	185	06	例は如何程であるか只今諳記いたしませ	ん	が恐らくは結婚が百あれば離縁が二十或は三十位
	ん	186	03	幸に我が国には其れ程のことはありませ	ん	が矢張男尊女卑の風は免れません．而して此の不
	ん	201	08	これはムツカシク言へばキリは有りませ	ん	が，譬へて言ひますと，私は封建時代から居つた
	ん	202	07	ました．其れも充分の計算にはゆきませ	ん	が多分千七百五十九年の四月のナカバには出るだ
	ん	203	05	度はカタヅをのむと云ふ程では有りませ	ん	が計算の結果は，どの位，精密にゆくかと云つて
	ん	206	01	前のＣｌａｉｒａｎｔほどにはいきませ	ん	がＰｏｎｔｅｃｏｕｌａｎｔやＤａｍｏｉｓｅａ
	ん	207	03	ても見えません．無くなつたか知りませ	ん	が全く迷ひ子になつてしまひました．ところが不
	ん	207	14	雨とはドンナ関係が有ることか知りませ	ん	が何だか無理に分らなくしてしまつたやうに思は
	ん	209	06	色々説が有りましてハッキリと申せませ	ん	が，しかし中に明りを通すと云ふ方が多くして尤
	ん	211	10	はなければなりません．確には分りませ	ん	が双六や其の外のアタリハヅレを研究する学問に
	ん	212	09	金や銀や宝石を持つて来るかも知れませ	ん	が，古物学者などに取つては金剛石や金銀にもか
	ん	157	09	は決して言ひますまいと言つてきゝませ	ん	からネ）「向後キット申さんか」「へー申しませ
	ん	159	07	が其の時分には欧羅巴の教法は渡りませ	ん	から老子と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分には
	ん	198	04	は若しお分りの無い方があるといけませ	ん	から，話しに枝は咲きますがザットお話しをして
	ん	074	15	て除かむことを欲しまするには人を雇は	ん	ければならぬ．而じて其の労力に向つて報酬の金
	ん	157	10	」と誓ひを立てた．さうして「申しませ	ん	ことは申しませんが地は回ります」と言つた．実
	ん	158	06	極点が違つて来る．其のかはり今，知れ	ん	ことはまだ知れん，まだ知れんと云つて詰めると
	ん	178	06	もなきことなれば有志の学者は講究あら	ん	ことを切望に堪へず．基督教と婦人の地位明治二
	ん	204	04	所が「これは天子の御身の上に宜しから	ん	ことが有るから功徳の為めに寺を建てて坊主の俸
	ん	182	03	なければ親子の間柄も宜しきに適ひませ	ん	し親子の間柄が宜しきに適はなければ一家が治り
	ん	156	09	たでも天球儀，地球儀，を見て地が回る	ん	だと云ふことを知つて居るが前に地が回ると聞い
	ん	157	01	つて，やかましい人が教法を握つて居る	ん	だが，日本では此の間まで宮様が教法の親方だつ
	ん	157	17	た．さうで，ごんせう．動かなくなつた	ん	だから仕方が無い．モノゴトにしろ，実際，真実

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ん）	ん	035	06	の厄介になつて，あとでは更に知りませ	ん	だつたなどといふ様なものは所謂る智慧が徳利の
	ん	120	10	ら小川町辺は商家と云ふものは有りませ	ん	だつた．其れが只今ではあの通りに商家が出来て
	ん	201	03	日と云ふことをＨａｌｌｅｙが言ひませ	ん	だつたのは，これも諸君の疑団の一つになつて「
	ん	211	16	まして少しも何も変つたことは有りませ	ん	だつたが其の時にヒトリ，イギリスの天文学者が
	ん	214	08	人に尊ばれるなどと云ふことは有りませ	ん	だつた．また演劇の俳優は誰も御存じの通り昔は
	ん	214	12	論，然るべき人とはツキアヒが出来ませ	ん	だつた．然る所，近年追々と西洋風が流行つて来
	ん	179	11	心の傷める者を医し圧制らるゝ者を放た	ん	ために世に遣されたり」と仰せられましたが千八
	ん	157	14	んが其れから，まだ四百年にはなりませ	ん	テネ．其のお弟子のガリレオ，これは支那では明
	ん	073	14	と言ふことに付ては一己説では御坐んせ	ん	で英人ＨｅｎｒｙＤａｎｎｉｎｇＭａｃｌｅｏｄ
	ん	197	08	うなものだけで，委しいことは言ひませ	ん	で有りました．今，あのことに立ちかへつて……
	ん	202	13	コからでも見ゆると云ふ訳にはいけませ	ん	でフランスやイギリスなどでは霧がかゝつて見え
	ん	207	06	ませず，私は其の頃はまだ気をとめませ	ん	で有りましたが……また話しに枝がさきますが，
	ん	138	03	が或るとき病気にて眠ることが出来ませ	ん	でしたが其の時，医者に見て貰ひました処，其の
	ん	202	01	は来ますが，どの位後れるかが分りませ	ん	でした．ところがＨａｌｌｅｙのあとに出ました
	ん	228	09	一定即ちユニテーと云ふことは有りませ	ん	でした．漸く明治の四年頃になりまして日本全国
	ん	017	17	今度は我々が太陽の家来と言はざるを得	ん	です．太陽と云ふものは非常に明るい非常に熱い
	ん	184	07	で多くの妻を持ち又は妾を置くことはせ	ん	でも若し何時でも勝手次第に妻を出して他の女を
	ん	186	15	由は種々御坐りますが細かいことは挙げ	ん	でも以上三つの教，即ち一夫一婦の教，聖結婚の
	ん	017	05	何ぞ地球の近所に居るものが有るか知ら	ん	と言ひますと我々の目につくものは太陽で有りま
	ん	093	01	せう．ノルマントン号船長の罪を鳴らさ	ん	とせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし明治十九
	ん	093	06	私は「ノルマントン号船長の罪を鳴らさ	ん	とせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし」といふ
	ん	120	15	は西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除か	ん	との骨折苦心から出た話しで有りますが日本では
	ん	157	17	さうと云つて骨を折りましたが中々動か	ん	と云ひました．さうで，ごんせう．動かなくなつ
	ん	158	06	今，知れんことはまだ知れん，まだ知れ	ん	と云つて詰めると段々に知れるやうになりませう
	ん	164	08	毛の地たり人の之を主どるなしを経略せ	ん	と欲す．一日行て亜丁に抵る英将の邀飲を被り以
	ん	164	10	曰く君今航海して此に至る果して何に往	ん	と欲するかと．時に客，已に酔郷に入り遂に実を
	ん	178	03	ンのつむりに林檎の落ちしも痛みしなら	ん	と笑ふの類に止まるは面白からう．其の頃の時代
	ん	180	14	に婦人に正当の地位と真正の幸福を與へ	ん	と企る者のためにはキリスト教は之に如何なる関
	ん	184	04	リスト教は即ち此の無理圧制を取り除か	ん	とするもので御坐ります．第二には聖結婚の教即
	ん	187	07	より我が邦にもキリスト教が漸々行はれ	ん	とする時に当つて日本の婦人方もマリヤと共に「
	ん	004	13	れにも及ばない日本人が西洋人と競争せ	ん	などとは，これこそチャンチャンをかしい．さて
	ん	144	10	沢山あります．兎に角，非凡の小説を得	ん	には小説家の資格と云ふものを高めておきたいと
	ん	200	12	た時の形ちと強ち同じ形ちにはなりませ	ん	もので有ります．丁度俳優が舞台に出ます時に男
	ん	203	13	ムヤミにこはがるやうなことは有りませ	ん	やうに，なりました．丁度二十四時間，過ぎると
	ん	143	13	が私は斯様なものを貴ぶのでは有りませ	ん	，斯様なものは之を擯斥する積りで有ります．た
	ん	158	06	．其のかはり今，知れんことはまだ知れ	ん	，まだ知れんと云つて詰めると段々に知れるやう
	ん	196	02	イヤな彗星だ」と言はれたかも知れませ	ん	，（尤も婦人方と云ふのは一般の婦人のことで，
	ん	199	07	ふことは，こゝで一席には述べられませ	ん	，若しこゝで一席で言ひ尽せます位なら失礼なが
	ん	201	17	星がジットして居ると思つてはいけませ	ん	，あるくにはあるきますが多少其れが為めに後れ
	ん	205	06	一年三度位，彗星の出ない時は有りませ	ん	，チョットして何公が死んだとか誰宰相が黜けら
	ん	206	15	ますと今度は一つで子はつれて居りませ	ん	，よくよく見るとヤハリ子も居るが大分，親とは
	ん	137	08	省には条約の改正，中々数へ尽されませ	ん	．私などは専門が法律で，職業が政事新聞記者で
	ん	138	09	ては斯様に眠つてしまふことは出来ませ	ん	．ウ／ヲタースコットの本などを読みまするに其
	ん	141	17	る先生では本当の小説の仕組は出来ませ	ん	．凡て物事と言ふものは仕組と言ふものが肝腎な
	ん	142	04	ければならぬから凡才では中々いけませ	ん	．凡そ仕組と申すものは家を建てるに致せ軍艦を
	ん	142	07	ひ其の文章が流暢なばかりではいけませ	ん	．学問が有つて非凡な人でなければなりませぬ．
	ん	142	10	れは徐々と計つて行かなければなりませ	ん	．これに付て，モ一つ小説の改良を計らねばなり
	ん	142	17	しと云ふ其の範囲を出ることは有りませ	ん	．凡そ小説と云ふものはたゞ勧善懲悪ばかりが主
	ん	143	01	ゞ勧善懲悪ばかりが主意では御坐りませ	ん	．然らば小説の本意と云ふものは何だと云ふと人
	ん	143	15	は是非排斥してしまはなければなりませ	ん	．右等は未だ甚だしき猥褻でもありませんが随分
	ん	144	13	たがタカが少数で中々満足いたされませ	ん	．小説を書く人が多数の中には和漢の古今に通じ
	ん	158	04	理学でやるのだからドウしても動きませ	ん	．其れが学問の極点でござす．今日，三十七八科に
	ん	160	02	するとタマシヒのことで，なければなら	ん	．其のタマシヒは天に上るものであらうか，死ん
	ん	177	16	を言ふ愚かなることなりと笑ふ人もあら	ん	．若し是れ等の人ありとせば，よき例あり．昔ア
	ん	178	02	木ひろひなりと見る人は通り過ぎしなら	ん	．ネウトンのつむりに林檎の落ちしも痛みしなら
	ん	180	17	の演説に論じ尽せることでは御座りませ	ん	．只私は是より其の二三の要点を挙げて婦人矯風
	ん	181	14	根本から改めてかゝらなければなりませ	ん	．もし其の根本を取り除けば其の枝に結んだ様々
	ん	182	01	なければ男女の関係が宜しきに適ひませ	ん	．男女の関係が宜しきに適はなければ決して真の
	ん	182	02	して真の文明社会を見ることは出来ませ	ん	．ナゼなれば夫婦の関係は人間道徳の基礎で若し
	ん	182	04	が宜しきに適はなければ一家が治りませ	ん	．然し一家が治らなければ家族が集つて出来た社
	ん	182	05	て出来た社会が治まらう筈は御坐りませ	ん	．それ故に今社会を改良するに最も必要なことは
	ん	182	11	に過ぎないといふ人があるかも知れませ	ん	．成る程それに違ひありませんが今若し日本国中
	ん	182	17	るに出でたことと申さなければなりませ	ん	．若し今，日本中の人に各二三人の妾を蓄る力が

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ん）	ん	183	08	も苦しくないといふことでは御坐りませ	ん	．陰陽内外の別なく神の前に在つて真実に一夫一
	ん	183	13	に於ては決して男女の区別は御坐りませ	ん	．双方共に貞操を守るの義務あるもので御坐りま
	ん	184	02	を占め真正の幸福を受ることは出来ませ	ん	．また，これから起る所の弊害不幸は何程だか知
	ん	184	03	ら起る所の弊害不幸は何程だか知れませ	ん	．キリスト教は即ち此の無理圧制を取り除かんと
	ん	184	08	ては一夫一婦の教も何の役にも立ちませ	ん	．自分の気に入らぬと云つては妻を出し，子が無
	ん	184	14	キリスト教の力に依らなければなりませ	ん	．曾て或る人がキリストの許へ来て「人は何の故
	ん	185	04	来しても決して離別することを許しませ	ん	．尤もキリスト信徒は其の代りに妻を選ぶのに最
	ん	185	05	注意して決して軽々しく婚姻は致しませ	ん	．現今，我が邦の結婚と離縁との比例は如何程で
	ん	185	08	くべく憂ふべきことと申さねばなりませ	ん	．斯様に軽々しく妻を出す風が行はれて居る中は
	ん	185	12	の一大原因であると申さねば，なりませ	ん	．而して仏法や神道は此の如きことにはドチミチ
	ん	185	14	リスト教の力を借りなければ，なりませ	ん	．第三には男女同等の教で御坐ります．前の弁士
	ん	186	01	しかしこれは日本ばかりでは御坐りませ	ん	．キリスト教の行はれぬ国では何処でも男尊女卑
	ん	186	02	尊女卑の風習の行はれぬ所は御坐りませ	ん	．印度や土耳其の婦人の事などを聞けば実に憫然
	ん	186	04	りませんが矢張男尊女卑の風は免れませ	ん	．而して此の不釣合を直すのも亦キリスト教で御
	ん	195	12	つただけでは済まなかつたかも知れませ	ん	．「ドウも凄い彗星だ，大風でも吹きはすまいか
	ん	195	14	起りはすまいか」と言つたかも知れませ	ん	．尤も，この三年前の彗星にしろ「戦争や何かに
	ん	196	02	位の考へは起した人が有るかも知れませ	ん	．婦人方などは「イヤな彗星だ」と言はれたかも
	ん	196	07	いものか，たゞして見なければなりませ	ん	．一体，この彗星をこはがるのは東洋の方ばかり
	ん	196	17	怖れるの念は滅つて来るに違ひ有りませ	ん	．夜闇い所で人に遇ひますと驚いてドロボウでは
	ん	197	05	惑星のことをお話ししなければなりませ	ん	．私はイツカ「地球の位置」と云ふ題で太陽系の
	ん	199	08	ら，はいつて大学までいくには及びませ	ん	．さて彗星の毎日の観測を以て其の軌道を取り出
	ん	199	09	と皆な抛物線で有つて楕円では有りませ	ん	．抛物線を通る彗星はドンナで有るかと云ひます
	ん	199	12	無極な遠い所にいつて再び帰つて来ませ	ん	．しかし今言ひました楕円と抛物線の関係が有る
	ん	200	16	の道によつて考へて来なければいけませ	ん	．随分厄介なもので有ります．さてHalley
	ん	203	14	で有るから，何もこはい因縁が有りませ	ん	．このHalleyの彗星は其の前にも度々出た
	ん	205	14	とは見えます．しかし肉眼では見えませ	ん	．この十一二の彗星の歴史はナカナカ面白いと云
	ん	205	15	いと云ふことですが私はさうは言へませ	ん	．なぜだと言ひますと天文学者だけは面白くつて
	ん	206	03	道を勘定しましたが抛物線では有りませ	ん	．其れならば楕円かと云ふに楕円でよく合ひまし
	ん	207	02	待つて居りましたがドウしても見えませ	ん	．無くなつたか知りませんが全く迷ひ子になつて
	ん	208	10	云ふことはたゞ旅をした位では分りませ	ん	．其れと同じことで彗星はドンナものか瓦斯体か
	ん	208	13	部分一部分に研究をしなければいけませ	ん	．彗星は大抵頭と尾と云ふものが有る．其の尾と
	ん	208	17	，至つて軽いもので有るに違ひ有りませ	ん	．なぜなれば地球は他の惑星から引かれると，感
	ん	209	02	ばつたとて地球の運動に狂ひは有りませ	ん	．また非常に稀薄なものであらうと云ふ証拠は尾
	ん	209	17	天文学はまだこの辺に進んでは居りませ	ん	．今日，天文学の駸々として進むのも其の辺です
	ん	210	02	とせし説も明日は否となるかも知れませ	ん	．これも説を述べられぬ一つの理由で有ります．
	ん	210	05	．日本では幸にソンナ風説は行はれませ	ん	．さう云ふ説の日本に行はれないのは日本人が利
	ん	210	06	が分らないから騒がないのかも知れませ	ん	．方々で「今度は世界のシマヒだから今の中にオ
	ん	210	12	行らない中に用心をしなければなりませ	ん	．しかし彗星が地球に必ず突き当らないとも言へ
	ん	210	13	が地球に必ず突き当らないとも言へませ	ん	．なぜなれば両方ともムヤミにあるいて居るもの
	ん	211	06	が無くなる位なことは有るかも知れませ	ん	．彗星が我々の所へ這入つて来ると丁度何か化学
	ん	211	08	つて地球に疫病でも流行るかも知れませ	ん	．しかし尾の中に我々が這入りこむことが有つて
	ん	211	09	ヨホド稀なことと云はなければなりませ	ん	．確には分りませんが双六や其の外のアタリハヅ
	ん	211	13	五時間が六時間，居つたに違ひ有りませ	ん	．其の時に日本あたりは昼で有つたがフランスや
	ん	212	05	，其れも地球の一部分だけかも知れませ	ん	．其のぶつつかる所の人たちの為めには実に気の
	ん	212	06	，どの位，利益にならうか測り知れませ	ん	．観測をしたくも十分に観測が出来ず，行かうと
	ん	212	10	の品物を得ることが出来るかも知れませ	ん	．しかし其の様な結構なことは滅多に無いかも知
	ん	212	10	な結構なことは滅多に無いかも知れませ	ん	．あまり長くなりますから今一言して此の講談を
	ん	157	09	「向後キット申さんか」「へー申しませ	ん	」と誓ひを立てた．さうして「申しませんことは
	ん	179	10	験しきは易くせられ人々みな神の救をみ	ん	」とあり，またキリストも此の預言者の語を引て
んずる	ん	168	12	とかイヤモウ大変で何も，かも吹き倒さ	んずる	有様でありました．西洋でも千百年の頃に天
Verbeck	V	079	03	春木町本郷一致教会会堂に於てG，F，	Verbeck	君演説只今弁ずる所の演題は「基督
	V	124	03	場東京京橋区木挽町厚生館に於てG，F	Verbeck	君演説今こゝに演説する所はおもに
〃	〃	193	13	の原則に違ひ無い．かういふことをする	〃	アーいふことをするといふのは外国の例などを見
	〃	195	07	るかなければならない用事が有りまして	〃	相手と一所に東の方に出て参りましたが，其の時
	〃	195	08	所に東の方に出て参りましたが，其の時	〃	相手と「ミゴトな彗星ですネ」と言つて互に挨拶
	〃	239	04	私は本年六月，福島県，宮城県，岩手県	〃	青森県，秋田県，山形県，新潟県の七県の監獄巡
	〃	239	06	て東京を出立いたし，福島，宮城，岩手	〃	青森に道を取り，其れより秋田を経て山形に参り
	〃	027	03	と云ふと明りの一秒時間に行く距離です	〃	明りの行くのはいくらか時を費します，若し時間
	〃	209	05	頭は説が不揃ひで明りを通すもので有る	〃	明りを通すもので無いと色々説が有りましてハッ
	〃	207	08	ります，あれのことが流星でありまして	〃	秋の頃，沢山に「ソラ飛んだ，また飛んだ」と云
	〃	239	04	六月，福島県，宮城県，岩手県，青森県	〃	秋田県，山形県，新潟県の七県の監獄巡閲の命を
	〃	106	03	商船条例即ちマーチャント，シッピング	〃	アクトと千八百五十五年に其れを改正になつたマ
	〃	106	04	改正になつたマーチャント，シッピング	〃	アクト，アメンドメント，アクトの第二十三節に

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	106	05	, シッピング, アクト, アメンドメント	, アクトの第二十三節に「英国のボールド, ヲフ,
	,	109	04	英国政府にて頒布されたパッセンヂャー	, アクト即ち船客条例の第二十七節に拠れば二百噸
	,	245	01	日々の取締に関することには警察を用ひ	, 悪人取締の為めに監獄を用ふることとなりまする
	,	195	07	カの熱帯地方に旅を致して居りましたが	, 朝, 日の出ます前にあるかなければならない用事
	,	012	08	しをあとに戻しまして日本は亜細亜の中	, 亜細亜は地球の中と云ふことが有りましたが, さ
	,	158	05	学科は今日の大体ではきまつて居ますが	, アスが日に狂ふまいものでも無いが狂ふと極点が
	,	127	14	て学者が世に出す所の色々の新らしい説	, 新らしい論, 新らしい考へなどを誠とし且喜んで
	,	127	14	出す所の色々の新らしい説, 新らしい論	, 新らしい考へなどを誠とし且喜んで受け容れます
	,	128	16	が御坐ります. 頻りに色々の新らしい説	, 新らしい論を求めて風見の如くに今, 不意に吹き
	,	004	03	競争では無い. こちらで出来ないものを	, あちらで善く拵へたり, こちらより上手に拵へた
	,	116	12	度とも二三日も続いて酒を過したあとで	, あつたから全く酒の為めだと思つて其れからは自
	,	166	12	以て事実を見下す仕方だからモノゴトに	, あてはむることは出来ませぬ. 今の学風はさうで
	,	015	03	. 唯最初の一個所だけを直に測りまして	, あとは器械で角度と云ふものを測り三角と云ふも
	,	024	03	のです. 例へば太陽は一軒の主であつて	, あとのものは其の子供だとすれば月は地球の眷属
	,	028	14	様に見えます. して見ると一つが親分で	, あとが子で有りませう. 併し太陽系では明りを持
	,	035	06	往来に酔ひ倒れて警察官の厄介になつて	, あとでは更に知りませんだつたなどといふ様なも
	,	116	11	り痛み続いて弱つたことが有りましたが	, あとで考へて見ると両度とも二三日も続いて酒を
	,	209	08	す. 中には心の所だけは堅まつたもので	, あとの尾や他の部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有
	,	275	17	りまする. 此の一つを取り違へまするとた	, あとは皆な狂つて参りまする. さて此の一つと云
	,	210	08	た. 所が彗星はナカナカ突き当らなくて	, アトで大こまりをした者も有りました. 少したつ
	,	269	02	所ありまして其の中, 六箇所が女子部で	, アトの十八箇所が男子部で有りまする. 此の所に
	,	172	13	が国人同士でもありさうなことと思へば	, あながち北亜米利加の人ばかり咎めることは出来
	,	224	12	は定めて此の弊を矯正しやうと云ふので	, 強ち西洋風を移されると云ふばかりでは御坐いま
	,	026	08	ねばなりませぬ. 箇様に遠くに居ながら	, あの通りによく見ゆるからしては余程明るいもの
	,	157	16	しても動かなくなりました. この間まで	, あの佐田介石が天を動かさうと云つて骨を折りま
	,	158	08	の人は. あの人はと言ふと, をかしいが	, あの雷のことに付ては論語に「迅雷風烈には必ず
	,	197	07	星があると云ふことをお話ししましたが	, あの時はザツトしたことで, 申さば人別をみたや
	,	197	08	しいことは言ひませんで有りました. 今	, あのことに立ちかへつて……惑星は我々の地球と
	,	205	01	です. 地球と同じやうなもので有るのに	, あのやうにこはがつた訳と云ふものは彗星の出ま
	,	209	13	して東洋学芸雑誌に出して置きましたが	, あの説を信ずれば, あれまでで有ります. が, し
	,	269	04	のもの十一箇所, 私立のもの三十四箇所	, 合せて四十五箇所ありまして, そこに居りまする
	,	269	06	立のもの二箇所, 私立のもの二十二箇所	, 合せて二十四箇所ありまして, 其の生徒の数は千
	,	273	06	五, 已決監は百六十一, 懲治監は百〇三	, 合せて四百三十九の監舎となりまする. 五箇所の
	,	014	03	一番我々の眼に着くものは大陽, 月, 星	, アマノガハなどで有ります. 其の中一番近いのは
	,	075	04	いふことをしなければならない. 其の他	, 雨がふりつゞいて田地を耕すことが出来ぬといふ
	,	207	13	, 星が隕ちて雨がふつたと云へば星は星	, 雨は雨で別々なもので有りさうなものだのに. 星
	,	171	09	平均位に行くことも出来ませう. 一昨日	, 亜米利加に行つて居る私の次男から手紙が着きま
	,	106	04	つたマーチャント, シッピング, アクト	, アメンドメント, アクトの第二十三節に「英国の
	,	030	17	或はアマノガハの外に有る星もあらうか	, あらかた先づアマノガハの中で無ければならない
	,	113	10	ぢゃといふことは誰にもよく分ることで	, ありませう. 併しながら飲食といふものは人の大
	,	147	06	) 御一所に講究して見たいといふことで	, あります. 諸君がお分りになつて居るには違ひあ
	,	132	09	カケメも無く盛んに世に生存するもので	, 有ります. この仕方は実に結構な仕方で有ります
	,	159	04	書五経を貴ぶと同じに大切のものにして	, あるものでござす. 所が東洋の方へ来ると, さうは
	,	062	04	て某はこの暑いのに人力にも乗らないで	, あるいて居るケチなヤツだなどと評するもの往々
	,	031	17	中にはいつて居るものであるかも知れず	, 或はアマノガハの外にアマノガハみた様なものが
	,	061	14	散歩するに方つて尚ほ人力車を用るあり	, 或は又運動を必要とする男女学校生徒にして僅か
	,	127	17	な教師が学者たちの色々の論を天の黙示	, 或は神の示現の如くに喜んで受け容れて而して此
	,	130	11	来不意に起つた所の新しき論または設理	, 或は一人か二人の量見によつて滅びてしまふと云
	,	201	17	がジットして居ると思つてはいけません	, あるくにはあるきますが多少其れが為めに後れる
	,	244	15	之を維持せむには陸軍, 又は海軍を用ひ	, 或ひは警察を用ひ, また監獄を用ふることになり
	,	253	04	矯正院と言はうが, 矯正監獄と言はうが	, 或ひは俗に世間で唱へる所の感化院と言はうが,
	,	255	07	属する所業, 即ち何某が酒を飲んだとか	, 或ひは躍つたとか何某に対して失敬のことを言つ
	,	259	03	施しますには或ひは公けの救助を以てし	, 或ひは私の救助を以てし, 或ひは私設救助に政府
	,	259	03	救助を以てし, 或ひは私の救助を以てし	, 或ひは私設救助に政府, 又は府県, 町村より補助
	,	260	14	当の方法が立ちました上は或ひは郡区長	, 或ひは府県知事, 或ひは内務大臣の監督を受ける
	,	260	15	した上は或ひは郡区長, 或ひは府県知事	, 或ひは内務大臣の監督を受けると云ふことは最も
	,	276	02	ぶつておけ又は道具でカラダを苦しめろ	, 或ひはハリツケにしろと云ふ如き主義でありまし
	,	176	04	出稼ぎは日本帝国を広く大きくするので	, あれば本国なる日本帝国も広く大きくなるに, つ
	,	207	07	れて流れてしまふやうなことが有ります	, あれのことが流星でありまして, 秋の頃, 沢山に
	,	209	13	出して置きましたが, あの説を信ずれば	, あれまでで有ります. が, しかし其れも信じなけ
	,	245	03	たるもので有りまして数から申しますと	, 有れども無きが如きもので有りまするから私の述
	,	026	09	よく見ゆるからしては余程明るいもので	, あんなに小さく見えても実は非常に大きく無けれ
	,	047	12	鮮の領分の巨文島を勝手に取りてしまひ	, 安南でも緬甸でも勝手のことをして実に道徳にも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	245	12	けで有りまする．これにて監獄は行政上	, 如何なる部分に属するかと云ふことは，お分りに
	,	248	02	て「ナルホドおれのしたことは悪かつた	, 如何にも教諭師の言はるゝ通りで有るから斯くの
	,	140	06	其の時代が馬琴の八犬伝を書いた時分と	, イギリスでウ／ヲタースコットがウェバリーノベ
	,	211	16	とは有りませんだつたが其の時にヒトリ	, イギリスの天文学者が夜あかしをして居つた所，
	,	226	16	ことはフランス語でオートリテーと云ひ	, イギリス語でオーソリチーとか云ひます．行政議
	,	226	17	ふことはフランス語でコンセイユと云ひ	, イギリス語でカウンシルと云ひます．この二つの
	,	274	15	いに改良を施すことが出来ました．また	, イギリスに於ては千八百七十年にこれまた非常の
	,	101	16	ふれば日本人民はヤマアラシの様である	, 英吉利人は獅子の様な勇がある，魯西亜人は虎の
	,	166	07	半分は分つて居る様なもののこれから後	, 幾年あるといふことは分りませぬ．人間はドコま
	,	173	05	ことを好んで退くことをいやがるタチで	, イクサは嫌ひで平和親睦しやうといふ気風があり
	,	005	10	善く使ふ奴が多くなればクルベー如きが	, いくらクルベーでも構はない．支那の今日の通り
	,	082	09	歩を成就することが出来ませぬ．たとひ	, イクラ人の智慧が開けても学術が盛んになつても
	,	272	03	丁年）を懲治する所でありまする．第四	, 已決監．こゝには懲役の刑，及び禁錮の刑に処せ
	,	272	14	大臣之を直轄し，留置場，監倉，懲治場	, 已決監は東京府に於ては警視総監，其の他の府県
	,	273	06	の中を区別しますると未決監は百七十五	, 已決監は百六十一，懲治監は百〇三，合せて四百
	,	273	14	すると，未決者は一万四千二百二十二人	, 已決囚は五万六千〇四十二人，懲治者は百二十一
	,	138	04	て眠ることが出来ませんでしたが其の時	, 医者に見て貰ひました処，其の医者先生の申すに
	,	276	05	る．故に維新前は棒罰と云ふ主義であり	, 維新後は自由剝奪と云ふだけの主義でありまする
	,	218	06	同体の仮名文だからで有りませう．さて	, 伊勢物語，源氏物語などはイサゝカ有つたことを
	,	012	17	さりながら考へた程大きいものでは無い	, 至つて小さいものと私は申します．直径は一番大
	,	208	17	で有る，稀薄なもので有ると分つて居る	, 至つて軽いもので有るに違ひ有りません．なぜな
	,	203	10	る間は彗星と云ふものは極遠から極遠に	, 一時のお客で有つて，チョイと来てすぐ帰る，其
	,	246	16	しめることをすると，訳が分らなくつて	, いぢめられるやうになつて其の心は益々ねぢくれ
	,	006	12	主義はドウかと聞くとなかなか出来ない	, いつでも本を持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をす
	,	033	16	て人間社会の大事業を企つる時などには	, いつでも酒が媒になりまして新聞紙などにも，い
	,	033	16	でも酒が媒になりまして新聞紙などにも	, いつ何会が盛会であつたとか大変な愉快であつた
	,	045	02	．僕の考へでは今日行はれぬのみで無く	, いつまでも極十分には行はれぬであらうと思ふ．
	,	053	10	も有ります．たゞ気を長くばかりしては	, いつまでも事は出来ませぬ．また，せいてもいけ
	,	205	03	彗星の出た時にはかう云ふことが有つた	, イツ彗星の出た時はかう云ふ災が有つたと，イツ
	,	205	03	ツ彗星の出た時はかう云ふ災が有つたと	, イツでも前のことを証拠に引いて，こはがつたの
	,	205	08	キット有りませう．丁度同じ位なもの故	, イツもイツも彗星の出る度ごとに災が有ると云つ
	,	115	09	に対しても言訳が無いで有るまいか．今	, 言つたのは身体に付て言つたことだがモウ一つ人
	,	221	14	劇場でするやうになりました．また三馬	, 一九などは今日の言葉を用ゐて滑稽を述るのに妙
	,	268	06	は軍事のものにせよ，普通のものにせよ	, 一切変つたことは無かるべき筈で有りまする．普
	,	063	07	百六十にして人民千人に付き五個の割合	, 一千八百八十年に於ては四十六万三千個にして一
	,	109	06	下は四艘，八百噸以上一千噸以下は五艘	, 一千噸以上一千五百噸以下のものは六艘の端艇を
	,	276	12	ましたときには其の自由を剝ぐことが今	, 一層長くなるだけの罰に止めて然るべきことと考
	,	002	03	の仰せ．私は別に見込は無いと申したら	, 一体お前は元の「かなのとも」で有るか又は何で
	,	161	06	などは酒の池，肉の林を造つたといふが	, 一体，紂王といふ人はムヤミなことをする人で孕
	,	264	03	百人の囚人あれば之を二十人づゝに分ち	, 五つの家族の如きものをこしらへて其の各家族に
	,	248	01	始めて己れの所業の悪かつたことを覚り	, 一方では懲戒法で苦痛を受けると云ふので，此に
	,	002	15	嫌ふといふはまた如何なる訳ぞといふに	, いづれも方にも定めし御存じで御坐りませうが抑
	,	124	04	卒業生の為めに致すもので御坐りますが	, いづれの学校の生徒たる者も皆多年勉強して終に
	,	100	03	決して彼の様な事件は起らぬ筈であらう	, 否な斯くの如き挙動は人情の上ドウしても出来あ
	,	114	14	じて有るから動物的の欲と言ふぢゃ．今	, 犬猫に向つて棒をふり上ぐれば，すぐに逃げるの
	,	201	12	した人はたゞチョット見てくれます位で	, 威張つた人になるとテンデ見向きもしないことが
	,	200	08	の大きさがどの位と帳面にとめて有つて	, 言はば人相書のやうなものが有らうから先のと今
	,	257	10	は誰が出しても救助と云ふものでは無く	, 言はば資本の前貸しで有ります．之と同じく貧病
	,	220	16	より浅井了意が東海道名所記などを作り	, 井原西鶴が一代男や一代女などを作り其の他，色
	,	033	17	会であつたとか大変な愉快であつたとか	, いふことが見えて居ります．また日本ばかりでな
	,	113	13	にも通ずるもので至つて必要なものだと	, いふことは分りきつたことだが其の必要なもので
	,	114	05	が人類は人類の手で食物をこしらふると	, いふことが有るから飲食にも結構なものが出来る
	,	114	16	食へば身体が悪くなるとか善くなるとか	, いふやうなことは犬猫には分らない．して見ると
	,	115	17	第二の欲は今言つた品行を善くしようと	, いふ欲で有りますが，ドウゾこの人類的の欲が動
	,	153	09	二位だとか，また侯爵だとか伯爵だとか	, いふのは行政法で定めるのです．其れから人民の
	,	159	15	ます．そこで天主が一時にこしらへたと	, いふことは出来ますまい．アチラでも，さういふ
	,	172	08	尤も条約改正に第一の同意者となつたと	, いふことは風聞ですから，よくは存じませぬ．ま
	,	175	07	て，むづかしいことも，やりとげやうと	, いふので額に汗を流して骨も折る．家族でも子が
	,	218	17	は夢にも無い．しかし能く味つて見ると	, 云ふに云はれない面白みの有るのは今の学者の云
	,	241	04	ばなりませぬ．所有権の点に於ては無論	, 言ふを得られぬものと存ぜられます．尤も私の巡
	,	137	06	ありましたが演劇改良其の他家屋の改良	, 衣服の改良，女の髪の結ひ様の改良，また自由党
	,	125	03	めの邪魔になるもので御坐ります．勿論	, 今この一席の間に其の色々の邪魔と妨げをチャン
	,	187	09	主を崇め我が霊，我が救主なる神を喜ぶ	, 今より後，万世まで人々我を福ある者と称ふべし

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	192	10	たしまた元老院といふものもありますし	, 今に国会も立てられますが，ツマリ二つ以上の頭
	,	196	06	知らなくつて「こはい」と言つたものが	, 今では理屈を知らなくつて「何でもない」と言ふ
	,	200	17	Ｈａｌｌｅｙの曰く「前々の順でゆけば	, 今から七十何年後には同じのが出て来るに相違な
	,	233	13	ふのが誠に宜しいことで有ります．丁度	, 今から十年余も前で有りましたらうが或る人が私
	,	268	16	正院即ち感化院で有りまする．ところで	, 今仏国に於ける千八百八十一年（明治十四年）十
	,	275	07	つたり，また拷問などを致しまするので	, 今から考へまするト野蛮の方法であつたには相違
	,	128	04	為めに学者が仮りに設ける所の色々の論	, 未だ学者たちでさへも学術の事実とせぬことが多
	,	133	12	本人が「イヽエ，さうでは御坐りませぬ	, 未だ基督教を聞いたことは御坐りませぬ，けれど
	,	174	06	字はシャレ骨のやうで見ても面白くない	, イヤなものですが之に銭といふ皮肉を附けて見る
	,	169	03	が国の人心が印度や支那の旧物に倦んで	, いや気が起つた頃に其の自由心が世界の開化に仲
	,	102	05	れが即ち軽蔑を受ける一つの原因である	, 賤しみを受くる所以でありまする．日本の国情が
	,	266	15	は雑居法を用ひまして其の模様を試験し	, いよいよ改悛したるに相違ないときには仮出獄を
	,	052	13	大決断をやるのは宜い様で御坐りますが	, いろいろまた困難のことも起つて来る．其の訳は
	,	053	07	で言つた様になる．さういふ所からして	, いろいろ今秦の始皇にやられては不都合が有ると
	,	090	04	人の進歩を助くるには人の導きになる教	, 色々の教訓が余程大事なもので御坐ります．若し
	,	168	01	さい，日本はヤミになりませう．其の外	, 色々ありませうが先づそんなものです．世が開け
	,	189	16	といふことになつて居る国もあり其の他	, 色々ありませう．其れで，この執行権の方になり
	,	204	06	Ｌｏｕｉｓオヒトヨシは大心配をされて	, 色々くだらないことをするやら何やらして其の疲
	,	220	17	西鶴が一代男や一代女などを作り其の他	, 色々の作が出来ましたが其の言葉つきから趣向の
	,	002	04	ねで有りました．私は「かなのとも」か	, いろは会か，そんなことは知らないが私のはいつ
	,	002	05	ふので其れが「かなのとも」であつたか	, いろは会であつたか知らない．そんならナゼ月の
	,	164	13	て纓を解く可しと．英将従容として言て	, 曰く惜む君の謀る所已に晩し余早に兵艘三隻をし
	,	239	04	郎君講演私は本年六月，福島県，宮城県	, 岩手県，青森県，秋田県，山形県，新潟県の七県
	,	239	06	汽車にて東京を出立いたし，福島，宮城	, 岩手，青森に道を取り，其れより秋田を経て山形
	,	241	05	宮城県の旅宿の取扱が丁寧で有つたとか	, 岩手県の山景は麗しく有つたとか云ふやうなこと
	,	250	11	ち丁年以上の者が悪い事をすると不良民	, 所謂る罪人となりまする．此の不良民は其の儘に
	,	114	13	命を惜しがる欲をば人類的の欲と言つて	, 飲食の欲の方は他の動物にも人類にも通じて有る
	,	139	15	さんまでが其のクシャミの仕様までをも	, うかゞつて居ます．フランスのビクトルヒューゴ
	,	146	03	償ひはつきます．私はドッカの鼻いきを	, うかゞつて金を集めることはイヤだ．この方は利
	,	022	04	球より遠いものも有れば近いものも有り	, 内の方を通つて居るものも有り外の方を通つて居
	,	173	08	は実にドコまでの度合ひに及ぶか定めて	, うまい味ひがあらうと思はれます．かつえたると
	,	059	14	のは兎角便利な物を悦び奇麗な物を愛し	, うまき物を好き楽を欲するものでありますから（
	,	247	01	し申さう」と云つて直ちに其の膝の下に	, 生れたばかりの赤子を入れて圧しつぶすと云ふこ
	,	261	11	院，又は養育院の如きものの管轄と致し	, 生れて未だ身体の動作も充分ならざる子供の部分
	,	020	11	たが火星を見ますと陸も有れば海も有る	, 海が有れば蒸発気が有るから雲も有る訳です，又
	,	038	03	日本国民は日本国民と云ふ一つの有機物	, 英国国民は英国国民と云ふ一つの有機物で有るこ
	,	100	10	同胞は羅馬人の如く尊敬されざるは勿論	, 英人の如く尊敬さるヽこと無く米人の如く尊敬さ
	,	024	12	しか見えませぬ．太陽は親父で惑星は子	, 衛星は孫であります．其の中で地球は第何番の子
	,	245	06	政権に於て関係いたしまることは土木	, 衛生，勧業，教育，等沢山に有りまする．然れど
	,	245	09	ればなりませぬ．と申して私は何も土木	, 衛生，勧業，教育，等は一切，行政権で関係して
	,	278	11	取締法，役法，囚徒取扱法，工銭，給与	, 衛生，構造，教誨などに関することは学術上論究
	,	065	08	淘汰し健康に害あるものは速に之を除き	, 益あるものは力めて之を奨励し以て我が国民の健
	,	036	10	ても決して吝嗇になるといふのでは無い	, エコノミーの大主義でよくためて，よくつかふが
	,	079	03	本郷区春木町本郷一致教会会堂に於てＧ	, Ｆ，Ｖｅｒｂｅｃｋ君演説只今弁ずる所の演題は
	,	124	03	業式場東京京橋区木挽町厚生館に於てＧ	, ＦＶｅｒｂｅｃｋ君演説今こヽに演説する所はお
	,	033	13	者が多い．我が邦では子が生れるにも酒	, 縁組をするにも酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒，喪
	,	213	10	御坐います．さて小説は文章で書くもの	, 演劇は立ち働いて見せるものと云ふ差別が有りま
	,	224	15	て離れないことと思はれます．さて当今	, 演劇は申すに及ばず小説とても改良論が盛で有り
	,	002	01	した．一面識もないお方では有りますが	, お目通りを致した所，別のことでも無い，お前は
	,	171	04	村落とかいふものの見世物になる位では	, おしまひだらうと思ひます．迚も何十万といふ人
	,	245	12	，如何なる部分に属するかと云ふことは	, お分りになりましたらうから，こヽに於て監獄の
	,	264	12	しめ其の再犯を防ぐ所で有りまする．今	, 欧米の監獄専門家の意見と其の各国に於て施行し
	,	235	10	は少なくして幸福を得ることは思ひの外	, 多いに就ては今の学問をする人は昔の人の難儀を
	,	035	12	とでも無い「大いなる社会は大いなる欲	, 大いなる欲は大いなる社会」といふことで即ち「
	,	036	01	ソヒーでは「大いなる社会は大いなる欲	, 大いなる欲は大いなる社会」と言ひますが若し「，
	,	036	02	が若し「大いなる社会は大いなる酒好き	, 大いなる酒好きは大いなる社会」と言つては通り
	,	036	04	ですが「大いなる社会は大いなる酒好き	, 大いなる酒好きは大いなる社会」では実に可笑く
	,	275	02	，並びに保護でありまして，これは近来	, 大いに進歩いたしました．殊にアメリカにては幼
	,	195	13	たかも知れません．「ドウも凄い彗星だ	, 大風でも吹きはすまいか，又は地震が有りはすま
	,	025	13	見えても実は非常に大きいかも知れない	, 大きい小さいの争ひは例の距離の知れた上でなけ
	,	027	17	見ゆる星は小さいものが近所に居るのか	, 大きなものが遠くに居るのか知れるものでは無い
	,	028	12	すが望遠鏡で見ますと二つに分れて見え	, 多くは一つは大きく今一つは小さく，かたつ方が
	,	116	06	ると，なるたけ酒を飲まないやうになり	, 多く飲む者も少なく飲むやうになり随つて身体も

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	022	11	十間で地球より少し小さいですけれども	, 大凡は地球と同じと言つても宜しい．其の次ぎは
	,	194	05	はありましたが順序の為めに申し上げて	, おきますのです．彗星の話明治十八年十月十六日
	,	211	15	其の時分寝て居る者は知らずに寝て居り	, 起きて居る者も起きて居りまして少しも何も変つ
	,	223	05	念仏踊だのヤヽ子踊だのと云ふ踊の間に	, お国は男の姿に出たち夫の三左衛門は女に出たち
	,	257	02	然の貧民で有りまして，例へば盲人，聾	, 唖，癈疾，不具者，等で第二の種類は社会上の貧
	,	257	06	す．而して天然の貧民に属する盲人，聾	, 唖，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之を養ふも
	,	258	01	つの種類が有りまして第一種は盲人，聾	, 唖，癈疾，不具者にして親族の救助し能はざる者
	,	261	11	となる恐れなき天然の貧民即ち盲人，聾	, 唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又は養育院
	,	098	05	草井生村楼に於て高田早苗君演説「あな	, おそろしきかな，おそろしきかな，おそろしきか
	,	098	05	高田早苗君演説「あな，おそろしきかな	, おそろしきかな，おそろしきかな，心は之を思ふ
	,	098	05	あな，おそろしきかな，おそろしきかな	, おそろしきかな，心は之を思ふに堪へず口は之を
	,	211	13	リアリと彗星の尾の中に五時間が六時間	, 居つたに違ひ有りません．其の時に日本あたりは
	,	205	13	．諸君は其れならば見えさうなものだと	, おつしゃるでせうが見えることは見えます．しか
	,	250	14	者の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは	, おつつかないから何か道具じかけの懲らしめを与
	,	167	07	く分らぬことだが段々気が付て来たから	, おつつけ分るやうになりませう．宇川さんだつて
	,	162	01	れに感じたものと見えて殷を亡ぼして後	, 弟の康叔を衛に封じたときに酒誥といふものを作
	,	042	09	しなくてはならぬと云ふことが本趣意で	, 己を利するの心を抱いてはならぬ，己を利する心
	,	042	09	意で，己を利するの心を抱いてはならぬ	, 己を利する心はすてて只管他人の為めになること
	,	002	02	お目通りを致した所，別のことでも無い	, お前は仮名の会の会員ださうだが見込を聞きたい
	,	062	12	庫を背負ひ足には俎板然たる木履を穿ち	, おまけに頭にはパクパクして蝦蟇の様な島田や鍋
	,	163	17	まじいものだが酒を嗜んで昼夜酣飲して	, おまけに善く飲む者があれば卑賤から取り立てヽ
	,	237	15	無いことで骨の折りよい所へ骨を折つて	, オマケに己れの大利益となることだから申し分は
	,	043	05	其れ故政府の上でも矢張り道徳のことが	, おもになりて居る様ぢゃ．其れぢゃからドウも本
	,	108	16	たときドチラに避けやうといふときには	, おもなる人の避け方に気を付けて必ず其の人の避
	,	125	13	ぬ．基督教の色々の反対論といふものは	, おもに学術と基督教との関係また其の合ふこと合
	,	080	03	つけて見れば其の中に種々の大切な事実	, 面白い事柄また肝要な道理が含まつて居ると存じ
	,	206	16	，よくよく見るとヤハリ子も居るが大分	, 親とは離れて居つたので，先づスダチしたと云ふ
	,	269	10	殺，放火，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食	, 親不孝，其の他のもので有りまして其の中，最も
	,	257	04	を欠く者（即ち壮健なる貧民），貧病人	, 及び家庭教育の足らざるが為めに心の人なみにな
	,	266	10	俗に監獄と申しまする所，即ち地方監獄	, 及び中央獄に於て執行いたしまする．此の所に於
	,	266	17	の未決者監禁部の事業は警察署の留置場	, 及び各地方の未決監則ち監倉と申しまする所に於
	,	271	13	ちまするど第一，留置場．これは裁判所	, 及び警察署に属するもので，未決者を一時留め置
	,	272	03	する．第四，已決監．こヽには懲役の刑	, 及び禁錮の刑に処せられたる者を拘禁して置きま
	,	272	04	する．第五，集治監．これは徒刑，流刑	, 及び禁獄の刑に処せられたる者を集治する所で有
	,	272	06	する．本地の集治監は徒刑，流刑，禁獄	, 及び旧法の懲役終身の者を集治いたしますので，
	,	274	02	る．今，其の費用を見まするど国庫支出	, 及び地方税支弁にて明治十七年度は三百四十六万
	,	274	12	と云ふ事柄が今日の文明世界に於て政府	, 及び学者の務むるところとなつて居りまする．フ
	,	275	02	せぬ．また其の次に重もなる者は幼年囚	, 及び不良少年の教育，並びに保護でありまして，
	,	275	03	たしました．殊にアメリカにては幼年囚	, 及び不良少年の教育，並びに保護は実に盛大なる
	,	275	13	ませぬ．また近頃は感化事業即ち幼年囚	, 及び不論罪懲治者，並びに出願懲治者の教育保護
	,	168	07	入り来つたのは三百年ばかり前に葡萄牙	, 和蘭の渡来に始まつたが其の頃は世界開化の勢ひ
	,	048	15	での間は各国が何分にも社会を異にして	, 居るから其の間に道徳の十分行はれる道理が無い
	,	092	05	ますから先づこヽに擱きませうけれども	, 終りに一言を申したう存じます．この演説の初め
	,	250	07	まする．丁年者は則ち良民と唱へまして	, 終りを善くする者は死亡するまで良民を以て終わ
	,	137	06	演劇改良其の他家屋の改良，衣服の改良	, 女の髪の結ひ様の改良，また自由党などに言はせ
	,	223	09	ちとも云ふべきもので有ります．其の後	, 女歌舞伎，若衆歌舞伎などと云ふものか有りまし
	,	168	12	ても戦ふとか何とかイヤモウ大変で何も	, かも吹き倒さんずる有様でありました．西洋でも
	,	210	01	ます．昨日の定説も今日はすたり，今日	, 可とせし説も明日は否となるかも知れません．こ
	,	076	15	判然と参るもので無い．利で無ければ害	, 害で無ければ利で着物の裏表の様に離れないもの
	,	019	14	言つたもので有ります．其の後ち天王星	, 海王星と言ふものが発見になりましたが其れの中
	,	023	06	分の玉で距離は一里二十六丁の処にあり	, 海王星は三寸八分の球で太陽を距ること二里二十
	,	023	13	から一万里を小さいと言つたのでは無い	, 海王星の距離などに比べると実に言ふに足らぬ位
	,	176	02	であらうと思はれます．我が国人も近来	, 海外出稼ぎのキザシがありますから追々勇み進ん
	,	230	05	一つの軍管を置いて全国を七軍管に分ち	, 海軍では全国を五つの海軍区に分ち各海軍区に一
	,	266	12	主として分房法を用ひます．而して大分	, 悔悟の徴をあらはしました者は緘黙法を用ひまし
	,	171	15	利加合衆国人が我が国人に対して我が国	, 開港の先導者となつたこと我が国，の第二海外貿
	,	193	02	人と言ふに政令二途に出でざるが為めで	, 外国でも執行権者が幾人もあつたことがありまし
	,	137	07	良，社会の改良，法制局には法律の改良	, 外務省には条約の改正，中々数へ尽されません．
	,	244	17	とになります．故に秩序安寧の中，内乱	, 外乱に関することは陸海軍を用ひ，日々の取締に
	,	225	05	ば迚も改良の効は顕はれますまい．さて	, 改良のことに付ての可否討論などは世間に高論者
	,	034	06	したが段々に開けて来て月といふものは	, かういふもので決して兎が餅を搗いて居るでは無
	,	114	09	といふことは一と通りは知つて居れども	, かうすれば自分の命に利が有るか害が有るかとい
	,	114	12	害にならぬといふことは能く分る．さて	, かうすれば命に利が有る，かうすれば害が有ると

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	114	12	く分る．さて，かうすれば命に利が有る	, かうすれば害が有るといふことを知るは人類に限
	,	114	16	ふことは知つて居るからのことなれども	, かういふものを食へば身体が悪くなるとか善くな
	,	133	06	に明かに記して御坐ります．故に昔より	, かういふ格言が御坐りました．「基督教の為めに
	,	156	13	テ．実に大変革でごす．三百年このかた	, かういふになりましたが，これはコペルニカスと
	,	166	14	ゴトの道理がタシカで「ハヽアなるほど	, かういふ訳だナ」と誰でも信じるやうになつて来
	,	252	02	で有りまして未だ罪人では有りませぬが	, かういふ者は先づ両親等に於て其の懲治を掌りま
	,	255	11	て賤しめるものでは有りますまい．若し	, かういふことを以て尊卑を定めると昔の大名の中
	,	023	01	ふ程ありますが其れでおしまひでは無い	, 化学の元素よりは甚だしく毎年いくつも発見され
	,	054	08	国より始めてモロコシ西洋の歴史，理学	, 化学，最も入り用なのは算術，算術も仮名ばかり
	,	155	13	理先生は十七八，数へたネ．数学，星学	, 化学，地質学（中々覚へて居られないから書いて
	,	028	05	立した明りは一万年から三万年ばかりも	, かゝらなければ地球まで来ない．三万年の昔こん
	,	228	03	帝国の中に，また諸侯国が何百か有つて	, 各諸侯国で租税を異にし裁判を異にし法律規則を
	,	231	09	政事務を部分けして担任して居りまして	, 各大臣の側らに専門の議会を置きます．例へば内
	,	129	13	故にかの旧約書は遂にドウなりませうか	, 斯の如き論によつて基督教が遂に滅びてしまふの
	,	252	03	於て其の懲治を掌りまするけれども元来	, 斯くの如き子供があるのは則ち両親の家庭教育が
	,	220	02	交つては居らぬかと思はれる．既に先日	, 学士会院でも重野先生が太平記と云ふものは児島
	,	141	15	にはなれまいと思ふ鈍才の者が思ひの外	, 学者になつたものも有る．併し是等はたとひ学問
	,	129	16	をかしいことでは御坐りませぬか．勿論	, 学術に於ては鬼の角をぬきとるの効力が御坐りま
	,	234	17	の言葉を用ひないでも自国の言葉で十分	, 学理を説くことが出来るやうになり，ギリシャロ
	,	177	17	呼びつゝシュラキセの市中をハダカにて	, かけまはりしも見る人はをかしかりけん．コロン
	,	051	10	るにこの月は会員が二千何百人になつた	, かしこの誰が会員になつた，して会費が如何程に
	,	155	12	たネ．この間も大学の総理先生は十七八	, 数へたネ．数学，星学，化学，地質学（中々覚へ
	,	027	07	ど走りますから地球のかたつ方の端から	, かたつ方の端までゆくに瞬きをする程の時間はか
	,	028	12	え，多くは一つは大きく今一つは小さく	, かたつ方がかたつ方を回つて居ます．丁度地球が
	,	220	14	画入の慰み本が出来ました．かの桃太郎	, カチカチ山，舌切雀などの話しも此の頃に出来た
	,	264	05	が教育の世話もし，また感化にも尽力し	, 且職業の教育をも施しますことになつて居ります
	,	230	07	置いてあります．其の外，裁判区山林区	, 学区など色々あります．其の外，行政上で無形人
	,	250	13	を学校へやつて其の心を改めさせたいが	, 学校では他の善い者の害を為し且つ学校の講釈ぐ
	,	001	09	ことなれば此の機会失ふべからず．一体	, 仮名の会員になつて居るのは考へが有るからのこ
	,	002	09	い，そこで月の部にはいつたまでのこと	, 仮名遣ひなどはドウでも構はない．ナゼそんなら
	,	006	01	治家は政治のことより外には取り合はず	, 仮名の会の凝り固まりは外のことには構はず夢中
	,	218	10	見えます．其の時分には男は漢文で書き	, 仮名文は女が書いたもので御坐います．ソコデ物
	,	002	10	でもよい片仮名でも平仮名でも構はない	, 仮名遣ひを改めようがドウせうが漢字を廃さうと
	,	120	02	れ等は表に見ゆるから予防をすることも	, かなへますが酒疫の方は内心に起るもので有つて
	,	145	13	がかゝつたとか何とか云ふので思ひの外	, 金のダシテが有つて私も一万円私も二万円を出し
	,	126	04	ば箇様な人は未だイロハを知らざる中に	, かの貴い古事記，万葉集などを批評し且非難せむ
	,	132	06	思ふ所の敵が多う御坐りましたけれども	, かの敵の色々の働きは水の外面に文字を書き或は
	,	133	14	御覧なされましたか」と問ひましたれば	, かの役人が答へまするに「私は内に随分，奉公人
	,	133	16	を起したものになりました．が其れから	, かの者が全く外の人になつたやうに，まるで変つ
	,	133	17	ましたので御坐る．昔は極軽い事柄をも	, かの人に任せることは出来なかつたれど今，我が
	,	136	02	に見えます．けれども遂に二階に上つて	, かの庭の景を見下すならば誠に面白いもので有り
	,	214	14	と真の理とを能く探り得る美術てあつて	, かの高尚な哲学の及ばない所をも識り得ると云ふ
	,	218	12	先づ婦人の心得になるやうに作つたので	, かの勧善懲悪などと云ふ方では無くて人情の方を
	,	106	15	廷であります．想ふに去月二十四日の晩	, 彼の紀州大島沖に於て沈没しました彼のノルマン
	,	273	04	治監，即ち中央監獄は東京，宮城，三池	, 樺戸，空知の五箇所でありまする．また，其の中
	,	124	13	によつて見れば伝道の為めに働く者は皆	, 神と共に働くもので御坐ります．なんと全智全能
	,	165	16	等権利など一偏の道理を説く学派もあり	, 神は造物内にもあれば人も神の一だといふ学派も
	,	143	13	私は斯様なものを貴ぶのでは有りません	, 斯様なものは之を擯斥する積りで有ります．たと
	,	159	17	あるにもせよ，また極楽があるにもせよ	, カラダが行くではあるまい．カラダは土になるか
	,	273	11	申しまするものは徒刑，流刑の者を一時	, 仮りに留め置いて追つて島地の集治監に差し回す
	,	183	17	もいふことが出来ず，たゞ出来ぬのみか	, 彼れ是れいふのは却つて悪いことになつて居まし
	,	223	02	で有りませう．足利の始めに観世氏の祖	, 観阿弥世阿弥の父子が奮発して其れまでの猿楽の
	,	185	02	を行ふ者で其の出された婦を娶る者も亦	, 姦淫を行ふ者である」と仰せられましたが，これ
	,	262	07	ふものでは有りませぬ．全く罪人を懲治	, 感化すると云ふ場所で有りまする．今欧米の監獄
	,	003	12	なつて居る．今喋々といふにも及ばない	, 考ふれば直に分ること，考へなければ分らない．
	,	001	10	になつて居るのは考へが有るからのこと	, 考へが無いなら会員になつては居りませぬ．其の
	,	003	13	ふにも及ばない，考ふれば直に分ること	, 考へなければ分らない．それで今我が国の有様で
	,	006	03	ぬもの．併し考へて見れば外の方も分る	, 考へても分らないでは無からう，考へさへすれば
	,	006	04	も分る，考へても分らないでは無からう	, 考へさへすれば分るだらう．また今日漢字を用ふ
	,	165	17	もあれば人も神の一だといふ学派もあり	, 考へがあるから物もある，考へは本だ物は末だと
	,	165	17	ふ学派もあり，考へがあるから物もある	, 考へは本だ物は末だといふ学派もあり，精神があ
	,	245	06	於て関係いたしまることは土木，衛生	, 勧業，教育，等沢山に有りまする．然れども，こ
	,	245	09	りませぬ．と申して私は何も土木，衛生	, 勧業，教育，等は一切，行政権で関係してはなら

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	253	05	は御相談次第で私の講ずる学理には一向	, 関係いたしませぬ．よつて，この矯正院に於ては
	,	227	01	云ひます．この二つのものは議会で定め	, 官権で行ふと云ふ以上は共に且，同時に講究しな
	,	239	11	の間に公務上，巡閲したるところは監獄	, 監獄派出所，警察署，警察分署，裁判所，県庁，
	,	245	16	法を申し上げることに致しませう．さて	, 監獄は前に申し上げたる通り刑の執行を掌る所で
	,	250	15	与へて見せなければならないと云ふので	, 監獄と云ふものを設けまして，こゝに於て懲戒と
	,	254	02	この第一の資金を多少有する者は長い間	, 監獄に居りまして窮屈な目を致しましたから外へ
	,	254	08	賊を始めると云ふ次第でありまするから	, 監獄を出ましたる放免者と名づける者は十分の九
	,	255	02	が其の原因は昔の牢番人が悪かつたので	, 監獄が悪いのでは決して有りませぬ．今でも「あ
	,	255	17	に銘して監獄の賤しからざることを知り	, 監獄の大切なることを知り，懲戒の厳にして酷な
	,	278	11	に此の上も無きことに御坐います．なほ	, 監獄の取締法，役法，囚徒取扱法，工銭，給与，
	,	233	04	須賀町鷗遊館に於て加藤弘之君演述先刻	, 幹事さんのお話しの有つた通りに此の専修学校は
	,	209	01	ぜなれば地球は他の惑星から引かれると	, 感じますが彗星はイクラ引つばつたとて地球の運
	,	242	05	て其の需に応じ八月二十日を以て副典獄	, 看守長，書記，看守，等凡そ四五十名の前に於て
	,	242	05	八月二十日を以て副典獄，看守長，書記	, 看守，等凡そ四五十名の前に於て一場の演説を致
	,	271	16	る者を留め置くこともありまする．第二	, 監倉．これは未決者を拘禁して置く所であります
	,	272	14	治監だけは内務大臣之を直轄し，留置場	, 監倉，懲治場，已決監は東京府に於ては警視総監
	,	260	14	しく注意すべきもので有りまする．第六	, 監督者を設くること．これは相当の方法が立ちま
	,	219	14	ひやられます．しかし箇様な風俗は当時	, 漢文で書いたものだけでは迚も今日まで知れませ
	,	164	15	て英幟の已に樹つを見る．懊悔頓に生す	, 機を失して贖ふ莫し祇に徒手して帰るを得たり．
	,	172	10	た北亜米利加は我が国産の第一なる製茶	, 生糸などの大得意先きで，これは貿易表を見ると
	,	054	11	理，本草，地質もつと欲深く鉱物の学問	, 機械の学問，蒸気の学問，電信の学問，法律の学
	,	166	09	々な論説を出し問答研究し，また物理学	, 機械学，数学などの色々の学科の助けによつて世
	,	100	02	を同等の人間と考へたるならば其の平常	, 義侠に富むの商売柄から考へて見ても決して彼の
	,	224	11	俗にも関係することで有りますが此の頃	, 貴顕の方々を始めとして有志の人々が演劇改良会
	,	222	11	べませう．先づ我が国の上古には久米舞	, 吉志舞など云ふ固有の舞が有りました．三韓来朝
	,	208	07	が時計を持つて汽車の出る時に時計を見	, 汽車の止る時に時計を見て，ミチノリの書いたも
	,	208	09	走ると云ふことが分ります．しかし一体	, 汽車とはドンナものか，人力車のやうなものか，
	,	231	06	有ります．其れから，また施政は，一人	, 議政は数人でやるのです．之を四段に分けまして
	,	150	15	基いて憲法の趣意を拡張する為めに法律	, 規則を設けるもので憲法で定まつて居るものの細
	,	151	15	ばなりませぬ．行政法といふものは法律	, 規則及び之を運転させる機関をいふもので定義は
	,	173	06	風があります．国内でも強盗をのけては	, きつたり，はつたりするものは先づ無いやうにな
	,	208	17	と，先づこの彗星の頭は軽いもので有る	, 稀薄なもので有ると分つて居る，至つて軽いもの
	,	147	12	何から調べるかといふと政治施行の権で	, きまつて居つて其れが即ち行政法であります．ま
	,	152	02	しなければなりませぬ．第三には憲法で	, きまつて居る原則，例へば政事上の権理とか宗教
	,	153	01	は一人で主権は此の一人に属してあると	, きまつて居れば行政法の方ではドウいふ風に其の
	,	153	15	ものは一国の憲法のきまり塩梅で色々に	, きまる点もあります．故に憲法は行政法に大いな
	,	116	15	の会に加はつて約束をすれば自分一人で	, きめて居るよりも余程よいといふは仲間で約束し
	,	151	14	るか如何して運転させるかといふことを	, きめなければなりませぬ．行政法といふものは法
	,	153	14	外に出してはいけないなどといふことも	, きめます．この行政法といふものは一国の憲法の
	,	189	05	と事をきめるには二つ以上の頭を以てし	, きめた事は一人の執行権者が行ふといふ主義に違
	,	250	17	からう或は十年でよからうと云ふやうに	, きめまするのは裁判官で御坐います．さうして今
	,	259	16	から時節によつて定限すると云ふことに	, きめたいもので有ります．第四，救助費の額を定
	,	153	02	いふ風に其の即位式を行ふといふことを	, きめる．また憲法で人民に納税の義務が有ると定
	,	153	08	は同等のものであるといふことを憲法で	, きめるけれどもヤツパリ従一位だとか正二位だと
	,	232	10	，決して御坐いますまい．諮問もせずに	, きめると云ふことは間違つて居るので，たゞ法理
	,	164	09	て地主の情を修む．酒酣なる時に当り主	, 客に請ふて曰く君今航海して此に至る果して何に
	,	259	03	，また慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで	, 救助を施しますには或ひは公けの救助を以てし，
	,	259	10	く定めたら宜しからうと信じます．第一	, 救助其の宜しきを得て濫救の予防を主とし惰民製
	,	259	13	助すると云ふ如きことであります．第三	, 救助の人数を時節によつて定限すること．これは
	,	260	01	ことに，きめたいもので有ります．第四	, 救助費の額を定むること．これは最も必要なこと
	,	278	11	監獄の取締法，役法，囚徒取扱法，工銭	, 給与，衛生，構造，教誨などに関することは学術
	,	052	07	翌日は新聞を読うと思つても新聞は無い	, 究理のことでも歴史でもモロコシの字を用ひたの
	,	156	15	合はないことがあると云つて学問に学問	, 究理に究理を積んでトウトウ地が回るのだと言ひ
	,	223	10	承応年中に物真似狂言尽しと名称を改め	, 京と江戸とに狂言座を立てました．其の始めは踊
	,	210	01	で有ります．昨日の定説も今日はすたり	, 今日，可とせし説も明日は否となるかも知れませ
	,	245	06	係いたしまることは土木，衛生，勧業	, 教育，等沢山に有りまする．然れども，これ等は
	,	245	09	ぬ．と申して私は何も土木，衛生，勧業	, 教育，等は一切，行政権で関係してはならぬと申
	,	247	16	けを用ふることと致します．其の第二は	, 教誨法即ち心の教育法で有りまして其の目的は「
	,	253	07	治者の部，幼年囚の部と致して之に教育	, 教誨，懲戒の三事を施します．尤も其の不良の度
	,	278	11	，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，構造	, 教誨などに関することは学術上論究するの必要が
	,	253	04	監獄と云ふ意味で之を矯正院と言はうが	, 矯正監獄と言はうが，或ひは俗に世間で唱へる所
	,	260	10	して例へば訓盲唖院，養育院即ち乞食院	, 矯正院即ち不良少年の慈恵所など色々と有ります
	,	151	04	ものは日本の行政法の組織だと行政官吏	, 行政議会，其れから行政裁判所であります．こゝ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	152	01	なければなりませぬ．第二には行政官吏	, 行政議会，行政裁判所の組織職務を研究しなけれ
	,	152	01	りませぬ．第二には行政官吏，行政議会	, 行政裁判所の組織職務を研究しなければなりませ
	,	188	05	に於て行政法とスタチスチックとの関係	, 行政法の釈義並に行政法と憲法との関係を一言申
	,	190	03	ある．これも法律規則の執行を為すので	, 行政府と政府の区別を一と口に云ふと政府は憲法
	,	190	04	と政府は憲法の範囲内で仕事をするもの	, 行政府は政府できめたことを実際に行ふ即ち政を
	,	194	04	へで御坐います．此の次ぎには行政官権	, 行政議会，行政裁判を論じませう．今日は少し講
	,	194	04	ます．此の次ぎには行政官権，行政議会	, 行政裁判を論じませう．今日は少し講旨と離れて
	,	226	07	裁判の三つのことに取りかゝりまするが	, 行政のことと行政裁判のこととは事柄が全く分れ
	,	230	08	山林区，学区など色々あります．其の外	, 行政上で無形人と認むるものは全国，府県，町村
	,	230	15	つは右の如く無形人ですから議政，施政	, 行政裁判を各々やらなければならないものです．
	,	244	04	ことは，まとまる姿になりまする．さて	, 行政権に於て執行いたしまする事柄は第一は法律
	,	245	06	犯のことを申すので有りまする．此の他	, 行政権に於て関係いたしますることは土木，衛生
	,	245	09	何も土木，衛生，勧業，教育，等は一切	, 行政権で関係してはならぬと申す趣意では決して
	,	141	07	ざりしとに因りませう．尤も馬琴，三馬	, 京伝などは少々学問も有りましたらうが甚しきに
	,	221	12	く地に墜ちたものと見えます．其の時分	, 京伝は元来，洒落本，草双紙の作者で有りました
	,	252	09	不論罪懲治者にあれ，出願懲治者にあれ	, 脅迫懲治者にあれ，皆な当人の心を改良するが目
	,	221	04	つて考証になることが多い．降つて正徳	, 享保の頃には其頃，自笑などと云ふ作者が有つて
	,	160	04	キリと心に落ち付けるのが学問の極点で	, 教法は心の本体なるものは如何なるものか上るも
	,	199	10	通る彗星はドンナで有るかと云ひますと	, 極遠の場所から太陽の近所に来て其れからまた次
	,	219	05	男の文の体や風聞によつて，ゆかしくも	, きらはしくも思ひ，また其の親も其の文が気に入
	,	234	17	分，学理を説くことが出来るやうになり	, ギリシャローマの言葉は半分は飾りものになつて
	,	180	05	ち我に行へしなり」と教へ玉ふたイエス	, キリストの愛では御坐りませんか．また彼のウ／
	,	180	06	ぜしめた者は何で御坐りますか．イエス	, キリストに在ては「或はユダヤ人或は異邦人或は
	,	133	02	ことは昔から明かで御坐りました．元来	, 基督教が起りました時節より三百年の間は基督教
	,	135	12	督教に係はるもので御坐ります．イヽエ	, 基督教を専らに研究しまた其の為めに励む者の趣
	,	029	15	有ります，支那では「銀河」と言ひます	, 銀に其れを見立てたのは奇麗だからで有ります，
	,	029	16	からで有ります，併し銀よりは立派です	, 銀が其れに譬へられて仕合せです，迚も銀などの
	,	272	06	ありまする．本地の集治監は徒刑，流刑	, 禁獄，及び旧法の懲役終身の者を集治いたします
	,	155	14	書いて来たが）其れから植物学，動物学	, 金石学，物理学，其れから心の方で心理学，哲学
	,	214	13	はツキアヒが出来ませんだつた．然る所	, 近年追々と西洋風が流行つて来て留学生や又は洋
	,	033	14	飲むことが慣習になつて居ます．其の外	, 近来国を開化させるとか文明にしようとか国を富
	,	246	14	対して其の所行の悪かつたことを嘯んで	, くゝめるやうに説諭して其の心を取り直させると
	,	221	12	えます．其の時分，京伝は元来，洒落本	, 草双紙の作者で有りましたが後には画入読本と云
	,	175	12	でも，共争ひに争ふやうになつて身に着	, 口に食ふことも出来ず，出来ぬからとて食はずに
	,	229	13	すから，戸長を人民で撰挙するときには	, 区長も人民で撰挙しなければなりませぬ．して郡
	,	150	07	たるものを外公法または万国公法と言ひ	, 国と国民と其の国に居住して居る者との関係を規
	,	171	08	．北亜米利加合衆国は人がまだ多くなく	, 国に余地がある．また其の中にパナマの地峡でも
	,	029	12	出でなさると真つ白なものが有りませう	, 雲かと思へば雲で無い晴天の時にも見ゆる，併し
	,	171	17	片の禁を勧めたこと（あれが若し勧めて	, くれなからうものなら日本人もヨッポド阿片を飲
	,	172	03	めたこと我が国の民間の教育に尽力して	, くれたこと耶蘇正教を我が民間に（大層な金を使
	,	172	05	布いてくれたこと下の関の償金を返して	, くれたこと罪人引き渡しの条約を立てたこと条約
	,	035	13	ソサイチーはグレートエゴイスムであり	, グレートエゴイスムはグレートソサイチーである
	,	197	08	で，申さば人別をみたやうなものだけで	, 委しいことは言ひませんで有りました．今，あの
	,	229	09	云ふものは郡にあらず町村にあらず丁度	, 郡と町村とをマゼコゼにしたやうなもので有るか
	,	230	12	て居るのを郡の共有と云ふのが多いので	, 郡其れ自らの所有と云ふものは無いさうです．若
	,	239	11	出所，警察署，警察分署，裁判所，県庁	, 郡役所，戸長役場，等合せて百〇三箇所でありま
	,	173	01	古より恩といふことで養はれて居り天恩	, 君恩，主恩，父母の恩，また長老朋友などに対し
	,	151	06	で上は天皇陛下より内閣，諸省，府県庁	, 郡区役所，戸長役場など総て全国一般の利益に関
	,	230	03	あります．現今では行政上の区画は府県	, 郡区，町村と云ふことになつて居ります．之を行
	,	230	15	人とすべきや否やは考へものです．府県	, 郡区，町村の三つは右の如く無形人ですから議政
	,	189	17	りますと執行権は共和国に於ては大統領	, 君主国に於ては皇帝といふことである．この執行
	,	122	17	な病気が起つたかと云ふことを聞くとか	, 警察官に懇意の人なら酒の上からドンな罪を犯し
	,	239	11	，巡閲したるところは監獄，監獄派出所	, 警察署，警察分署，裁判所，県庁，郡役所，戸長
	,	239	11	たるところは監獄，監獄派出所，警察署	, 警察分署，裁判所，県庁，郡役所，戸長役場，等
	,	249	03	ませぬ．斯くの如き関係で有りますから	, 警察と裁判が何ほど立派に整頓いたしましても監
	,	249	04	ば警察も裁判も無効になりまする．また	, 警察と監獄が何ほど宜しくとも裁判が悪いと警察
	,	248	14	を執行するのは監獄で有りまする．また	, 刑事上の被告人，即ち俗に未決者と申しまする者
	,	223	03	た方は狂言として別にしました．然る所	, 慶長年中出雲からお国と云ふ女が上京して歌舞伎
	,	243	15	執行を掌ることで有りまするが単に民法	, 刑法だけの執行，又は適用を掌ることとなつて居
	,	232	09	諮問しなくても宜いと云ふのでは学問上	, 決して御坐いますまい．諮問もせずに，きめると
	,	274	11	の人心改良学校でありまするから行政上	, 決してオロソカにすることは出来ないと云ふので
	,	015	12	ば，どの位の長さと云ふことがよく分る	, けれどもちつと長いものになりますと，寸で測つ
	,	133	12	未だ基督教を聞いたことは御坐りませぬ	, けれども見たことは御坐りまする」と答へました

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(，)	，	207	01	はれなければならぬと待つて居りました	，	けれどもドコへいつたか今度は全く見えなくなり
	，	015	15	から寸や尺で間に合はない処は間で測り	，	間で間に合はなけりゃ町，町が小さすぎれば里と
	，	258	05	なき者で有りまする．第二，貧民の救助	，	兼犯罪人の予防．此の両性質には別に甲乙は有り
	，	041	17	しく違ふて居る．支那では上の方に十分	，	権をもたせて上の者は下の者を圧制するがよい，
	，	042	02	那では父子の間で子が親に対しては終身	，	権は無いなれども西洋では其の様なことは無い，
	，	207	10	かつたあんなでは実に大変で有りますが	，	現に昔し雨のやうにふつたと云ふことで「春秋」
	，	218	06	文だからで有りませう．さて，伊勢物語	，	源氏物語などはイサヽカ有つたことを本にして作
	，	239	11	監獄派出所，警察署，警察分署，裁判所	，	県庁，郡役所，戸長役場，等合せて百〇三箇所で
	，	219	17	となります．其れからして保元平治物語	，	源平盛衰記，平家物語などは文章も面白くて目の
	，	150	14	伝法といふものなどを書いたのが憲法で	，	憲法と言へば一国組織の謂であります．行政法と
	，	184	09	．自分の気に入らぬと云つては妻を出し	，	子が無いと云つては出し，自分には気に入つても
	，	254	12	有りませぬから為めに再犯，三犯，四犯	，	五犯，六犯と云ふやうな者が随分あるやうにも聞
	，	067	13	いませぬ．たゞ「御目出たう御坐います	，	御愉快で御坐いませう」と申すより外は御坐いま
	，	237	08	に感服の外ありませぬ．実に今日と利害	，	幸不幸を異にすることは驚くべきことで有ります
	，	246	15	悪いかは言はずして，たゞムヤミに強役	，	強役と名づけて之を懲らしめることをすると，訳
	，	269	09	を区別して見ますると謀殺，故殺，放火	，	強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其の他の
	，	041	05	な風習を通りて来たに違ひ無い．其の時	，	孔子や耶蘇が言ふ様なことをして居たならば其の
	，	159	06	今日は繁昌になりましたが支那では老子	，	孔子，釈迦を三教と唱へました．弘法大師は其れ
	，	159	08	分には老子の学問とも老子の教とも言ひ	，	孔子の学問とも孔子の教とも言ひ，仏学とも仏教
	，	089	13	ます為めには人の目の前にある貴い目的	，	高尚なるゆくアテのあるのは大切で御坐ります．
	，	278	11	なほ，監獄の取締法，役法，囚徒取扱法	，	工銭，給与，衛生，構造，教誨などに関すること
	，	278	11	，役法，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生	，	構造，教誨などに関することは学術上論究するの
	，	239	12	，其の外，参考上に見ました所は小学校	，	高等小学校，中学校，師範学校，大小の社寺，等
	，	224	10	や作者も気が付て来ましたが，まだ兎角	，	強盗や情死の仕組は止みませぬ．これ等は風俗に
	，	269	10	まると謀殺，故殺，放火，強姦，窃盗	，	強盗，無籍乞食，親不孝，其の他のもので有りま
	，	269	10	で有りまして其の中，最も多き者は窃盗	，	強盗で其の数五千三百七十四人，即ち六割四分で
	，	141	08	有りましたらうが甚しきに至りては四書	，	五経も読めないものが有る．学問が無くつて品行
	，	240	01	れて，私が巡閲したる監獄の有様は如何	，	国事犯等の景況如何，何々何々と矢をつく如くに
	，	276	10	の命に従はない者があつたとしますると	，	獄吏は其の囚徒をなぐつて懲すと云ふやうな大間
	，	018	03	皆間接に太陽から来て居るので有ります	，	こゝに燭しますラムプも，そこでたいてあります
	，	030	08	．其れには讐へを取らないといけませぬ	，	こゝによい物が有りますアマノガハといふものは
	，	126	01	熟したる学者も御坐りませう．けれども	，	こゝに一つの不審なことが御坐ります．近来の学
	，	135	01	ものは，これで御坐ります．併しながら	，	こゝにまた一つの不承知を言ふお方が御坐ります
	，	166	16	見に如かず」とかいふことがありますが	，	こゝにある此の土瓶や茶碗は土瓶や茶碗だといふ
	，	183	06	実に心外千万なことで御坐ります．また	，	こゝに申さねばならぬことが御坐りますがキリス
	，	199	07	た．勘定してドウして分ると云ふことは	，	こゝで一席には述べられません，若しこゝで一席
	，	200	07	云ふことが分りました．と言ひましたら	，	こゝで諸君がお疑ひなすつて「先の彗星もドンナ
	，	243	12	法権があります．政府は即ち内閣にして	，	こゝに於ては天下の政治を法律と憲法との範囲内
	，	245	13	ふことは，お分りになりましたらうから	，	こゝに於て監獄の目的及び方法を申し上げること
	，	248	08	監獄の目的及び方法で有りまする．さて	，	こゝで監獄と警察と裁判との関係を明らかに示す
	，	250	15	云ふので，監獄と云ふものを設けまして	，	こゝに於て懲戒と教誨とを施して此の罪人の心の
	，	251	15	ずして，たゞ懲治場と云ふものを設けて	，	こゝでイクラかの間これが心を矯め直すことを図
	，	268	13	りまする．第二は地方監獄で有りまして	，	こゝには通常の罪人を入れて置き，第三は中央監
	，	268	14	れて置き，第三は中央監獄と申しまして	，	こゝには刑期の長い者を入れて置き，第四は矯正
	，	278	07	此の講談の範囲外でありまするによつて	，	こゝには申し述ることは出来ませぬ．前にも申し
	，	098	05	かな，おそろしきかな，おそろしきかな	，	心は之を思ふに堪へず口は之を言ふに忍びず」と
	，	200	08	の彗星もドンナ形ちで尾の長さがどの位	，	心の大きさがどの位と帳面にとめて有つて，言は
	，	250	02	坐います．末丁年者の教育は智慧の教育	，	心の教育，身体の教育の三つで有りまする．而し
	，	250	04	と申しまするものは学校に於て之を行ひ	，	心の教育，即ち徳育は重もに家庭教育，即ち両親
	，	251	06	なことは致しませぬ．其れとも到底終身	，	心の改良は覚束ないだらうと云ふやうな悪事を為
	，	269	09	幼年者の罪質を区別して見ますると謀殺	，	故殺，放火，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親不
	，	143	11	其の中でもよいと云ふ米八丹治郎の梅暦	，	小三金五郎の娘節用の如きものもたゞ男女の痴情
	，	157	04	いと天子様になれないと云ふ位な勢ひで	，	ごした（尤も今ではカタが変りましたが）若し地
	，	152	09	た之を適用するに付て規則といふものを	，	こしらへます．故に憲法と行政法とを例へて見る
	，	156	01	会学，史学，文学まだ此の外にあるので	，	ごすけれども先づ此の通り聞きました．此の通り
	，	160	07	を得るといふことに帰してしまふもので	，	ごす．飲酒の害明治十九年三月二十一日大日本節
	，	151	06	陛下より内閣，諸省，府県庁，郡区役所	，	戸長役場など総て全国一般の利益に関するものは
	，	229	13	街のものを区長と名づけますのですから	，	戸長を人民で撰挙するときには，区長も人民で撰
	，	239	11	察署，警察分署，裁判所，県庁，郡役所	，	戸長役場，等合せて百〇三箇所でありまして，其
	，	004	03	出来ないものを，あちらで善く拵へたり	，	こちらより上手に拵へたり．廉い物を拵へたりす
	，	004	04	．廉い物を拵へたりする者が多くあれば	，	こちらの物を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ者
	，	004	04	多くあれば，こちらの物を買ふ人が減り	，	こちらの物を買ふ者が減れば，こちらは次第に衰
	，	004	05	人が減り，こちらの物を買ふ者が減れば	，	こちらは次第に衰微する．交易上の競争は一日一

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	028	07	が居ても便りといふは唯明り使ひばかり	, ことによると余程遅い新聞を受け取る様なことが
	,	062	15	もダルマでもムヤミヤタラに乗りあるき	, 殊に甚だしき濫用と申すは例へば茲に一の閑人あ
	,	068	01	坐いますから私が見聞致しました独逸国	, 殊に宇漏生に於て裁判官及び代言人は如何なる順
	,	009	01	い言葉より始め，次第に長い言葉に移り	, 言葉より短い文章に移り，短い文章より次第に長
	,	061	09	では二十万余となつて居りませう．所で	, この人力車がドウいふ利益があるかと云ふに如何
	,	064	14	して則ち半開化の害でありませう．所で	, この人力車を廃して馬車なり何なり拵へて御覧な
	,	087	05	なる宗教であらうか」と問ひますならば	, この御方の為めに少しばかりこの趣意の委しい所
	,	088	01	を委しく研究せずして分らぬ御方は直に	, この論じ方を善しと致しませぬかも知らぬけれど
	,	088	02	を善しと致しませぬかも知らぬけれども	, この御方若し追々と怠ること無くして聖書を研究
	,	091	04	彼のパウロと云ふ人の勇気を御覧なされ	, この人は怠ることも無く臆することも無く命にか
	,	095	16	船長初め逃げたまでは長い間であるから	, この間に助けられるだらうといふも実は推測に過
	,	100	06	まれたといふことである．諸君今試みに	, この王の如く尊まれたる羅馬人がノルマントン号
	,	103	11	に心中に於て「かゝる深山に分け入りて	, この山を開きしは，さぞ困難なことなりしならむ
	,	104	06	の地位にある者は無論，上流社会なれば	, この社会のみ英語を話し英文を草し英語を以て著
	,	107	08	ことで之を想像するに忍びませぬ．さて	, このことに付き船長ドレーキに対して求刑が有る
	,	107	10	すと人命を断つことをホミサイドと申し	, このホミサイドを分つて四種としてあります．第
	,	109	12	たといふことで御坐ります．して見れば	, この人等は端艇の効用を知つて居つたに違ひ無い
	,	114	13	知るは人類に限つて居るので其れだから	, この命を惜しがる欲をば人類的の欲と言つて，飲
	,	116	04	らのことで，さういふことを矯むるには	, この節酒会などは至つて宜しいものだと思はれま
	,	117	06	．此の会が有つてお互ひに約束した上に	, この貴い欲が殖えて来てからは其れが為めに自然
	,	121	12	す者が多くなる」などと云ふ様なことで	, この罪を犯す者が多くなることは先年罪人の中に
	,	132	02	定まつた事実を斯の如くに用ふるならば	, この貴い学術をして宗教につかへさせることが出
	,	136	03	の帝国の本州と諸々の島は皆な眼の前に	, この庭に敷て御座ります．こゝには九州が見え次
	,	148	03	行政上できめなければなりませぬ．また	, この土地には鉱物があるとかいふことをスタチス
	,	149	05	とも関係が無いといふ事実にしましても	, このやうに関係なさざるものは無いだらうと思ひ
	,	154	01	法と行政法との関係はこれ位にしまして	, この次ぎには日本の全国行政，地方行政，町村行
	,	165	12	之を説くといふのも亦むづかしい．また	, この題は一人一己の事を説くものでは無くて一国
	,	166	03	学派の道理はいづれも奥の深きことにて	, この様なるアサハカな話しでは分りませぬが併し
	,	170	03	の移住は大変な運動を起して来るもので	, この位なことは当り前でありませう．これは日本
	,	172	13	したやうな所為だと譏る人もありますが	, この類のことは我が国人同士でもありさうなこと
	,	177	12	がありますが今其の書いたものを読んで	, この演説をしまひませう．右は一席の演説にて一
	,	189	16	もあり其の他，色々ありませう．其れで	, この執行権の方になりますと執行権は共和国に於
	,	190	13	す．裁判権といふものは斯の如きもので	, この裁判権の中に二つの種類がある．一は行政裁
	,	195	14	まいか」と言つたかも知れません．尤も	, この三年前の彗星にしろ「戦争や何かには関係の
	,	196	08	，たゞして見なければなりません．一体	, この彗星をこはがるのは東洋の方ばかりでは無く
	,	198	10	遠いのも有ります．しかしソンナことは	, この前に言ひましたから，これだけにして置き，
	,	199	05	たものと見れば宜しう御坐ります．さて	, このやうな考へをＮｅｗｔｏｎが起しまして実際
	,	201	02	るであらう」と断言しました．ところが	, この五十八年の終りか五十九年の初めとばかりで
	,	202	03	ｔｏｎに次ぐほどの数学者で有りますが	, この人が出まして彗星が太陽を離れて方々を回つ
	,	203	08	三日の違ひで有りました．して見ますと	, この彗星と云ふものは先づ惑星と同種類のもので
	,	203	17	ｏｎｎａｉｒｅと云ふ帝がありましたが	, このＤébｏｎｎａｉｒｅと云ふのは綽号でオヒ
	,	204	10	たかドウだか支那では出て居さうですが	, この彗星はエウロッパでは非常に大きかつたもの
	,	205	02	にドコかに何か災の無いことは無いから	, この前に彗星の出た時にはかう云ふことが有つた
	,	205	10	つて来る彗星が有ることが知れましたが	, この外に十か十一ばかり有ります．ざつと一ダー
	,	205	16	くないやうなことが有りますから．さて	, このＥｎｃｋｅの彗星と云ふのはマルセイユの天
	,	206	08	りも小さいので有ります．其れからして	, この外にイクラも有ると言ひましたが其の中で珍
	,	206	09	珍らしいのはＢｉｅｌａの彗星と云ふて	, この人がイツも六七年目には戻つて来ると言ひま
	,	230	04	は廃藩置県のときからで有ります．また	, この区画を色々に利用しまして陸軍に於ては数多
	,	243	12	憲法との範囲内に於て定めることにして	, この内閣に於て定めたることは行政権に於て執行
	,	253	06	理には一向，関係いたしませぬ．よつて	, この議正院に於ては其の中の仕切りを三つに分け
	,	254	01	き者，第三は仕事を知らざる者．其れで	, この第一の資金を多少有する者は長い間，監獄に
	,	264	04	族長と云ふものを置きまして，さうして	, この家族長が教育の世話もし，また感化にも尽力
	,	099	07	なるまいと考へまする．私のおもへらく	, 此の度の事件の大原因は「軽蔑」といふ二字に過
	,	105	07	の同胞二十五名を彼の一件に付て失つた	, 此の事に付ては船長ドレーキ以下乗組海員に対し
	,	180	04	を見まひ獄にありし時，我に来ればなり	, 此の兄弟の最微者の一人に行へるは即ち我に行へ
	,	196	03	般の婦人のことで，束髪会へ這入つたり	, 此の講談会へ聴きにお出でなさる方などは全く別
	,	217	12	ひます．其の次に古いのは宇津保物語で	, 此の作者は源の順だと云ひますが能く分りませぬ
	,	238	08	する功績の有るのは当然で有りますから	, 此の上にも御勉強なさるやうに致したいと思ひま
	,	239	10	巡回に費しました日数は都合八十一日で	, 此の間に公務上，巡閲したるところは監獄，監獄
	,	240	08	ば私の友人に○○と云ふ人が有りまして	, 此の人は未だ配偶者が無い．ところで私に頼んで
	,	247	02	と云ふことが有つたさうです．ソコデ今	, 此の母親を捕へて処刑し監獄に入れたと御覧なさ
	,	260	16	於てはコレコレまでは全国の利益になる	, 此の度合ひを超ると惰民製造の弊を来すと云ふの
	,	263	16	す．其の第一は犯罪予防部と申しまして	, 此の部に於ては不良の少年を教育感化し，また無

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	264	06	する．第二は懲必＊感化部と申しまして	, 此の部に於ては幼年犯罪者を除いて其の他の総て
	,	264	08	する．第三は未決者監禁部と申しまして	, 此の部に於ては未決者を一時監禁しておくので有
	,	264	10	する．第四は出獄人授業部と申しまして	, 此の部に於ては罪人の放免となりました者を保護
	,	196	08	りでは無く，西洋では東洋よりも甚しく	, こはがつたものと見え「箇様箇様の彗星が出たと
	,	205	04	たと，イツでも前のことを証拠に引いて	, こはがつたので有りますが，其れは彗星が出た為
	,	205	08	も彗星の出る度ごとに災が有ると云つて	, こはがつたものと見えます．さて，前に申した通
	,	075	02	家を頼むとか又内乱とか暴行等があつて	, こはくてたまらぬから兵隊も無ければならず巡査
	,	212	09	銀や宝石を持つて来るかも知れませんが	, 古物学者などに取つては金剛石や金銀にもかへら
	,	004	13	ない日本人が西洋人と競争せんなどとは	, これこそチャンチャンをかしい．さて日本人は昔
	,	004	16	から支那をお師匠さんにして居るうちは	, これまでの様に字ばかり習つて居るのが支那にお
	,	014	12	其れでは大きさはどの位だらうと云ふと	, これは其の遠さが知れない間は分りませぬ．総て
	,	018	13	毎年太陽のグルリを旅行する訳のものか	, これは調べなければならない．然るに近頃地球の
	,	019	08	します．次に木星と言ふ星が有りますが	, これは歳星とも唱へます．支那では昔し貴まれた
	,	023	06	寸三分程で有ります．其の次ぎが天王星	, これは三寸八九分の玉で距離は一里二十六丁の処
	,	032	08	つめて行つて丁度今日の学問の有様では	, これまでといふ所までこぎつけたかも知れませぬ
	,	036	10	くためて，よくつかふが宜う御坐ります	, これは誰もトガメテの無いことでせう．どうか皆
	,	051	11	費が如何程になつたなどといふだけでは	, これで盛大になつたとは考へられませぬ．会にお
	,	058	03	オモシロミが大切だ」と云ふことですが	, これは実に千古の名言で支那の孔子ですら「之を
	,	058	07	ら此の段は何卒御海容を願ひます．さて	, これから半開化衛生上の害を述べやうと思ひます
	,	059	02	フス病を鐘太鼓で探す程であると云ふが	, これ則ち衛生の有り難い証拠で又開化の徳であり
	,	059	08	らるゝので兵士の病気が減じたと云ふも	, これ皆開化の効能でありますが，これは開化のづ
	,	059	08	云ふも，これ皆開化の効能でありますが	, これは開化のづつと進んだ所の話しで未だ斯の如
	,	070	06	十五人で内に法学士が十二人御坐います	, これはシッカリと調べましたので御座います．而
	,	073	06	せぬ．則ち其れだけが祝詞で御坐んすが	, これに付て何か一言する様にといふことを教師諸
	,	074	07	を建つて家賃を取るなどと申すことなど	, これ等は皆な金を出しまするト丁度快楽なるもの
	,	074	10	．又之に反して害を除く方で御坐んすが	, これは世の中に快楽幸福が少なくて右に向いても
	,	085	04	要なり」と云ふことで御坐りますゆゑに	, これから段々之を弁じませう．併しながら私が思
	,	086	01	皆んなお話し申したで御坐ります．さて	, これ等の種々の事柄は演題の確実なこと，また其
	,	086	03	る所のものは何で御坐りませうか，また	, これ等の善き性質，人の益になる原素，人を貴く
	,	086	07	る所の盛んな勢力は何処に御坐りますか	, これに付て若し世の人々の自分の見込み，また一
	,	086	09	の普通の学問は誠に大切なものなれども	, これ等の高尚なものを充分に説きませぬ．これ等
	,	086	11	どに係はらぬもので御坐ります．さらば	, これ等のものは如何にして知ることが出来ませう
	,	086	16	基本になつて居る聖書を開き見るならば	, これ等の事柄がサッパリ分らぬと云ふことが御坐
	,	087	07	は如何なるものかと基督教に問ふならば	, これ等のもの皆な天地万物を造り且之をつかさど
	,	089	17	造物主のミコゝロに基づいた宗教なれば	, これより上と申すものが御坐りませぬ．これより
	,	092	07	一個人たるものの進歩に因ると申したが	, これに付て面白いタトへが御坐ります．「ある花
	,	093	11	ると言ひ或ひは故殺に当ると言ひますが	, これはたゞ感覚に過ぎぬことで法律学上果して賞
	,	096	08	は恐らくは怠つたものであらうと言ふも	, これは情況上のことで御坐りまして充分の証拠と
	,	101	05	く長く耐へることの出来ないといふのが	, これぞ日本人が外国人から軽蔑を受くる原因であ
	,	101	09	いといふかとの疑ひがあるかも知れぬが	, これは直ちに分ることで日本人民は忽ちにして封
	,	107	05	ちした花嫁もあつたといふことであるが	, これ等男女の父母たり兄弟たり将た良人たる人々
	,	107	12	ファイァブル，ホミサイドと言ひますが	, これは訳して言ふと正当殺即ち正当に人を殺すこ
	,	107	13	キューサブル，ホミサイドと言ひますが	, これは宥恕殺といつて罪ではあるが罰しないもの
	,	107	15	であります．第三種はメンスローターで	, これは世間で「殺人」と言ひますが私は「殺人」
	,	108	02	第四種はマーダー即ち謀殺でありますが	, これは日本の刑法で言ふ謀殺に比すれば其の範囲
	,	113	08	刻から段々お話しの有つた通りのことで	, これには利も有り害も有るがドウ見ても害の方が
	,	114	15	て棒をふり上ぐれば，すぐに逃げるのは	, これは命が惜いといふことは知つて居るからのこ
	,	115	15	といふ欲は人類ばかりに有るものだから	, これが人類の第二の高い欲で有る．人類の第一の
	,	121	14	視庁の掛りの人に尋ねたところが（尤も	, これは私の事で尋ねたのでは無いが）警視庁では
	,	121	15	が）警視庁では随分其の事を調べて居て	, これは酒の為めに盗みをしたのだ，これは婦人の
	,	121	15	居て，これは酒の為めに盗みをしたのだ	, これは婦人の為めに賊を働いたのだこれは貧乏の
	,	124	05	年勉強して終に卒業する積りである故に	, これ等の為めにも全く無益で有るまいと希望いた
	,	125	10	は何で御坐りませうか．今之に答ふるに	, これは即ち近来盛んに開けた学問学術なりと申し
	,	129	11	の慣習と風俗に係るものなりと言はれた	, これから我が道徳法がドウなりませうか」と．ま
	,	134	04	「爾等，世に在りて善き行ひを為すべし	, これ爾等を誹りて悪を行ふものと言へる世の人を
	,	134	16	先づ今日説きまする所のおもなるものは	, これで御坐ります．併しながら，こゝにまた一つ
	,	142	09	学問も急に上達せよと云ふ訳にも参らず	, これは徐々と計つて行かなければなりません．こ
	,	143	04	或ひは狩野派其の他種々の流派も有れど	, これは皆な有形上のことで人の思想即ち無形の人
	,	147	10	帝国の境界を調べるといふことがあるが	, これ等は何等の為めに調べるかといふに日本帝国
	,	152	11	は附属物であります．併し珊瑚珠を見て	, これは動物か植物かと言ふと同じく憲法と行政法
	,	153	05	あるといふことを憲法に掲げてあつても	, これは徴兵に取りこれは省くとかいふのは行政法
	,	156	14	百年このかた，かういふになりましたが	, これはコペルニカスといふ人が考へたので其の人
	,	157	14	なりませんテネ．其のお弟子のガリレオ	, これは支那では明の時分で日本では足利時代の人

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	161	08	と云つて比干の心を剖いて見たりしたが	これ等は畢竟，酒を飲むといふことから導かれた
	,	163	11	盃で飲んだら信長は光秀の頭をおこして	これはよい頭だ丁度鼓によいと言つてポンポンと
	,	163	12	ポンと叩いた．光秀は且つ慙ぢ且つ怒り	これからして自から疑ひ出して遂に本能寺の事に
	,	164	03	近ごろ西学考略といふ書を読みましたが	これは天道溯原を著述した丁韋良といふ人が二三
	,	168	05	々と開けたりするのと同じやうなもので	これは当り前なことで若し古いものばかり見て，
	,	170	09	方には限りはありますまい，して見れば	これは我が国の大勢に関係することで後日に至つ
	,	172	10	第一なる製茶，生糸などの大得意先きで	これは貿易表を見ると，よく分ります．たゞ北亜
	,	183	05	て栄誉のやうに思ふものが御坐りますが	これは実に心外千万なことで御坐ります．また，
	,	183	14	守るの義務あるもので御坐ります．然し	これまでの考へでは妻たる者は必ず貞操を守らな
	,	184	02	正の幸福を受ることは出来ません．また	これから起る所の弊害不幸は何程だか知れません
	,	185	02	淫を行ふ者である」と仰せられましたが	これが即ちキリスト教の結婚の道で御坐ります．
	,	185	13	頓着せぬ者のやうに見えます．兎に角に	これより此の悪習を洗滌するには矢張キリスト教
	,	187	06	数千年来種々の圧制束縛を受けた婦人が	これより永く真正の幸福を受る時が来たことを神
	,	187	07	神に感謝した凱歌で御坐ります．然らば	これより我が邦にもキリスト教が漸々行はれんと
	,	192	12	肝を吐露しろといふこともありましたが	これも公議輿論に従ふといふことです．其の議決
	,	192	13	ことは天子みづから御親裁といふことて	これが立法権は天子にあるといふことで御坐いま
	,	194	03	法権者と執行権者との原則を定めたから	これから行政組織をお話し致す考へで御坐います
	,	195	05	．諸君は定めて御記臆で御坐りませうが	これは朝，日の出ます前に，東に当つて出ました
	,	198	10	ソンナことは，この前に言ひましたから	これだけにして置き，さて抛物線とはドンナもの
	,	198	11	て抛物線とはドンナものかと言ひますと	これはモット早いテダテが有ります．其れは石を
	,	200	05	彗星のに，よく似て居りました．其れで	これは先に現はれた彗星に違ひないと云ふことが
	,	201	03	をHalleyが言ひませんだつたのは	これも諸君の疑団の一つになつて「其の様に分る
	,	201	07	子供がミチグサをくふのとは少し違つて	これは天地間の自然にあるのです．これはムツカ
	,	204	16	触れを出しました．あとで調べて見れば	これは全くハレーの彗星がイツモの日限に遠方か
	,	206	12	なつて頭も尾も同じやうで有りましたが	これは分れたと云ふよりは寧ろ子を生んだと云ふ
	,	208	01	彗星との関係が分り出しました．しかし	これから流星のことを言ひますと長くなりますか
	,	209	11	コンナに長い尾が出来るかと言ひますと	これは随分むづかしいことで有ります．私は先年
	,	212	07	行かうと云つても行くことの出来ないで	これまで知れなかつたものを知ることが出来ます
	,	215	04	雲泥の違ひでは御坐いませぬか．しかし	これとはアベコベで，若し西洋では小説や演劇は
	,	216	06	た神だから療治をしたかも知れませぬが	これは子供などに話す為めに拵へたことで有らう
	,	216	11	たる古事記，日本紀に書いて有りますが	これなどは後世の子供だましの話しに能く似て居
	,	216	15	のの中には小説めいたことも有りますが	これは僧徒が道を弘める為めのもので小説とは少
	,	217	06	昇つたと云ふ趣向で至つて澹泊で有るが	これは註解をする者があつて穿鑿したところが宝
	,	222	09	りました．小説の来歴はこれまでとして	これから演劇のことを述べませう．演劇は舞と，
	,	224	14	では御坐いますまい．右のやうな次第で	これまで小説と演劇とは実に兄弟のやうなもので
	,	224	17	改めるやうになりませうが，小説の方は	これまでと遙つて立派な人の仕事となりまして看
	,	224	17	派な人の仕事となりまして看る人の意も	これまでとは格別で有りますから数年ならずして
	,	229	03	の数は俗に八百八町あるとか云ひますが	これも皆な此の数の中に籠つて居るとのことです
	,	229	16	ます．其れから沖縄県内は前と別ものでる	これには那覇と首里と云ふところが有ります．こ
	,	234	11	る学校の元祖になりました．ドウしても	これから後には日本語で専門学が出来るで無けれ
	,	241	09	る所にして公有物の部に属しまするから	これ等は述るに於て聊か不都合は無い．また成る
	,	242	07	於ても利益が有らうと考へられますから	これより新潟監獄に於て演説いたしました趣意に
	,	244	02	と司法権とを設けて之を執行しますれば	これだけにて天下のことは，まとまる姿になりま
	,	244	07	任を受けて某々の事を定むる等のもので	これは執行権に於て制定するもので有りまする．
	,	244	10	坐います．其れから第三は政治の執行で	これは内閣で定めた政治を実際に行ふことで有り
	,	244	11	ことで有りまする．第四は憲法の執行で	これは憲法に於て定めたことを実際に行ふことで
	,	245	02	国事犯等の者を入れることも有りますが	これは通常の悪人とは全く変つたるもので有りま
	,	245	07	，教育，等沢山に有りまする．然れども	これ等は行政権と申す立派な道具が有りまするか
	,	245	07	道具が有りまするから幸に之を利用して	これ等のことをもやられる訳で万，已むを得ざる
	,	247	12	法と申しまして罪人を懲らしめるもので	これは所謂，道具じかけで有りまして悪い事をし
	,	251	02	至つて御尤もなれど終身刑の者があるが	これは死ぬまで稽古をする訳であるか」と云ふ疑
	,	252	05	親が無いときはナホあぶないと云ふので	これ等も懲治しなければなりませぬ．之を二た通
	,	252	12	は罪悪の甚しい者が沢山居りまするから	これとマゼコゼにするのは至つて危険であります
	,	252	16	年の不良少年には教育を与へ教誨を施し	これにても不充分なるがゆゑ，また懲戒を与へる
	,	254	04	無くなしてしまふ者が多く有りますから	これ等は再たび盗賊でも働かなければならぬやう
	,	254	07	でありまして第三の仕事を知らざる者も	これもドウも仕方が無いから，また盗賊を始める
	,	254	09	来の犯罪人と云ふ虞れが有りまするから	これ等の為めには慈恵と犯罪予防との二つの理由
	,	255	03	ない」などと考ふる者もあるさうですが	これ等は昔の人の為めに我々の受ける迷惑で有ら
	,	256	11	流し畑を荒されたる等の時に起るもので	これは日本では備荒儲蓄法を以て行なつて居りま
	,	257	01	．さて貧民の種類は何かと申しまするとこ	これ亦，二種類しか有りませぬ．其の第一の種類
	,	258	09	すること（即ち心の救助）で有りまして	これには教育，即ち智育，徳育，体育を施し且，
	,	260	07	の資本は無益なるもので有りまするから	これは他の有益なる方に分配すべきもので有りま
	,	260	11	会が東京で大層，立派に行はれまするが	これは救助がソレゾレ平均を得たるもので有らう

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	262	11	まする．其の第一は分房法と云ひまして	これは一房に一囚をおきまして，夜も昼も他の囚
	,	262	14	有りまする．第二は緘黙法と云ひまして	これは昼間は厳密なる規則を以て囚徒を緘黙せし
	,	263	03	有りまする．第三は雑居法と云ひまして	これは多くの囚徒を集め別に区別を致しませぬも
	,	263	07	有りまする．第四は階級法と申しまして	これは分房法と雑居法とを折衷してこしらへたる
	,	267	01	に於て之を執行いたしまする．さうして	これには必ず分房法を適用いたしまする．其の趣
	,	268	01	大いなる効能が有らうと存じます．さて	これより欧洲の監獄の種類を述べませう．これに
	,	268	09	ますると其の第一は留置場と申しまして	これは各警察署，又は憲兵署などの在る所に設け
	,	270	15	智も殖ると申す者が有りまするけれども	これは皮想の考へで取るに足らない説と存じられ
	,	271	07	万八千八百五十六人となりまする．さて	これよりは日本の監獄のことを申しませう．付て
	,	272	16	することに止まるのでありまする．さて	これよりは明治十七年十二月三十一日の監獄に関
	,	274	07	ことは大抵お分りになりましたらうから	これより監獄の改良と申すことを一言いたしませ
	,	275	02	良少年の教育，並びに保護でありまして	これは近来，大いに進歩いたしました．殊にアメ
	,	275	14	られまするの時機にまで到りましたから	これも遠からずして其の効を奏することになりま
	,	248	02	方では懲戒法で苦痛を受けると云ふので	此に於て始めて「ナルホドおれのしたことは悪か
	,	070	17	者の輩出いたしますのは我が国家の大幸	之より喜ばしいことは無いと感ずることで御坐い
	,	111	05	其の他東洋人を蔑視し之を蔑視するの極	之を虐待して殆ど彼等と同種類の人類でないと思
	,	186	14	またキリスト教が婦人の地位を高くし且	之に真正の幸福を与へる理由は種々御坐りますが
	,	244	15	ても殊に秩序安寧のことが著しきもので	之を維持せむには陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは
	,	276	03	があれば何卒して其の心を改良させたい	之を直して善良なる人民にしてやりたいと云ふの
	,	003	15	の改正もせずに机の前に坐つて字を習ひ	コレラ病の原因を見出すこともお留守にして字を
	,	120	01	ので有つて御承知の通り流行病には疱瘡	コレラ，チフスなどと云ふ色々なものが有ります
	,	216	04	かまのはなを取つて池に散らし其の上に	ころがして療治話しで御坐います．大己貴の神は
	,	039	13	落一般が害を被むる様になるから其れ故	殺さぬのは却りて善くないことの様になりて居る
	,	157	17	したが中々動かんと云ひました．さうで	ごんせう．動かなくなつたんだから仕方が無い．
	,	200	11	，しかし彗星はイヤに形ちの変るもので	今度出る時には先に出た時の形ちと強ち同じ形ち
	,	206	17	帰つて来ると云ふに似て居ります．さて	今度何月何日頃に現はれなければならぬと待つて
	,	210	10	いよいよ彗星が地球に突き当ると言つた	今度のこそは本当だ」などと騒ぎ立てたことなど
	,	026	04	七百八十五万里で随分大きなものですが	こんな大きな物さしを工夫して見ましても二十二
	,	155	05	ンウチとか何とか云つていいのだらうが	こんなモウロクだから，しまひに出たかつて，い
	,	158	16	お寺の前には雷門と云つて大層な勢ひで	コンナ塩梅にやつて居たが（このモノマネだけは
	,	178	04	白からず．其の頃の時代なれば兎もあれ	今日の文明たゞ一席の口上なりとせず相互に問答
	,	237	10	ことで有ります．其れに反して御一新後	今日になつて学問をする人は右二つの大難事が全
	,	246	07	すると云ふことは野蛮時代はイザ知らず	今日では所行を罰すると云ふことで，即ち其の人
	,	276	06	は復讐と云ふ意味がありましたけれども	今日では却つて憐愍と云ふやうな意味がありまし
	,	104	03	しきことなれども日本に之を実行するは	さまでむつかしきことではありますまい．設令全
	,	104	05	した所で上流社会に英語を談ぜしむるは	さまでむつかしきことではなし．而して西洋人と
	,	134	08	ます．「人々の前に爾等の光りを耀かせ	さすれば人々爾等の善き行ひを見て天に在す爾等
	,	162	05	しとき庶邦の官長に戒めらるゝには惟々	祭祀は則ち酒を用ふべし蓋し天の我が民に酒を作
	,	263	04	別を致すのも有りますが其れとても年令	罪質，犯数，等の区別によつて其の雑居の分ちを
	,	152	04	には全国，府県，町村を所有者，負債主	債主の三つに分けて研究しなければなりませぬ．
	,	248	15	する．然れども此の未決者は未だ法律上	罪人と定まりたる者では有りませぬから決して罪
	,	262	04	於て大革命以前には監獄には罪人は無論	罪人にあらざる者にても国王の気に入らなかつた
	,	222	13	僅かに東舞と倭舞の類を存し，また神楽	催馬楽に古風を伝へて居ります．中古以来，僧家
	,	230	06	一つの鎮守府を置いてあります．其の外	裁判区山林区，学区など色々あります．其の外，
	,	239	11	は監獄，監獄派出所，警察署，警察分署	裁判所，県庁，郡役所，戸長役場，等合せて百〇
	,	248	11	之を裁判所に引き渡すものでありまして	裁判所に於ては右の犯罪人及び嫌疑者の判断を下
	,	249	05	と警察と監獄が無効になりまする．また	裁判と監獄が何ほどよく整頓しましても警察が悪
	,	033	13	は子が生れるにも酒，縁組をするにも酒	祭礼にも酒，祝賀でも酒，喪礼でも酒といふ様に
	,	197	12	直に太陽の上に落ちる筈になつて居ます	幸に地球は非常に速くあるいてズットにげやうと
	,	006	15	も早く漢字を無くなしたいと申した所が	さううまくは参りませぬ．泉川君のお尋ねにドウ
	,	012	09	亜は地球の中と云ふことが有りましたが	さういふことを調べるは何と言ふ学問かと云ふに
	,	022	01	民はズット野蛮で有るかも知れませぬが	さうしたら金星か其の外にズット進んだのが有る
	,	023	15	て海王星までの距離は夥しいかと云ふに	さう言へない場合が出て来ます．其れは跡でお話
	,	045	03	占め下院は人民の名代人が出るのぢゃが	さうして見れば貴族一般が人民の害を為してある
	,	045	06	の様なことは無からうと云ふであらうが	さうで無い．例へば亜米利加の共和政治と云ふて
	,	047	05	て歎く人も有るが成るほど一応は尤もで	さうなりたいことは，なりたいなれど其れよりは
	,	047	14	には善いとか悪いとか喧しく言ふくせに	さういふ大きなことになると少しも何とも言はぬ
	,	048	09	であらう．尤もどれほど年数がたつたら	さういふことになるか知れぬことなれども今の勢
	,	054	15	用するとしても矢張り経文は漢字であり	さうなると耶蘇を用ひなければならない．我が国
	,	074	01	価値なりといふ説が御坐んすが必ずしも	さうで無い．需要といふものが価値を生じ其れ故
	,	076	10	うが一個人の上に付て言つて見ましたら	さうで無く法律も経済もドチラでも諸君方の様に
	,	100	13	げたものであらうと考へる．若し果して	さうだとすれば我々今の際に当りて啻に二十五名
	,	116	04	低い動物的の欲に勝たれるからのことで	さういふことを矯むるには，この節酒会などは至

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	116	12	酒の為めだと思つて其れからは自分でも	, さういふことをせぬやうにしたれば去年も今年も
	,	133	11	に本人に伺ひましたれば本人が「イヽエ	, さうでは御坐りませぬ，未だ基督教を聞いたこと
	,	148	15	．五万でイヤなら勝手にしろと言ふなら	, さうなるかも知れないが人間のことは何も彼も学
	,	159	05	あるものでごす．所が東洋の方へ来ると	, さうはいけない．明の頃に天主教が渡りまして今
	,	159	15	，いふことは出来ますまい．アチラでも	, さういふ論が有りますとサ．東洋では教法と学問
	,	169	06	ふことが起つた．其れからして自由心が	, さういふ風に方向を取つたに違ひない．そこにま
	,	176	04	へると愛国心が無いやうに思はれますが	, さうで無い．移住出稼ぎは日本帝国を広く大きく
	,	190	07	裁判するといふので御座んするけれども	, さう手が届かない．また力も及ばぬといふよりし
	,	214	06	うに見下されました．馬琴や種彦でさへ	, さうだから，ましてや京伝だの三馬だのに於ては
	,	216	13	随分ありますから小説の起原はドコでも	, さう云ふことからして始まつたもので有りませう
	,	219	13	のと見えます．此の時分は上等社会さへ	, さうで有つたから，まして下等の風は思ひやられ
	,	231	03	下御一人でおやりなされば宜いのですが	, さうは御手が届かないと云ふので行政官と云ふも
	,	234	06	来るし日本の大学の卒業生も出来るから	, さう云ふ人が後に日本語の専門学校の先生になれ
	,	235	09	付て序ながら昔の学者は多く骨を折つて	, さうして幸福を得ることは思ひの外少なく今の学
	,	235	15	すが其の始めにオランダの書物を読んで	, さうして医者になると云ふ人の辛苦したことと云
	,	236	05	二十年かゝつても出来ない位で有つたが	, さう云ふことを熱心な人が刻苦して勉励したなれ
	,	238	07	外な難儀が書いて有ります．呉々も諸君	, さう云ふやうに力を尽されて勉強されたときには
	,	264	04	各家族に家族長と云ふものを置きまして	, さうして，この家族長が教育の世話もし，また感
	,	270	13	から見ても尤もで，また道理からしても	, さうあるべきものに相違ありますまい．然れば犯
	,	239	06	を経て山形に参り，山形より酒田に出で	, 酒田より蒸汽船にて新潟へ参り，新潟より長岡，
	,	128	06	ります．学術の歴史を調ぶれば暫くの間	, 盛んにはやりて不意に消えてしまつた所の論は随
	,	059	13	も之と共にコレラ痘瘡等の悪病より煙草	, 酒其の他の贅沢品も亦輸入いたしたでありませう
	,	161	08	心を剖いて見たりしたが，これ等は畢竟	, 酒を飲むといふことから導かれたものと見ゆる．
	,	163	04	たのは色々訳も有るだらうが論より証拠	, 酒を嗜んで狂乱の様子が有つた様だ．其れが信長
	,	164	01	てゝ酒を飲む相手にしたといふことだが	, 酒の為めに身を立て家を興したといふ者は一人も
	,	020	16	の割り合ひ程では無い，月よりは大きい	, 直径が地球の半分よりは大きいです．前にも言ひ
	,	023	04	丈一尺とすると木星は一尺一寸あります	, 直径が太陽の十分の一ありまして地球からの距離
	,	217	07	たのを基として作つたものと云ひますが	, さすれば当時，流行の仏説により且は既に遊仙窟
	,	103	11	る深山に分け入りて，この山を開きしは	, さぞ困難なことなりしならむ」と弘法大師の非凡
	,	030	13	この中に居るに違ひない．其れですから	, さつきの問題をのばして「地球は何の中であるか
	,	155	09	の言葉では極上無類飛切といふのだから	, ざつとマア学問の献立をならべなければ学者らし
	,	115	01	ものは人類ばかりと言つて，よいもので	, さて其の命の惜いといふ欲は飲食の欲よりも貴い
	,	198	10	に言ひましたから，これだけにして置き	, さて抛物線とはドンナものかと言ひますと，これ
	,	215	08	ふ字を馬琴などが使つて「アダシゴトは	, さておき」と読ませましたが私の此のお話しも「
	,	215	09	したが私の此のお話しも「アダシゴトは	, さておき」と致して小説と演劇との成り立ちを申
	,	248	13	刑の言ひ渡しを為すだけに止まりまして	, さて其の刑を執行するのは監獄で有りまする．ま
	,	215	06	だと云つて賤しむもので有つたならぢき	, さびれてしまひませう．世の風潮の満ち干と云ふ
	,	139	13	の学者社会にては貴まれて居りませうが	, さほど人望家で無いと申します．然るに小説家の
	,	267	06	い者とを一所に置くことになりまするど	, サホド性質の悪く無い者が非常に性質の悪い者の
	,	123	02	と云ふ様なことを気を付ける様にしたら	, さまでむつかしいことでも有りますまい．先刻も
	,	239	05	潟県の七県の監獄巡閲の命を受けまして	, 去る六月九の午前六時に上野発の汽車にて東京を
	,	222	12	ふ固有の舞が有りました．三韓来朝の後	, 三韓とモロコシから伝はつた舞楽が追々盛になつ
	,	254	12	法が日本には有りませぬから為めに再犯	, 三犯，四犯，五犯，六犯と云ふやうな者が随分あ
	,	239	12	合せて百〇三箇所でありまして，其の外	, 参考上に見ました所は小学校，高等小学校，中学
	,	224	06	いと云ふ位で有るから奇怪なことは勿論	, 残酷なことや自殺だの情死だの強盗だののことを
	,	158	04	ません．其れが学問の極点でごす．今日	, 三十七八科に及ぶ学科は今日の大体ではきまつて
	,	054	09	史，理学，化学，最も入り用なのは算術	, 算術も仮名ばかりで書いた本が入り用で御坐りま
	,	141	07	せしめざりしとに因りませう．尤も馬琴	, 三馬，京伝などは少々学問も有りましたらうが甚
	,	221	16	化したものと思はれます．さて京伝以来	, 三馬も種彦も画入読本と云ふものを作りましたが
	,	115	12	其の高い欲を下等の欲に勝たするやうに	, しなければならないけれども品行をよくしたいと
	,	150	09	典となつて居りませぬから研究するのに	, しにくいです．この公法の中で刑法，治罪法を除
	,	176	15	網を張つたやうに一つも漏らさぬやうに	, しなければなりませぬ．箇様な仕方で一々調べて
	,	148	11	屋とかいふことが有りませう．日本で今	, 市街はドウかしなければならぬといふときに市街
	,	156	01	徳学，政治学，理財学，法律学，社会学	, 史学，文学まだ此の外にあるので，ごすけれども
	,	200	11	い．如何にも一応は御尤もで有りますが	, しかし彗星はイヤに形ちの変るもので，今度出る
	,	206	10	六七年目には戻つて来ると言ひましたが	, しかし其れが突然二つに分れましたことが有りま
	,	209	06	説が有りましてハッキリと申せませんが	, しかし中に明りを通すと云ふ方が多くして尤もら
	,	209	13	説を信ずれば，あれまでで有ります．が	, しかし其れも信じなければ，また其れまでのこと
	,	236	07	開けて漸々と学び易くはなつたなれども	, しかし御一新頃までは先生も十分には無く本も十
	,	029	15	れを見立てたのは奇麗だからで有ります	, 併し銀よりは立派です，銀が其れに譬へられて仕
	,	029	12	かと思へば雲で無い晴天の時にも見ゆる	, 併しながら少し月が出たり何かすると見えなくな
	,	138	12	しいものには効能が有るには違ひないが	, しかつめらしいものより面白いものの方が間接に
	,	214	11	してしまふ」などと云ふことで士は勿論	, 然るべき人とはツキアヒが出来ませんだつた．然

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	260	02	の額を定めて置きませぬとムヤミに慈恵	, 慈恵と申して一方にばかり偏したときには天下の
	,	248	03	言はるゝ通りで有るから斯くの如く現在	, 地獄の責めに遇ふのである」と云ふので心を改め
	,	221	17	ふものを作りましたが奇怪なことは勿論	, 自殺や残酷なことが多かつた．今，千歳座で興行
	,	166	12	とは出来ませぬ．今の学風はさうで無い	, 事実を穿鑿して事実の上から道理を見上げる仕方
	,	221	04	が多い．降つて正徳，享保の頃には其頑	, 自笑などと云ふ作者が有つて西鶴の風により，ま
	,	230	15	村の三つは右の如く無形人ですから議政	, 施政，行政裁判を各々やらなければならないもの
	,	041	17	たせて上の者は下の者を圧制するがよい	, 下の人は上の人に只管従順にせねばならぬと云ふ
	,	009	01	羅馬字で綴つたものを短い言葉より始め	, 次第に長い言葉に移り，言葉より短い文章に移り
	,	043	02	三代時分と其の後の歴朝とは大いに違ひ	, 次第に後世に至るに及び法律が立ちて来て刑律其
	,	220	14	が出来ました．かの桃太郎，カチカチ山	, 舌切雀などの話しも此の頃に出来たものかと思は
	,	269	12	と十歳以下は百八十七人即ち二分二厘で	, 十歳より十二歳までは五百九十人，即ち七分で，
	,	060	06	日と云つては休み，盆だと云つては休み	, 実にハヤ勝手至極な結構な世の中になりましたが
	,	198	03	とを算盤で，はぢき出したと言ひたいが	, 実は鉛筆で書き出しました．この抛物線と楕円と
	,	189	07	．即ち立法権は法律をきめるものであり	, 執行権の方は立法権できめましたことを実際に行
	,	189	09	かいふやうな国会議員などより成り立ち	, 執行権の方は皇帝のみで成り立つて居ります．併
	,	243	11	裁あらせらるゝもので御坐います．さて	, 執行権の中には政府があり行政権があり司法権が
	,	244	01	務は元老院，又は国会を設けて之を行ひ	, 執行権事務は政府と行政権と司法権とを設けて之
	,	158	02	たんだから仕方が無い．モノゴトにしろ	, 実際，真実の所をカッキリと落ち付けるのが学問
	,	106	03	制定されたる商船条例即ちマーチャント	, シッピング，アクトと千八百五十五年に其れを改
	,	106	04	五年に其れを改正になつたマーチャント	, シッピング，アクト，アメンドメント，アクトの
	,	042	04	るが如きは支那などとは大層違ふて居る	, して見れば支那よりは西洋の方が進んで居ると思
	,	051	10	人になつた，かしこの誰が会員になつた	, して会費が如何程になつたなどといふだけでは，
	,	170	09	人民の自発の方には限りはありますまい	, して見れば，これは我が国の大勢に関係すること
	,	019	11	星と言ひます．これは運動が随分のろい	, 支那は物の優美を貴む国で有りますから大層此の
	,	029	14	た様で有るからさう言つたので有ります	, 支那では「銀河」と言ひます，銀に其れを見立て
	,	164	04	原を著述した丁韋良といふ人が二三年前	, 支那政府の命令を承け学事視察の為めに欧羅巴亜
	,	215	12	れば面白くないが私は西洋の小説は勿論	, 支那の小説とても深くは読みませぬ故にたゞ持ち
	,	196	11	す．其の様にこはがりました所以は畢竟	, 品物の性質が知れないからで有つて，他の惑星や
	,	246	05	し，また悪い事をした日から何十年の間	, 死ぬまでも悪い人と云ふ訳では決して無い．則ち
	,	163	13	信長の様なことをしたことは無い．「小	, 忍びざれば則ち大謀を乱る」と論語にもあるが信
	,	221	06	時分には一変して洒落本となり恋川春町	, 芝全交などの赤本作者の手に落ち，其れから元禄
	,	239	12	ました所は小学校，高等小学校，中学校	, 師範学校，大小の社寺，等ナカナカ沢山なことで
	,	184	09	ては妻を出し，子が無いと云つては出し	, 自分には気に入つても両親の気に入らぬと云つて
	,	201	01	何年後には同じのが出て来るに相違ない	, 自分では見る望みは無いが後の人が千七百五十八
	,	234	15	を貴んで其れで無ければ学問は出来ない	, 自分の国の言葉は学問に用ひられるもので無いと
	,	191	09	執行するに止まるものであるから行政権	, 司法権は相合して執行権力になるものである．故
	,	244	12	ことで有りまする．第五は裁判の執行で	, 司法権に於て罪人あるときは之に刑法上の刑を適
	,	155	05	いいのだらうが，こんなモウロクだから	, しまひに出たかつて，いゝことは有りませんが此
	,	232	08	くても宜いとの考へは間違つて居るので	, 諮問すると云ふのは議定させるで無く諮問するだ
	,	232	09	議定させるで無く諮問するだけの意味で	, 諮問しなくても宜いと云ふのでは学問上，決して
	,	159	06	繁昌になりましたが支那では老子，孔子	, 釈迦を三教と唱へました．弘法大師は其れを三聖
	,	049	01	保存との為めに出来たものぢゃ．其れ故	, 社会を為さぬ者同士の間に其れが行はれぬのは当
	,	086	04	る所のものは如何なるもので有りますか	, 社会の進歩と所謂文明開化を妨げるもの，また之
	,	137	07	た自由党などに言はせたなら政治の改良	, 社会の改良，法制局には法律の改良，外務省には
	,	155	14	理学，道徳学，政治学，理財学，法律学	, 社会学，史学，文学まだ此の外にあるので，ごす
	,	157	11	じのことだが其の時は堤のきれたやうに	, しゃべり出したとネ．今，日本大中小で三万に近
	,	221	12	ものと見えます．其の時分，京伝は元来	, 洒落本，草双紙の作者で有りましたが後には画入
	,	269	13	り十二歳までは五百九十人，即ち七分で	, 十二歳より十六歳までは四千二百八十三人，即ち
	,	269	13	までは四千二百八十三人，即ち五割一分	, 十六歳より十八歳までは二千三百二十人，即ち二
	,	269	14	歳までは二千三百二十人，即ち二割八分	, 十八歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千〇三十
	,	152	07	となる原則を定むる，即ち人民の政事上	, 宗教上，民事上，等の権理を保護するものであり
	,	258	09	を施し且，懲戒，懲治を施し，また将来	, 就業の準備として仕事の教育も致させなければな
	,	054	14	字が無くなると孝経がなくなる．其の時	, 修身はといふと仏道と耶蘇，其の仏道を採用する
	,	278	11	御坐います．なほ，監獄の取締法，役法	, 囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，構造，教誨など
	,	173	01	恩といふことで養はれて居り天恩，君恩	, 主恩，父母の恩，また長老朋友などに対してあの
	,	033	13	にも酒，縁組をするにも酒，祭礼にも酒	, 祝賀でも酒，喪礼でも酒といふ様に総て酒を飲む
	,	158	10	，なつてビックリしたに違ひない．後世	, 朱子が論語の集註を書いた時分に天の怒りだと書
	,	045	09	にかゝると云ふことが出来ず租税其の外	, 種々のことによりて出来ると出来ぬの違ひが有る
	,	201	14	．彗星が太陽のソバを離れて来ると一体	, 主人と云ふは太陽ばかりの筈だけれども天王星や
	,	252	08	ので有ります．故に不論罪懲治者にあれ	, 出願懲治者にあれ，脅迫懲治者にあれ，皆な当人
	,	239	10	日数は都合八十一日で，此の間に公務上	, 巡閲したるところは監獄，監獄派出所，警察署，
	,	173	11	タでも付いて居るやうで口へ通りもよく	, 滋養もありさうな心持ちがします．諸君はドウい
	,	270	11	して丁度たゞの四厘に当りまする．また	, 小学教育より以上を受けたる者は一人もありませ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	019	09	唱へます．支那では昔し貴まれたもので	, 正月元日の或る時刻に此の星の居る方をあき方と
	,	240	02	如くに詰問せられました．けれども元来	, 上官又は他人の命，又は依頼を受けて其の人の為
	,	054	11	質もつと欲深く鉱物の学問，機械の学問	, 蒸気の学問，電信の学問，法律の学問，測量の学
	,	176	11	あれば男は男と記し女は女と記し，姓名	, 生国，職業，年齢などを記し，また其の行く先き
	,	141	12	条なれども其ればかりではいけぬ．元来	, 小説には仕組と言ふものが大切ゆゑ非常の智能力
	,	142	08	識も無くてはなりませぬ．併しながら今	, 小説の改良が必要だとてお前達は品行も直せ学問
	,	143	10	小説と云ふものは卑しむべきもので有る	, 小説は人情本で有る，其の中でもよいと云ふ米八
	,	145	17	なり観者が無からうと言ひますが兎に角	, 小説を改良すれば其れが手本になつて面白いこと
	,	224	17	ら共に体面を改めるやうになりませうが	, 小説の方は，これまでと違つて立派な人の仕事と
	,	150	03	個人との関係を規定して，たとへば民法	, 商法，訴訟法の如き人民と人民間の事を規定した
	,	261	09	るところの放免者保護会社の管轄と致し	, 将来の犯罪人となるの恐れ有る貧民は養育院の如
	,	261	10	る貧民は養育院の如きものの管轄と致し	, 将来の犯罪人となる恐れなき天然の貧民即ち盲人
	,	104	06	国情を議らしむるの地位にある者は無論	, 上流社会なれば，この社会のみ英語を話し英文を
	,	223	15	ら有つたもので追々遣ふ者の上手も出来	, 浄瑠璃と云ふものが段々流行して其れに合して人
	,	242	05	に応じ八月二十日を以て副典獄，看守長	, 書記，看守，等凡そ四五十名の前に於て一場の演
	,	137	08	へ尽されません．私などは専門が法律で	, 職業が政事新聞記者でありますから日々法律や政
	,	169	12	行く者と欧羅巴に行く者との人数，年齢	, 職業などを書いたものを見ませぬから委しいこと
	,	176	11	男は男と記し女は女と記し，姓名，生国	, 職業，年齢などを記し，また其の行く先きの地名
	,	177	01	めて前に述べたやうに男女の人数，年齢	, 職業などの種類を分つて其の国々にまとめ何年の
	,	065	10	地雑居の大役が前途に横たはつて居るし	, 食物や家屋や人力車の濫用や丸髷島田の窮屈髷や
	,	093	13	のを見ませぬ．故に已むを得ず私が一言	, 諸君に陳べむと欲することになりました．今日我
	,	207	06	ましたが……また話しに枝がさきますが	, 諸君の御存じの通りイツでもあることだが殊に秋
	,	241	13	に申しました区別の趣意で致しまするが	, 諸君の私にお問ひなさることが，区々になつて私
	,	241	14	ものは例へば国事犯罪人の取扱方は如何	, 女囚の取扱方は如何など云はれますけれども監獄
	,	151	06	益に関することで上は天皇陛下より内閣	, 諸省，府県庁，郡区役所，戸長役場など総て全国
	,	120	12	ました．またイギリスのスタチスチック	, ジョルナルなどを見ますと麦酒などを飲む為めに
	,	011	11	だ」と問ひ詰められると分るものが半分	, 知らないものが半分かも知れませぬ．さりながら
	,	269	04	感化院は男子の部は公立のもの十一箇所	, 私立のもの三十四箇所，合せて四十五箇所ありま
	,	269	06	りました．女子の部は公立のもの二箇所	, 私立のもの二十二箇所，合せて二十四箇所ありま
	,	158	06	狂ふと極点が違つて来る．其のかはり今	, 知れんことはまだ知れん，まだ知れんと云つて詰
	,	208	16	調べますのは，むつかしいと云ひますが	, 知れて居りますだけに止めますと，先づこの彗星
	,	160	02	其のタマシヒは天に上るものであらうか	, 死んだなら消つきりのものかを穿鑿するのが教法
	,	130	17	を含む所の大空が人の色々の新論，新説	, 新発明によつて容易に変ることは致しませぬ．ま
	,	055	09	折りを以て全く仮名の世界にしてしまひ	, 秦の始皇の大決断を望む準備が出来る様で無けれ
	,	158	02	から仕方が無い．モノゴトにしろ，実際	, 真実の所をカッキリと落ち付けるのが学問でござ
	,	202	06	ｎｓｅＬｅｐａｕｌｔ夫人と三箇月の間	, 寝食を廃する位にして勘定をしました．其れも充
	,	167	09	アーいふことがチャント分ると，どの位	, 人世に大功徳を及ぼすか知れますまい．実に面白
	,	130	17	日月星を含む所の大空が人の色々の新論	, 新説，新発明によつて容易に変ることは致しませ
	,	250	02	未丁年者の教育は智慧の教育，心の教育	, 身体の教育の三つで有りまする．而して智慧の教
	,	042	05	ふ様に進歩が無いと云ふ様なことは無い	, 進歩は大いに有ることぢゃ．さて法と道とは先刻
	,	089	10	などを兼ねて示す宗教で御坐りますから	, 進歩するの志を起すもので御坐ります．無下に賤
	,	063	14	層の危害あるものです．諸君御覧なされ	, 人力車夫の業たるや農工商等の如く時を定めて営
	,	208	09	す．しかし一体，汽車とはドンナものか	, 人力車のやうなものか，それとは違ふかと云ふこ
	,	115	02	飲食の欲よりも貴い欲で有ります．一体	, 人類といふものは低い欲よりは高い欲の方を勝た
	,	115	10	に必要のことが有る．其れは外でも無い	, 人類といふものは品行をよくしなければ，ならな
	,	166	09	を出し問答研究し，また物理学，機械学	, 数学などの色々の学科の助けによつて世の中も益
	,	174	05	三十四人の日本国人となりませう．一体	, 数字はシャレ骨のやうで見ても面白くない，イヤ
	,	172	12	み去つたことがあつて其の仕方は子供を	, すかしたやうな所為だと譏る人もありますが，こ
	,	203	13	んやうに，なりました．丁度二十四時間	, 過ぎると同じ太陽が同じ所に戻つて来るのと同じ
	,	114	15	ゃ．今，犬猫に向つて棒をふり上ぐれば	, すぐに逃げるのは，これは命が惜いといふことは
	,	224	05	おいて気転の方を専らとするやうになり	, 少し学問気の有る者の作つたのは却つて見物が少
	,	140	07	リーノベルスを書いた時分と同じことで	, スコットが其の筆先きで儲けた名利と言ふものは
	,	210	01	文学の駸々として進むのも其の辺ですが	, 進んで居ないのも其の辺で有ります．昨日の定説
	,	147	09	見るのも一つの順序でありませう．さて	, スタチスチックと行政法との関係に付て直ちに例
	,	239	14	．此の旅行を畢りまして帰京しますると	, スタチスチック社社員，明治法律学校校員生徒，
	,	167	02	なつて段々人が信じなくなるから追々に	, すたれてしまひます．今のは事実と道理とピッタ
	,	053	01	紙物語より出でまた漢文に訓読を下して	, すて仮名を附け其れが段々一種の真片仮名文にな
	,	097	05	ありますが先月の二十四日から今日まで	, すておくとは随分長い話しではありませぬか．こ
	,	164	10	る果して何に往んと欲するかと．時に客	, 已に酔郷に入り遂に実を吐き相告げ並に詢ふに前
	,	234	09	と云ふことを話したことが有りましたが	, 則ち此の専修学校は右様なる先生が嘗て学び得た
	,	016	01	ると此の距離は三十と云ふ数になります	, 即ち地球の直径の三十倍ほどで有ります．してこ
	,	016	04	ませぬ．其れ故に地球の直径十一分の三	, 即ち地球の直径を十一に割つて其の三つにほか当
	,	018	06	るお方は忘れてお出でにはなりますまい	, 即ちＳｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車の走るのは

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
(,)	,	022	09	五間で直径が三分七厘少し余で有ります	,	即ち三分七厘余の玉を一丁十五間の所に置いたの
	,	117	07	からは其れが為めに自然と低い飲食の欲	,	即ち動物的の欲を節することが出来ませう．其れ
	,	151	08	義のお話しです．第二は此の公法の原則	,	即ち憲法で定めた原則を実地に適用し，また制限
	,	152	07	は一国の公法の基礎となる原則を定むる	,	即ち人民の政事上，宗教上，民事上，等の権理を
	,	186	15	が細かいことは挙げんでも以上三つの教	,	即ち一夫一婦の教，聖結婚の教，男女同等の教ば
	,	199	06	通りになつて居るかドウかと彗星の軌道	,	即ちあるく道の勘定をしました．勘定してドウし
	,	204	08	た一番の大きいのは千五百三十一年の前	,	即ち千四百五十六年に出ました彗星で有ります．
	,	212	11	此の講談を終りませうが，千九百〇九年	,	即ち今から二十六年後にはＨａｌｌｅｙの彗星の
	,	226	12	議会の組織及び職権と云ふことを講究し	,	即ち施政と云ふことと議政と云ふこととを講究す
	,	229	12	るに違ひ有りませぬ．戸長の大いなる町	,	即ち市街のものを区長と名づけますのですから，
	,	231	02	云ふこと，第二には行政官は総て執行権	,	即ち天皇陛下に隷属すると云ふことの二原則で有
	,	242	13	ノロジーと申します．其の意味は刑の学	,	即ち刑を執行するの学問と云ふことで有りまする
	,	243	16	ることとなつて居りまして其の他の法律	,	即ち全国の利益に関する行政上の法律規則等は総
	,	245	04	所の此の監獄論に於ては総て普通の罪人	,	即ち常事犯のことを申すので有りまする．此の他
	,	246	08	ず，今日では所行を罰すると云ふことで	,	即ち其の人の心を矯め直すと云ふ趣意で，即ち人
	,	246	08	即ち其の人の心を矯め直すと云ふ趣意で	,	即ち人心の改良を図ると云ふもので有りまする．
	,	248	14	獄で有りまする．また，刑事上の被告人	,	即ち俗に未決者と申しまする者は裁判の済むまで
	,	250	03	の三つで有りまする．而して智慧の教育	,	即ち智育と申しまするものは学校に於て之を行ひ
	,	250	04	るものは学校に於て之を行ひ，心の教育	,	即ち徳育は重もに家庭教育，即ち両親，其の他に
	,	250	04	，心の教育，即ち徳育は重もに家庭教育	,	即ち両親，其の他に於て之を掌り，また身体の教
	,	250	05	其の他に於て之を掌り，また身体の教育	,	即ち体育と申しまするものは或ひは家庭に於て或
	,	252	14	に這入つて居りまする者は丁年以上の者	,	即ち出生より丁年になるまでの間に教育は先づ一
	,	255	07	るけれども，道徳上の範囲に属する所業	,	即ち何某が酒を飲んだとか，或ひは躍つたとか何
	,	256	15	して第二の結果は犯罪人を予防すること	,	即ち貧民を其の儘に打ち捨て置くときには窮する
	,	258	09	心の救助）で有りまして，これには教育	,	即ち智育，徳育，体育を施し且，懲戒，懲治を施
	,	261	02	知らしめざること．これは貧民救助の点	,	即ち慈恵の点に於て誠に必要の点で有らうと思ひ
	,	266	10	感化部の事業は俗に監獄と申しまする所	,	即ち地方監獄，及び中央獄に於て執行いたします
	,	269	11	は窃盗，強盗で其の数五千三百七十四人	,	即ち六割四分で有りまする．また年令を以て割合
	,	269	12	厘で，十歳より十二歳までは五百九十人	,	即ち七分で，十二歳より十六歳までは四千二百八
	,	269	13	二歳より十六歳までは四千二百八十三人	,	即ち五割一分，十六歳より十八歳までは二千三百
	,	269	14	十六歳より十八歳までは二千三百二十人	,	即ち二割八分，十八歳以上丁年即ち二十一歳まで
	,	269	15	年即ち二十一歳までの者は千〇三十四人	,	即ち一割一分八厘で有りまする．して見まするとと
	,	272	05	所で有りまする．尤も集治監には二種類	,	即ち本地の集治監と島地の集治監とありまする．
	,	273	04	監獄は百九十二箇所ありまして，集治監	,	即ち中央監獄は東京，宮城，三池，樺戸，空知の
	,	275	10	た．其の後，内務省に於て各府県の典獄	,	即ち監獄長を集めまして典獄会議を開かれまして
	,	132	12	心に本づいたる道理を固く立てるならば	,	すべての迷ひといふものは自からにして倒れてし
	,	080	17	ので御坐ります．畢竟，人の総ての進歩	,	総ての改正改革を遂げる為めに用ゆべき方法は斯
	,	176	14	ば之を記し彼れに除きて此に入れるなど	,	総て移住出稼ぎの運動に係ることは一切載せて其
	,	197	16	のことを発明したのみで満足をしないで	,	総ての学者の苦しんで居る所の彗星と云ふものは
	,	218	03	でも有りませぬ．次に狭衣，取替へバヤ	,	住吉などの類の色々の作り物語が顕はれ後には栄
	,	015	13	，けれどもちつと長いものになりますと	,	寸で測つては間に合はない．例へばこれから本郷
	,	039	04	る．其れのみならず強盗をする者が善で	,	せぬ者は悪と云ふことになりて居る．其れはナゼ
	,	175	04	義務を負つて居ります．非でありますか	,	是でありますか．また此の四箇年の間は国人の難
	,	053	10	ては，いつまでも事は出来ませぬ．また	,	せいてもいけませぬ．と言つて油断してはすみま
	,	186	15	んでも以上三つの教，即ち一夫一婦の教	,	聖結婚の教，男女同等の教ばかりでもキリスト教
	,	155	13	学の総理先生は十七八，数へたネ．数学	,	星学，化学，地質学（中々覚へて居られないから
	,	149	15	究するのは必要と考へます．殊に社会上	,	政治上のことに付ては最も必要でありませう．こ
	,	155	14	心の方で心理学，哲学，倫理学，道徳学	,	政治学，理財学，法律学，社会学，史学，文学ま
	,	229	10	の仕事と戸長の仕事をして居ります．今	,	性質から云へば区は郡の下につくべきもので有り
	,	166	01	，考へは本だ物は末だといふ学派もあり	,	精神があるから身体の様なる物質もある訳だとい
	,	161	07	する人で孕み女の腹を剖いて胎を見たり	,	聖人には七つの竅が有るといふがドウだとかと云
	,	203	05	では有りませんが計算の結果は，どの位	,	精密にゆくかと云つて待つて居りました所が今度
	,	176	11	す人があれば男は男と記し女は女と記し	,	姓名，生国，職業，年齢などを記し，また其の行
	,	005	03	ふ．支那人を相手にする気ではいかない	,	西洋人を相手にする気で無ければならない．若し
	,	196	08	をこはがるのは東洋の方ばかりでは無く	,	西洋では東洋よりも甚しく，こはがつたものと見
	,	233	13	たらうが或る人が私に申しまするには今	,	西洋語を以て教ふる大学と云ふやうな専門学校が
	,	236	15	為めに災にかゝつたので有つた．其の外	,	西洋学をした為めに藩を逐はれ，また苦しめられ
	,	237	11	く消滅しました．先生もあり，本もあり	,	西洋語でやらうと，日本語でやらうと何でも勝手
	,	047	16	らであらうと思はれる．さりながら今日	,	世界の有様を見ると各国の有様が昔と事違ひ商売
	,	173	14	から分りませぬ．併しながら我が国人は	,	世界の道理に従ふと人の移住の権利といふものが
	,	173	12	味がしますか．これは後の歴史で無くは	,	説（即ち考へ）だから分りませぬ．併しながら我
	,	216	07	で有らうと思ひます．また仁徳天皇の時	,	摂津の菟我野と云ふ所に鹿が二疋居りました所が
	,	269	10	して見まするとと謀殺，故殺，放火，強姦	,	窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其の他のもので

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	224	03	くやうになりました．後には浄瑠璃狂言	, 世話狂言と区別し年々新狂言を作るに付ては兎角
	,	182	11	国の風で妾を持つ者は真の万人に一人か	, 千人に一人に過ぎないといふ人があるかも知れま
	,	204	11	になつたお方は御承知で御坐りませうが	, 千四百五十六年はトルコ人がコンスタンチノプル
	,	206	05	をしました所，其の前に千七百八十六年	, 千七百九十五年，千八百十五年に出ましたのが其
	,	206	05	の前に千七百八十六年，千七百九十五年	, 千八百十五年に出ましたのが其れと同じ道をある
	,	212	11	から今一言して此の講談を終りませうが	, 千九百〇九年，即ち今から二十六年後にはＨａｌ
	,	221	07	に落ち，其れから元禄の頃より前太平記	, 前々太平記などと云ふウソバナシをサモ本当らし
	,	195	13	はすまいか，又は地震が有りはすまいか	, 戦争でも起りはすまいか」と言つたかも知れませ
	,	222	14	馬楽に古風を伝へて居ります。中古以来	, 僧家に延年の舞と云ふものが有り，婦女の間に白
	,	159	09	で，天主を立て天上，天国，天界，大地	, 草木，鳥獣，人のカラダ，タマシヒまでを製造す
	,	033	13	をするにも酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒	, 喪礼でも酒といふ様に総て酒を飲むことが慣習に
	,	218	03	色々の作り物語が顕はれ後には栄花物語	, 続世継，水鏡などのやうな実事を書いたものにも
	,	196	03	も婦人方と云ふのは一般の婦人のことで	, 束髪会へ這入つたり，此の講談会へ聴きにお出で
	,	054	12	，蒸気の学問，電信の学問，法律の学問	, 測量の学問などの本が出来なくつては困ります．
	,	002	08	が多い，雪の部や花の部は人数が少ない	, そこで月の部にはいつたまでのこと，仮名遣ひな
	,	005	15	たつぱうも替らなければならない．併し	, そこに人の気は付かない．具足を着たり甲を冠つ
	,	018	03	ので有ります，こゝに燭しますラムプも	, そこでたいてありますストーヴも皆太陽がたいて
	,	030	10	ものは此の盆の形をして居るとしまして	, そこの中に我々の太陽系がはいつて居るとします
	,	037	16	矢張り一個独立の活物で有ることぢゃが	, そこで社会にては人間が即ちＣｅｌｌで動植物の
	,	048	14	無く彼我の差別も漸々に薄くなりて来て	, そこで道徳も大いに行はれることとなるであらう
	,	117	02	したいといふは即ち人類的の上等の欲で	, そこで節酒会といふものが出来て一つの高い欲が
	,	201	05	りさうなもの」とお疑ひになりませうが	, そこにむつかしいことが有るので，ヨホド骨の折
	,	258	17	れは放免者保護会社でも出来たときには	, そこで救つてやるべきもので有りまする．斯くの
	,	269	05	十四箇所，合せて四十五箇所ありまして	, そこに居りまする生徒の数は六千七百七十七人あ
	,	201	15	が人なみに重いものになつて威張ります	, ソコデ其のソバにゆくと暫くはお辞儀をしてヒマ
	,	150	03	の関係を規定して，たとへば民法，商法	, 訴訟法の如き人民と人民間の事を規定したもので
	,	233	05	年に開かれてアシカケ八年になり其の間	, 卒業が今度で第八回だと云ふことで有りますが一
	,	240	06	目の中に這入つたもので有りまするゆゑ	, 該景況は私の所有権で無くして内務大臣の所有権
	,	002	14	はよい所が有り漢字には悪い所が有るか	, 其の様に漢字を嫌ふといふはまた如何なる訳ぞと
	,	018	10	そこで太陽のグルリを地球が回つて居る	, 其の一遍回つて元の所へ来ます間が即ち一年と言
	,	018	14	沢山あるといふことが発見になりました	, 其の地球の同士は学者は其れを惑星と名づけます
	,	053	15	ものだと教へ「み」と「る」で「みる」	, 其の間に「を」を加へて「はなをみる」といふ様
	,	054	15	る．其の時，修身はといふと仏道と耶蘇	, 其の仏道を採用するとしても矢張り経文は漢字で
	,	080	10	坐りませう．第二．人間の進歩の働き方	, 其の発達の仕様，其の方法等を見れば三つの明ら
	,	080	10	．人間の進歩の働き方，其の発達の仕様	, 其の方法等を見れば三つの明らかな手続きが御坐
	,	138	04	したが其の時，医者に見て貰ひました処	, 其の医者先生の申すには貴君にはモルヒネを上げ
	,	143	11	むべきもので有る，小説は人情本で有る	, 其の中でもよいと云ふ米八丹治郎の梅暦，小三金
	,	169	10	国の人心の東に向くシルシがあるやうで	, 其の訳は亜米利加へ行く者が年々に多くなるやう
	,	174	10	千万円になりませう．ドウでありませう	, 其の「三八，〇〇〇，〇〇〇」の数字なるシャレ
	,	176	15	ぎの運動に係ることは一切載せて其の地	, 其の人に網を張つたやうに一つも漏らさぬやうに
	,	177	03	も移住も多い何々はドウなつたと其の地	, 其の地で定まつた有様もありませうし，また変つ
	,	177	11	先日も学士会院で演説しましたが其の時	, 其のあとに附けてチョイと言つたことがあります
	,	186	10	固よりキリスト教に於ても男と女は天然	, 其の性を異にするものゆゑ随つて其の事業も責任
	,	186	13	と，婦人特有の温柔謙遜の徳を貴ぶこと	, 其の他にもまたキリスト教が婦人の地位を高くし
	,	195	08	相手と一所に東の方に出て参りましたが	, 其の時，相手と「ミゴトな彗星ですネ」と言つて
	,	197	01	いてドロボウでは無いかと思ひましても	, 其の帽子を看て大学の学生だと云ふことが知れゝ
	,	198	14	星が惑星と同じもので有りますなら是非	, 其のあるく道が此の二つの線の中でなければなら
	,	206	04	にも有るだらうと段々穿鑿をしました所	, 其の前に千七百八十六年，千七百九十五年，千八
	,	235	12	とを学ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医術	, 其の後，砲術に移りました．尤も天文も渡りまし
	,	239	12	役場，等合せて百〇三箇所でありまして	, 其の外，参考上に見ました所は小学校，高等小学
	,	239	15	スチック社社員，明治法律学校校員生徒	, 其の他の諸友人知人等が屢々私の茅屋をお尋ね下
	,	240	11	は〇〇君に代つて見たるものであるから	, 其の性質如何を知ると云ふことは〇〇君之を知り
	,	243	14	に政府は政治の方針を定むるだけにして	, 其の実際の運転は総て行政権に於て之が執行を掌
	,	244	13	きは之に刑法上の刑を適用するけれども	, 其の刑の執行は執行権の中の行政権に属しまする
	,	246	15	取り直させると云ふのが当り前のところ	, 其の所行の善いか悪いかは言はずして，たゞムヤ
	,	247	06	云ふことの理由を能く述べませぬと到底	, 其の心は改まることは出来ませぬ．此の目的を知
	,	250	04	，即ち徳育は重もに家庭教育，即ち両親	, 其の他に於て之を掌り，また身体の教育，即ち体
	,	258	11	．此の不良少年の種類は四種ありまして	, 其の一は出願懲治者，其の二は不論罪懲治者，其
	,	258	11	は四種ありまして，其の一は出願懲治者	, 其の二は不論罪懲治者，其の三は幼年囚，其の四
	,	258	11	一は出願懲治者，其の二は不論罪懲治者	, 其の三は幼年囚，其の四は徘徊する所の不良少年
	,	258	11	其の二は不論罪懲治者，其の三は幼年囚	, 其の四は徘徊する所の不良少年で有ります．これ
	,	263	08	して刑期の初めは厳密なる分房法を用ひ	, 其の後ち段々と改悛の情状をあらはすに随つて段
	,	269	06	十二箇所，合せて二十四箇所ありまして	, 其の生徒の数は千六百三十七人ありました．此の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	269	08	部と女子の部とで六十九箇所ありまして	, 其の生徒の数が八千四百十四人となりまする．さ
	,	269	10	，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝	, 其の他のもので有りまして其の中，最も多き者は
	,	270	17	るのは留置場で其の数は三千〇五十箇所	, 其の人員は僅かに三十七人でありまする．斯くの
	,	271	03	のは地方監獄で其の数は三百八十二箇所	, 其の在監人は二万四千六百九十九人でありまする
	,	272	14	治場，已決監は東京府に於ては警視総監	, 其の他の府県に於ては府県知事が之を管理し，内
	,	273	06	樺戸，空知の五箇所でありまする．また	, 其の中を区別しますると未決監は百七十五，已決
	,	274	02	七万二千二百五十二人となりまする．今	, 其の費用を見ますると国庫支出，及び地方税支弁
	,	276	04	人民にしてやりたいと云ふので暫くの間	, 其の自由を剝ぐと云ふことにきめたので有ります
	,	273	04	即ち中央監獄は東京，宮城，三池，樺戸	, 空知の五箇所でありまする．また，其の中を区別
	,	054	07	本，また学問のある人の研究の為めの本	, それから第三種は慰みの為めの本，それを類を分
	,	054	07	の本，それから第三種は慰みの為めの本	, それを類を分けて見ますと御国より始めてモロコ
	,	148	10	先づ東京とか大坂とか京都とかは無論で	, それから尾張の名古屋とかいふことが有りませう
	,	148	14	市街といふ風にしたいが人員調査の方で	, それが調ばつて居ないといふと折角だが用を為し
	,	208	09	はドンナものか，人力車のやうなものか	, それとは違ふかと云ふことはたゞ旅をした位では
	,	004	08	争と同じことで競争にも何にもならない	, 其れこそアカンベーとやられてしまふ．フランス
	,	014	11	は有るまいか，第一番に地球の様に円い	, 其れに谷だの山だのが有る処がよく似て居る，其
	,	014	11	に谷だの山だのが有る処がよく似て居る	, 其れでは大きさはどの位だらうと云ふと，これは
	,	023	09	ズット遠くの処に置かなければならない	, 其れだから其の雛形をこゝへ持つて来ることが出
	,	024	05	有る，二つほど月をみた様なものが有る	, 其れは衛星と言ひます．これは近頃亜米利加のワ
	,	025	11	のを見れば，まるで蟻のはふ様に見える	, 其れだから人は小さいと言つたらドウでせう．遠
	,	027	11	其れから九年と三ケ月たつて始めて分る	, 其れまでは分りませぬ明りが途中でまごついて居
	,	029	14	言ひます．西洋では「乳道」と言ひます	, 其れは乳をこぼした様で有るからさう言つたので
	,	052	16	文体となり其れで記録を書いたのが東鑑	, 其れが段々流れて来て一筆啓上といふ様な文体に
	,	151	04	の行政法の組織だと行政官吏，行政議会	, 其れから行政裁判所であります．こゝで官吏と言
	,	155	14	れから植物学，動物学，金石学，物理学	, 其れから心の方で心理学，哲学，倫理学，道徳学
	,	176	12	を記し，また其の行く先きの地名を記し	, 其れが一時の出稼ぎであるか永住であるかといふ
	,	190	05	とを実際に行ふ即ち政を行ふといふ方で	, 其れから行政上の法律規則を執行するのが行政府
	,	191	06	律を制定するの力其れから政を行ふの力	, 其れから裁判をするの力とかう申したので権力即
	,	192	08	治二三年に公議所を開いたのも其の通り	, 其れから左院を置いたも其の通り，地方官会議を
	,	201	11	はコッチへ向いて答礼をしてくれますし	, 其れより少しドウかした人はたゞチョット見てく
	,	203	10	のお客で有つて，チョイと来てすぐ帰る	, 其れだけが惑星と違ふ所だと言つて居ましたが今
	,	205	04	拠に引いて，こはがつたので有りますが	, 其れは彗星が出た為めに災が有るので無く人間社
	,	211	17	何であらうかと云つただけで有りました	, 其れが彗星の尾の中に居つたので有ります．また
	,	212	04	ぶつつかりはしないかと云ふことですが	, 其れも地球の一部分だけかも知れません．其のぶ
	,	212	06	たちの為めには実に気の毒で有りますが	, 其れは学問の為めには，どの位，利益にならうか
	,	217	17	出来ましたが今以て名高いのは伊勢物語	, 其れから源氏物語で段々文章も趣向も巧みになり
	,	219	02	ふものに近い訳でも有りませうか．さて	, 其れに付てチト話しが横道に入ります．其れは源
	,	221	07	春町，芝全交などの赤本作者の手に落ち	, 其れから元禄の頃より前太平記，前々太平記など
	,	235	13	りましたが其れは僅かで先づ一番は医術	, 其れから砲術で其れより今日の勢ひに移つて来た
	,	239	06	し，福島，宮城，岩手，青森に道を取り	, 其れより秋田を経て山形に参り，山形より酒田に
	,	239	07	長岡，高田を経て信州長野へと道を取り	, 其れから信州上田追分等より有名なる碓氷峠を下
	,	239	08	より有名なる碓氷峠を下りて横川に出で	, 其れより汽車に乗り八月二十八日の午後五時に上
	,	247	04	が殺すのに何の構つたことが有るものか	, 其れをムヤミにおれをいぢめるのは訳の分らない
	,	253	05	俗に世間で唱へる所の感化院と言はうが	, 其れは名前のところは御相談次第で私の講ずる学
	,	223	17	，世に義太夫と云ふ浄瑠璃が盛に行はれ	, 其れゆゑ近松門左衛門だの竹田出雲だのと云ふ名
	,	002	04	た．私は「かなのとも」か，いろは会か	, そんなことは知らないが私のはいつたのは仮名の
	,	008	10	褥の上に坐つて居ることは出来ませぬが	, そんな人が少ないから漢字はなかなか廃されませ
	,	172	14	り咎めることは出来ますまい．コッチに	, そんなことが無ければ責められるがコッチにもあ
	,	208	05	り草が有り人が有ると云ふやうなものか	, ソンナものでは無いか，ドンナものかと調べるの
	,	047	03	益と合はねば自分の利益だけ謀ればよい	, 他の利益を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れは
	,	196	11	竟，品物の性質が知れないからで有つて	, 他の惑星や太陽や月なとは皆な性質を知らなくつ
	,	267	04	有りまする．故に分房法に致しませぬと	, 他の未決者から証拠を押し隠すの教授を受くるや
	,	014	10	らは月が地球と似たものでは有るまいか	, 第一番に地球の様に円い，其れに谷だの山だのが
	,	226	11	には先づ二部に分ちまして第一部は行政	, 第二部は行政裁判と云ふ順序に致しませう．先づ
	,	226	13	議政と云ふこととを講究することに致し	, 第二部に於ては行政裁判所の組織と権限とを講究
	,	231	02	．即ち第一には施政者は一人と云ふこと	, 第二には行政官は総て執行権，即ち天皇陛下に隷
	,	232	14	は，また之を三つ即ち第一には中央行政	, 第二には府県行政，第三には町村行政と分けまし
	,	232	14	ち第一には中央行政，第二には府県行政	, 第三には町村行政と分けまして其の各自に就いて
	,	253	17	まする．其の第一は資金を多少有する者	, 第二は資金のなき者，第三は仕事を知らざる者．
	,	254	01	金を多少有する者，第二は資金のなき者	, 第三は仕事を知らざる者．其れで，この第一の資
	,	256	05	して此の慈恵に二つの種類が有りまして	, 第一は公けの救助，第二は私の救助で有ります．
	,	256	05	の種類が有りまして，第一は公けの救助	, 第二は私の救助で有ります．其れで第一の公けの
	,	258	06	たしまする者に二つの種類が有りまして	, 第一種は壮健なる貧民にして親族の救助し能はざ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	268	13	して，こゝには通常の罪人を入れて置き	第三は中央監獄と申しまして，こゝには刑期の長
	,	268	14	て，こゝには刑期の長い者を入れて置き	第四は矯正院即ち感化院で有りまする．ところで
	,	258	09	まして，これには教育，即ち智育，徳育	体育を施し且，懲戒，懲治を施し，また将来，就
	,	070	01	何程かと言ふと裁判官が三千九百〇一人	代言人が二千百十一人で御坐います．これは千八
	,	070	06	ずで有りませう．又判事補は九百〇六人	代言人は千〇六十五人で内に法学士が十二人御坐
	,	239	12	小学校，高等小学校，中学校，師範学校	大小の社寺，等ナカナカ沢山なことで有りました
	,	007	14	臣参議が碁を好むと属官までが碁をうち	大臣参議が茶道を好むとまた茶道がはやる．これ
	,	159	09	方は天で，天主を立て天上，天国，天界	大地，草木，鳥獣，人のカラダ，タマシヒまでを
	,	266	08	回想せしめ之を悔るやうに致させまして	大分に悔悟の徴をあらはしたときに至つて家族法
	,	227	15	真正の主権者なるは勿論なれど其の形ち	大名に対しては或ひは管轄権を有つて居られた姿
	,	019	07	ソバに居て滅多に離れない太陽の秘蔵子	太陽のおそばさらずが有ります．此の星を水星と
	,	196	12	性質を知らなくつても知つた積りで「朝	太陽が出たによつて今日は何事か有りはしないか
	,	196	14	はしないか」などと思ふ人は一人も無く	太陽は朝出て毎夕ひつこむのが当り前だと思つて
	,	196	15	だと思つて居るやうです，（尤も実は朝	太陽が出るのでは無くつて太陽の出るのが朝なの
	,	197	09	と同じことで太陽のグルリを回つて居る	太陽は夥しいもので地球や其の外の惑星をひつば
	,	197	12	常に速くあるいてズットにげやうとする	太陽は之を引き付けやうとするので其の間を取つ
	,	197	13	引き付けやうとするので其の間を取つて	太陽のマハリを回つて居ります．コンナ塩梅にし
	,	198	01	．Ｎｅｗｔｏｎの調べました所によれば	太陽から引かれて居りますればいづれ抛物線か楕
	,	034	15	と思ひます．併し大慾の人はさうで無い	大慾の人は余り酒を用ひませぬ．歴史などを見ま
	,	199	01	は長くなりますから申しますまい．さて	楕円と抛物線とはドンナ関係の有るものかと言ひ
	,	199	01	はドンナ関係の有るものかと言ひますと	楕円が段々に長くなりますと抛物線に近くなりま
	,	239	07	り蒸汽船にて新潟へ参り，新潟より長岡	高田を経て信州長野へと道を取り，其れから信州
	,	207	08	あれのことが流星でありまして，秋の頃	沢山に「ソラ飛んだ，また飛んだ」と云ふことが
	,	216	17	ふツクリモノが出来て来ました．其の中	竹取物語が始めで源氏物語にも物語の出来始の親
	,	040	04	古は夫婦の配偶と云ふものは全く無くて	たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や猫が居るのと同し
	,	041	09	も法律と申しても別にきまりては居らず	たゞ其の社会の風習により為めになることなら賞
	,	041	11	て来るのが当然ぢゃが進化せぬうちには	たゞ一つの風習と云ふもので有りたに違ひ無い．
	,	060	11	ても桑を植ゑ蚕を養ふの利益をも考へず	たゞ権利とか自由とか聞きかぢりの不理屈を唱ひ
	,	061	04	も三歳の童子が物品を撰ぶと同じことで	たゞチョット見つきの良きものを悦ぶのみで衛生
	,	079	10	は実にひろく世の中に行き渡つたもので	たゞ一個人にも御坐りまするし又多くの人より成
	,	091	10	づ其の言葉が種々御坐りませうけれども	たゞ一言で申すならば即ち罪で御坐ります．所謂
	,	095	10	である．尚ほ尽すべき道があるべきのに	たゞ陳述のみを以て其の裁判を畢りたるは俗に言
	,	110	05	が乗つた端艇は漕いで来たのかといふに	たゞ風の為めに吹き寄せられて来たのだといふ．
	,	142	02	も仕組と言ふものは大切なものなれども	たゞ柱を削り塀を塗るは普通の職人にも出来る．
	,	149	06	ジウムでも行政スタチスチックと言つて	たゞスタチスチックとのみは言ひませぬ．日本で
	,	166	17	見て分りませうがドウして出来たものか	たゞ一見しては分りますまい．併し之をこはして
	,	183	16	を蓄ひても妻は何ともいふことが出来ず	たゞ出来ぬのみか，彼れ是れいふのは却つて悪い
	,	195	12	しもこれが天保年間ででも有りましたら	たゞ「立派な彗星だ」と言つただけでは済まなか
	,	213	07	るのが持ち前イヤ病ひで御坐いますから	たゞ小説なり演劇なりに付て故事来歴の大略を演
	,	219	11	妻とすべき女は容儀にも芸能にもよらず	たゞ心が落ち付いて深切で夫の相談相手になるの
	,	225	07	ば其の辺のことには一向関はりませぬで	たゞ古るめかしいことを述べて諸君のお耳を煩は
	,	228	12	県と云ふのは別に府と違つた所は無いが	たゞ大いなる市街が無い所を云ふのです．郡と云
	,	232	10	，きめると云ふことは間違つて居るので	たゞ法理ではコレコレのことは是非とも府県会の
	,	241	16	の邸を見に行つて其の邸の全体を見ずに	ただ溝の端の竹が一本曲つて居るとか折れて居る
	,	246	15	，其の所行の善いか悪いかは言はずして	たゞムヤミに強役，強役と名づけて之を懲らしめ
	,	251	08	徴をあらはした者は仮出獄を許しまして	たゞ警察上よりイクラかの監視を受くるだけで通
	,	251	14	なくして行つた者は其の罪を論せずして	たゞ懲治場と云ふものを設けて，こゝでイクラか
	,	256	13	．さて貧民の救助の結果は何かと云へば	ただ二つに止まりまして第一の結果は貧民の救助
	,	195	04	内講義室に於て寺尾寿君講談諸君．丁度	只今から三年ほど前にヨホド立派な彗星が出まし
	,	253	09	の多少をきめることで有りまする．また	只今申した如き者の為めには農業をさせるのが宜
	,	269	09	数が八千四百十四人となりまする．さて	只今申した八千四百十四人の幼年者の罪質を区別
	,	196	07	によらず理屈が有るものか，無いものか	たゞして見なければなりません．一体，この彗星
	,	232	11	ことは是非とも府県会の決議を経て行へ	但し諮問の場合に於ては必ず其の意見を採用せず
	,	184	06	なことは前に述べた通りで御坐りますが	たとひ一人で多くの妻を持ち又は妾を置くことは
	,	185	04	一旦夫婦になつたからには姦淫の外には	たとひ如何やうなことが出来しても決して離別す
	,	201	08	はムツカシク言へばキリは有りませんが	譬へて言ひますと，私は封建時代から居つた者で
	,	150	03	民の一個人と一個人との関係を規定して	たとへば民法，商法，訴訟法の如き人民と人民間
	,	152	02	ぬ．第三には憲法で，きまつて居る原則	例へば政事上の権理とか宗教上の自由とか民事上
	,	211	05	す．心は堅いと云ふことで有りますから	例へばロンドンならロンドンに突き当ればロンド
	,	228	16	学上ドウ区別したがよいか知れませぬが	例へは一方里の場所が有るとしますと其の中で家
	,	257	02	の第一の種類は天然の貧民で有りまして	例へば盲人，聾，唖，癈疾，不具者，等で第二の
	,	257	03	第二の種類は社会上の貧民で有りまして	例へば衣食住の一部，又は全部を欠く者（即ち壮
	,	260	01	を定むること．これは最も必要なことで	例へば一万円と定むるか或ひは二万円と定むるか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	260	06	ざること．これも亦，最も必要なことで	, 例へば一万円の年額を要する為めに三十万円の資
	,	261	12	分ならざる子供の部分に属しまする貧民	, 例へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院，又は孤児
	,	276	09	する．若し此の大原則を誤まりますると	, 例へば囚徒にして獄吏の命に従はない者があつた
	,	261	02	せう．第七，被救助者の姓名は役員の外	, 他人に知らしめざること．これは貧民救助の点，
	,	210	07	シマヒだから今の中にオイシイものでも	, たべて置かう」などと云ふ者が有りました．所が
	,	159	10	，天界，大地，草木，鳥獣，人のカラダ	, タマシヒまでを製造するが西洋の教へ方で東洋に
	,	215	03	では無く勅任官の冠るやうな帽子を頂き	, 玉の輿イヤ車に乗りあるくと云ふは実に昔に比べ
	,	043	04	もになりて参りた．併し天子は民の父母	, 民は天子の赤子などと云ふのは今日まで存する主
	,	041	10	なることなら賞せられて善いこととなり	, 為めにならぬものは悪いこととなりた．其れも進
	,	240	17	良い評判を漏らしたる訳ではありますが	, 為めに競争者が出来て遂に○○君の配偶者になる
	,	221	15	日の言葉を用ゐて滑稽を述るのに妙を得	, 為永春水なども日用の言葉を以て一家の人情本を
	,	203	03	用が起るかとPontécoulant	, Damoiseauと云ふ二人とも計算の上手な
	,	127	05	多う御坐ります．故に若い卒業生が迚も	, たやすく之に勝つことは出来ますまい．勿論これ
	,	011	04	問題をかけましたら「造作もない問題だ	, 誰でも答へが出来る」と言はるゝで御坐いませう
	,	186	15	つの教，即ち一夫一婦の教，聖結婚の教	, 男女同等の教ばかりでもキリスト教は社会改良の
	,	156	11	が回ると聞いてはヂットして居られない	, 血の道がおこるテネ．いよいよ地が回ると決着し
	,	157	07	てアンナつまらないことを言つたからだ	, 地の回ることは決して言ひますまいと言つてきゝ
	,	028	01	多の星の中で大きく見ゆるのは近いので	, 小さく見ゆるのは遠いのだと思へば平均の上では
	,	021	09	て居る．動物は地球の表面にしか居ない	, 智慧と言ものは人間よりほかは持たない，人間の
	,	035	03	せぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に入れば	, 智慧は徳利の中に入る」といふことが有りますが
	,	041	13	ひの外，早く開けてしまふて変化は無い	, 智慧は次第に開けて参るものぢゃが道徳は其れに
	,	156	17	たネ．たゞの者が驚いたところでは無い	, 智慧の有る者まで向ふ鉢巻で驚いた．さうすると
	,	047	12	ふてしまひ，開けた印度も奪ふてしまひ	, 近頃は朝鮮の領分の巨文島を勝手に取りてしまひ
	,	138	08	に随ひ其の本を読んで居りますと果して	, ぢきに眠つてしまひました．小説を読みましては
	,	016	10	ます．して見ると月は分明に地球の眷属	, 地球の家来に違ひ無いです．月の上には山も有り
	,	018	12	て居るばかりで外に地球のツレは無いか	, 地球は月といふ僕とタッタ二人づれで毎年太陽の
	,	024	17	」といふ問に対して「太陽系の中である	, 地球は太陽の眷属の一人である」といふ答へが出
	,	156	09	校のコレンバカリの小僧がたでも天球儀	, 地球儀，を見て地が回るんだと云ふことを知つて
	,	157	12	日本大中小で三万に近い学問所で天球儀	, 地球儀をころがし回すやうに，なりましたが実は
	,	197	10	其の外の惑星をひつぱりますのは，丁度	, 地球が他の物をひつぱると同じやうに，ひつぱり
	,	208	03	に立ちかへつて彗星は一体，何で有るか	, 地球や火星や土星と同じやうなものと言ひました
	,	211	03	も有りました．また「何でも無いことだ	, 地球に彗星が何十何まん遍突き当つても何とも無
	,	150	08	内公法と言ひます．この内公法中で刑法	, 治罪法の二つは別に法典となつて居りますが其の
	,	150	09	に，しにくいです．この公法の中で刑法	, 治罪法を除けば憲法といふのが一つであります．
	,	054	11	本がほしい．其の外，天文，地理，本草	, 地質もつと欲深く鉱物の学問，機械の学問，蒸気
	,	155	13	は十七八，数へたネ．数学，星学，化学	, 地質学（中々覚へて居られないから書いて来たが
	,	170	17	多くなつて土地が狭い位で向ふでもモウ	, チット広ければよいと思つて居る位で，また仕事
	,	149	04	をこしらへなければならぬか行政法には	, ちつとも関係が無いといふ事実にしましても，こ
	,	222	01	勿論，自殺や残酷なことが多かつた．今	, 千歳座で興行して居るホトトギスと云ふ狂言など
	,	120	01	て御承知の通り流行病には疱瘡，コレラ	, チフスなどと云ふ色々なものが有りますが其れ等
	,	147	05	云ふ趣意は色々ありますが先づ全国行政	, 地方行政，町村行政の三つに分つて（二三回で済
	,	154	01	しまして，この次ぎには日本の全国行政	, 地方行政，町村行政の三つに付て講究しやうと思
	,	192	08	通り，其れから左院を置いたも其の通り	, 地方官会議を開いて之に人民に代つて事を議せし
	,	161	06	酒の池，肉の林を造つたといふが，一体	, 紂王といふ人はムヤミなことをする人で孕み女の
	,	239	12	考上に見ました所は小学校，高等小学校	, 中学校，師範学校，大小の社寺，等ナカナカ沢山
	,	272	04	られたる者を拘禁して置きまする．第五	, 集治監．これは徒刑，流刑，及び禁獄の刑に処せ
	,	272	13	て内務大臣の管轄に属するもので其の中	, 集治監だけは内務大臣之を直轄し，留置場，監倉
	,	273	04	る）府県監獄は百九十二箇所ありまして	, 集治監，即ち中央監獄は東京，宮城，三池，樺戸
	,	203	10	は極遠から極遠に，一時のお客で有つて	, チョイと来てすぐ帰る，其れだけが惑星と違ふ所
	,	015	15	処は間で測り，間で間に合はなけりゃ町	, 町が小さすぎれば里と段々に物さしを大きくして
	,	253	07	部，幼年囚の部と致して之に教育，教誨	, 懲戒の三事を施します．尤も其の不良の度合ひに
	,	255	17	ことを知り，監獄の大切なることを知り	, 懲戒の厳にして酷なるべからざることを知らなけ
	,	258	09	は教育，即ち智育，徳育，体育を施し且	, 懲戒，懲治を施し，また将来，就業の準備として
	,	164	12	．夜闌にして客始めて謝し去り且云く身	, 重寄にあたり敢て延擱せず即時に以て纓を解く可
	,	258	09	，即ち智育，徳育，体育を施し且，懲戒	, 懲治を施し，また将来，就業の準備として仕事の
	,	272	01	．故に之を未決監とも申しまする．第三	, 懲治場．こゝには刑法に於て不論罪懲治者の宣告
	,	272	14	けは内務大臣之を直轄し，留置場，監倉	, 懲治場，已決監は東京府に於ては警視総監，其の
	,	273	06	と未決監は百七十五，已決監は百六十一	, 懲治監は百○三，合せて四百三十九の監舎となり
	,	273	15	二十二人，已決囚は五万六千○四十二人	, 懲治者は百二十一人ありまして其の外，別房留置
	,	159	09	主を立て天上，天国，天界，大地，草木	, 鳥獣，人のカラダ，タマシヒまでを製造するが西
	,	147	05	色々ありますが先づ全国行政，地方行政	, 町村行政の三つに分つて（二三回で済むやうに）
	,	151	13	が無形人であります．即ち日本では府県	, 町村等でこれは如何して設けるか如何して運転さ
	,	152	04	ければなりませぬ．第四には全国，府県	, 町村を所有者，負債主，債主の三つに分けて研究

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	154	01	この次ぎには日本の全国行政，地方行政	, 町村行政の三つに付て講究しやうと思ひます．そ
	,	230	03	す．現今では行政上の区画は府県，郡区	, 町村と云ふことになつて居ります．之を行政上の
	,	230	08	政上で無形人と認むるものは全国，府県	, 町村であつて郡は此の中を外れて居ります．フラ
	,	230	15	べきや否やは考へものです．府県，郡区	, 町村の三つは右の如く無形人ですから議政，施政
	,	259	04	てし，或ひは私設救助に政府，又は府県	, 町村より補助するの仕方を以てやるべきもので有
	,	019	13	鏡で見ますと其のグルリに鍔が有ります	, 丁度鉛の玉のグルリに剣術の竹刀の鍔でもつけた
	,	027	06	分はかゝらない幾ど八分と少しで来ます	, 丁度九段の坂下からこゝまで人力車で来る位な間
	,	197	10	地球や其の外の惑星をひつぱりますのは	, 丁度，地球が他の物をひつぱると同じやうに，ひ
	,	200	14	でも見分けは出来ないほどで有りますが	, 丁度そんなもので，彗星の正体を見顕はさうと思
	,	201	12	ンデ見向きもしないことが有りましたが	, 丁度其の通りのことが彗星の身の上にも有るので
	,	203	06	は十三日と言つたのが十六日に来ました	, 丁度七十五六年の中で僅か三日の違ひで有りまし
	,	264	01	法を用ひます．則ち幼年者を数組に分ち	, 長幼の別を正しくし以て教育感化することになつ
	,	205	06	年三度位，彗星の出ない時は有りません	, チョットして何公が死んだとか誰宰相が黜けられ
	,	012	09	ことを調べるは何と言ふ学問かと云ふに	, 地理学と言つて大層大事な学問で有ります．併し
	,	012	10	．併し其れは私の目的で有りませぬから	, 地理学の初歩は御存じと見做して別に今日は地理
	,	054	11	仮名で書いた本がほしい．其の外，天文	, 地理，本草，地質もつと欲深く鉱物の学問，機械
	,	248	04	めに遇ふのである」と云ふので心を改め	, 遂に刑期が終つて社会に再び出ますると，モトの
	,	014	03	にありて一番我々の眼に着くものは大陽	, 月，星，アマノガハなどで有ります．其の中一番
	,	020	16	つても月と地球との割り合ひ程では無い	, 月よりは大きい，直径が地球の半分よりは大きい
	,	028	13	を回つて居ます．丁度地球が太陽を回り	, 月が地球を回る様に見えます．して見ると一つが
	,	069	04	等司法官吏に任用せらるゝまでは前三年	, 次四年，次三年で都合十年間で有りまするが斯の
	,	069	04	吏に任用せらるゝまでは前三年，次四年	, 次三年で都合十年間で有りまするが斯の如く多年
	,	004	17	おハムキは宜しいが今日は散切り坊主で	, つゝつぽ袖を着てなかなかユウチュウカンと長い
	,	206	16	ので，先づスダチしたと云ふやうな訳で	, 燕が子を生んで其の子がスダチして一所に故郷に
	,	183	15	ればならぬが夫は必ずしも守るに及ばず	, 妻が貞操を破れば忽ち離別されるけれども夫が放
	,	087	03	者はこれ等の大事なものに付て誤ること	, つまづくことは容易に致しませぬ．併しながら不
	,	001	12	ゆゑ此の機会失ふべからずと考へまして	, つまらないことなれども少し申します．この四五
	,	192	10	ありますし，今に国会も立てられますが	, ツマリ二つ以上の頭を以て万事を議することにな
	,	193	03	ふ者が多いと船頭が多くて船が山に上り	, ツマリ小田原になるといふことです．其れで執行
	,	218	07	に作つたのも有つて一様で有りませぬが	, ツマリ物語を作つた趣意は先づ慰みもので日長の
	,	228	04	し法律規則をも異にして居りましたから	, ツマリ日本の行政法はムヤミに数が多く有つたや
	,	248	06	なると云ふことが実際に有りまするのは	, ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の宜しきを得ざる
	,	176	05	ば本国なる日本帝国も広く大きくなるに	, つれて其れに相応して手段が無ければなりますま
	,	227	12	て居ります．大名は何であるかと云ふと	, テもなく一地方の君主の如きもので，フランス語
	,	031	01	るに中にはアマノガハの形した星が有る	, ではない星のかたまりが有ります．望遠鏡で見ま
	,	164	07	亜丁に在り聞く数年前，法君那波倫第三	, 提督をして船を駛せ紅海に至らしめ碧林の小島彼
	,	250	01	に図を示して申て上げませう．人生れて	, 丁年に至るまで（即ち二十歳に至るまで）は之を
	,	261	08	し，不良なる少年は矯正院の管轄と致し	, 丁年以上の不良なる人民は監獄の管轄と致し，放
	,	175	12	になつて身に着，口に食ふことも出来ず	, 出来ぬからとて食はずには居られぬので共食ひ同
	,	155	14	石学，物理学，其れから心の方で心理学	, 哲学，倫理学，道徳学，政治学，理財学，法律学
	,	161	09	れたものと見ゆる．酒といふものは丁度	, 鉄炮におそろしい音をさせるミチビの様なもので
	,	159	09	の教へ方は天で，天主を立て天上，天国	, 天界，大地，草木，鳥獣，人のカラダ，タマシヒ
	,	159	09	．西洋の教へ方は天で，天主を立て天上	, 天国，天界，大地，草木，鳥獣，人のカラダ，タ
	,	159	17	ハラで両立して居るけれどもたとひ天主	, 天国があるにもせよ，また極楽があるにもせよ，
	,	193	06	ことである．其れから裁判のことも無論	, 天子がなされるといふことは前にも申し上げた通
	,	159	09	教とも言ひました．西洋の教へ方は天で	, 天主を立て天上，天国，天界，大地，草木，鳥獣
	,	054	11	く鉱物の学問，機械の学問，蒸気の学問	, 電信の学問，法律の学問，測量の学問などの本が
	,	223	05	の姿に出たち夫の三左衛門は女に出たち	, 伝助と云ふ滑稽家を交ぜて踊りました．念仏踊と
	,	220	15	れます．其れから徳川時代になつて寛文	, 天和の頃より浅井了意が東海道名所記などを作り
	,	231	07	之を四段に分けまして上から言ひますと	, 天皇陛下が内閣に居られて政を為さると其の下に
	,	060	10	ぬくせに忽ち学者ぶりて働くことを嫌ひ	, 田畑があつても耕すことを厭ひ，余地があつても
	,	214	10	と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習はされ	, 天保年中の老中，水野越前守が大層政事を改正し
	,	221	06	字屋本と云ふものが流行し其れから明和	, 天明の時分には一変して洒落本となり恋川春町，
	,	054	11	までも仮名で書いた本がほしい．其の外	, 天文，地理，本草，地質もつと欲深く鉱物の学問
	,	209	17	まだこの辺に進んでは居りません．今日	, 天文学の駸々として進むのも其の辺ですが，進ん
	,	131	09	基督教の反対論を駁つ為めに英国，米国	, 独逸国などに毎年出版になる所の書籍類も実に夥
	,	152	07	る，即ち人民の政事上，宗教上，民事上	, 等の権理を保護するものであり行政法では憲法で
	,	239	11	分署，裁判所，県庁，郡役所，戸長役場	, 等合せて百〇三箇所でありまして，其の外，参考
	,	239	13	小学校，中学校，師範学校，大小の社寺	, 等ナカナカ沢山なことで有りました．此の旅行を
	,	242	05	十日を以て副典獄，看守長，書記，看守	, 等凡そ四五十名の前に於て一場の演説を致しまし
	,	245	06	しまることは土木，衛生，勧業，教育	, 等沢山に有りまする．然れども，これ等は行政権
	,	245	09	申して私は何も土木，衛生，勧業，教育	, 等は一切，行政権で関係してはならぬと申す趣意
	,	257	02	て，例へば盲人，聾，唖，癈疾，不具者	, 等で第二の種類は社会上の貧民で有りまして，例

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	263	04	有りますが其れとても年令，罪質，犯数	, 等の区別によつて其の雑居の分ちを為す位なもの
	,	219	09	木の巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君	, 頭の中将，外に両名ばかり集つて世間の女の品定
	,	114	11	来る．人類はドウすれば身体の害になる	, ドウすれば身体の害にならぬといふことは能く分
	,	158	12	蚊帳をつつて線香をたてゝ臍を隠したか	, ドウだか其れは私にはお請け合ひは出来ないが其
	,	184	10	両親の気に入らぬと云つては出ししたら	, ドウして一夫一婦の教が立ちませうか．誠に恥か
	,	165	06	スチックに関係した重大なことで此の間	, 東京学士会院で演説しましたところが社員の方で
	,	273	10	ますまいかのやうに思はれます．此の外	, 東京，兵庫，宮城，三池の四箇所に仮留監と申し
	,	247	12	て罪人を懲らしめるもので，これは所謂	, 道具じかけで有りまして悪い事をしたから斯くの
	,	192	05	すと公論といふはお前の言ふ輿論と違ふ	, 当時大名といふものがあつて其の大名の論決する
	,	227	02	で定め，官権で行ふと云ふ以上は共に且	, 同時に講究しなければならぬ次第になります．よ
	,	247	07	るから何でも此の女はムヤミに懲役せろ	, ドウセ終身のことだから早く死んだつて構ふこと
	,	115	17	行を善くしようと，いふ欲で有りますが	, ドウゾこの人類的の欲が動物的の欲即ち飲食の欲
	,	272	06	法の懲役終身の者を集治いたしますので	, 島地の集治監は単に徒刑，流刑に処せられた者だ
	,	272	07	を集治いたします所でありまする．さて	, 島地集治監と申しまするは俗に島地監獄と申しま
	,	157	06	つかまへ「おのれは太い奴だ」と言つて	, トウトウふんじばつて牢に入れました．さうする
	,	042	15	治上のことに至りては道徳の筋は用ひぬ	, 道徳は交際上におもなことで政府が道徳のことを
	,	087	12	なりと云ふ返答が出来まする．また所謂	, 道徳法の原因と其の基本は何処に在るかと基督教
	,	139	03	の小説を利用することを誤りますと随分	, 道徳を破壊してしまふことも風俗を紊乱すること
	,	146	07	たなら間接に風俗を改良することも出来	, 道徳の腐敗を防ぎ社会を改良することも出来やう
	,	155	14	其れから心の方で心理学，哲学，倫理学	, 道徳学，政治学，理財学，法律学，社会学，史学
	,	255	07	者は探索することも有りまするけれども	, 道徳上の範囲に属する所業，即ち何某が酒を飲ん
	,	114	02	ドウしても節しなければならない．一体	, 動物といふものは食欲を節することは出来ないも
	,	155	13	ないから書いて来たが）其れから植物学	, 動物学，金石学，物理学，其れから心の方で心理
	,	209	06	りを通すと云ふ方が多くして尤もらしく	, 通さないと云ふ方が怪しいやうで有ります．大方
	,	224	03	と区別し年々新狂言を作るに付ては兎角	, 時の好みを追つて人気に適ふやうにと心がける所
	,	258	09	で有りまして，これには教育，即ち智育	, 徳育，体育を施し且，懲戒，懲治を施し，また将
	,	256	08	は一私人，又は数私人，若しくは有志者	, 特志者から救助することで有ります．今，申しま
	,	195	05	の出ます前に，東に当つて出ましたので	, ドコの国からもよく見えました．当時私はこゝか
	,	019	01	く恐れまして螢＊惑がどこそこに来ると	, どこそこに災か起るなどと言つて恐れたもので有
	,	156	07	出るのだから日が出ると言ふのだらうが	, 所が其れが出るとは言はれない．地が円いのだか
	,	229	07	区と云ふのは大いなる市街と云ふ意味で	, 所によると，また其れをも数区に分つと云ふやう
	,	259	11	し惰民製造の予防に注意すること．第二	, 土地の区域を定むること．これは東京の養育院に
	,	029	16	です，銀が其れに譬へられて仕合せです	, 迚も銀などの及ぶことでは無い．其れも昔は銀河
	,	015	12	さを測りまして此の糸は八寸だと言へば	, どの位の長さと云ふことがよく分る，けれどもち
	,	015	14	では九万七千五百寸あるなどと言つては	, どの位の距離だか少しも分らない．だから寸や尺
	,	025	07	う疑ふことです．（尤もこの誰でもとは	, どの学者でもと云ふことで有ります）学者の眼か
	,	165	14	人間の組み合つて居る社会といふものは	, どの位まで開けてゆくか其の事を書いたものも無
	,	167	09	ひない．アーいふことがチャント分ると	, どの位，人世に大功徳を及ぼすか知れますまい．
	,	202	01	彗星も七十五六年目に戻つては来ますが	, どの位後れるかが分りませんでした．ところがH
	,	203	02	までは知れなんだのが今度はよく知れて	, どの位な作用が起るかとPontécoulan
	,	203	05	と云ふ程では有りませんが計算の結果は	, どの位，精密にゆくかと云つて待つて居りました
	,	209	03	なものであらうと云ふ証拠は尾を透して	, どのやうな小さい星でも見えます．尾をすかして
	,	212	06	毒で有りますが，其れは学問の為めには	, どの位，利益にならうか測り知れません．観測を
	,	268	10	に於ては拘引したる者を僅かに数日の間	, 留め置き之を他の監獄に送り付けることになつて
	,	175	12	と土地は狭くなり，また一つの職業でも	, 共争ひに争ふやうになつて身に着，口に食ふこと
	,	218	02	ことは云ふまでも有りませぬ．次に狭衣	, 取替へバヤ，住吉などの類の色々の作り物語が顕
	,	004	02	テとでも交際し競争しなければならない	, トルピドで敵の軍艦を沈めるばかりが競争では無
	,	207	07	ることだが殊に秋の頃，星が天の中から	, とれて流れてしまふやうなことが有ります，あれ
	,	053	16	手紙といふ様なものを書くことを教へて	, どれほどかの年月教へたら上等科のことを学ばな
	,	106	05	の第二十三節に「英国のボールド，ヲフ	, トレード即ち商務局若しくは海事裁判所に於て船
	,	155	04	坦山君演説今日はマハリバンが悪くつて	, ドンジマリに出されたが落語家ならシンウチとか
	,	170	15	．其れならばオースタラリヤに行かうか	, どんな所かよく分りませぬ．一人や二人が知つた
	,	208	05	ふやうなものか，ソンナものでは無いか	, ドンナものかと調べるのは，むつかしい．ソンナ
	,	196	07	」と言ふ．何によらず理屈が有るものか	, 無いものか，たゞして見なければなりません．一
	,	272	15	他の府県に於ては府県知事が之を管理し	, 内務大臣は単に之を監督することに止まるのであ
	,	275	10	てから非常の改良を加へました．其の後	, 内務省に於て各府県の典獄，即ち監獄長を集めま
	,	244	17	ふることになります．故に秩序安寧の中	, 内乱，外乱に関することは陸海軍を用ひ，日々の
	,	196	01	は関係の無い」と云ふ人ばかりでは無く	, 中には「凄い」とか「気味が悪い」とか云ふ位の
	,	236	14	鎖国攘夷の論が盛んだから世間に嫌はれ	, 中には之が為めに自分の命まで取られるやうな人
	,	242	02	とを御熟知なされたる方も有りませうが	, 中には監獄の如何をも知らない方が無いとは云は
	,	137	08	には法律の改良，外務省には条約の改正	, 中々数へ尽されません．私などは専門が法律で，
	,	160	02	上りはしない．するとタマシヒのことで	, なければならん．其のタマシヒは天に上るもので
	,	158	10	様も雷の鳴るときには青くか黄いろくか	, なつてビックリしたに違ひない．後世，朱子が論

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	171	11	当り前の人の半価で乗せるといふことに	なつたといひますから移住出稼の運動が始まつた
	,	200	09	のと其の形ちを比べれば直に分る筈ぢゃ	何も面倒な勘定をして其の軌道を調べなくても,
	,	203	14	所に戻つて来るのと同じことで有るから	何もこはい因縁が有りません. このＨａｌｌｅｙ
	,	276	12	めて然るべきことと考へまする. 其の他	何事につけても此の大原則を了解しませぬと色々
	,	203	12	た. このやうな発見が出来ましてからは	ナニソレの前表で有るとか言つてムヤミにこはが
	,	240	01	監獄の有様は如何, 国事犯等の景況如何	何々何々と矢をつく如くに詰問せられました. け
	,	212	14	そ学問も今日より進んで彗星の物理学上	何物たるかと云ふことを言ふことも出来ませう.
	,	217	04	くなつて言ひ寄つた人も多かつたけれど	なびかず. しまひには帝王がキサキにしやうとお
	,	007	17	ぶるがよい. 墨を付けてよごしたものは	なほやぶるがよい. さればどうも今日の有様を感
	,	124	07	諸君の御為めになることが御坐るならば	なほ有り難きことと存じまする. 凡そ卒業生とい
	,	039	09	に女子は身体も弱くて戦争も出来ぬから	なほさら殺さねばならぬ訳ぢゃ. 又老人などが役
	,	127	07	りて天地の間の道理を広く論ずる間には	なみの人の如くに色々の間違ひに陥り易いもので
	,	113	09	ふものは先づ悪い方に勘定をしなければ	ならないので酒を節するは固よりせねばならぬこ
	,	115	10	人類といふものは品行をよくしなければ	ならないといふことで有ります. 他の動物は酒を
	,	167	13	い問題は新しい学問の力によらなければ	ならぬのは勿論でありませう. 我が日本には昔よ
	,	173	16	かれ遅かれ必ず移住の運動をしなければ	ならぬことがあります. 其の訳はといふと我が国
	,	028	01	るのか知れるものでは無い. さりながら	ならして言つたら数多の星の中で大きく見ゆるの
	,	275	02	もなる者は幼年囚, 及び不良少年の教育	並びに保護でありまして, これは近来, 大いに進
	,	275	03	リカにては幼年囚, 及び不良少年の教育	並びに保護は実に盛大なる有様であるとのことで
	,	275	13	感化事業即ち幼年囚, 及び不論罪懲治者	並びに出願懲治者の教育保護の事業を世間の有志
	,	047	05	ほど一応は尤もで, さうなりたいことは	なりたいなれど其れよりは各国が今日まで未だ一
	,	157	12	で天球儀, 地球儀をころがし回すやうに	なりましたが実は地が回るか回らないか私には保
	,	185	12	去の教も其の一大原因であると申さねば	なりません. 而して仏法や神道は此の如きことに
	,	185	14	には矢張キリスト教の力を借りなければ	なりません. 第三には男女同等の教で御坐ります
	,	203	13	こはがるやうなことは有りませんやうに	なりました. 丁度二十四時間, 過ぎると同じ太陽
	,	158	15	が通じますがナント大変なことになれば	なるものでござすネ. 昔は仏教のお寺の前には雷門
	,	116	05	其の訳は節酒会といふ申し合せが有ると	なるたけ酒を飲まないやうになり, 多く飲む者も
	,	051	12	れた方が使へるだけは仮名の文字を使ひ	成るたけモロコシ文字を省いて書くといふ様に日
	,	192	17	なつて居りますが天子といふものは一体	何人あるべきものか, 二人あるか三人あるかとい
	,	208	03	て今度は彗星に立ちかへつて彗星は一体	何で有るか, 地球や火星や土星と同じやうなもの
	,	208	08	て, ミチノリの書いたものと見合せれば	何時間にどの位, 走ると云ふことが分ります. し
	,	211	17	スの天文学者が夜あかしをして居つた所	何だか天が変になつて北光でも無いが何であらう
	,	052	04	ことと触れ出し一字使つた者は懲役一年	二字使つたら懲役二年に処することとしモロコシ
	,	257	01	民の種類は何かと申しまするると, これ亦	二種類しか有りませぬ. 其の第一の種類は天然の
	,	239	04	城県, 岩手県, 青森県, 秋田県, 山形県	新潟県の七県の監獄巡閲の命を受けまして, 去る
	,	239	07	に出で, 酒田より蒸汽船にて新潟へ参り	新潟より長岡, 高田を経て信州長野へと道を取り
	,	242	03	が無いとは云はれますまい. 曾て旅行中	新潟監獄に於て副典獄, 福島武司氏より私に向つ
	,	161	06	ぼすものが有る. 殷の紂王などは酒の池	肉の林を造つたといふが, 一体, 紂王といふ人は
	,	030	01	になりますと夥しく星があります. 一体	肉眼で見えない星が沢山ありますが其の中で此の
	,	060	05	ず人力車が出来ればムヤミに乗り散らし	日曜日と云つては休み, 盆だと云つては休み, 実
	,	168	08	弱くて振ふことが出来なかつた. 其の後	二百六七十年すぎて北亜米利加合衆国の人が和親
	,	034	03	害を受けぬ者は有りませぬ. 然るに今日	日本で「文明」と訳字を付けましたシビリザショ
	,	070	09	の人口は二千七百二十七万九千百十一人	日本の人口は三千七百四十五万千七百六十四人で
	,	102	11	を知つてる人は万人に一人も無いは勿論	日本はドウいふ国やら日本は支那の属国やら更に
	,	123	06	したが実に妙な慣はしではありませぬか	日本も広いことだから随分穿鑿をしましたら酒に
	,	157	01	やかましい人が教法を握つて居るんだが	日本では此の間まで宮様が教法の親方だつたが今
	,	157	12	きれたやうに, しゃべり出したとネ. 今	日本大中小で三万に近い学問所で天球儀, 地球儀
	,	168	01	今すぐに此の文字を取られて御覧なさい	日本はヤミになりませう. 其の外, 色々ありませ
	,	174	09	人前の衣食の費用を三十円としますと今	日本人の衣食の費用ばかりでも一箇年に十一億四
	,	182	17	ことと申さなければなりません. 若し今	日本中の人に各二三人の妾を蓄る力があつたらド
	,	185	10	は思ひも寄らぬことで御坐ります. 全体	日本にはドウして此のやうな悪風が始まつたこと
	,	204	03	また術でもないやうなもので有りますが	日本で云へば安倍の晴明とでも云ふやうな人に其
	,	210	12	等の迷ひを解くことを書いて居りますが	日本などではドウかソンナ説の流行らない中に用
	,	216	11	に殺されたと云ふ話しが堂々たる古事記	日本紀に書いて有りますが, これなどは後世の子
	,	237	11	生もあり, 本もあり, 西洋語でやらうと	日本語でやらうと何でも勝手に出来る. また西洋
	,	088	09	進歩することが出来ませぬ. 米国の土人	ニュージーランド島のマオリと云ふ人種の様なも
	,	021	10	智慧と言ものは人間よりほかは持たない	人間の上は直に神だと思つて居りましたが今では
	,	166	04	サハカな話しでは分りませぬが併し畢竟	人間生活の真理を発明しやうといふ為めに骨折り
	,	205	07	んだとか誰宰相が黜けられたとか其の外	人間社会に災の有ることも一年に三度位はキット
	,	247	16	て其の目的は「汝の為したる所業は悪い	人間の行ひはコレコレにしなければならぬ」と云
	,	169	12	利加に行く者と欧羅巴に行く者との人数	年齢, 職業などを書いたものを見ませぬから委し
	,	176	11	と記し女は女と記し, 姓名, 生国, 職業	年齢などを記し, また其の行く先きの地名を記し
	,	177	01	れを集めて前に述べたやうに男女の人数	年齢, 職業などの種類を分つて其の国々にまとめ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(,)	,	171	16	が国，開港の先導者となつたこと我が国	,	の第二海外貿易の道を開いたこと我が国人に阿片
	,	222	10	ら演劇のことを述べませう．演劇は舞と	,	能の狂言とが転変してアー云ふ風になりましたと
	,	237	07	害することは有つても利することは到底	,	望みは無かつた．けれども左様なる利害を顧みず
	,	221	08	と云ふウソバナシをサモ本当らしく作り	,	後には真田三代記とか難波戦記とか伊達騒動とか
	,	270	17	取るに足らない説と存じられます．今度	,	述べまするのは留置場で其の数は三千〇五十箇所
	,	094	09	せぬが英吉利法のことは大谷木君が後程	,	陳べられませうから私は英吉利法によらずして法
	,	159	01	には保証が出来ないが実際人々の精神に	,	のみこんだのが学問の実際といふものに違ひない
	,	220	12	で福富の草紙と云つて善と悪のヂーサン	,	バーサンのことを書いたものや，鉢かつぎの草紙
	,	005	06	がこれからはお前も漢字を廃するがよい	,	廃さなければクルベーだぞと忠告してチャンチャ
	,	009	04	先づかういふ方法．併し廃さうでは無い	,	廃さない方が天下の輿論で有ります．さればこの
	,	257	02	貧民で有りまして，例へば盲人，聾，唖	,	癈疾，不具者，等で第二の種類は社会上の貧民で
	,	257	06	而して天然の貧民に属する盲人，聾，唖	,	癈疾，不具者は祖先父母等に於て之を養ふもので
	,	258	01	種類が有りまして第一種は盲人，聾，唖	,	癈疾，不具者にして親族の救助し能はざる者，又
	,	261	11	る恐れなき天然の貧民即ち盲人，聾，唖	,	癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又は養育院の如
	,	168	02	．世が開けるに従つてまた新しいものが	,	はいつて来ましたから何事も競ひ出し医者でも本
	,	199	08	ひ尽せます位なら失礼ながら予備門から	,	はいつて大学までいくには及びません．さて彗星
	,	215	02	するとか又は自分で著述するやうになり	,	俳優も編笠どころでは無く勅任官の冠るやうな帽
	,	117	14	たらば其れも宜しからうが私は其れには	,	はいらなくつてもよい．私などは若し禁酒会には
	,	118	02	に虚言をつくやうな人ならば節酒会にも	,	はいらぬ方がよい．一体，一人で孤立して守ると
	,	151	03	と甚だ広いものです．第一行政法の中に	,	はいるものは日本の行政法の組織だと行政官吏，
	,	142	13	が最も小説の盛んなる時で其の後は大体	,	馬琴の流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ
	,	207	17	１ａの彗星は失せてしまつたのでは無く	,	化けて流星になつたものと見えます．このごろで
	,	220	08	多いから安宅の関で弁慶が勧進帳を読み	,	箱根で工藤祐経が箱王丸に対面して赤木の短刀を
	,	173	10	ら来たパンを食ふと苦味の加減で奥歯に	,	はさまるやうで気味わるく東から来るパンはバタ
	,	222	02	酷なものでは有りませぬか．馬琴の作も	,	始めは同じやうで有つたが晩年には注意して意匠
	,	241	07	ことにしましても塀が立派で有つたとか	,	場所が高かつたとか低かつたとか云ふやうなこと
	,	208	08	いたものと見合せれば，何時間にどの位	,	走ると云ふことが分ります．しかし一体，汽車と
	,	054	02	を知らない．初学で下り而して舟を漕ぎ	,	畑へ弁当を持つて行く様になる．其れを用の弁ず
	,	164	15	之を聞き猶ほ以て戯れと為す．至れば則	,	果して英幟の已に樹つを見る．懊悔頓に生す，機
	,	248	12	ては右の犯罪人及び嫌疑者の判断を下し	,	果して罪ある者には刑の言ひ渡しを為すだけに止
	,	120	09	に出来ました．昔は私の居る近辺は大抵	,	旗下屋敷で有つて神保町辺から小川町辺は商家と
	,	161	14	上から人を斬つたことが有つた．其の後	,	旗下ぐらゐでも酒の上で家来などを斬つたことが
	,	220	12	ーサン，バーサンのことを書いたものや	,	鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪まれたムスメの
	,	198	02	あるに違ひ有るまいと云ふことを算盤で	,	はぢき出したと言ひたいが，実は鉛筆で書き出し
	,	173	06	す．国内でも強盗をのけては，きつたり	,	はつたりするものは先づ無いやうになつたので知
	,	076	17	の立てらるゝことも御坐んせうが其の間	,	髪を容れぬのです．右のＭａｃｌｅｏｄ氏の如く
	,	109	06	下は三艘，六百噸以上八百噸以下は四艘	,	八百噸以上一千噸以下は五艘，一千噸以上一千五
	,	198	04	お分りの無い方があるといけませんから	,	話しに枝は咲きますがザットお話しをしておきま
	,	262	12	，夜も昼も他の囚徒と面を見合すことも	,	話しをさせることも有りませぬ．此の方法は悔悟
	,	008	06	は星の如く褒美は五六百円のものもあり	,	花火を打ち揚げてヒュウヒュウポンポン．また夜
	,	246	02	斯くの如き悪い事をした．因つて牢屋に	,	はふりこんで早く殺してしまへと云ふやうな考へ
	,	041	12	ｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は思ひの外	,	早く開けてしまふて変化は無い，智慧は次第に開
	,	007	01	対した方にばかり流れ益々字を書く方が	,	はやって来て字を書くことだの支那流の道徳だの
	,	180	01	らぬものは御坐りますまい．彼のジョン	,	ハワルドをして欧羅巴諸国の監獄改良のために甘
	,	022	12	の次ぎは地球で有ります．これは三丁半	,	半は少し大げさで其の実は三丁と十四間程で大き
	,	263	04	すのも有りますが其れとても年令，罪質	,	犯数，等の区別によつて其の雑居の分ちを為す位
	,	187	04	の卑賤をも眷顧たまふが故なり今より後	,	万世まで人々我を福なるものと称ふべし」と謳ひ
	,	187	09	が霊，我が救主なる神を喜ぶ，今より後	,	万世まで人々我を福ある者と称ふべし」と此の凱
	,	208	15	三つが同じやうなものと云ふ証拠は無い	,	反対にそれぞれ違つたもので有ります．これをそ
	,	158	03	知つて居る通り万物万事が政治は政治学	,	万物の理を知るのが物理学でやるのだからドウし
	,	195	05	めて御記臆で御坐りませうが，これは朝	,	日の出ます前に，東に当つて出ましたので，ドコ
	,	195	07	熱帯地方に旅を致して居りましたが，朝	,	日の出ます前にあるかなければならない用事が有
	,	196	12	たによつて今日は何事か有りはしないか	,	日がひつこんだから風が吹きはしないか，宵の明
	,	261	02	云ふことの無いやうになりませう．第七	,	被救助者の姓名は役員の外，他人に知らしめざる
	,	195	05	りませうが，これは朝，日の出ます前に	,	東に当つて出ましたので，ドコの国からもよく見
	,	013	03	一です．其れで地球は立派な球では無い	,	ひつこんだ所とふくれた所が有ります．そこで直
	,	200	13	に出ます時に男になつて出るかと思へば	,	ひつこんで，また女になつて出て来るので始めて
	,	260	05	も引き足らないやうになりませう．第五	,	必需入額及び予備入額の備はりたる上は更に寄附
	,	197	11	，地球が他の物をひつぱると同じやうに	,	ひつぱります．地球が只今でも止まつてしまつた
	,	074	04	ほど利を興すの必要と害を除くの必要と	,	必要は同じことではあるが利を興すと害を除くと
	,	147	17	如きにしましても季候を調べるのは是非	,	必要でありますがスタチスチックで何れの土地の
	,	003	05	関係を考へて見なければならない．一体	,	人には時の際限が有つて一日に二十四時間あるが
	,	006	02	字のことを言つても取り合はない．兎角	,	人は一方より外には見ることを知らぬもの．併し

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	008	05	開業式は一日ならず二日も三日も大騒ぎ	, 人は黒山の如く提燈は星の如く褒美は五六百円の
	,	080	12	ります．一つの仕方は人の総ての悪き所	, 人の害になる所，人の位を下げる所のものを減じ
	,	080	12	方は人の総ての悪き所，人の害になる所	, 人の位を下げる所のものを減じ或は除くことで御
	,	080	13	一つには現に成り立つて居る人の善き所	, 人の益になる所人の品位を上げる所のものを能く
	,	080	17	ても適用すべきもので御坐ります．畢竟	, 人の総ての進歩，総ての改正改革を遂げる為めに
	,	082	08	的に付て人の進歩で御坐ります．たとひ	, 人が種々の進歩いたしても道徳的の進歩を致しま
	,	085	12	が御坐ります．其の一は人の悪しき性質	, 人の損害になる原素，また人の位を下げる所のも
	,	085	14	る所の善き性質また人の得益になる原素	, 人を貴くするものを能く養ひて盛んにすること．
	,	086	02	ます．なぜと云ふならば人の悪しき性質	, 人の損害になる原素また人の位を下げる所のもの
	,	086	03	坐りませうか，また，これ等の善き性質	, 人の益になる原素，人を貴くする所のものは如何
	,	086	04	，これ等の善き性質，人の益になる原素	, 人を貴くする所のものは如何なるもので有ります
	,	086	06	道徳の法と其の基本は何で御坐りますか	, 人の心を深く動かして人間社会を改める所の盛ん
	,	087	06	しませう．たとへば彼の人の悪しき性質	, 人の害になる原素，人の位を下げる所のモノゴト
	,	087	06	彼の人の悪しき性質，人の害になる原素	。人の位を下げる所のモノゴトまた其の外社会の進
	,	087	09	ふ返答が出来まする．また人の善き性質	, 人の益になる原素，人を貴くするモノゴトは如何
	,	087	09	．また人の善き性質，人の益になる原素	, 人を貴くするモノゴトは如何なるものかと基督教
	,	091	06	会の進歩は一個人と社会とを論ぜず一体	, 人の進歩を妨げて最も大いなる邪魔を為すものは
	,	108	03	殺す場合のみでなくて悪事を為すの結果	, 人を殺すに至つたものも亦マーダーと為す如きも
	,	135	10	色々の楽みと哀み人の色々の願ひと望み	, 人の限り無き苦楽，人の命と死などのものが狭い
	,	135	10	の色々の願ひと望み，人の限り無き苦楽	, 人の命と死などのものが狭いものならば基督教の
	,	159	09	て天上，天国，天界，大地，草木，鳥獣	, 人のカラダ，タマシヒまでを製造するが西洋の教
	,	236	11	なつても人に信ぜられぬのみならず始終	, 人に悪まれて少しも自分の利益になることは無か
	,	246	03	した．然れども孔夫子の言はれたる如く	, 人には多く過ちの有るものであるから悪い事をし
	,	028	09	を観測して見ると中には面白い星が有る	, 一つ二つ三つ四つなどとかたまつて居る星が有る
	,	268	03	別が有りまして一つは軍事の監獄で有り	, 一つは普通の監獄で有ります．軍事の監獄は陸軍
	,	089	01	なりませぬ．併しながら人の本当の有様	, 人々の不完全なることを教ゆるには基督教に若く
	,	118	02	ば節酒会にも，はいらぬ方がよい．一体	, 一人で孤立して守ると人と約束をするのとは約束
	,	231	06	もので有ります．其れから，また施政は	, 一人，議政は数人でやるのです．之を四段に分け
	,	244	17	内乱，外乱に関することは陸海軍を用ひ	, 日々の取締に関することには警察を用ひ，悪人取
	,	144	09	るツマラヌものが沢山あります．兎に角	, 非凡の小説を得んには小説家の資格と云ふものを
	,	273	10	いかのやうに思はれます．此の外，東京	, 兵庫，宮城，三池の四箇所に仮留監と申しまする
	,	041	06	其の時の道徳は其の時に適せねばならぬ	, 開けぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り前のことぢ
	,	047	11	を逐ひまくりて其の土地を奪ふてしまひ	, 開けた印度も奪ふてしまひ，近頃は朝鮮の領分の
	,	164	11	進の程途を以てす．なんぞぞ意はん英将	, 便に乗じ衣袋の内より紙を取りて数字を揮灑し某
	,	257	04	又は全部を欠く者（即ち壮健なる貧民）	, 貧病人，及び家庭教育の足らざるが為めに心の人
	,	256	16	で犯罪人を生ずることになりまするから	, 貧民を救助すれば犯罪人を減少すると云ふことに
	,	258	01	くに定むべきものと考へられます．第一	, 貧民の救助．これに二つの種類が有りまして第一
	,	258	05	者，又は親族なき者で有りまする．第二	, 貧民の救助，兼犯罪人の予防．此の両性質には別
	,	071	07	法律学士の供給は既に需要に溢れて居る	, 不平均である」と云ふ如き盛時に遭遇するの栄を
	,	228	11	ことと県と云ふこととに付て申しますと	, 府と云ふのは大いなる市街のある所を云ひ，また
	,	128	16	説，新らしい論を求めて風見の如くに今	, 不意に吹き出した所の風に従つてゆくものは決し
	,	170	08	で無く全く自発して行くのでありませう	, 富貴の働きの方には限りがありませうが人民の自
	,	042	03	いなれども西洋では其の様なことは無い	, 夫婦の間でも男女同権と云ふ説が出て来るが如き
	,	076	05	坐んせうが貧弱なる国の富強になる様に	, 富強になつたものは貧弱にならぬ様にといふ様に
	,	257	02	有りまして，例へば盲人，聾，唖，癈疾	, 不具者，等で第二の種類は社会上の貧民で有りま
	,	257	06	天然の貧民に属する盲人，聾，唖，癈疾	, 不具者は祖先父母等に於て之を養ふもので有りま
	,	258	01	有りまして第一種は盲人，聾，唖，癈疾	, 不具者にして親族の救助し能はざる者，又は救助
	,	261	11	なき天然の貧民即ち盲人，聾，唖，癈疾	, 不具者の如きは訓盲唖院，又は養育院の如きもの
	,	239	04	月十五日宇川盛三郎君講演私は本年六月	, 福島県，宮城県，岩手県，青森県，秋田県，山形
	,	239	05	時に上野発の汽車にて東京を出立いたし	, 福島，宮城，岩手，青森に道を取り，其れより秋
	,	242	03	い．曾て旅行中，新潟監獄に於て副典獄	, 福島武司氏より私に向つて司獄官吏の心得を演説
	,	069	14	にはいけぬから他の業を修むる様にせよ	, 父兄たる者子弟たる者善く注意をせよ」と云ふ忠
	,	151	06	することで上は天皇陛下より内閣，諸省	, 府県庁，郡区役所，戸長役場など総て全国一般の
	,	152	04	究しなければなりませぬ．第四には全国	, 府県，町村を所有者，負債主，債主の三つに分け
	,	230	08	外，行政上で無形人と認むるものは全国	, 府県，町村であつて郡は此の中を外れて居ります
	,	175	09	あるが増すばかりが国家の繁昌では無い	, 不幸だ．人があり余ると人力ではドウすることも
	,	213	05	れませうが其れならば大違ひ．私は性来	, 不才だから新しい見解を立てゝ議論をするなどと
	,	152	04	ぬ．第四には全国，府県，町村を所有者	, 負債主，債主の三つに分けて研究しなければなり
	,	222	14	以来，僧家に延年の舞と云ふものが有り	, 婦女の間に白拍子の舞が有りましたが，また田楽
	,	186	13	人が社会のために働くことを励ますこと	, 婦人特有の温柔謙遜の徳を貴ぶこと，其の他にも
	,	024	05	先づ第一に火星には二つほど眷属が有る	, 二つほど月をみた様なものが有る，其れは衛星と
	,	192	17	といふものは一体，何人あるべきものか	, 二人あるか三人あるかといふに天子は一人といふ
	,	268	06	び方法などに至つては軍事のものにせよ	, 普通のものにせよ，一切変つたことは無かるべき

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	271	10	の監獄に関係しましたことは省きまして	, 普通の監獄に関係しましたことだけ申し述べませ
	,	159	08	言ひ，孔子の学問とも孔子の教とも言ひ	, 仏学とも仏教とも言ひました．西洋の教へ方は天
	,	157	05	たが）若し地が回るとなると羅馬法皇の	, 仏教で申したら法華経とか三部経とかいふものに
	,	148	10	にイクツあるといふことを西洋のヤール	, ブックに就て見ると先づ東京とか大坂とか京都と
	,	155	14	たが）其れから植物学，動物学，金石学	, 物理学，其れから心の方で心理学，哲学，倫理学
	,	003	01	とも出来れば暑さ寒さを防ぐことも出来	, 船を造ることも出来れば敵の首を取ることも出来
	,	173	01	ふことで養はれて居り天恩，君恩，主恩	, 父母の恩，また長老朋友などに対してあの人は恩
	,	227	12	と，テもなく一地方の君主の如きもので	, フランス語で云へばプレンス即ち藩主で有つて其
	,	261	17	いたしませう．初めにも申しました通り	, フランスにおきましては監獄のことをプリゾンと
	,	261	07	よつて善良なる少年は学校の管轄と致し	, 不良なる少年は矯正院の管轄と致し，丁年以上の
	,	270	03	に恐るべきことでは有りませぬか．また	, 不良少年の多少は其の教育の有無に関係すること
	,	253	06	切りを三つに分けまして出願懲治者の部	, 不論罪懲治者の部，幼年囚の部と致して之に教育
	,	156	01	政治学，理財学，法律学，社会学，史学	, 文学まだ此の外にあるので，ごすけれども先づ此
	,	031	09	るまいかと云ふ疑ひが起りますが此の頃	, 分光器と言ふものが発明になりまして総ての物体
	,	220	13	と云つて継母に悪まれたムスメの話しや	, 文正の草紙と云つて常陸の国に居た大福長者の話
	,	219	17	其れからして保元平治物語，源平盛衰記	, 平家物語などは文章も面白くて目の前に見るやう
	,	131	09	ます．基督教の反対論を駁つ為めに英国	, 米国，独逸国などに毎年出版になる所の書籍類も
	,	002	02	方では有りますが，お目通りを致した所	, 別のことでも無い，お前は仮名の会の会員ださう
	,	273	15	，懲治者は百二十一人ありまして其の外	, 別房留置者と申す者が千八百六十七人あります．
	,	151	12	するのです．第三は無形人即ちモーラル	, ペルソンヌでこれは財産を所有し負債を起すこと
	,	137	16	の方が面白い．西洋のスペンサーやミル	, ベンサム等の本を読みましたときには上下を着た
	,	074	08	な金を出しますると丁度快楽なるものか	, 便利なるものがはいつて来るので金を使つただけ
	,	042	12	度道と云ふものは親類同士の寄り合ひで	, 法と云ふものは他人同士の寄り合ひと云ふ様なも
	,	276	01	ば維新前は罪人は棒罰すると云ふ主義で	, 棒でぶつておけ又は道具でカラダを苦しめろ，或
	,	223	12	者と云ふ者も出来て続き狂言を作り元禄	, 宝永の時分になつては三番続き五番続きの狂言の
	,	223	16	して人形を遣ふことになりました．元文	, 宝永の時分には竹本筑後掾，世に義太夫と云ふ浄
	,	205	05	は災が絶えずに有るので有ります．近頃	, 望遠鏡の発明が有りましてから少くも一年三度位
	,	269	09	の罪質を区別して見まると謀殺，故殺	, 放火，強姦，窃盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其
	,	197	03	ことで有ります．天文学は近来進歩して	, 彗星の運動のことに付てはドコから出てドコに帰
	,	200	14	いほどで有りますが，丁度そんなもので	, 彗星の正体を見顕はさうと思へば必ず其の道によ
	,	201	06	ヨホド骨の折れるもので有ります．一体	, 彗星は長の旅をする間にはミチグサをくつて来ま
	,	204	15	ローマ法皇は「毎日正午には鍾を鳴らせ	, 彗星とトルコ人を調伏すべし」と触れを出しまし
	,	205	06	発明が有りましてから少くも一年三度位	, 彗星の出ない時は有りません，チョットして何公
	,	212	02	す．流星は彗星のこわれたのだとすれば	, 彗星が家ならば流星は古材木の様なもので有りま
	,	164	07	を読みませう．余亜丁に在り聞く数年前	, 法君那波倫第三，提督をして船を駛せ紅海に至ら
	,	133	14	かの役人が答へまするに「私は内に随分	, 奉公人を多勢使ひますが中に一人の鬼の如くにけ
	,	035	16	にして智慧を研いたからで御坐りませう	, 報国をしようとか大事業を仕遂げようとかいふに
	,	164	02	を立て家を興したといふ者は一人も無し	, 亡国廃家に至つた者は古来歴々としてある．近ご
	,	235	12	と云ふのは蘭学で，ワザは医術，其の後	, 砲術に移りました．尤も天文も渡りましたが其れ
	,	137	07	に言はせたなら政治の改良，社会の改良	, 法制局には法律の改良，外務省には条約の改正，
	,	256	10	救助と云ふものが有ります．これは洪水	, 暴風雨等の為めに田を流し畑を荒されたる等の時
	,	198	13	イト図に書きますと楕円はコンナ形ちで	, 抛物線はコンナ形ちで有ります．そこで彗星が惑
	,	261	08	以上の不良なる人民は監獄の管轄と致し	, 放免者は慈恵と犯罪予防との二点よりするところ
	,	045	04	一般が人民の害を為してあるに違ひ無い	, 法律の上で一般人民を害する法が有るのぢゃ．其
	,	054	12	，機械の学問，蒸気の学問，電信の学問	, 法律の学問，測量の学問などの本が出来なくつて
	,	155	14	哲学，倫理学，道徳学，政治学，理財学	, 法律学，社会学，史学，文学まだ此の外にあるの
	,	191	08	律を執行するに止まる．政を行ふのも亦	, 法律を執行するに止まるものであるから行政権，
	,	100	15	ならず啻に義捐金を募集するのみならず	, 外に多くの考へが無くてはなるまじ．即ち我々が
	,	219	09	夜の品定めと云つて源氏の君，頭の中将	, 外に両名ばかり集つて世間の女の品定めをし女の
	,	176	08	クは第一必要でスタチスチックの穿鑿法	, 簿記法から着手し次第に進んで比較判決などの高
	,	014	03	りて一番我々の眼に着くものは大陽，月	, 星，アマノガハなどで有ります．其の中一番近い
	,	029	09	る．其れは何で有りますかと云ふと一体	, 星と云ふものはどの辺には沢山あつてどの辺には
	,	207	07	の通りイツでもあることだが殊に秋の頃	, 星が天の中から，とれて流れてしまふやうなこと
	,	207	13	而雨」と云ふことだらうと言ひましたが	, 星が隕ちて雨がふつたと云へば星は星，雨は雨で
	,	120	05	が世界に流行する所を見れば各の住民は	, ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る様なものだ」
	,	023	05	に土星は三十一丁の所で木星より小さい	, 幾ど九寸三分程で有ります．其の次ぎが天王星，
	,	107	11	ります．第一種をジャスチファイァブル	, ホミサイドと言ひますが，これは訳して言ふと正
	,	107	13	あります．第二種をエキゼキューサブル	, ホミサイドと言ひますが，これは宥恕殺といつて
	,	006	12	を持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする	, 本を見なくては講釈をすることが出来ない．今日
	,	134	10	るものでは御坐りませぬか．原因と結果	, 本と末といふものが有りますが結果が宜しければ
	,	237	11	大難事が全く消滅しました．先生もあり	, 本もあり，西洋語でやらうと，日本語でやらうと
	,	060	05	ミに乗り散らし，日曜日と云つては休み	, 盆だと云つては休み，実にハヤ勝手至極な結構な
	,	054	11	書いた本がほしい．其の外，天文，地理	, 本草，地質もつと欲深く鉱物の学問，機械の学問

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	212	03	流星は古材木の様なもので有りますから	, 本当の彗星の中へ這入れるのは推して知れませう
	,	205	10	つて，こはがつたものと見えます．さて	, 前に申した通りに立ち戻つて来る彗星が有ること
	,	224	07	ら猥雑なことで無ければ面白がらぬから	, 前に申した小説と同じく士君子の見物するもので
	,	270	04	することが最も甚しいものと見えまして	, 前に申した八千四百十四人の者の教育の度合ひを
	,	036	07	なる欲」といふ方に御賛成の様に見ゆる	, 誠に面白いことです．どうか此の会も大いなる欲
	,	227	10	これに就ては任命の仕方や何かは行政上	, 正しくいつて居つたとは云はれませぬ．足利尊氏
	,	214	06	ました．馬琴や種彦でさへ，さうだから	, ましてや京伝だの三馬だのに於ては狂言作者同様
	,	219	13	時分は上等社会さへ，さうで有つたから	, まして下等の風は思ひやられます．しかし箇様な
	,	221	04	などと云ふ作者が有つて西鶴の風により	, ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら遊里の事
	,	177	09	国人増殖の後難を防ぎ止むることも出来	, 益々日本帝国を繁昌させることが出来ませう．先
	,	008	15	には字もむづかしいのは成るたけ教へず	, また一つには仮名か羅馬字で綴つた文章を読ませ
	,	054	07	とが肝腎だと思ひます．先づ小学校の本	, また学問のある人の研究の為めの本，それから第
	,	058	10	て諸君に面会しお話しを致すことも出来	, また諸君が東京より奏楽者を聘して奏楽をお聞き
	,	080	15	る人の種々の善き所に加へて人を貴くし	, また人を活発にする新しい原素をつくる仕方で御
	,	080	16	ます．此の三つの仕方は一個人に付ても	, また社会に付ても適用すべきもので御坐ります．
	,	083	12	と云ふものは一個人の為め全国民の為め	, また世界中の人類の為めにも一様に必要で御坐り
	,	083	16	ば完全なる進歩が迚も出来ませぬ．第五	, また人間社会の進歩に付てかう云ふことが御坐り
	,	085	01	史を勉強する人には至つて面白いことで	, また有益なることで御坐ります．先づ人間の進歩
	,	085	12	は人の悪しき性質，人の損害になる原素	, また人の位を下げる所のものを除き去りまた滅ず
	,	085	13	げる所のものを除き去りまた滅ずること	, また一つは何れの人にでも現に成り立つて居る所
	,	085	16	こと．此の三つで御坐ります．それから	, また完全なる進歩を成就する為めに道徳の進歩は
	,	086	01	これ等の種々の事柄は演題の確実なこと	, また其の間違ひ無いことを充分証拠だてることも
	,	086	03	を下げる所のものは何で御坐りませうか	, また，これ等の善き性質，人の益になる原素，人
	,	086	05	社会の進歩と所謂文明開化を妨げるもの	, また之を進ませるものは如何なるもので御坐りま
	,	086	05	せるものは如何なるもので御坐りますか	, また彼の道徳と道徳の法と其の基本は何で御坐り
	,	086	07	これに付て若し世の人々の自分の見込み	, また一般の輿論に問ふならば明らかな返答は出来
	,	097	02	難いことではありますまい．海底を探ね	, また他に名案を施したらば罪跡が現はれないこと
	,	101	15	を試みるものもなくて直ちに之に雷同し	, また直ちに之を打ち捨ててしまふ様です．今之を
	,	102	15	がうつりやすく真面目でないといふこと	, また一方に於ては我が日本の国情が知られぬとい
	,	113	13	たことだが其の必要なもので有るだけに	, また欲が熾んに有るから之を節するのは甚だむつ
	,	116	09	大いに身体を悪くしたと思ふことも無く	, また酒の為めに品行を乱したといふ覚えも無い．
	,	117	16	るまいと思ひます．昔から禁酒をしたり	, また願酒とて神様に祈らなければ下等の欲に打ち
	,	119	16	葉にて「酒を好むことは悪鬼の働きなり	, また酒疫なり」と述べました．之を解して見ると
	,	121	04	実を見せたら其れからして論も起らうし	, また弊害が有ると云ふことが分れば自然と節酒す
	,	122	05	また其の為めに最も恐るべき黴毒が殖え	, また私生の子が殖えます．私生の子はフランスで
	,	126	02	らむとする者の中には一向学術を知らず	, また基督教の原因と趣意と目的と結果を全く覚ら
	,	126	10	は其の色々の仕方を順に従つて申し上げ	, また兼ねて其の得失を弁じませう．第一．年若き
	,	127	05	の論はかたい論にして中に面白いことも	, また有益有用なることも多う御坐ります．故に若
	,	127	13	或る説教師は総て学術の趣意を感心して	, また前に申した仕方の間違つて居ることをよく承
	,	129	04	．君子はシッカリしたもの用心するもの	, またタシカなもので御坐ります．第三．また只今
	,	131	15	演べる所の宗教の色々の面白い譬喩とし	, また固い証拠を設けることが出来ます．さすれば
	,	132	13	れてしまふもので有ります．滅ぼすこと	, また破ることと駁つことは露西亜の虚無党の仕方
	,	133	05	の残酷な者さへも信者の愛信の厚いこと	, また其の行義の正しいことに感服したことは歴史
	,	136	01	て其の庭を見ますれば誠に面白くも無く	, また分らぬやうに見えます．けれども遂に二階に
	,	137	06	良，衣服の改良，女の髪の結ひ様の改良	, また自由党などに言はせたなら政治の改良，社会
	,	142	01	な家を建つるには此処に斯様な柱を建て	, また宴会室には斯様と其の他軍艦を造るにも仕組
	,	149	03	私生とか其の他，離婚のこと結婚のこと	, また来住のこと往住のことなどを調べるにしても
	,	149	10	つて居らなければ要用なる調べは出来ず	, また行政法を知るには是非ともスタチスチックを
	,	150	13	の即ち政府とか天皇とかいふものの組織	, また其の職務の遺伝法といふものなどを書いたの
	,	151	09	，即ち憲法で定めた原則を実地に適用し	, また制限する．例へば人民は言論の自由があると
	,	153	06	は宗教自由（耶蘇教でもモルモン宗でも	, また仏教でも勝手に信じてよいといふこと）を定
	,	153	09	どもヤツパリ従一位だとか正二位だとか	, また侯爵だとか伯爵だとか，いふのは行政法で定
	,	159	17	れどもたとひ天主，天国があるにもせよ	, また極楽があるにもせよ，カラダが行くではある
	,	161	11	に耽るとか物を貪るとかいふことが起り	, また我慢といつて他人の言ふことを聴かずに我を
	,	166	02	様なる物質もある訳だといふ学派もあり	, また身体の様なる物質があるから精神も之に添つ
	,	166	09	に考へ種々様々な論説を出し問答研究し	, また物理学，機械学，数学などの色々の学科の助
	,	169	15	の方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か	, または華族とか何とか云ふやうな金持ちたちで亜
	,	171	01	，チット広ければよいと思つて居る位で	, また仕事をする者も上手になつて居ますから欧羅
	,	173	01	はれて居り天恩，君恩，主恩，父母の恩	, また長老朋友などに対してあの人は恩人だと言ふ
	,	175	11	伏せしめるやうにすると土地は狭くなり	, また一つの職業でも，共争ひに争ふやうになつて
	,	176	12	し，姓名，生国，職業，年齢などを記し	, また其の行く先きの地名を記し，其れが一時の出
	,	176	13	先きの地で人が生れゝば記し死ねば除き	, また帰国して職業を為す人があれば之を記し彼れ
	,	177	04	，其の地で定まつた有様もありませうし	, また変つた有様を見ることも出来ませう．其の年

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	177	09	する手段を運らすに至つて便利であつて	, また予じめ国人増殖の後難を防ぎ止むることも出
	,	179	10	くせられ人々みな神の救をみん」とあり	, またキリストも此の預言者の語を引て「我は貧し
	,	182	08	スト教の儒道や仏道と大に違ふ所の一で	, また社会を改良する勢力ある所以で御坐ります.
	,	186	12	スト教に於ては女子の教育を勤めること	, また婦人が社会のために働くことを励ますこと,
	,	189	12	あります. 例へば法律の草案を出すとか	, また法律を議するときには政府の委員が出て討論
	,	189	14	の事柄にも執行権で干渉することがあり	, また執行権の方にも立法権が干渉することがある
	,	190	14	である. この行政裁判といふものにしろ	, また司法裁判といふものにしろドチラも同一の裁
	,	191	07	権力即ち大権といふものが三つあるとも	, また二つあるとも云ふことを論定したのでも無い
	,	191	13	といふものは無いが詔勅が度々あつたり	, また其れに係はらず常定主義がきまつてある. か
	,	193	08	にします. それから追々憲法を立るとか	, またかういふことをするとか, また人民の権理を
	,	193	09	立るとか, またかういふことをするとか	, また人民の権理を保護するとかいふ保証をなされ
	,	200	04	七年にKeplerの観測しました彗星	, また其れより七十五六年前即ち千五百三十一年に
	,	200	13	男になつて出るかと思へば, ひつこんで	, また女になつて出て来るので始めて芝居を見る者
	,	204	02	占をする学と云ふことで実は学でもなく	, また術でもないやうなもので有りますが, 日本で
	,	207	08	りまして, 秋の頃, 沢山に「ソラ飛んだ	, また飛んだ」と云ふことが有ります. しかし雨の
	,	208	03	や土星と同じやうなものと言ひましたが	, また太陽から遠ざかつていつたやつが有る. いよ
	,	209	14	ります. が, しかし其れも信じなければ	, また其れまでのことで有ります. 箇様なことは迚
	,	210	15	すやうな有様だらう」と言ふ人が有れば	, また「地球が彗星に突き当れば我々はズット寒い
	,	213	12	るから其の面白みも文字を読む者に限り	, また作者も多少の学問が無ければなりませぬが演
	,	214	15	識り得ると云ふトテツも無いことになり	, また演劇に至つてはナホサラ真の理をして見せる
	,	218	06	つたことを本にして作り広めたのも有り	, またマルマル無いことを有つたやうに作つたのも
	,	219	05	シアシなどを考へて気に入れば云ひより	, また女の方でも男の文の体や風聞によつて, ゆか
	,	219	05	よつて, ゆかしくも, きらはしくも思ひ	, また其の親も其の文が気に入れば女に勧めても返
	,	219	06	が気に入れば女に勧めても返書を書かせ	, また娘が文を受け取つても親が不承知なら, よさ
	,	222	13	まして今は僅かに東舞と倭舞の類を存し	, また神楽, 催馬楽に古風を伝へて居ります. 中古
	,	222	15	, 婦女の間に白拍子の舞が有りましたが	, また田楽と猿楽と云ふものが起りました. これは
	,	223	11	になつて居つたが段々と古事を取り込み	, また狂言作者と云ふ者も出来て続き狂言を作り元
	,	224	09	以来は官からも不都合のことは禁ぜられ	, また世上にも色々と風評が有つて俳優や作者も気
	,	227	17	軍は何であるかと云ふと主権者でも無く	, また管轄権を有つて居つたのでも無い. 諸侯の一
	,	228	03	斯の如くで有りますから日本帝国の中に	, また諸侯国が何百か有つて, 各諸侯国で租税を異
	,	228	06	大名の下に今の郡長のやうなものを置き	, また村には名主と云つて名誉戸長と云ふやうなも
	,	228	07	云つて名誉戸長と云ふやうなものが有り	, また町には町年寄と云ふものが有りました. かう
	,	228	12	と云ふのは大いなる市街のある所を云ひ	, また県と云ふのは別に府と違つた所は無いが, た
	,	228	17	が過半を占めるときは之れを町と名づけ	, また耕作地の方が過半を占めるときには之を村と
	,	229	07	大いなる市街と云ふ意味で, 所によると	, また其れをも数区に分つと云ふやうな意味で有り
	,	231	06	権に隷属するもので有ります. 其れから	, また施政は, 一人, 議政は数人でやるのです. 之
	,	231	10	内務省に中央衛生会とか地方官会議とか	, また警察官会議とか云ふものが有りますやうに.
	,	231	16	ときは議長之を決すると云ふことも有り	, また府県知事が自ら議会へ出て討論をすると云ふ
	,	232	13	び行政議会と云ふことを研究しますには	, また之を三つ即ち第一には中央行政, 第二には府
	,	233	07	んのお話しのやうに生徒の数も多くなり	, また卒業生も多くなり誠に祝すべきことで有りま
	,	235	01	も後には日本の言葉で高尚な学問も出来	, また先生も十分に出来ると云ふやうになつて来る
	,	236	16	其の外, 西洋学をした為めに藩を逐はれ	, また苦しめられた者も沢山有りました. 尤も左様
	,	237	17	持になつて, やつたら大変な学者になり	, また大いなるイサヲシを為すことが出来ませう.
	,	241	11	に至りまするとコレコレは述べてもよい	, また述べるがよいと云ふことは沢山に有りまする
	,	242	06	諸新聞に出ましたが甚だ欠くる所も有り	, また一方から申せば右心得方を充分に敷衍するに
	,	243	04	全体の望みを表はすものを立法権と云ひ	, また右の望みを執行するものを執行権と申します
	,	243	08	全体の望みに適ふやうに事を議決せしめ	, また一方に於ては政府即ち内閣大臣等を設け之に
	,	244	06	則と申しまするものは法律の細目を定め	, また時としては法律の委任を受けて某々の事を定
	,	244	15	軍, 又は海軍を用ひ, 或ひは警察を用ひ	, また監獄を用ふることになります. 故に秩序安寧
	,	246	04	ら足の先きまで悪いと云ふことでも無し	, また悪い事をした日から何十年の間, 死ぬまでも
	,	250	04	教育, 即ち両親, 其の他に於て之を掌り	, また身体の教育, 即ち体育と申しまするものは或
	,	250	09	申したのは本街道で有りまするけれども	, また時としては此の本街道を外れて他の悪い道に
	,	250	16	する. 其れに此の罪人は二年でよからう	, また三年でよからう或は十年でよからうと云ふや
	,	251	13	を働いた者は其の心に弁別が有つた者と	, また知らずにウッカリやつた者とは区別をしなけ
	,	252	01	まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い者	, また悪事の何たるを知らざる者が有ります. これ
	,	252	06	ら願ひ出る者を出願懲治者と申しまして	, また出願人は誰も無いが例へば東京の日本橋のや
	,	252	09	当人の心を改良するが目的で有りまして	, また一方からするときは犯罪人を予防すると云ふ
	,	252	13	でありまするのが一つの理由であるのと	, また監獄に這入つて居りまする者は丁年以上の者
	,	252	17	諭を施し, これにても不充分なるがゆゑ	, また懲戒を与へると云ふ此の三つの方法を要しま
	,	254	07	ざる者も, これもドウも仕方が無いから	, また盗賊を始めると云ふ次第でありまするから,
	,	258	09	徳育, 体育を施し且, 懲戒, 懲治を施し	, また将来, 就業の準備として仕事の教育も致させ
	,	259	02	如く貧民の救助は慈恵と云ふのが一つで	, また慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで, 救助を施
	,	263	13	中の一つを用ふるだけに止ります. さて	, また欧米諸国に於て実行せる監獄事業の分ち方は

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	263	16	此の部に於ては不良の少年を教育感化し	, また無籍の幼年者を教育感化し，また幼年犯罪者
	,	263	17	感化し，また無籍の幼年者を教育感化し	, また幼年犯罪者を教育感化いたしまするところで
	,	264	04	さうして，この家族長が教育の世話もし	, また感化にも尽力し，且職業の教育をも施します
	,	267	05	の教授を受くるやうなことが有りますし	, また非常に性質の悪い者とサホドで無い者とを一
	,	270	12	と云ふことは此の事実から見ても尤もで	, また道理からしても，さうあるべきものに相違あ
	,	275	07	して殺すと云ふやうなことも流行つたり	, また拷問などを致しまするので，今から考へます
	,	275	12	せ致されたとのことで有りまする．これ	, また非常に監獄の整頓を助けたるものに相違御坐
	,	020	12	有れば蒸発気が有るから雲も有る訳です	, 又現に有るです．雲が有る位だから空気も有る．
	,	031	06	ると星のかたまりの様に見ゆるのも有り	, 又今日世の中にある極上の望遠鏡で見ても矢張り
	,	034	06	ので決して兎が餅を搗いて居るでは無く	, 又雷は大鼓をしょつて居るものでは無いといふこ
	,	038	14	其の社会を維持し進歩を謀らねばならず	, 又開けた国では其の有様によりて其の社会を維持
	,	042	10	めになることをせねばならぬと云ふこと	, 又法と云ふものは己を利することを許すは固より
	,	043	12	ば黙りて打たせておけと云ふ所までゆき	, 又仏教では人間のみならず禽獣にまで慈悲を施し
	,	058	13	なくなつたと云ふのも即ち開化の為めで	, 又独逸の或る都府に於てはこれまで大層チフスと
	,	068	02	何なる資格を有するや又其の員数は如何	, 又其の需要と供給の比較は如何と云ふことを簡短
	,	070	15	専修学校で昨日の倍数ほど卒業生が出来	, 又来る十七日には英吉利法律学校の卒業式にも案
	,	195	13	も凄い彗星だ，大風でも吹きはすまいか	, 又は地震が有りはすまいか，戦争でも起りはすま
	,	240	02	した．けれども元来，上官又は他人の命	, 又は依頼を受けて其の人の為めに見たことは其の
	,	243	15	有りまするが単に民法，刑法だけの執行	, 又は適用を掌ることとなつて居りまして其の他の
	,	244	01	前に申しまする如く立法権事務は元老院	, 又は国会を設けて之を行ひ，執行権事務は政府と
	,	244	15	が著しきもので，之を維持せむには陸軍	, 又は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄を
	,	249	06	ムヤミに誰でも拘引して警察署の留置場	, 又は監獄の未決監に入れて置くと云ふことが起り
	,	252	06	ませぬ．之を二た通りに分ちまして親族	, 又は関係者から願ひ出る者を出願懲治者と申しま
	,	255	06	出しました．警察に於ては法律の違反者	, 又は国事に関係する者は探索することも有ります
	,	256	06	第一の公けの救助と申しますものは全国	, 又は府県，若しくは町村よりして救助することで
	,	256	08	第二の私の救助と申しますものは一私人	, 又は数私人，若しくは有志者，特志者から救助す
	,	257	03	貧民で有りまして，例へば衣食住の一部	, 又は全部を欠く者（即ち壮健なる貧民），貧病人
	,	257	14	助の中にも単に救助に止まるものも有り	, 又は救助と犯罪人予防との両性質を有するものも
	,	258	02	，不具者にして親族の救助し能はざる者	, 又は救助せざる者，又は親族の無き者で有ります
	,	258	02	の救助し能はざる者，又は救助せざる者	, 又は親族の無き者で有ります．第二種は貧病人に
	,	258	03	は貧病人にして親族の救助し能はざる者	, 又は救助せざる者，又は親族なき者で有りまする
	,	258	03	の救助し能はざる者，又は救助せざる者	, 又は親族なき者で有りまする．第二，貧民の救助
	,	258	07	なる貧民にして親族の救助し能はざる者	, 又は救助せざる者，又は親族なき者で有ります．
	,	258	07	の救助し能はざる者，又は救助せざる者	, 又は親族なき者で有ります．第二種は不良少年に
	,	258	08	二種は不良少年にして親族の矯正なき者	, 又は矯正の足らざる者を矯正すること（即ち心の
	,	258	14	免者即ち出獄人にして必需の資力なき者	, 又は引取人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ者
	,	258	14	て必需の資力なき者，又は引取人なき者	, 又は他人の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在は
	,	258	15	ふ者が有ります．現在は引取人の無い者	, 又は帰郷旅費の無い者は別房留置者と名づけまし
	,	259	04	の救助を以てし，或ひは私設救助に政府	, 又は府県，町村より補助するの仕方を以てやるべ
	,	261	11	聾，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院	, 又は養育院の如きものの管轄と致し，生れて未だ
	,	261	13	，例へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院	, 又は孤児院の如きものの管轄と致すと云ふのが私
	,	268	09	は留置場と申しまして，これは各警察署	, 又は憲兵署などの在る所に設けるもので有ります
	,	271	02	でざる中に監獄に送つてしまひまするか	, 又は無罪放免になりまするからのことで有ります
	,	272	01	不論罪懲治者の宣告を受けたる者と両親	, 又は親族等より願ひ出でたる出願懲治者（未丁年
	,	273	16	免になりましても行きどころが無いとか	, 又は帰郷旅費が無いとか足りないとか云ふので拠
	,	070	12	いますが今日僅に二十四人の卒業生では	, まだまだ遺憾と思ひます．この上にも沢山にお出
	,	140	11	店に借家し米屋炭屋がカケトリに来れば	, まだ本屋から草稿料を呉れないから待つて呉れろ
	,	157	13	いか私には保証が出来ませんが其れから	, まだ四百年にはなりませんテネ．其のお弟子のガ
	,	158	06	其のかはり今，知れんことはまだ知れん	, まだ知れんと云つて詰めると段々に知れるやうに
	,	166	05	中で其の事実といふものが半は分つても	, まだ半は分りませぬ．たとへば引力の働きは分つ
	,	167	07	つきの宇川さんの「離縁の話し」なども	, まだよく分らぬことだが段々気が付て来たから，
	,	198	07	．其れは春の頃にタケノコがのびまして	, まだ竹にならない時に庖丁でハスカケに切ります
	,	224	10	有つて俳優や作者も気が付て来ましたが	, まだ兎角，強盗や情死の仕組は止みませぬ．これ
	,	236	17	一新前になつてはヨホド減つては来たが	, まだ決してウケのよい学問と云ふことでは無かつ
	,	251	17	者を幼年囚と申します．此の二つの外に	, まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い者，また悪
	,	269	16	すると十二歳より十六歳までの間が一番	, 間違の出来やすい時で有るものと見えます，故に
	,	241	13	するが，諸君の私にお問ひなさることが	, 区々になつて私も甚だ惑ひます．といふものは例
	,	128	07	随分多う御坐ります．故に先づ暫時の間	, 待つ方が宜しう御坐りませう．即ち各国の学者皆
	,	206	16	も居るが大分，親とは離れて居つたので	, 先づスダチしたと云ふやうな訳で，燕が子を生ん
	,	208	16	すが，知れて居りますだけに止めますと	, 先づこの彗星の頭は軽いもので有る，稀薄なもの
	,	031	11	と違つて瓦斯だと云ふことが知れました	, 全く瓦斯で無いにしても瓦斯の部分が多いと云ふ
	,	203	08	ふものは先づ惑星と同種類のもので有る	, 全く惑星と同じ様なもので有ると云ふことが分り
	,	244	02	しますれば，これだけにて天下のことは	, まとまる姿になりまする．さて，行政権に於て執

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(,)	,	132	17	基督教を行ふの仕方で御坐ります．人が	,	まのあたり受ける所の証拠は明かにして実に固い
	,	024	08	星の真中の所に筋の様なものが見えます	,	丸に一文字の紋所とでもいふべき形に見えます．
	,	003	05	の際限が有つて一日に二十四時間あるが	,	まるきり二十四時間働らけるものでは無い．寝る
	,	025	02	すが矢張り近所に同士が有るであらうか	,	まるで世界の中に孤立して居て外に党類は有るま
	,	025	11	さい，山の上から人のあるくのを見れば	,	まるで蟻のはふ様に見える，其れだから人は小さ
	,	040	09	開けた国と全く違ふて居る．善と悪とが	,	まるでウラハラで有る．其の開けの度に応して道
	,	043	14	ことを教ふることぢゃ．されども其れは	,	まるで世界の開けた道理とは違ふて居ることぢゃ
	,	133	17	ら，かの者が全く外の人になつたやうに	,	まるで変つて来ましたので御坐る．昔は極軽い事
	,	167	15	り支那印度などの文物制度が入り来つて	,	まるで自分の物のやうになりました．文字でも其
	,	210	06	で取り合はないからだと云ふのでは無く	,	マルデ訳が分らないから騒がないのかも知れませ
	,	126	04	イロハを知らざる中に，かの貴い古事記	,	万葉集などを批評し且非難せむとするが如きもの
	,	273	04	て，集治監，即ち中央監獄は東京，宮城	,	三池，樺戸，空知の五箇所でありまする．また，
	,	273	10	思はれます．此の外，東京，兵庫，宮城	,	三池の四箇所に仮留監と申しまするものが一箇所
	,	271	13	れは裁判所，及び警察署に属するもので	,	未決者を一時留め置く所でありまする．但し時宜
	,	273	14	る．而して其の在監人の数を見まするとい	,	未決者は一万四千二百二十二人，已決囚は五万六
	,	009	01	い言葉に移り，言葉より短い文章に移り	,	短い文章より次第に長い文章に移る様にして教へ
	,	218	03	り物語が顕はれ後には栄花物語，続世継	,	水鏡などのやうな実事を書いたものにも巻々の標
	,	214	10	のやうに言ひ習はされ，天保年中の老中	,	水野越前守が大層政事を改正した時に「楽屋に出
	,	260	08	．故に相当の資本が備はりたる上は最早	,	濫りに寄附を受けないと云ふことに致したい．ま
	,	208	08	に時計を見，汽車の止る時に時計を見て	,	ミチノリの書いたものと見合せれば，何時間にど
	,	024	02	すがいづれも自分で熱や光りを持たない	,	皆太陽から仕送りをして貰つて居るのです．例へ
	,	180	07	は自主なる者或は奴隷なる者の差別なし	,	皆兄弟たり」との聖書の教では御坐りませんか．
	,	252	09	，出願懲治者にあれ，脅迫懲治者にあれ	,	皆な当人の心を改良するが目的で有りまして，ま
	,	239	04	宇川盛三郎君講演私は本年六月，福島県	,	宮城県，岩手県，青森県，秋田県，山形県，新潟
	,	239	05	野発の汽車にて東京を出立いたし，福島	,	宮城，岩手，青森に道を取り，其れより秋田を経
	,	241	05	たる途中で福島県の道路が善かつたとか	,	宮城県の旅宿の取扱が丁寧で有つたとか，岩手県
	,	273	04	りまして，集治監，即ち中央監獄は東京	,	宮城，三池，樺戸，空知の五箇所でありまする．
	,	273	10	やうに思はれます．此の外，東京，兵庫	,	宮城，三池の四箇所に仮留監と申しまするものが
	,	152	07	則を定むる，即ち人民の政事上，宗教上	,	民事上，等の権理を保護するものであり行政法で
	,	156	10	を知つて居るが前に地が回ると聞いては	,	みんな驚いたネ．地が回ると聞いてはヂットして
	,	002	07	いふに私は別にこれぞといふ考へも無く	,	昔の通りに仮名遣ひをして見ようといふ仮名組だ
	,	167	02	かりでは事実も道理も分りませぬ．さて	,	昔のは事実と道理とハナレバナレになつて段々人
	,	238	03	る基にならうと思はれます．諸君は何卒	,	昔の人の二大難事に耐へて其の時分の学者と云は
	,	043	11	．耶蘇教では仮令敵でも愛せねばならぬ	,	向ふから打ちかゝりて来れば黙りて打たせておけ
	,	247	08	とだから早く死んだつて構ふことは無い	,	寧ろ余計に苦しめて彼奴を早く殺してしまふ方が
	,	269	10	と謀殺，故殺，放火，強姦，窃盗，強盗	,	無籍乞食，親不孝，其の他のもので有りまして其
	,	113	15	を節用するといふことは昔から今日まで	,	むつかしいことになつて居ります．併し之を節し
	,	116	02	めでは何とでも言へるが実際には至つて	,	むつかしいことで誰でも理屈の半分も行ふことは
	,	156	03	ない．其れだからむつかしい．先づ一つ	,	むつかしいことの話しをしませう．皆さま御存じ
	,	208	06	では無いか，ドンナものかと調べるのは	,	むつかしい．ソンナことを調べるのは，むつかし
	,	208	06	，むつかしい．ソンナことを調べるのは	,	むつかしいが運動を調べるのはヨホド易い．大抵
	,	208	15	ります．これをそれぞれに調べますのは	,	むつかしいと云ひますが，知れて居りますだけに
	,	008	16	ば覚えられる．漢字もやらせるがよいが	,	むづかしい漢字はよして貰ひたい．そして傍ら仮
	,	162	03	．其の酒詰は至極面白い文章では有るが	,	むづかしいから私が其の大意をひらたく申して見
	,	165	11	世といふのに将来を前知するといふのは	,	むづかしいことで之を説くといふのも亦むづかし
	,	175	07	は無い．減らぬからこそお互に勉強して	,	むづかしいことも，やりとげやうと，いふので額
	,	171	05	住して仕事を取り金を取るといふことは	,	むづかしからうと存じます．其れならドコの国に
	,	104	04	．設令全国を挙げて英語を談ぜしむるは	,	むつかしきこととした所で上流社会に英語を談ぜ
	,	121	02	でも論ばかりでは人に感じさすることが	,	むづかしくて盲人に七色の色を見せる様なものだ
	,	167	04	にしてゆくのだから事実を求めることが	,	むづかしくなり金も大層にかかるやうになり骨も
	,	209	10	ます．尾と云ふものは大変に長いもので	,	ムヤミに長いもので三年前に見えましたのも御存
	,	230	02	の如きものが三十六あります．また村と	,	村のやうな島が五百八十九あります．現今では行
	,	223	07	上人から始まつたもので其の上人は朱雀	,	村上の朝の人で古いものサ．これまでが演劇の成
	,	239	14	帰京しまするとスタチスチック社社員	,	明治法律学校校員生徒，其の他の諸友人知人等が
	,	108	08	に止まることで果してマーダーになるか	,	メンスローターになるか事実を確かめなければな
	,	142	10	て行かなければなりません．これに付て	,	モ一つ小説の改良を計らねばなりませんが源氏物
	,	017	03	が其の表面に我々の党類は住つて居ない	,	申さば明き家みた様なもので有ります．先づ此の
	,	197	07	しましたが，あの時はザツトしたことで	,	申さば人別をみたやうなものだけで，委しいこと
	,	120	14	することが割合に少なく思はれます．今	,	申したのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除か
	,	174	13	見たか聞きたいものと存じます．さて今	,	申したやうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食の費用は
	,	250	09	するまで良民を以て終わりまする．只今	,	申したのは本街道で有りまするけれども，また時
	,	251	01	るのは裁判官で御坐います．さうして今	,	申した罪人が学期を終りますと卒業してモトの良
	,	256	10	特志者から救助することで有ります．今	,	申しました二つの種類の外に天災の救助と云ふも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	144	07	てはタント好い小説を見受けませぬ．今	, 申す通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸を出したと
	,	008	09	のは此の違ひが本当に分らぬからのこと	, 若し其れが分つたならばなかなか箇様に温かい褥
	,	027	03	，明りの行くのはいくらか時を費します	, 若し時間を費さないで行つたら不思議です．そこ
	,	186	07	罪人であるならば男も矢張罪人であるし	, 若し男が神の恩恵を蒙るべきものならば女も同様
	,	195	11	「立派な彗星だ」と言つて済みましたが	, 若しもこれが天保年間ででも有りましたら，たゞ
	,	199	07	ことは，こゝで一席には述べられません	, 若しこゝで一席で言ひ尽せます位なら失礼ながら
	,	215	05	ませぬか．しかし，これとはアベコベで	, 若し西洋では小説や演劇はツマラヌものだと云つ
	,	256	06	の救助と申しますものは全国，又は府県	, 若しくは町村よりして救助することで有りまして
	,	256	08	助と申しますものは一私人，又は数私人	, 若しくは有志者，特志者から救助することで有り
	,	138	05	あり一滴や二滴のモルヒネを上げるより	, もそつと善い薬が有ると申してスペンサーのフ／
	,	081	11	無ければなりませぬ．人が勝手に造り且	, 用ゆる所の器物品物家屋また器械等のものでは御
	,	054	08	始めてモロコシ西洋の歴史，理学，化学	, 最も入り用なのは算術，算術も仮名ばかりで書い
	,	260	05	上は更に寄附を受けざること．これも亦	, 最も必要なことで，例へば一万円の年額を要する
	,	269	10	不孝，其の他のもので有りまして其の中	, 最も多き者は窃盗，強盗で其の数五千三百七十四
	,	202	08	五十九年の四月のナカバには出るだらう	, 尤も三十日前か三十日後位にはなるかも知れない
	,	235	05	諸君の今日卒業されたことを祝するので	, 尤も別に珍らしい言葉を以て祝することは出来ま
	,	157	02	が教法の親方だつたが今は其れも無いが	, モト羅馬法皇は天主の代理だといふから実に強気
	,	248	04	遂に刑期が終つて社会に再び出まするとは全く別儀で御坐ります）．今日は兎角	, モトの善良なる人間になるので有りまする．然る
	,	196	04		, 物の理屈を知らないで居ながら「何でもないこと
	,	216	17	遷されてから仮名文章と云ふものが起り	, 物語と云ふツクリモノが出来て来ました．其の中
	,	014	17	ります．「ドウして其れが知れるだらう	, 物さしをあてたり間縄を打つたりする訳にはいく
	,	069	13	最早法律学士の供給は需要に過ぎて居る	, 物好きなら兎も角も生計の道にはいけぬから他の
	,	204	04	とでも云ふやうな人に其の彗星を占つて	, もらつた所が「これは天子の御身の上に宜しから
	,	026	15	る星で八月の頃，宵の中にチョイと出て	, やがてひつこむ星で有ります．これが一番近い星
	,	130	10	坐ります．優勝劣敗の面白い法則により	, やがて二千年ぢかく生存したる基督教は迚も近来
	,	157	01	．さうすると西洋には羅馬法皇と言つて	, やかましい人が教法を握つて居るんだが，日本で
	,	278	11	ことに御坐います．なほ，監獄の取締法	, 役法，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，構造，教
	,	237	17	した人のことを考へて其の心持になつて	, やつたら大変な学者になり，また大いなるイサヲ
	,	236	13	其の大難事も追々に滅つては来ましたが	, ヤハリ御一新前までは鎖国攘夷の論が盛んだから
	,	262	15	の囚徒と同一の場所にて役業に就かしめ	, 夜分は一房に一囚づゝ置きまする方法で有ります
	,	045	15	いことゝは申されぬぢゃ．又いつまでも	, やまぬであらうと云ふことは政府が刑罰の権をも
	,	025	10	根の上から下をあるく人を見れば小さい	, 山の上から人のあるくのを見れば，まるで蟻のは
	,	239	04	島県，宮城県，岩手県，青森県，秋田県	, 山形県，新潟県の七県の監獄巡閲の命を受けまし
	,	239	06	を取り，其れより秋田を経て山形に参り	, 山形より酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新潟へ
	,	245	08	して，これ等のことをもやられる訳で万	, 已むを得ざるときは秩序安寧だけを重もにしなけ
	,	115	13	品行をよくしたいと思つても酒を飲むと	, やゝもすれば酒の為めに品行を破る．酒の為めに
	,	175	07	こそお互に勉強して，むづかしいことも	, やりとげやうと，いふので額に汗を流して骨も折
	,	236	12	を堅く立てて人に嫌はれても忌まれても	, やり遂げやうと云ふので其の大難事も追々に滅つ
	,	155	06	此の間からお請け合ひ申したことだから	, やることはやりますが演題がチト大きすぎますナ
	,	194	01	とかいふのは其の時々の経験に本づいて	, やるのですから御趣意は一向変つて居らない．斯
	,	275	14	懲治者の教育保護の事業を世間の有志者	, 有力者に於て非常に尽力せられまするの時機にま
	,	269	16	違の出来やすい時で有るものと見えます	, 故に人の父母たる者は専ら十二歳より十八歳位ま
	,	212	07	ん．観測をしたくも十分に観測が出来ず	, 行かうと云つても行くことの出来ないで，これま
	,	219	05	た女の方でも男の文の体や風聞によつて	, ゆかしくも，きらはしくも思ひ，また其の親も其
	,	002	08	ふ訳でも無い．たゞ月の部は人数が多い	, 雪の部や花の部は人数が少ない，そこで月の部に
	,	156	08	ない．地が円いのだから地の方で回つて	, いくのださうでござ．其れが今では小学校のコレ
	,	176	13	であるか永住であるかといふことを記し	, 行く先きの地で人が生れゝば記し死ねば除き，ま
	,	216	08	ました所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜	, 夢を見たが霜が多く降つて私のカラダを覆つたが
	,	132	11	程よいもので御坐ります．若しあなた方	, 世の色々の迷ひの中にて造物主の御心に本づいた
	,	134	04	Peteroが仰せられまするに「爾等	, 世に在りて善き行ひを為すべし，これ爾等を誹り
	,	223	17	した．元文，宝永の時分には竹本筑後椽	, 世に義太夫と云ふ浄瑠璃が盛に行はれ，其れゆゑ
	,	155	05	なモウロクだから，しまひに出たかつて	, いゝことは有りませんが此の間からお請け合ひ申
	,	168	05	当り前なことで若し古いものばかり見て	, いゝ気になつて居るやうでは日本もモウ其れきり
	,	115	01	を知つて居るものは人類ばかりと言つて	, よいもので，さて其の命の惜いといふ欲は飲食の
	,	126	16	ぬけれども其の用ふる所の方法は決して	, よいもので御坐りませぬ．西洋の高名なる学者と
	,	231	14	この戸長と云ふことは町村長と云ふ方が	, よいやうに考へます）尤も行政上では施政者が議
	,	026	15	島辺か高知辺からは見ゆる星で八月の頃	, 宵の中にチョイと出て，やがてひつこむ星で有り
	,	196	13	日がひつこんだから風が吹きはしないか	, 宵の明星が出たによつて颶風でも有りはしないか
	,	260	09	類もイクツも有りまして例へば訓盲唖院	, 養育院即ち乞食院，矯正院即ち不良少年の慈恵所
	,	253	07	して出願懲治者の部，不論罪懲治者の部	, 幼年囚の部と致して之に教育，教誨，懲戒の三事
	,	042	15	とは法律でゆく様になりた．それから後	, 欧羅巴では政治上のことに至りては道徳の筋は用
	,	193	10	暗いから明治以後は極新しいことであり	, 欧羅巴の新主義をもつて来て採用するやうに見え
	,	177	16	人もあらん．若し是れ等の人ありとせば	, よき例あり．昔アリスメデスが入浴の内より俄か

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	018	01	ふものは非常に明るい非常に熱いもので	よく調べて見ますと凡そ地球の上にあらゆる光り
	,	035	07	のは所謂る智慧が徳利の中にはいるのと	よく事実に合ふことで有りませう．それで酒を飲
	,	036	10	無い，エコノミーの大主義でよくためて	よくつかふが宜う御坐ります，これは誰もトガメ
	,	121	08	か．何でも論ばかりではいけませぬから	よく事実を穿鑿したらば弥々節酒の効能も起らう
	,	125	07	たいと思ふ所で御坐ります．されば今頃	よく若い伝道師を困らせるものは何で御坐りませ
	,	125	09	もので有りませうか．傍聴人の耳を塞ぎ	よく其の心を奪ふものは何で御坐りませうか．今
	,	125	17	これ等の色々の不承知を言ふお方の中に	よく熟したる学者も御坐りませう．けれども，こ
	,	131	05	れば学術に本づいたる反対論に答ふるに	よく適当したる仕方は如何なるもので御坐りませ
	,	167	01	併し之をこはしてケミストリーで見ると	よく分りませう．見たばかりでは事実も道理も分
	,	171	03	に思はれます．たとひ出かけて行つても	よく新聞紙などに書いてある日本村落とかいふも
	,	172	08	者となつたと，いふことは風聞ですから	よくは存じませぬ．また北亜米利加は我が国産の
	,	172	11	の大得意先きで，これは貿易表を見ると	よく分ります．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の
	,	200	05	軌道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星のに	よく似て居りました．其れで，これは先に現はれ
	,	232	02	す．之に付ては府県会規則にありまして	よく其の文言を諳んじて居ませぬが府県知事は府
	,	206	15	すと今度は一つで子はつれて居りません	よくよく見るとヤハリ子も居るが大分，親とは離
	,	200	10	倒な勘定をして其の軌道を調べなくても	よささうなもんぢゃ」とおつしゃるに違ひ無い．
	,	219	07	た娘が文を受け取つても親が不承知なら	よさせると云ふやうなことが有る．其れで妻は大
	,	220	05	て曽我兄弟のことを書いた曽我物語だの	義経のことを書いた義経記などは事実よりも作り
	,	060	10	を嫌ひ，田畑があつても耕すことを厭ひ	余地があつても桑を植ゑ蚕を養ふの利益をも考へ
	,	137	05	煩はすは小説改良論で御坐りますが今日	世の中に改良と言ふことは甚だ流行いたしまして
	,	201	05	うが，そこにむつかしいことが有るので	ヨホド骨の折れるもので有ります．一体，彗星は
	,	083	03	ニヤとポルトガルの二箇国が暫らくの間	余程盛んに開けてあつたが道徳の進歩がサツパリ
	,	236	03	とでは分らない．字を引く字引も無いし	読む本も無いと云ふ始末でヨホド骨が折れて今な
	,	262	11	まして，これは一房に一囚をおきまして	夜も昼も他の囚徒と面を見合すことも，話しをさ
	,	266	13	くの囚徒同様の場所に於て仕事を致させ	夜は一房に一囚づゝ分けて入れます．此の場合に
	,	232	12	合に於ては必ず其の意見を採用せずとも	宜しいと云ふのが学問上の精神で有らうと考へま
	,	254	12	本には有りませぬから為めに再犯，三犯	四犯，五犯，六犯と云ふやうな者が随分あるやう
	,	109	05	以上四百噸以下の商船は端艇二艘を備へ	四百噸以上六百噸以下は三艘，六百噸以上八百噸
	,	236	02	ります．其の様の次第で有つたことゆゑ	蘭語の稽古も実にむつかしいことで一つの言葉を
	,	212	06	ますが，其れは学問の為めには，どの位	利益にならうか測り知れません．観測をしたくも
	,	226	09	則を適用すると云ふことと一個人の権利	利益と全国の利益との関係を規定すると云ふのが
	,	054	08	すと御国より始めてモロコシ西洋の歴史	理学，化学，最も入り用なのは算術，算術も仮名
	,	149	03	出生のことにしても公生私生とか其の他	離婚のこと結婚のこと，また来住のこと往住のこ
	,	155	14	心理学，哲学，倫理学，道徳学，政治学	理財学，法律学，社会学，史学，文学まだ此の外
	,	260	11	近ごろ婦人慈善会と云ふ会が東京で大層	立派に行はれまするが，これは救助がソレゾレ平
	,	217	08	作つたものと云ひますが，さすれば当時	流行の仏説により且は既に遊仙窟などと云ふ支那
	,	271	13	ませう．普通の監獄を別ちますると第一	留置場．これは裁判所，及び警察署に属するもの
	,	272	14	の中，集治監だけは内務大臣之を直轄し	留置場，監倉，懲治場，已決監は東京府に於ては
	,	252	04	くの如き両親に任して置いても覚束なく	両親が無いときはナホあぶないと云ふので，これ
	,	155	14	物理学，其れから心の方で心理学，哲学	倫理学，道徳学，政治学，理財学，法律学，社会
	,	272	04	置きまする．第五，集治監．これは徒刑	流刑，及び禁獄の刑に処せられたる者を集治する
	,	272	06	治監とありまする．本地の集治監は徒刑	流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身の者を集治いた
	,	272	07	たしますので，島地の集治監は単に徒刑	流刑に処せられた者だけを集治いたします所であ
	,	273	11	る．此の仮留監と申しまするものは徒刑	流刑の者を一時，仮りに留め置いて追つて島地の
	,	174	10	ませう．ドウでありませう，其の「三八	○○○，○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ
	,	174	10	ドウでありませう，其の「三八，○○○	○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ
	,	227	17	て居つたのでも無い．諸侯の一つで丁度	列国の一国主が其の列国の世話をして居たと云ふ
	,	257	02	は天然の貧民で有りまして，例へば盲人	聾，唖，癈疾，不具者，等で第二の種類は社会上
	,	257	06	ります．而して天然の貧民に属する盲人	聾，唖，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之を養
	,	258	01	に二つの種類が有りまして第一種は盲人	聾，唖，癈疾，不具者にして親族の救助し能はざ
	,	261	11	罪人となる恐れなき天然の貧民即ち盲人	聾，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又は養
	,	254	17	すことに注意致さねばなりませぬ．古来	牢獄と名づけました牢屋の前を通ると家へ帰つて
	,	204	14	其の頃は非常に驚いたものと見えまして	ローマ法皇は「毎日正午には鍾を鳴らせ，彗星と
	,	271	04	九人でありまする．尤も此の在監人の中	六千七百五十三人は未決者と控訴上告中の者とで
	,	101	16	である，英吉利人は獅子の様な勇がある	魯西亜人は虎の様な威があるが日本人はヤマアラ
	,	254	12	せぬから為めに再犯，三犯，四犯，五犯	六犯と云ふやうな者が随分あるやうにも聞きます
	,	269	02	が中央獄は二十四箇所ありまして其の中	六箇所が女子部で，アトの十八箇所が男子部で有
	,	109	06	艘を備へ，四百噸以上六百噸以下は三艘	六百噸以上八百噸以下は四艘，八百噸以上一千噸
	,	134	01	の人に任せることは出来なかつたれど今	我が家の事一切皆な喜んでこの人に任せて置きま
	,	177	06	変との出来工合を明かに調べた上は将来	我が国の人心の向ふ所は何の国を好み何の政体を
	,	185	06	決して軽々しく婚姻は致しません．現今	我が邦の結婚と離縁との比例は如何程であるか只
	,	187	08	方もマリヤと共に「我心主を崇め我が霊	我が救主なる神を喜ぶ，今より後，万世まで人々
	,	274	06	りませう．これにて欧米の監獄のことと	我が国の監獄のことは大抵お分りになりましたら

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(,)	,	223	09	べきもので有ります．其の後，女歌舞伎	, 若衆歌舞伎などと云ふものか有りましたが共に停
	,	095	14	ければなりますまい．而して今新聞紙上	, 我輩に知らする所は充分にノルマントン号船長の
	,	198	08	先づ円のやうなものですが細長いもので	, 惑星即ち木星土星などのあるいて居る道で太陽に
	,	246	16	と名づけて之を懲らしめることをすると	, 訳が分らなくつて，いぢめられるやうになつて其
	,	235	12	昔の西洋のことを学ぶと云ふのは蘭学で	, ワザは医術，其の後，砲術に移りました．尤も天
	,	027	06	らこゝまで人力車で来る位な間に来ます	, 僅か一秒時間に七万六千里ほど走りますから地球
	,	116	08	つては居るが元来，私は大酒家では無い	, 僅に一合か二合しか飲めない．勿論若い時から好
	,	058	09	しあしが御坐います．試みに御覧なされ	, 私が今日数時間に東京より来て諸君に面会しお話
	,	116	07	昨年から此の会にはいつては居るが元来	, 私は大酒家では無い，僅に一合か二合しか飲めな
	,	201	08	キリは有りませんが，譬へて言ひますと	, 私は封建時代から居つた者で有りますが其の頃，
	,	201	09	建時代から居つた者で有りますが其の頃	, 私は身が軽くつてイツもスタスタあるきましたが
	,	207	05	で此の流星を見たと云ふ人は知りませず	, 私は其の頃はまだ気をとめませんで有りましたが
	,	239	15	知人等が屢々私の茅屋をお尋ね下されて	, 私が巡閲したる監獄の有様は如何，国事犯等の景
	,	215	16	が出来ない．ソコデ計略を考へて或る日	, 鰐と相談をして「貴様の眷族が多いか私の眷族が
	,	135	03	み研究し且弁論するならば我れ等の区域	, 我れ等の趣意が至つて狭いものにはなりはせぬか
	,	180	02	「我が飢し時に我に食はせ我が渇せし時	, 我に飲ませ旅せし時，我を宿らせ裸なりし時，我
	,	180	03	はせ我が渇せし時，我に飲ませ旅せし時	, 我を宿らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我を
	,	180	03	飲ませ旅せし時，我を宿らせ裸なりし時	, 我に衣せ病みし時，我を見まひ獄にありし時，我
	,	180	03	を宿らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時	, 我を見まひ獄にありし時，我に来ればなり，此の
	,	180	03	衣せ病みし時，我を見まひ獄にありし時	, 我に来ればなり，此の兄弟の最微者の一人に行へ
	,	012	02	では知れないから先づ其れまでいつたら	, 我々の物知りたがりも暫く満足せねばならないで
	,	012	16	大きなものです．我々の住つて居る都府	, 我々の住つて居る国などに比べても随分大きい．
	,	156	09	ンバカリの小僧がたでも天球儀，地球儀	, を見て地が回るんだと云ふことを知つて居るが前
	,	156	11	るテネ．いよいよ地が回ると決着したが	, をかしい．地が回るとなると天が円いだの天が回
	,	158	08	其れは雷であの人は．あの人はと言ふと	, をかしいが，あの雷のことに付ては論語に「迅雷
	,	106	05	アクトの第二十三節に「英国のボールド	, ヲフ，トレード即ち商務局若しくは海事裁判所に
	,	079	03	区春木町本郷一致教会会堂に於てG，F	, Verbeck君演説只今弁ずる所の演題は「基
	,	196	02	ヤな彗星だ」と言はれたかも知れません	, （尤も婦人方と云ふのは一般の婦人のことで，束
	,	196	15	こむのが当り前だと思つて居るやうです	, （尤も実は朝，太陽が出るのでは無くつて太陽の
	.	167	09	つめて来たからこそ分つたのに違ひない	. アーいふことがチャント分ると，どの位，人世に
	.	086	12	たならば之を求めることが出来ませうか	. アゝ基督教の大切なことの明らかになるは丁度こ
	.	223	01	劇の濫觴とも云ふべきもので有りませう	. 足利の始めに観世氏の祖，観阿弥世阿弥の父子が
	.	227	10	，正しくいつて居つたとは云はれませぬ	. 足利尊氏などは自分で将軍になつたと云ふことが
	.	209	04	坐りますが小さな星までも能く見えます	. 頭の所はドウで有るかと云ひますに頭は説が不揃
	.	167	11	は古い学問では解くことは出来ますまい	. 新しい人間の問題を解くにはイクラ一切経をひつ
	.	159	12	落ちるかは教法上の問題になつて居ます	. アチラでも地質学や哲学が開けてから天主の説に
	.	159	15	こしらへたと，いふことは出来ますまい	. アチラでも，さういふ論が有りますとサ．東洋で
	.	091	01	も熱心を起さするは何で御坐りませうか	. 厚き志を起すには基督教に競ぶべきものが御坐り
	.	082	15	また其の中のアデンスの町を御覧なされ	. アデンスの町は立派に開けたもので御坐りました
	.	204	15	コ人を調伏すべし」と触れを出しました	. あとで調べて見れば，これは全くハレーの彗星が
	.	193	17	れば此の原則には開闢以来カハリは無い	. 穴の中に居るとか石の家を建るとかいふのは其の
	.	035	10	亨二に教へましたよく当る詞が有ります	. あなた方は何とお思ひなさるか知れませぬが私ど
	.	158	08	ウ一つ話しませうが其れは雷であの人は	. あの人はと言ふと，をかしいが，あの雷のことに
	.	092	04	就したる人はドコにも無いと思はれます	. あまり御話しが長くなりますから先づこゝに擱き
	.	212	10	結構なことは滅多に無いかも知れません	. あまり長くなりますから今一言して此の講談を終
	.	207	09	かし雨のやうにふると云ふことは少ない	. 雨と云つても今日の雨などはヨホドひどかつたあ
	.	262	03	味は懲治する場所と云ふことで有ります	. アメリカに於てもイギリス同様ペニテンシヤリー
	.	169	11	行く者が年々に多くなるやうに見えます	. 亜米利加に行く者と欧羅巴に行く者との人数，年
	.	030	15	マノガハの中だ」と言ふことが出来ます	. あらゆる星は皆悉くアマノガハの中であらうか或
	.	084	01	きまつた速力で行くもので御坐りませぬ	. 或る時は進歩の盛んな時も御坐りまするし或る時
	.	129	05	た所に丁度反対したる仕方が御坐ります	. 或る教師は総て普通の学術を大いに恐れて居りま
	.	163	05	様子が有つた様だ．其れが信長の大疵だ	. 或るとき七合入の盃を出して柴田勝家に酒を飲ま
	.	232	03	問することを得ると云ふことが有ります	. 或る論者になりますと地方税規則第三条掲載の事
	.	024	01	のグルリを惑星と言ふ世界が回つて居る	. 或は遠く或は遅く或は早く運動しますがいづれも
	.	031	15	こゝに至つて説が二た通りつけられます	. 或はアマノガハと云ふものは我々の見る所の限り
	.	084	13	四十八年より以降のことで御坐りました	. 或は貴国の上で申すならば勿論御維新の頃に当り
	.	143	09	付けねばならぬ極高尚なもので有ります	. 或ひは論者が有つて貴様は小説を貴ぶが小説と云
	.	255	12	になつた先祖が無いとは言はれますまい	. 或ひは自分の妻を将軍へ妾同様に売り付けて其の
	.	095	15	ことに付て証拠が明かで御坐りませうか	. 暗礁に乗りかゝつてから船長初め逃げたまでは長
	.	081	10	然に生ずる所の外部の結果で御坐ります	. イゝエ人の進歩と云ふものは必ず人みづからの進
	.	125	11	んに開けた学問学術なりと申しませうか	. イゝエ決してさうでは御坐りませぬ．総て真の学
	.	130	03	病なものは実に適当せぬもので有ります	. イゝエ基督教と基督教の道徳法の基は決して弱き
	.	135	12	は皆な基督教に係はるもので御坐ります	. イゝエ，基督教を専らに研究しまた其の為めに励

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	180	06	万苦を甘ぜしめた者は何で御坐りますか	. イエス，キリストに在ては「或はユダヤ人或は異
	.	038	09	て其の道徳とする所は全く表裏反対ぢゃ	. 如何なる訳で其の様に表裏反対して居るかと云へ
	.	200	10	うなもんぢゃ」とおつしゃるに違ひ無い	. 如何にも一応は御尤もで有りますが，しかし彗星
	.	262	01	マへておく場所と云ふことで有りまする	. イギリスの如きはペニテンシヤリーと申しまして
	.	088	15	ンド島の土人も亦其の通りで御坐ります	. 英吉利の政府でも種々世話を致しましたがヤハリ
	.	096	10	が今では証拠裁判で無ければなりませぬ	. 英吉利のことは委しく知りませぬが開明諸国は大
	.	018	14	同士は学者は其れを惑星と名づけまする	. いくらも有りますが最も名高くて諸君の御存じの
	.	027	16	かといふと其の問題は本当には解けない	. いくらかの大きさに見ゆる星は小さいものが近所
	.	176	04	が無いやうに思はれますが，さうで無い	. 移住出稼ぎは日本帝国を広く大きくするので，あ
	.	110	12	一の犯罪たることは免るゝを得ますまい	. 以上述るが如くでありますから我輩は英国領事に
	.	271	05	未決者と控訴上告中の者とで有りまする	. 以上の諸監獄の在監人を合計しまするとと四万八千
	.	276	14	の原則が最も大事なるものでありまする	. 以上に縷陳いたしましたることを約説しまするとと
	.	213	15	コデ少し小説と演劇と違ひが御坐います	. 維新の初めには小説と云ふものは人の心を乱り風
	.	006	16	と申した所が，さううまくは参りませぬ	. 泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名の会は俄に盛
	.	084	15	居たか或は全く滞止したのでありました	. 何れの国においても其の総体の進歩は速力の能く
	.	164	15	しむと．客之を聞き猶ほ以て戯れと為す	. 至れば則，果して英幟の巳に樹つを見る．傲悔頓
	.	002	01	掛泉川健といふお方がお出になりました	. 一面識もないお方では有りますが，お目通りを致
	.	080	08	が必ず善く進歩してゆく筈で御坐ります	. 一個人たるものが皆んな油断をして滞るならば即
	.	164	08	り人の之を主どるなしを経略せんと欲す	. 一日行て亜丁に抵る英将の邀飲を被り以て地主の
	.	022	05	のも有り外の方を通つて居るものも有る	. 一番遠方に居るのが海王星で十一億三千七百万里
	.	017	12	丁半の距離に置いたのが太陽になります	. 一寸の玉は手の指ででもまはりますが一丈一尺の
	.	190	13	で，この裁判権の中に二つの種類がある	. 一は行政裁判一は司法裁判である．この行政裁判
	.	008	02	ふに安んじて漢字を用ひて居る人が多い	. 一刻も早く無くなすことに気を付けなければなら
	.	171	09	また十日平均位に行くことも出来ませう	. 一昨日，亜米利加に行つて居る私の次男から手紙
	.	165	10	するの説と方法」といふことであります	. 一寸さきはヤミの世といふのに将来を前知すると
	.	001	09	るとのことなれば此の機会失ふべからず	. 一体，仮名の会員になつて居るのは考へが有るか
	.	003	04	識との関係を考へて見なければならない	. 一体，人には時の際限が有つて一日に二十四時間
	.	030	01	濃い所になりますと夥しく星があります	. 一体，肉眼で見えない星が沢山ありますが其の中
	.	034	02	西洋の人も歎息して居ることで有ります	. 一体御承知の通り酒と申すものはナルコチカと言
	.	073	16	ものより生ずるとの説を思ひ出しました	. 一体この説は前人に労力は則ち価値なりといふ説
	.	114	02	だからドウしても節しなければならない	. 一体，動物といふものは食欲を節することは出来
	.	115	01	ふ欲は飲食の欲よりも貴い欲で有ります	. 一体，人類といふものは低い欲よりは高い欲の方
	.	118	02	人ならば節酒会にも，はいらぬ方がよい	. 一体，一人で孤立して守ると人と約束をするのと
	.	174	05	千四百三十四人の日本国人となりませう	. 一体，数字はシャレ骨のやうで見ても面白くない
	.	196	07	ものか，たゞして見なければなりません	. 一体，この彗星をこはがるのは東洋の方ばかりで
	.	201	05	ので，ヨホド骨の折れるもので有ります	. 一体，彗星は長の旅をする間にはミチグサをくつ
	.	127	03	間違ひに陥ることは滅多に御坐りませぬ	. 一般にはこれ等の人は随分タシカな人で有ります
	.	183	09	に一夫一婦の道を守ることで御坐ります	. 一夫一婦と申しても此処に雲泥の違ひが御坐りま
	.	184	06	めたまふた律法とすることで御坐ります	. 一夫一婦の教の大切なことは前に述べた通りで御
	.	036	04	いなる社会」では実に可笑くなりませう	. 一方のヒロソヒーの方は調子が合ふから人が聞い
	.	032	08	といふ所までこぎつけたかも知れませぬ	. いづれにしても私の最初に持ち出しました問題即
	.	132	14	有ります．基督教の仕方で御坐りませぬ	. 僞りを倒すよりも真を立てる方がよい仕方で御坐
	.	053	17	等科のことを学ばないで文通が出来やう	. 田舎の様子を見ますに漁村僻邑と言ふと漢語です
	.	103	04	へられないのは宗教が衰へたからである	. 古への日本人には非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶
	.	003	12	方便に莫大の時を費すことになつて居る	. 今喋々といふにも及ばない，考ふれば直に分るこ
	.	017	16	居る．さうすると我々はモウ威張れない	. 今までは月を附属にして居つたが今度は我々が太
	.	019	17	が此の位でおいて外のことに移りませう	. 今までお話ししました星の中で一番我々のよく観
	.	023	16	出て来ます．其れは跡でお話ししませう	. 今まで申したことをつゞめて申しますと太陽は大
	.	027	14	どれだけ遠いかと云ふことは知れませぬ	. 今まで申しました星は肉眼で見ゆる位な星です．
	.	028	04	取ると非常の遠くに居ます星が有ります	. 今のαCentauriより一万倍乃至三万倍位
	.	039	01	栄え其れが出来ぬ社会は亡びたであらう	. 今申した野蛮の有様に付て一例を挙れば盗賊を働
	.	040	01	ならぬと云ふことになりて居たと見える	. 今いふ徳義にかなふた人でも其の時分には弱くて
	.	040	11	ゆけば其の社会は必ず亡びるに違ひ無い	. 今の開けた社会でもモトは箇様な社会から変遷し
	.	047	08	そ始めて道徳の行はれぬのを歎くがよい	. 今各国の間に道徳が行はれぬのを歎くのは順序を
	.	055	01	に作るさへ骨が折れるもので御坐ります	. 今私の申した目録だけの書物を拵へるのは口で言
	.	065	12	共に皆改むべきの最も急務なるものです	. 今にして之を改めなければ後年必ず測るべからざ
	.	091	17	た人に遇ふたことは一度も御坐りませぬ	. 今弁じた所の種々のことに由つて見ればドコから
	.	094	17	いふのは法理の許さない所で御坐ります	. 今道徳上の原理より言ひますれば身を殺しても仁
	.	095	17	故殺に当るといふも其の説は取れませぬ	. 今法理上より言へば凡そ罪を組成するには内部と
	.	101	05	外国人から軽蔑を受くる原因であります	. 今一つは何なるか．日本の国情が外国に通じない
	.	101	15	また直ちに之を打ち捨ててしまふ様です	. 今之を獣に例ふれば日本人民はヤマアラシの様で
	.	103	10	上人の如きものを見るも其の通りである	. 今試みに諸君が森林鬱蒼たる高野山に上ることあ
	.	114	14	も通じて有るから動物的の欲と言ふぢゃ	. 今，犬猫に向つて棒をふり上ぐれば，すぐに逃げ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	115	08	動物に対しても言訳が無いで有るまいか	. 今，言つたのは身体に付て言つたことだがモウ一
	.	120	14	じさすることが割合に少なく思はれます	. 今，申したのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を
	.	125	10	其の心を奪ふものは何で御坐りませうか	. 今之に答ふるに，これは即ち近来盛んに開けた学
	.	126	09	す．また大きに誤つたものも御坐ります	. 今から私は其の色々の仕方を順に従つて申し上げ
	.	126	17	いふものは大抵皆な専門家で御坐ります	. 今漸く世に出て来た所の卒業生が容易に之に勝つ
	.	144	07	にしてはタント好い小説を見受けませぬ	. 今，申す通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸を出し
	.	157	11	堤のきれたやうに，しゃべり出したとネ	. 今，日本大中小で三万に近い学問所で天球儀，地
	.	162	16	時に在つては已むを得ないものと見える	. 今申した酒誥の原文は大凡六百字あまりも有るが
	.	164	06	酒のことに付て一つの話しが載つて居た	. 今其の文を読みませう．余亜丁に在り聞く数年前
	.	166	12	ノゴトに，あてはむることは出来ませぬ	. 今の学風はさうで無い，事実を穿鑿して事実の上
	.	167	03	くなるから追々に，すたれてしまひます	. 今のは事実と道理とピッタリ合ふやうにしてゆく
	.	175	03	後の世の人に義務が無ければなりませぬ	. 今の人は確かに後の人に義務を負つて居ります．
	.	187	01	人の良友たることは明白で御坐りませう	. 今より大凡一千八百八十年前に処女マリヤが救世
	.	197	08	，委しいことは言ひませんで有りました	. 今，あのことに立ちかへつて……惑星は我々の地
	.	222	01	とは勿論，自殺や残酷なことが多かつた	. 今，千歳座で興行して居るホトトギスと云ふ狂言
	.	229	10	郡長の仕事と戸長の仕事をして居ります	. 今，性質から云へば区は郡の下につくべきもので
	.	238	06	へた難儀などのことは一々出て居ります	. 今から見ると意外な難儀が書いて有ります．呉々
	.	255	02	で，監獄が悪いのでは決して有りませぬ	. 今でも「あれは監獄の役人で有る故におれの娘は
	.	256	09	者，特志者から救助することで有ります	. 今，申しました二つの種類の外に天災の救助と云
	.	262	08	懲治，感化すると云ふ場所で有りまする	. 今欧米の監獄の方法を略述しまするに其の方法が
	.	264	11	就かしめ其の再犯を防ぐ所で有りまする	. 今，欧米の監獄専門家の意見と其の各国に於て施
	.	274	01	数は七万二千二百五十二人となりまする	. 今，其の費用を見ますると国庫支出，及び地方税
	.	088	01	要は必ず明らかになりませうと存じます	. 未だ基督教を委しく研究せずして分らぬ御方は直
	.	098	08	忍びずといふことであらうと考へまする	. 苟くも人情あるものは人の死を聞いて悲しまぬも
	.	101	13	対のあるものであるが我が日本は然らず	. 苟くも改良といひ仮りにも改革といへば一人も疑
	.	156	11	トして居られない，血の道がおこるテネ	. いよいよ地が回ると決着したが，をかしい．地が
	.	202	09	いと云つて其の結果を世間に出しました	. いよいよ天文学で竟にこれまで無かつたことが見
	.	208	04	た太陽から遠ざかつていつたやつが有る	. いよいよ彗星は地球のやうに堅くつて水が有り草
	.	029	01	て我々の太陽系は外にツレがあるのです	. 色々な星の中に二つ以上組み合つてある星で無け
	.	150	05	も）との関係を規定したものであります	. 色々ありますがツマリ今申した二つに帰着するも
	.	044	06	要なる点は越えてしまふて居ることぢゃ	. 所謂るＡｂｓｏｌｕｔｅｎｅｃｅｓｓｉｔｙの点
	.	091	11	ゞ一言で申すならば即ち罪で御坐ります	. 所謂罪悪で御坐ります．世の進歩の妨げを為すも
	.	125	08	ドコから起つて来るもので有りませうか	. 所謂る書生が起す所の色々の論は多く何に本づい
	.	064	05	ら斯の如く心臓病を発するでありませう	. 況んや之を引き疾駆するものに於ては一層の劇症
	.	095	02	之を救ふが道徳上の義務で御坐りませう	. 況んや其の身船長であれば斯の如き場合に在つて
	.	183	08	苦しくないといふことでは御坐りません	. 陰陽内外の別なく神の前に在つて真実に一夫一婦
	.	161	06	亡ぼし家を亡ぼし国を亡ぼすものが有る	. 殷の紂王などは酒の池，肉の林を造つたといふが
	.	118	04	申すのはただ其れだけのことで有ります	. 飲酒より生ずる弊害を調査するの方法を論ず明治
	.	160	07	といふことに帰してしまふもので，ごす	. 飲酒の害明治十九年三月二十一日大日本節酒会の
	.	186	02	女卑の風習の行はれぬ所は御坐りません	. 印度や土耳其の婦人の事などを聞けば実に憫然に
	.	182	14	一人の割合だといふことが出来ませうか	. 上へ往けば往くほど其の割合が多くなるではあり
	.	167	07	たから，おつつけ分るやうになりませう	. 宇川さんだつて日本に居つては迚もあれだけのこ
	.	157	17	動かんと云ひました．さうで，ごんせう	. 動かなくなつたんだから仕方が無い．モノゴトに
	.	054	09	ばかりで書いた本が入り用で御坐ります	. 内田先生の奥方がお拵へになるさうですが真に喜
	.	091	15	有る様なれども私は年たけて居りまして	. 海にも陸にも旅をして二回ばかり地球を周りまし
	.	138	09	は斯様に眠つてしまふことは出来ません	. ウ／ヲタースコットの本などを読みまするとその
	.	041	12	つの風習と云ふもので有りたに違ひ無い	. 英国の開化史を書いたＢｕｃｋｌｅと云ふ人が「
	.	046	12	を為して居らぬ者同士の間に道徳は無い	. 英国とか仏国とか日本とか支那とかは各々別々の
	.	095	08	船長と雖も罪人とすることは出来ませぬ	. 英国領事裁判所に於て被告人のみを審問して無罪
	.	107	09	を取り調べるのが必要であると考へます	. 英国の法律には諸君の御承知の通り成文法と不文
	.	164	13	敢て延擱せず即時に以て纜を解く可しと	. 英将従容として言て，曰く惜む君の謀る所已に晩
	.	234	13	は日本語で学べるので無ければならない	. エウロッパの昔もギリシャローマが盛んで有つた
	.	222	09	して，これから演劇のことを述べませう	. 演劇は舞と，能の狂言とが転変してアー云ふ風に
	.	212	13	彗星が肉眼で見ゆるであらうと思ひます	. お互に長生きをして其の頃また彗星の話をするの
	.	209	03	して，どのやうな小さい星でも見えます	. 尾をすかして大きな星が見ゆるなら宜う御坐りま
	.	209	09	其れからして尾の長さのことで有ります	. 尾と云ふものは大変に長いもので，ムヤミに長い
	.	012	06	た位を目的と致しますことで御座います	. 追々お話しします中に問題の趣意もよく分りませ
	.	164	15	至れば則，果して英幟の已に樹つを見る	. 懊悔頓に生す，機を失して贖ふ莫し祇に徒手して
	.	030	06	其の中に我々がはいつて居るに違ひない	. 大方アマノガハと云ふものは円い者をおしつぶし
	.	209	07	さないと云ふ方が怪しいやうで有ります	. 大方は頭も心も稀薄なもので何れ瓦斯体で有りさ
	.	030	04	所が一番多くて其れから次第に少くなる	. 大きな粒々とした星はさうでもないが小さな星が
	.	133	13	見たことは御坐りまする」と答へました	. 大きに宣教師が驚いて「ドウして基督教を御覧な
	.	028	10	三つ四つなどとかたまつて居る星が有る	. 多くは散らばつて居ますが中にはコンナにかたま

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	216	05	上に，ころがして療治話しで御坐います	. 大己貴の神は医薬を始めた神だから療治をしたか
	.	101	17	い．即ちチョイとツッツクとプーと怒る	. 怒ることは怒るが長く耐へられない．日本人はヤ
	.	179	15	き人に自由幸福を与へる者で御坐ります	. 恐らくは昔日より西洋諸国に於て行はれた種々様
	.	163	01	業が中道で成らずにしまつたものが有る	. 織田信長は徳は無い様だが才気は充分に有つた人
	.	266	05	まするけれども専ら教育を主と致します	. 乙の場所は懲治場で有りまして此の所に於ては幼
	.	045	07	ぶが其れでも男と女とは大分違ひが有る	. 男には参政の権が有るが女には其れが無い．又議
	.	079	16	たゞ進み行くことばかりで御坐りませぬ	. 劣りたる所より優れたる所へ賤き所より貴い所へ
	.	017	13	は両手でも抱きまはすことは出来ませぬ	. 同じ大きさに見えても月と太陽は非常な違ひで月
	.	206	11	が突然二つに分れましたことが有ります	. 同じやうな形ちで一つは大きく一つは小さくなつ
	.	035	08	者は無欲だといふことがよく分りませう	. 己れの大切なる智慧までも徳利の中へ質物にする
	.	088	08	て居るならば進歩することが出来ませぬ	. 己れが不足なる有りの儘にして満足するならば進
	.	106	14	事庁に於て更に開く所の法廷であります	. 想ふに去月二十四日の晩，彼の紀州大島沖に於て
	.	080	05	して後に本論に取りかゝりませう．第一	. 凡そ社会の進歩は一個人の進歩に由るもので御坐
	.	124	08	ならば，なほ有り難きことと存じまする	. 凡そ卒業生といふものは今漸く世に出まして善く
	.	142	04	ればならぬから凡才では中々いけません	. 凡そ仕組と申すものは家を建てるに致せ軍艦を造
	.	142	17	と云ふ其の範囲を出ることは有りません	. 凡そ小説と云ふものはたゞ勧善懲悪ばかりが主意
	.	143	05	外は無い．即ち小説の管内で御坐ります	. 凡そ人情と申すものは極り無きもので種々雑多の
	.	150	01	ふことを一言申し上げるやうにしませう	. 凡そ法律は公法と私法とに別れ私法といふものは
	.	188	08	日チョット申し上げて見たう御坐います	. 凡そ人間が集まつて社会を為すときには此の社会
	.	243	03	行政権のことを述べなければなりませぬ	. 凡そ一国には二大政権あるもので国民全体の望み
	.	110	17	の為めに便宜の処置であらうと信じます	. 終りに臨み我輩は一言すべきことが御坐ります．
	.	045	11	ものに向ふて害を為して居るに違ひ無い	. 女に参政の権を与へぬのは女から参政の権を奪ふ
	.	161	16	ことは酒に基かないものは無いくらゐだ	. 夏の桀王も酒を飲んだに違ひ無からうが酒池肉林
	.	133	16	て不意に信仰を起したものになりました	. が其れから，かの者が全く外の人になつたやうに
	.	209	13	あの説を信ずれば，あれまでで有ります	. が，しかし其れも信じなければ，また其れまでの
	.	051	11	これで盛大になつたとは考へられませぬ	. 会にお集まりなされた方が使へるだけは仮名の文
	.	077	01	応用するに至つては実に錯雑を致します	. 害を除くのが利を興すのであり利を興すのが害を
	.	175	10	ると人力ではドウすることも出来ませぬ	. 外国に出て外国に慣れるやうにしなければなりま
	.	097	02	ねるのは敢て難いことではありますまい	. 海底を探ね，また他に名案を施したらば罪跡が現
	.	081	04	部に発現するもので無ければなりませぬ	. 外部から起つて来て内部に移る様なものでは御坐
	.	034	10	せぬか誠に不思議な訳では有りませぬか	. かういふ所から私共も説を立てて見て世間で酒を
	.	122	11	から起ることが余程多い様に思はれます	. かういふ様なことは外のことからも起りませうが
	.	191	14	其れに係はらず常定主義がきまつてある	. かういふことはスタチスチック上でフランスでも
	.	193	13	治上の原則は開闢以来の原則に違ひ無い	. かういふことをする，アーいふことをするといふ
	.	228	08	た町には町年寄と云ふものが有りました	. かういふやうな有様で有りましたから一定即ちユ
	.	135	13	趣意は決して狭いものでは御坐りませぬ	. 却つて其の見渡す所が広く且遠くなります．聖書
	.	141	17	を運用することの出来ぬものも有ります	. 斯る先生では本当の小説の仕組は出来ません．凡
	.	116	14	全く酒を節した効能だらうと思はれます	. かく自分一人でも酒を節することは出来ぬではな
	.	061	15	学校に通学するに必ず乗車せしむるあり	. 斯の如く人力車濫用の弊たる我が邦人をして暗々
	.	069	15	く注意をせよ」と云ふ忠告を致しました	. 斯の如くは志願者一個人の為めから言へば甚だ不
	.	070	17	人か卒業生が出来ることで御坐いませう	. 斯の如く法律学者の輩出いたしますのは我が国家
	.	098	16	の遺族に贈るなど寔に懇切なことである	. 斯くの如く尽力すれば二十五名の魂魄は定めて地
	.	102	14	たのは固より無理のないことであります	. 斯くの如く一方に於ては日本人がうつりやすく真
	.	103	14	及ぶところで無きことが明瞭であります	. 斯くの如く昔時の人は宗教を信ずるが故に気力あ
	.	193	15	かいふことは日本古来の原則に違ひ無い	. 斯の如くなければならぬのは人間が寄つて国を為
	.	194	02	のですから御趣意は一向変つて居らない	. 斯の如く立法権者と執行権者との原則を定めたか
	.	228	02	君主国が有つたやうな有様で御坐います	. 斯の如くで有りますから日本帝国の中に，また諸
	.	249	02	つて丁寧に取り扱はなければなりませぬ	. 斯くの如き関係で有りますから，警察と裁判が何
	.	257	13	防との両性質を有するものでありまする	. 斯くの如く貧民救助の中にも単に救助に止まるも
	.	259	01	そこで救つてやるべきもので有りまする	. 斯くの如く貧民の救助は慈恵と云ふのが一つで，
	.	259	04	の仕方を以てやるべきもので有りまする	. 斯くの如く貧民の救助は犯罪人の予防減少に大関
	.	271	01	其の人員は僅かに三十七人でありまする	. 斯くの如く人員の少ないのは二十四時間を出でざ
	.	210	14	ともムヤミにあるいて居るものですから	. 学者は各々持論によつて色々なことを言ひ「彗星
	.	082	01	商法の進歩に付て人の進歩で御坐ります	. 学術の進歩も亦斯の如し学術が自分に進歩するも
	.	082	02	術が自分に進歩するもので御坐りませぬ	. 学術に付て人々自分の進歩で御坐ります．政事の
	.	126	08	処置を以て成功することが出来ませうか	. 学術の色々の反対論に答へるには色々の仕方が御
	.	128	06	全く聞えなくなるべきものも御坐ります	. 学術の歴史を調ぶれば暫くの間，盛んにはやりて
	.	130	08	りなどのことは誠に拙き論で御坐ります	. 学術と宗教との出所は一つのもので有る故に必ず
	.	171	06	ます．其れならドコの国に行くだらうか	. 学術を研究したり移住を為したりするはドコがよ
	.	231	11	は総て二つ以上の頭を集めてやるのです	. 各省の大臣は施政者で有るから一人です．府県に
	.	141	09	りては四書，五経も読めないものが有る	. 学問が無くつて品行が悪くて之を改良する道を知
	.	142	07	其の文章が流暢なばかりではいけません	. 学問が有つて非凡な人でなければなりませぬ．ま
	.	154	05	奇談もありますが其れは先づやめませう	. 学問と宗教との極点を論ず明治十八年十月十日栴

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	155	07	はやりますが演題がチト大きすぎますナ	. 学問と宗教との極点を論ずるといふのだから口は
	.	136	04	ゝには九州が見え次ぎに四国が見えます	. 彼所には白妙の富士が眼に立つ如くに見えます.
	.	121	11	うかと云ふことを諸君に御相談致したい	. 箇条と云ふのは酒を多く飲む人は「寿命が短くな
	.	022	16	せば看做すことの出来るもので有ります	. 火星から木星に移る間に距離が離れて来ます. 其
	.	175	08	うと, いふので額に汗を流して骨も折る	. 家族でも子がみな死ぬと親も先きの望みもなくな
	.	130	16	す」と. 実に面白いお話しで御坐ります	. 数へも出来ぬ日月星を含む所の大空が人の色々の
	.	005	14	出来る訳なら鎗や具足にしておくがよい	. かたつぼうが替ればかたつぼうも替らなければな
	.	044	08	唯人を害しさへせねば其れで許すのぢゃ	. 且法は政府が権をもちて居るから背けば罰するこ
	.	067	06	幸ひに此の盛場に列するの栄を得ました	. 且法律経済の二科に就て卒業をせられたる所の数
	.	099	14	心を生ずるものなること論ずるを俟たず	. 且船長は幾多船客の生命を保護すべき責任のある
	.	173	09	めて, うまい味ひがあらうと思はれます	. かつえたるときは素パンでも食はなければならな
	.	176	06	なりますまい. 手段は術で学科では無い	. 学科といふは其の術に入り用なものを調べるもの
	.	047	06	会にならぬのが歎はしいと言ふ方がよい	. 各国が一つの社会になりても道徳が行はれねば其
	.	005	13	い. 漢字をやつて居て競争が出来るなら	. 甲冑を着て鎗長刀を持つて西洋人とイクサをする
	.	242	02	も知らない方が無いとは云はれますまい	. 曾て旅行中, 新潟監獄に於て副典獄, 福島武司氏
	.	184	14	リスト教の力に依らなければなりません	. 曾て或る人がキリストの許へ来て「人は何の故に
	.	161	12	とを聴かずに我を張るといふことが起る	. 下等社会などでは楽みに始つても終りには兎角喧
	.	002	13	そんなに漢字を嫌ふかといふ問題になる	. 仮名にはよい所が有り漢字には悪い所が有るか,
	.	049	04	がら今日はこれにて了ることで御坐らう	. 仮名世界の準備明治十八年一月二十五日仮名の会
	.	174	17	したからサホド遠いものではありませぬ	. かねて申します通り「人は義務の体」と言ひます
	.	133	10	戸長の如き役人に深切に迎へられました	. かの宣教師が「アゝこの役人は既に基督教を聞い
	.	135	16	院の奥の庭には面白いものが御坐ります	. かの庭の中にこの麗しい大日本帝国の地図が委し
	.	220	14	ど種々様々の画入の慰み本が出来ました	. かの桃太郎, カチカチ山, 舌切雀などの話しも此
	.	058	01	オモシロミが無いと脳髄に這入りませぬ	. 彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て申しましたに
	.	124	10	存じます. 其の一つはこれで御坐ります	. 彼の卒業生が其の働きと其の務めとの益になるも
	.	139	11	方向は違へど智能の一点は劣りますまい	. 彼のスペンサー先生などは日本では貴まれて居ま
	.	143	17	説の末の余弊でありますから仕方が無い	. 彼の南宗北宗などの山水の美景或ひは武人の像を
	.	145	11	る. 併しこれも出来ないことは有るまい	. 彼の演劇改良会では金は集まつたが演劇の作者が
	.	180	01	ト教の力に籍らぬものは御坐りますまい	. 彼のジョン, ハワルドをして欧羅巴諸国の監獄改
	.	090	05	いならば迚も進歩することが出来ませぬ	. 神の御言葉と云ふ聖書の極古い所に申して御坐り
	.	184	17	婦になれば最早二つでは無く一体である	. 神が合せ給ふたものを人が離すべき筈はない. 姦
	.	017	08	八十五万里余といふことは知れて居ます	. 箇様に夥しい距離に居ながら月と同じ位に見えま
	.	026	08	くには非常な距離を通らねばなりませぬ	. 箇様に遠くに居ながら, あの通りによく見ゆるか
	.	028	06	居ても我々は今に有ると思つて居るです	. 箇様な遠方に若し我々の親類が居ても便りといふ
	.	040	08	もつと却りて道に背くことになりて居る	. 箇様なることが総て野蛮の国と開けた国と全く違
	.	069	02	代言人たるの難いことが想ひやられます	. 箇様に年令満十八歳にて中学校を卒業し其れより
	.	092	03	ませて貴い方へ上げる宗教で御坐ります	. 箇様な宗教をうちゃつて置いて完全なる進歩を成
	.	126	07	してよく之に答へることが出きませうか	. 箇様なお方にあふときは如何なる処置を以て成功
	.	126	13	つことが出来ると思ふもので御坐ります	. 箇様な豪傑はよく「我が思ふには」「我がミコミ
	.	126	15	つことが出来ようと思ふので御坐ります	. 箇様な者の勇気は感心なものだかも知れぬけれど
	.	128	10	二人が起した所の論が多う御坐りまする	. 箇様な論は遂に本当のものになるか或は誤つたも
	.	129	06	総て普通の学術を大いに恐れて居ります	. 箇様な人は世俗の学問を皆な基督教の大敵とする
	.	129	09	けしからぬ悪きものとして常に誹ります	. 箇様な臆病なものは少なう御坐りますけれども無
	.	129	09	ますけれども無いものでも御坐りませぬ	. 箇様な人が言ふ「嗚呼哀しいかな先だつて某の学
	.	129	14	滅びてしまふのでは有るまいか」と云ふ	. 箇様な臆病な人の思ふには学術はけしからぬもの
	.	176	16	漏らさぬやうに, しなければなりませぬ	. 箇様な仕方で一々調べて其の調べに何年何月と記
	.	209	14	ければ, また其れまでのことで有ります	. 箇様なことは迚も一席の講談に於て断言するは危
	.	222	04	有つたから了簡がついたことと見えます	. 箇様な訳で有るから我が国の小説は却つて昔物語
	.	140	03	で有ると言へば矢張り小説で御坐ります	. 斯様に西洋ではゐらい人が小説家と言ふに日本で
	.	141	09	て品行が悪くて之を改良する道を知らぬ	. 斯様なことで有れば卑しめらるゝも当然なること
	.	144	02	られて今は無けれども春画の如きも有る	. 斯様な画が有るからとて画と言ふものは全く卑し
	.	146	05	まつて出したら訳が無からうと思ひます	. 斯様いたしまして其の小説の極精良なる高尚なる
	.	185	08	べく憂ふべきことと申さねばなりません	. 斯様に軽々しく妻を出す風が行はれて居る中は婦
	.	160	01	るにもせよ, カラダが行くではあるまい	. カラダは土になるか灰になる外はなく余所へ行き
	.	100	01	軽蔑したものなりと考へるより外はない	. 彼等は実に我々日本人を同等の人間と思はぬに相
	.	109	02	大船に残つて居ることを甘んじませうや	. 彼等乗客は水夫等は船の事を知つて居るから其の
	.	185	01	合せ給ふたものを人が離すべき筈はない	. 姦淫の故でなくして妻を出して他の女を娶る者は
	.	238	10	一言其れだけのことを御忠告いたします	. 監獄論明治二十年十月十五日宇川盛三郎君講演私
	.	242	08	意に従つて申し上げることと致しませう	. 監獄は昔は牢屋と申しました. フランスではプリ
	.	242	14	はナカナカ軽々しきものでは有りませぬ	. 監獄学を知らずして監獄のことを取り扱ひまする
	.	274	09	獄の改良と申すことを一言いたしませう	. 監獄は実に数万の囚徒を取り扱ふ所で前に述べま
	.	005	12	したければ漢字をやつて居てはいけない	. 漢字をやつて居て競争が出来るなら. 甲冑を着て
	.	005	14	持つて西洋人とイクサをするがよからう	. 漢字と西洋字と競争が出来る訳なら鎗や具足にし

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	006	05	めに教育上実に奇々怪々なる結果が有る	. 漢字が有る為めに物理学の講義でも化学の講義で
	.	007	06	いふに漢字の教育を受けて居る人が多い	. 漢字の教育を受けた者が十人に八九は有りませう
	.	008	16	これは少しづゝ時をかくれば覚えられる	. 漢字もやらせるがよいが，むづかしい漢字はよし
	.	009	03	仮名が便利になりはせまいかと思はれる	. 漢字を廃さうとならば先づかういふ方法．併し廃
	.	199	06	の軌道，即ちあるく道の勘定をしました	. 勘定してドウして分ると云ふことは，こゝで一席
	.	272	09	道に設けてありまする．然るところ昨年	. 官制の改革のときに北海道庁に監獄署を置かれま
	.	212	06	どの位，利益にならうか測り知れません	. 観測をしたくも十分に観測が出来ず，行かうと云
	.	135	15	間の限り無き道理が実に明かになります	. 神田橋外の学習院の奥の庭には面白いものが御坐
	.	111	04	も今回の事たる決して之に止まりませぬ	. 元来彼等は一般に日本人其の他東洋人を蔑視し之
	.	133	02	のよいことは昔から明かで御坐りました	. 元来，基督教が起りました時節より三百年の間は
	.	141	12	る三箇条なれども其ればかりではいけぬ	. 元来，小説には仕組と言ふものが大切ゆゑ非常の
	.	179	12	の言の決して僞りで無いことが知れます	. 元来キリスト教は正理自由の友で無理圧制の敵で
	.	094	04	たのはドコかと言ふに紀州沖であります	. 紀州沖であれば日本の領海なれば裁判法理に照せ
	.	231	11	察官会議とか云ふものが有りますやうに	. 議政は総て二つ以上の頭を集めてやるのです．各
	.	149	02	りのを調べ居つたら役に立ちますまい	. 規則を立るとか法律を立るとかいふことが知れゝ
	.	244	06	で第二は規則の制定及び執行で有ります	. 規則と申しまするものは法律の細目を定め，また
	.	171	07	ふに北亜米利加合衆国だらうと思ひます	. 北亜米利加合衆国は人がまだ多くなく，国に余地
	.	084	01	一様に進んで行くことでは御坐りませぬ	. きまつた速力で行くもので御坐りませぬ．或る時
	.	164	14	余早に兵艘三隻をして前往駐守せしむと	. 客之を聞き猶ほ以て戯れと為す．至れば則，果し
	.	124	16	られて楽の出来るものでは御坐りませぬ	. 逆風に妨げられる所もあらう．卒業生の助けにな
	.	141	15	るのは甚だむつかしいもので御坐ります	. 彼奴は学者にはなれまいと思ふ鈍才の者が思ひの
	.	015	09	距離が日本の里数で九万七千五百里です	. 九万七千五百里と云つては数が余り大き過ぎて見
	.	032	10	けはドウかカウか解いた積りで有ります	. 今日お話ししましたのは地理書の先きを言つたの
	.	052	06	まふといふ大決断をいたすと思ひなさい	. 今日其れをやられては困る．さて其の焼かれた翌
	.	070	15	ラでも十一人ほど卒業生が御坐いました	. 今日はこの専修学校で昨日の倍数ほど卒業生が出
	.	110	07	つたかも知れない．啻に其れのみで無い	. 今日の新聞で船長は四千弗の保釈金を出し其の外
	.	131	10	なる所の書籍類も実に夥しう御坐ります	. 今日も其の色々の書名を挙げることが出来ませぬ
	.	149	17	考へで講究するといふ理由で御坐います	. 今日は行政法はドウいふものであるといふことを
	.	194	04	官権，行政議会，行政裁判を論じませう	. 今日は少し講旨と離れて居ることではありました
	.	226	05	区別を致しまることを申し上げました	. 今日よりは純粋の行政部類に這入りまして第一に
	.	232	15	会と云ふことを講究する順序になります	. 今日は先づこれまで申し上げて置きませう．専修
	.	269	03	一万五千七百〇六人の囚徒がありました	. 矯正院即ち感化院は男子の部は公立のもの十一箇
	.	146	09	諸君のお耳を煩はしたことで御坐ります	. 行政法大意第一回明治二十年二月十二日スタチス
	.	150	11	の成り立ちで其の次は行政法であります	. 行政法は内公法の一つで政治学の一部分に属する
	.	150	14	，憲法と言へば一国組織の謂であります	. 行政法といふものはたゞ憲法に基いて憲法の趣意
	.	150	16	る部分を定めるものが行政法であります	. 行政法と言へば一国施政上の法律規則また官府と
	.	151	14	といふことを，きめなければなりませぬ	. 行政法といふものは法律，規則及び之を運転させ
	.	154	03	ふことを併せて述べて見たいと思ひます	. 行政法とスタチスチックと合はないとスタチスチ
	.	187	11	会員方に望む所も即ちこれで御坐ります	. 行政法大意第二回明治二十年三月十二日スタチス
	.	225	08	ことを述べて諸君のお耳を煩はしました	. 行政法大意第三回明治二十年五月十四日スタチス
	.	226	17	イギリス語でオーソリチーとか云ひます	. 行政議会と云ふことはフランス語でコンセイユと
	.	043	07	．道徳は教法者が大層骨を折りて開いた	. 教法と云ふものも野蛮の教法と開けた教法とは大
	.	159	02	だのが学問の実際といふものに違ひない	. 教法の極点といふと教法は御承知の通り西洋にバ
	.	155	08	ずるといふのだから口はゞつたい訳さネ	. 極点といふのは日本の言葉では極上無類飛切とい
	.	103	06	は概して信仰心の然らしめたものである	. 清正が非常の武勇を現はしたのは矢張り信仰心の
	.	016	07	玉をおきましたのが月の鑢形になります	. 距離も随分遠く大きさも大分違ひますが兎も角も
	.	042	14	とで本当は今日でもさうはなりて居らぬ	. 希臘羅馬で道と法とが始めて分れて来た．政治上
	.	181	05	ト教には此の力があるので御坐りますか	. キリスト教にはドウいふ真理があつて其の改革が
	.	184	03	起る所の弊害不幸は何程だか知れません	. キリスト教は即ち此の無理圧制を取り除かんとす
	.	185	03	即ちキリスト教の結婚の道で御坐ります	. キリスト教に於ては一旦夫婦になつたからには姦
	.	186	01	かしこれは日本ばかりでは御坐りません	. キリスト教の行はれぬ国では何処でも男尊女卑の
	.	077	12	を進められむことを切に希望いたします	. 基督教は社会進歩の為めに必要なり明治十九年九
	.	086	13	の明らかになるは丁度こゝで御坐ります	. 基督教の欠くべからざること即ち基督教の必要は
	.	087	01	督教は即ち世に下されたので御坐ります	. 基督教は丁度これ等の貴きものに付て人の心を照
	.	089	02	教ゆるには基督教に若くは御坐りませぬ	. 基督教に双ぶものは御坐りませぬ．基督教は決し
	.	089	02	せぬ．基督教に双ぶものは御坐りませぬ	. 基督教は決して人に諂ふことも無く恐るゝことも
	.	090	01	せぬ．これより貴いものが御坐りませぬ	. 基督教を能く心得たる人には目的が無く己れの貴
	.	090	09	神のミコゝロを教ゆるもので御坐ります	. 基督教を用ひ天の光りを受けて世渡りするものは
	.	091	02	は基督教に競ぶべきものが御坐りませぬ	. 基督教は人間の権力腕力などのものを怖れぬ豪傑
	.	092	02	せむとするに必要なるもので御坐ります	. 基督教は即ち進歩の宗教で常に人を善の方へ進ま
	.	125	12	は基督教に敵対したる者で御坐りませぬ	. 基督教の色々の反対論といふものは，おもに学術
	.	130	04	の基は決して弱きものでは御坐りませぬ	. 基督教は則ち造物主の御心と人間の天然の性質に
	.	131	08	答へることは誠によい仕方で御坐ります	. 基督教の反対論を駁つ為めに英国，米国，独逸国

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	132	14	ことは露西亜の虚無党の仕方で有ります	. 基督教の仕方で御坐りませぬ．倡りを倒すよりも
	.	132	16	立てる方がよい仕方で御坐ります．第七	. 基督教の反対論に答へるには最もよいものが御坐
	.	134	15	教に付て堅い証拠を立てねばなりませぬ	. 基督教の反対論に答へむには其の外にまだ色々の
	.	135	06	督教の趣意は実に狭いもので御坐ります	. 基督教は則ち万国万民の為めで御坐ります．耶蘇
	.	178	06	の学者は講究あらんことを切望に堪へず	. 基督教と婦人の地位明治二十年三月五日東京婦人
	.	043	09	大いなるものを恐れ敬ふのみのことぢゃ	. 禽獣でも地震でも雷でも何でも総て人間の力で制
	.	126	01	，こゝに一つの不審なことが御坐ります	. 近来の学術と云ふ貴い名によつて基督教を破らむ
	.	128	04	学術の事実とせぬことが多う御坐ります	. 近来盛んに起つて来る所の色々の論の中に追々と
	.	229	05	ます．其れから区と云ふものが有ります	. 区は市街の大きな所を郡より引きはなして区と定
	.	005	15	らない．併し，そこに人の気は付かない	. 具足を着たり甲を冠つたりしてはイクサは出来ぬ
	.	221	03	ものよりは却つて考証になることが多い	. 降つて正徳，享保の頃には其頃，自笑などと云ふ
	.	102	12	那の属国やら更に分らぬさうであります	. 国の実況が分らず国の名さへも知らぬ様では軽蔑
	.	020	12	るから雲も有る訳です，又現に有るです	. 雲が有る位だから空気も有る．又地球に似て南極
	.	238	07	から見ると意外な難儀が書いて有ります	. 呉々も諸君，さう云ふやうに力を尽されて勉強さ
	.	228	13	たゞ大いなる市街が無い所を云ふのです	. 郡と云ふものは明治十八年十二月三十一日の調べ
	.	129	03	新しき論によつて容易に惑はされませぬ	. 君子はシッカリしたもの用心するもの，またタシ
	.	268	04	獄で有り，一つは普通の監獄で有ります	. 軍事の監獄は陸軍及び海軍にありまするものです
	.	024	14	家内のことを総称して太陽系と言ひます	. 系は系図の系の字で有りまして私が親子眷属に譬
	.	248	10	係を明らかに示すことが必要で有ります	. 警察に於ては犯罪人を捜索して之を裁判所に引き
	.	255	06	悪事までも探索して之を持ち出しました	. 警察に於ては法律の違反者，又は国事に関係する
	.	114	06	が有るから飲食にも結構なものが出来る	. 結構なものが出来ると其れだけに飲食の欲も他の
	.	109	10	ことは誰れも想像することでありませう	. 決して端艇は何の為めに附いてあるか知らぬとい
	.	152	15	といふことはむづかしいことであります	. けれど実地に就て見ますと仏蘭西の例で言へば国
	.	017	01	たら下等の動物位は居るかも知れませぬ	. けれども我々みた様なものは居ない．して見ると
	.	079	12	ら進歩することの出来るので御坐ります	. けれども人間の進歩と云ふものは何で御坐りませ
	.	079	15	即ちスヽミユクと云ふことで御坐ります	. けれども社会の進歩と云ふものはたゞ進み行くこ
	.	088	03	皆んな立派に晴れて来ませうと心得ます	. けれども既に演べましたものの外に社会の進歩の
	.	124	15	ぬか．これ実に幸ひなことで御坐ります	. けれども若い伝道師の仕事は皆残らず順風に助け
	.	126	01	中に，よく熟したる学者も御坐りませう	. けれども，こゝに一つの不審なことが御坐ります
	.	126	05	非難せむとするが如きもので有りまする	. けれども基督教に就て己れの色々の不承知を言ふ
	.	127	08	々の間違ひに陥り易いもので御坐ります	. けれども卒業生が其の未熟な論を以て彼の専門家
	.	129	02	中にも箇様なものが無いと言はれませぬ	. けれども君子なる政治家と学者と教師は不意に起
	.	133	04	はされたことは実に甚しう御坐りました	. けれども其の時に基督信徒をひどい目にあはせた
	.	133	15	けしからぬイタヅラな奴が御坐りました	. けれども去年かの者が基督教を聞いて不意に信仰
	.	136	02	白くも無く，また分らぬやうに見えます	. けれども遂に二階に上つて，かの庭の景を見下す
	.	136	08	ことも少なく覚ることも浅う御坐ります	. けれども聖書の高い所からして憚りながら神の御
	.	170	02	はゞ先づ玉石混淆の雑種人でありませう	. けれども国人の移住は大変な運動を起して来るも
	.	237	07	ても利することは到底，望みは無かつた	. けれども左様なる利害を顧みず志を堅くして右の
	.	240	01	何々と矢をつく如くに詰問せられました	. けれども元来，上官又は他人の命，又は依頼を受
	.	243	07	権も執行権も皆な天皇陛下に在りまする	. けれども一方に於ては元老院等の議会を設けて国
	.	017	09	して見ると非常に大きいものに違ひない	. 現に勘定して見ますと直径は三十五万二千六百二
	.	026	10	ばならないと云ふことが分つて参ります	. 現に此の割り合ひによつて見ますと我々に見ゆる
	.	064	06	症を発す可きは当然のことでありませう	. 現に人力車夫に頓死者の多きは諸君も既に御承知
	.	139	08	が西洋では小説家が非常に貴まれて居る	. 現に西洋人に古今の豪傑はと問はばナポレオンか
	.	189	03	事は絶えず分れて居つたやうに考へます	. 現に維新の時の五箇条の御万機公論に決すといふ
	.	134	10	に善く適ひたるものでは御坐りませぬか	. 原因と結果，本と末といふものが有りますが結果
	.	161	13	終る」とかいふて有るが実に其の通りだ	. 元亀天正などの頃には酒の上から人を斬つたこと
	.	110	03	マーダーになるかも知れない事実がある	. 現今取り調べに着手して居りますが同胞二十五人
	.	185	05	意して決して軽々しく婚姻は致しません	. 現今，我が邦の結婚と離縁との比例は如何程であ
	.	230	02	と，村のやうな島が五百八十九あります	. 現今では行政上の区画は府県，郡区，町村と云ふ
	.	173	17	我が国の人数が年々増しに増して来ます	. 現在人別調べのことが無いから分りませぬが戸籍
	.	258	15	又は他人の使傭するを嫌ふ者が有ります	. 現在は引取人の無い者，又は帰郷旅費の無い者は
	.	223	16	れに合して人形を遣ふことになりました	. 元文，宝永の時分には竹本筑後掾，世に義太夫と
	.	150	10	を除けば憲法といふのが一つであります	. 憲法は其の国と人民との成り立ちで其の次は行政
	.	152	17	時からのものがイマダに行はれて居ます	. 憲法では例へば皇帝は一人で主権は此の一人に属
	.	153	17	究するでありませうから私は申しませぬ	. 憲法と行政法との関係はこれ位にしまして，この
	.	075	10	に頼んで全くモトの身体にするのである	. 権利を失はむとする故に法律家に頼んで権利を伸
	.	148	13	をするには独立させなければなりませぬ	. 五万人以上とか壱万人以上とかを市街といふ風に
	.	148	15	居ないといふと折角だが用を為しませぬ	. 五万でイヤなら勝手にしろと言ふなら，さうなる
	.	273	07	，合せて四百三十九の監舎となりまする	. 五箇所の集治監は皆な已決監でありまするから已
	.	139	09	ナポレオンかセクスピヤだと申しまする	. 御承知の通りセクスピヤは彼の芝居を書きました
	.	030	01	すとアマノガハは全く星のかたまりです	. 濃い所になりますと夥しく星があります．一体，
	.	004	05	ふ者が減れば，こちらは次第に衰微する	. 交易上の競争は一日一刻も止む時の無きもので病

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	236	11	少しも自分の利益になることは無かつた	. 豪傑の士が自分の志を堅く立てて人に嫌はれても
	.	158	10	ろくか，なつてビックリしたに違ひない	. 後世，朱子が論語の集註を書いた時分に天の怒り
	.	159	06	は老子，孔子，釈迦を三教と唱へました	. 弘法大師は其れを三聖と言ひましたが其の時分に
	.	128	17	師の仲間に限つたものでは御坐りませぬ	. 国政家の中にも喜んで色々の無証拠な設理を受け
	.	173	06	で平和親睦しやうといふ気風があります	. 国内でも強盗をのけては，きつたり，はつたりす
	.	031	15	も矢張り雲の様に見える部分も有ります	. こゝに至つて説が二た通りつけられます．或はア
	.	136	04	皆な眼の前に，この庭に敷て御座ります	. こゝには九州が見え次ぎに四国が見えます．彼所
	.	151	04	政議会，其れから行政裁判所であります	. こゝで官吏と言ひましたのは漢学者などは色々お
	.	222	03	意匠を支那の小説に採るやうにしました	. こゝが他の作者より学問が有つたから了簡がつい
	.	272	01	を未決監とも申しまする．第三，懲治場	. こゝには刑法に於て不論罪懲治者の宣告を受けた
	.	272	03	懲治する所でありまする．第四，巳決監	. こゝには懲役の刑，及び禁錮の刑に処せられたる
	.	065	13	るべからざるの惨状を醸すに至りませう	. 古語に曰く「木静ならむと欲して風未だ止まず」
	.	211	05	かし両方とも極端に走つた説で有ります	. 心は堅いと云ふことで有りますから，例へばロン
	.	058	09	度に依つて種々のよしあしが御坐います	. 試みに御覧なされ，私が今日数時間に東京より来
	.	131	17	にならず却つて大いに其の益になります	. 古今に有名なる説教師は大概皆な此の仕方を用ふ
	.	188	17	執行上のこととは必ず分けて御坐います	. 古代のことは能く存じませぬが神代の頃に八百万
	.	193	10	ことがあるです．我々は古代の事に暗い	. 古代の事に暗いから明治以後は極新しいことであ
	.	229	12	にあるべきもので有るに違ひ有りませぬ	. 戸長の大いなる町，即ち市街のものを区長と名づ
	.	004	03	敵の軍艦を沈めるばかりが競争では無い	. こちらで出来ないものを，あちらで善く拵へたり
	.	172	14	加の人ばかり咎めることは出来ますまい	. コッチに，そんなことが無ければ責められるがコ
	.	032	04	有りませぬからハッキリとは言へませぬ	. ことによれば第一の説の如く我々の見ることを得
	.	013	16	せうが幸に我々は眼が随分遠くきゝます	. 殊に物理学の進歩してから眼が益々遠ぎゝする様
	.	039	08	社会には人口が増してはクラシが出来ぬ	. 殊に女子は身体も弱くて戦争も出来ぬから，なほ
	.	149	15	相集まつて研究するのは必要と考へます	. 殊に社会上，政治上のことに付ては最も必要であ
	.	177	14	学理上には不都合なることも多かるべし	. 殊に初めての趣向なれば胡乱に思はれて箇様なる
	.	180	08	たり」との聖書の教では御坐りませんか	. 殊に婦人の地位を高くしたのは全くキリスト教の
	.	275	03	，これは近来，大いに進歩いたしました	. 殊にアメリカにては幼年囚，及び不良少年の教育
	.	003	03	の方はたゞ之を知つて居ても仕方が無い	. 言葉だの文字だのは智識の方便即ちテダテで其れ
	.	001	13	，つまらないことなれども少し申します	. この四五日前に私の所へ今日この席に居らるゝ愛
	.	005	07	一万人も二万人も西洋へ行く様にしたい	. この間の戦争に誰か少しばかり戦争らしいことを
	.	008	04	高枕で得意になつて居るのも無理はない	. この間の競馬会社の開業式は一日ならず二日も三
	.	009	03	廃すべからずの論を唱へる人も無からう	. この子供等がオトナになつて千年の後には仮名が
	.	012	04	では分らない所まではいきたいものです	. このことについて私が知つて居るだけを今日諸君
	.	013	09	これが我々の住つて居る場所で有ります	. この住つて居る場所は円いものでタカの知れたハ
	.	014	04	ます．其の中一番近いのは月で有ります	. この月と云ふものは望遠鏡の開けます余ほど前か
	.	054	03	ると不毛の地が出来て肝腎のものを失ふ	. この用を弁するには仮名を用ふることを開くに如
	.	055	10	来る様で無ければなりませぬと思ひます	. この自分の持論を述べて諸君に伺ひますので御坐
	.	070	10	百四十五万千七百六十四人で御坐います	. この統計により日本では千万人以上多い所によつ
	.	070	13	の卒業生では，まだまだ遺憾と思ひます	. この上にも沢山にお出来なさる様に願ひます．た
	.	083	11	国当時の有様実に気の毒で御坐りまする	. この道徳の進歩の必要と云ふものは一個人の為め
	.	087	02	万民の中に設けられたもので御坐ります	. この故に聖書と云ふものを己れの信仰と品行との
	.	087	14	ふ明らかな返答が出来るので御坐ります	. この故に既に申し上げた通りこの聖書を専らに己
	.	089	16	何であるかと云へば基督教で御坐ります	. この教は即ち万物を造りたまふ造物主のミコゝロ
	.	090	15	る模範は耶蘇基督より外に御坐りませぬ	. この浮世の荒野の中で基督の足跡を能く尋ね而し
	.	092	06	れども，終りに一言を申したう存じます	. この演説の初めに社会総体の進歩は其の社会の中
	.	097	06	おくとは随分長い話しではありませぬか	. この証拠蒐集のことは迚も二三の人を以て為し得
	.	117	04	る時よりも余計に慎まなければならない	. この位は飲み過ぎてもよいだらう少しは腸胃痛が
	.	126	11	卒業生の中に珍らしい勇者が御坐ります	. この者は一向疑ひを起さず恐れを知らず己れの力
	.	127	01	生が容易に之に勝つことは出来ますまい	. この者が用ふる所の仕方は随分ケンノンな仕方で
	.	127	16	教に符合させようと思ふ様で御坐ります	. この様な教師が学者たちの色々の論を天の黙示，
	.	130	15	思ふほど我れ之に感服しまた之を尊敬す	. この二つのものは則ち遙か上に立派な天体を具へ
	.	132	02	して宗教につかへさせることが出来ます	. この仕方の益は少なく御坐りませぬ．第六．また
	.	132	09	く盛んに世に生存するもので，有ります	. この仕方は実に結構な仕方で有ります．ナゼとい
	.	133	02	ゞの議論に負け易いもので御坐りませぬ	. この仕方のよいことは昔から明かで御坐りました
	.	134	09	を見て天に在す爾等の父を崇むべし」と	. この言葉は人々皆承知する所の道理に善く適ひた
	.	135	01	た一つの不承知を言ふお方が御坐ります	. この不承知を言ふお方は神学卒業生で御坐るかも
	.	146	04	を，うかゞつて金を集めることはイヤだ	. この方は利益も有ることで資本も多くかゝらない
	.	150	08	係を規定したるものを内公法と言ひます	. この内公法中で刑法，治罪法の二つは別に法典と
	.	150	09	ませぬから研究するのに，しにくいです	. この公法の中で刑法，治罪法を除けば憲法といふ
	.	153	14	はいけないなどといふことも，きめます	. この行政法といふものは一国の憲法のきまり塩梅
	.	155	12	部省から出た達しに三十七から有つたネ	. この間も大学の総理先生は十七八，数へたネ．数
	.	157	16	動かしたいとしても動かなくなりました	. この間まで，あの佐田介石が天を動かさうと云つ
	.	162	02	に酒誥といふものを作つて康叔を戒めた	. この酒誥といふものが酒のことに付て文章を為し

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	162	14	ので決して間違ひの無いものと私は思ふ	. この酒誥の中に酒を飲んだ者を死刑に処するとい
	.	165	13	説くのだから論ずる所も大きくなります	. この人間の組み合つて居る社会といふものは，ど
	.	175	14	国の将来も望みの無いことになりませう	. このことは吉事で無いから言ふことは本意では無
	.	176	06	に入り用なものを調べるものであります	. この調べの方法は事実の上から道理の知れるやう
	.	177	05	と変との工合あることは明かに知れます	. この常と変との出来工合を明かに調べた上は将来
	.	188	11	ひます．即ちこれを立憲権力と言ひます	. この立憲権力といふものは他の二つの大権力を定
	.	188	12	ものは立法権と執行権といふものである	. この立法権と執行権とは全く相異つて居るもので
	.	189	17	，君主国に於ては皇帝といふことである	. この執行権は立法権の議決したることを執行する
	.	190	14	ある．一は行政裁判一は司法裁判である	. この行政裁判といふものにしろ，また司法裁判と
	.	190	16	と民法に関する事を掌るといふ区別です	. この行政裁判は行政法の部にはいりますから地方
	.	191	01	ときに申し上げて見たいといふ考へです	. この儀に付きまして仏国のモンテスキューといふ
	.	191	17	る権力といふものは之を主権と名づける	. この主権は誰に在るかといふと天皇陛下に在るの
	.	198	03	言ひたいが，実は鉛筆で書き出しました	. この抛物線と楕円と云ふことは若しお分りの無い
	.	202	11	がつてエウロッパ中で待つて居つたです	. この有様を日本の作者に言はせましたら「各々カ
	.	203	11	るのも有ると云ふことまでが分りました	. このやうな発見が出来ましてからは，ナニソレの
	.	203	14	有るから，何もこはい因縁が有りません	. このＨａｌｌｅｙの彗星は其の前にも度々出たこ
	.	204	09	四百五十六年に出ました彗星で有ります	. この彗星は日本では歴史に載つて居ましたかドウ
	.	205	14	は見えます．しかし肉眼では見えません	. この十一二の彗星の歴史はナカナカ面白いと云ふ
	.	208	01	く，化けて流星になつたものと見えます	. このごろでは段々と流星と彗星との関係が分り出
	.	208	14	頭には心或ひは核と云ふものが有ります	. この三つが同じやうなものと云ふ証拠は無い，反
	.	226	15	政官権及び行政議会のことで御坐います	. この行政官権と云ふことはフランス語でオートリ
	.	227	01	ひ，イギリス語でカウンシルと云ひます	. この二つのものは議会で定め，官権で行ふと云ふ
	.	227	08	か云ふ一部を大名が所持して居りました	. この大名と云ふものは世襲知事のやうなものにな
	.	228	10	三府四十一県と北海道庁とになりました	. この府と云ふことと県と云ふこととに付て申しま
	.	228	14	十一日の調べに拠れば八百〇二あります	. この郡には郡長と云ふものを置いてあります．こ
	.	228	15	有ります．其の郡の下に町村が有ります	. この町村の区別に至りましては地学上ドウ区別し
	.	229	09	と云ふものが全国に三十七あるさうです	. この区と云ふものは郡にあらず町村にあらず丁度
	.	243	05	みを執行するものを執行権と申しまする	. この立法権及び執行権を相合したるものは主権と
	.	253	03	に矯正院を設くることになつて居ります	. この矯正院と言ふのは未丁年者の監獄と云ふ意味
	.	264	02	以て教育感化することになつて居ります	. この家族法と申しまするは例へば百人の囚人あれ
	.	018	05	も皆太陽が動かしてくれるので有ります	. 此のことはこの理医学講談会に続いてお出でにな
	.	019	08	秘蔵子，太陽のおそばさらずが有ります	. 此の星を水星とも申します．次に木星と言ふ星が
	.	019	16	で今一つは望遠鏡で無ければ見えませぬ	. 此の外にもまだ有りますが此の位でおいて外のこ
	.	024	09	文字の紋所とでもいふべき形に見えます	. 此の筋と同じ向に彼の四つの衛星が時としては玉
	.	024	13	は第何番の子だと云ふことも知れました	. 此の家内のことを総称して太陽系と言ひます．系
	.	026	01	半径即ち地球と太陽の距離を取りませう	. 此の物さしの両端から測量して見ても大かたの星
	.	026	12	陽より大きいのも有りますか知れませぬ	. 此の一番太陽に近い星は何で有るかといふに不幸
	.	026	17	星から見ますと三倍ばかりも距離が遠い	. 此の様に遠い距離になりますと鏃形でもおつつか
	.	027	14	申しました星は肉眼で見ゆる位な星です	. 此の外に望遠鏡で無ければ見えない星が沢山あり
	.	031	05	なつて大層名高くなつたもので有ります	. 此の星雲の中にはチョットした望遠鏡で見ては唯
	.	032	02	系に移る様なものであるかも知れませぬ	. 此の二番目の説にすれば最初の問題に続けて「太
	.	059	02	有り難い証拠で又開化の徳でありませう	. 此の県下で六伝染病中チフスの居候が最も沢山あ
	.	062	14	運動の自由ならざるは則ち原因の三です	. 此の如き種々の原因よりして人力車濫用の弊を生
	.	075	12	のはたゞモトの権利を失はぬだけである	. 此の如きは国家の富を増すものでは無くて富を減
	.	080	16	る新しい原素をつくる仕方で御坐ります	. 此の三つの仕方は一個人に付ても，また社会に付
	.	082	05	だ申さぬ一つの大切な種類が御坐ります	. 此の種類が完全して居りませぬならば他のものが
	.	082	06	進歩しても完全な進歩が迚も出来ませぬ	. 此の一つの至極大切なものは即ち道徳の進歩で御
	.	085	16	々と他の善きモノゴトを添へ加へること	. 此の三つで御坐ります．それから，また完全なる
	.	107	16	ち「死に致す」と言ふ方が宜しいと思ふ	. 此の犯罪は或ひは故意に出るもあり或ひは怠慢に
	.	117	06	いといふのが人類的の貴い欲で有ります	. 此の会が有つてお互ひに約束した上に，この貴い
	.	120	07	戟剤の働きを為すものだ」と言ひました	. 此の移住と云ふことは西洋の人が世界に移住する
	.	136	03	見下すならば誠に面白いもので有ります	. 此の帝国の本州と諸々の島は皆な眼の前に，この
	.	156	01	，ごすけれども先づ此の通り聞きました	. 此の通り学問があるが極点といふと極意を言はな
	.	183	13	に貞操を守るの義務あることを教へます	. 此の義務に於ては決して男女の区別は御坐りませ
	.	184	01	ナント不都合なことでは御坐りませんか	. 此のごとき風が行はれて居る中は決して婦人が正
	.	194	04	行政組織をお話し致す考へで御坐います	. 此の次ぎには行政官権，行政議会，行政裁判を論
	.	219	13	俗は自由結婚に近かつたものと見えます	. 此の時分は上等社会さへ，さうで有つたから，ま
	.	231	17	出て討論をすると云ふことも出来まする	. 此の如く干渉することは有りますが議会で議決し
	.	232	07	と考へて居る者も無きにしもあらずとか	. 此の種類の事柄は府県会に諮問しても宜いし諮問
	.	239	09	時に上野着の汽車にて帰京いたしました	. 此の巡回に費しました日数は都合八十一日で，此
	.	239	13	寺，等ナカナカ沢山なことで有りました	. 此の旅行を畢りまして帰京しますると，スタチス
	.	242	12	に於ては一つの学問となつて居りまする	. 此の学をペノロジーと申します．其の意味は刑の
	.	245	05	即ち常事犯のことを申すので有りまする	. 此の他，行政権に於て関係いたしますることは土

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	247	07	到底，其の心は改まることは出来ませぬ	. 此の目的を知らずして「終身懲役と有るから何で
	.	248	01	やうなことをよく教ゆる法で有りまする	. 此の教誨法が有るので始めて己れの所業の悪かつ
	.	249	12	よりは監獄と教育との関係を述べませう	. 此のことに付ては次に図を示して申て上げませう
	.	250	10	他の悪い道に飛び込むことが有りまする	. 此の悪い道に飛び込みまする者を年齢を以て二つ
	.	250	12	すると不良民，所謂る罪人となりまする	. 此の不良民は其の儘にして置く訳には参りませぬ
	.	251	11	まして此の者を不良少年と名づけまする	. 此の不良少年の中には種類が三通り有りまして満
	.	251	15	の間これが心を矯め直すことを図ります	. 此の者を不論罪懲治者と申します．また弁別心が
	.	251	17	事を働いた者は已むを得ず之を罰します	. 此の者を幼年囚と申します．此の二つの外に，ま
	.	251	17	を罰します．此の者を幼年囚と申します	. 此の二つの外に，まだ罪人とはなりませぬが根性
	.	252	10	を予防すると云ふのが趣意で有りまする	. 此の未丁年の不良少年は監獄に入れまることは
	.	254	11	ふやうなことを致さなければなりませぬ	. 此の保護の方法が日本には有りませぬから為めに
	.	258	05	る．第二，貧民の救助，兼犯罪人の予防	. 此の両性質には別に甲乙は有りませぬ．此の二か
	.	258	05	．此の両性質には別に甲乙は有りませぬ	. 此の二かどを以て救助いたしまする者に二つの種
	.	258	10	仕事の教育も致させなければなりませぬ	. 此の不良少年の種類は四種ありまして，其の一は
	.	262	12	ことも，話しをさせることも有りませぬ	. 此の方法は悔悟遷善の利益は有りまするけれども
	.	263	05	雑居の分ちを為す位なもので有りまする	. 此の方法は最も不完全なるもので有りまする．第
	.	263	10	したるや否やを試みるもので有りまする	. 此の方法が一番宜しいかと考へられます．前に述
	.	263	17	教育感化いたしまするところで有ります	. 此の部に於ては重もに家族法と称する方法を用ひ
	.	264	14	一目してお分りになることで有りませう	. 此の表の中で第一の犯罪予防部の事業は二つの場
	.	266	11	獄，及び中央獄に於て執行いたしまする	. 此の所に於ては階級法を用ひまして最初は専ら懲
	.	266	13	せ，夜は一房に一囚づゝ分けて入れます	. 此の場合には専ら感化をつとめまする．而して感
	.	267	10	人と致すことに尽力するので有りまする	. 此の部の事業は最も大切なることで有りまして若
	.	268	10	などの在る所に設けるもので有りまする	. 此の所に於ては拘引したる者を僅かに数日の間，
	.	269	03	，アトの十八箇所が男子部で有りまする	. 此の所には一万五千七百〇六人の囚徒がありまし
	.	269	07	の生徒の数は千六百三十七人ありました	. 此の数を合せますと男子の部と女子の部とで六十
	.	273	08	ら已決監の総数は百六十六となりまする	. 此の所に於て懲治監と申しまするのは矯正院に当
	.	273	10	には参りますまいかのやうに思はれます	. 此の外，東京，兵庫，宮城，三池の四箇所に仮留
	.	273	11	ものが一箇所づゝ都合四箇所ありまする	. 此の仮留監と申しまするものは徒刑，流刑の者を
	.	274	04	．実に莫大の費用と云はざるを得ませぬ	. 此の費用を以て兵卒を養ふ者と致しまするとと三万
	.	275	17	獄と異なる点はタッター一つでありまする	. 此の一つを取り違へまするとと，あとは皆な狂つて
	.	278	04	犯のことは一切述べませぬでありました	. 此の上は我が国の現在の監獄上のことを論述すべ
	.	254	17	ずと申すことに注意致さねばなりませぬ	. 古来，牢獄と名づけました牢屋の前を通ると家へ
	.	060	01	や便利なものを欲するのは自然の性です	. 御覧なされ今如何様な田舎に行つても山奥を尋ね
	.	006	09	物学の講義でも文字の講釈に止つて居る	. これはドウしても免れぬことで現に漢学先生に講
	.	007	15	臣参議が茶道を好むとまた茶道がはやる	. これはいづくのハテでも人情だから仕方が無いが
	.	008	16	か羅馬字で綴つた文章を読ませるがよい	. これは少しづゝ時をかくれば覚えられる．漢字も
	.	013	08	のと言はなければならないで御坐います	. これが我々の住つて居る場所で有ります．この住
	.	019	02	明星或は明の明星とも云ふ星で有ります	. これは太白星とも長庚星とも言ひ或は金星とも言
	.	019	10	き方とか何とか唱へて賞翫したものです	. これが木星で其の次ぎは塡星一名土星と言ひます
	.	019	10	星で其の次ぎは塡星一名土星と言ひます	. これは運動が随分のろい，支那は物の優美を貴む
	.	019	14	鍔でもつけた様に見えるもので有ります	. これだけが昔し五星と言つたもので有ります．其
	.	020	14	に拘はらずいつも氷がはりつめて居ます	. これなぞは全く地球と同じ事です．其れから火星
	.	021	01	回つて居ますと火星が外を回つて居ます	. これが我々の第二の道づれで有ります．道づれど
	.	022	10	其の次ぎは宵の明星即ち金星で有ります	. これは距離は二丁と二十間で地球より少し小さい
	.	022	12	ても宜しい．其の次ぎは地球で有ります	. これは三丁半，半は少し大げさで其の実は三丁と
	.	022	14	ない玉が有るのが火星の鞴形で有ります	. これまでは皆地球よりは小さいか大凡同し位の球
	.	024	05	様なものが有る，其れは衛星と言ひます	. これは近頃亜米利加のワシントンの天象台の教師
	.	024	17	の一人である」といふ答へが出来ました	. これから先きがむつかしくなる．「太陽系は何の
	.	025	06	なものでは無からうかと云ふ疑ひが起る	. これは誰でもかう疑ふことです．（尤もこの誰で
	.	026	15	イと出て，やがてひつこむ星で有ります	. これが一番近い星でで有りますが近いと云つても
	.	027	12	ませぬ明りが途中でまごついて居るから	. これからして外の星と云ふものはこれより遠い．
	.	029	13	月が出たり何かすると見えなくなります	. これはアマノカハと言ひます．西洋では「乳道」
	.	032	12	私は地球の外へ出て言つたので有ります	. これだけでは実は余り面白くない．これよりも此
	.	032	12	ます．これだけでは実は余り面白くない	. これよりも此の世界は始めドンナであつて今にド
	.	040	13	為めに其の社会を維持して参りたのぢゃ	. これは実に余儀ないことで維持と進歩とを謀りて
	.	046	02	ることの出来る法則は誰が立てたことか	. これは社会の為めにすておく訳にゆかぬから悪い
	.	046	10	分には行はれぬに相違ないと申すのぢゃ	. これから肝腎の話しになるのぢゃが今言ふた通り
	.	070	02	人，代言人が二千百十一人で御坐います	. これは千八百八十三年の調査に係つて居ります．
	.	075	13	ｅｇａｔｉｖｅの少ない方がよいといふ	. これは先進の説に意見を加へぬ其の儘の説で御坐
	.	079	04	めに必要なり」と云ふことで御坐ります	. これ即ち人間社会の進歩を成就する為めには基督
	.	082	03	進歩などは皆んな其の通りで御坐ります	. これ等皆な至極善きもの至極有益なるもので御坐
	.	082	13	ばエジプトとペルシヤの国が御坐ります	. これ等の国は立派に開けた国で御坐りましたが道
	.	084	10	に商法が盛んになつた頃が御坐りました	. これ則ちコロンボスが新世界を発見した時に当り

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	084	11	造のことが沢山開けた頃が御坐りました	これ則ち蒸汽力が発明された時に当ります．また
	.	084	12	ことが能く進歩したことが御坐りました	これ則ち千六百四十八年より以降のことで御坐り
	.	086	09	これ等の高尚なものを充分に説きませぬ	これ等の大切なものは此の世の権威と勢力また人
	.	086	17	ッパリ分らぬと云ふことが御坐りませぬ	これ等の高尚なる事柄を世の人に委しく教ゆる為
	.	088	05	歩の為め種々の必要なものが御坐ります	これ等も亦基督教の緊要なることを能く顕はす故
	.	090	01	，これより上と申すものが御坐りませぬ	これより高尚なものが御坐りませぬ．これより貴
	.	090	01	ぬ．これより高尚なものが御坐りませぬ	これより貴いものが御坐りませぬ．基督教を能く
	.	094	14	いふは実に憤怒に堪へぬことであります	これは我輩のみならず諸君も定めて御同感で御坐
	.	095	16	実は推測に過ぎないことで御坐りませう	これを以て謀殺に当る故殺に当るといふも其の説
	.	101	06	．日本の国情が外国に通じないのである	これが矢張り彼等より軽侮軽蔑を受くる原因であ
	.	102	04	勇もなければ虎の様な威もないと考へる	これが即ち軽蔑を受ける一つの原因である，賤し
	.	109	14	人より伝聞して其の効用を知るであらう	これ等の事実であるに同胞が端艇に乗ることを肯
	.	110	09	に大金を持つて居る人もあるに違ひ無い	これ等のことに付て考へて見ても疑はしいことで
	.	119	08	度は諸君に御相談を致すことにしました	これは御相談で有つて演説では無いから諸君にも
	.	122	03	れます．其の外に売淫女などが殖えます	これは外のことからも殖えるで有りませうが酒の
	.	124	11	なるものに会ふことは多う御坐りませう	これは実に不思議なことでは御坐りませぬ．ナゼ
	.	124	15	助けと益を受ける筈では御坐りませぬか	これ実に幸ひなことで御坐ります．けれども若い
	.	125	17	とても基督教を承諾することが出来ぬと	これ等の色々の不承知を言ふお方の中に，よく熟
	.	128	01	と頻りに務めて論ずるもので有りまする	これ亦随分ケンノンな仕方で御坐ります．ナゼと
	.	129	07	な基督教の大敵とするもので御坐ります	これ等の人の思ふには近来盛んに開けた所の学術
	.	131	03	心に本づいたものなるが故で御坐ります	これまで説きました所の三つの仕方は皆な誤つた
	.	132	08	トにシルシの残らぬもので御坐りました	これ等の色々の敵は既に久しき以前に世を去りま
	.	140	12	な情けないクラシをして居たと申します	これは馬琴自ら書いた物の中に其の不平を訴へた
	.	142	10	は徐々と計つて行かなければなりません	これに付て，モ一つ小説の改良を計らねばなりま
	.	143	02	人情を写し出す一つの美術で御坐ります	これを画にたとへて見れば森羅万象日月星辰山水
	.	144	03	全く卑しむべきものとは言はれますまい	これと同じことで所謂る人情本の猥褻なる如きも
	.	147	15	から出すとかいふのは行政法であります	これ等の事実をスタチスチックで調べるのは行政
	.	149	15	上のことに付ては最も必要でありませう	これが行政法とか憲法とかいふものを一回か二回
	.	157	10	す」と言つた．実に度胸の大きな奴さネ	これは学問をなすつた方は御存じのことだが其の
	.	169	01	の方へばかり向ひて東の方には向はない	これは人の自由心と物理と関係の無い証拠で東漸
	.	169	08	貿易の利とは反対を示すやうに見えます	これには色々な訳もありませうが今日の題の外だ
	.	170	03	で，この位なことは当り前でありませう	これは日本ばかりで無く世界万国の免れないこと
	.	170	04	無く世界万国の免れないことであります	これに就いて考へると官費で欧羅巴へ行く者の方
	.	173	12	がします．諸君はドウいふ味がしますか	これは後の歴史で無くは，説（即ち考へ）だから
	.	174	07	活き活きして感じるやうになつて来ます	これが則ちスタチスチック学者の術であります．
	.	176	03	出稼ぎの運動を始めるやうになりませう	これはチョイと考へると愛国心が無いやうに思は
	.	176	07	理の知れるやうにしなければなりませぬ	これに付てはスタチスチックは第一必要でスタチ
	.	189	02	が集まつて政を議したさうで御坐います	これ等は議政といふ立法権の種類に属すべきもの
	.	190	03	といふものである．第二は行政府である	これも法律規則の執行を為すので，行政府と政府
	.	192	04	条の御公論に決すといふことを言はれた	これを其の時分からの先生に承りますと公論とい
	.	195	10	て互に御挨拶をなさつたことと存じます	これが只今から三年前で有りますから「立派な彗
	.	201	07	つて，これは天地間の自然にあるのです	これはムツカシク言へばキリは有りませんが，譬
	.	202	16	日ほど早く太陽に一番近い所に来ました	これが天文学に於て同じ彗星の二度現はれること
	.	206	05	のが其れと同じ道をあるいて居りました	これは一番始めに発見された今のやうな彗星の元
	.	208	15	，反対にそれぞれ違つたもので有ります	これをそれぞれに調べますのは，むつかしいと云
	.	210	02	せし説も明日は否となるかも知れません	これも説を述べられぬ一つの理由で有ります．其
	.	221	09	て講談師の種や貸本屋の料となりました	これは大かた浄瑠璃作者などが作つたと云ふ説が
	.	222	15	また田楽と猿楽と云ふものが起りました	これは舞ばかりで無く高い所で芸をしたり又は刀
	.	223	01	故事などを交ぜてすることとなりました	これが演劇の濫觴とも云ふべきもので有りませう
	.	223	04	上京して歌舞伎と云ふことを始めました	これは念仏踊だのヤヽ子踊だのと云ふ踊の間に，
	.	223	07	上人は朱雀，村上の朝の人で古いものサ	これまでが演劇の成り立ちとも云ふべきもので有
	.	223	13	版にしたのを今も好事家は持つて居ます	これは今云ふ筋書のやうなもので其の時分の演劇
	.	224	10	だ兎角，強盗や情死の仕組は止みませぬ	これ等は風俗にも関係することで有りますが此の
	.	227	09	してイクラか大名を総裁して居りました	これに就ては任命の仕方や何かは行政上，正しく
	.	228	14	郡には郡長と云ふものを置いてあります	これは府県知事の下役のやうなもので有ります．
	.	229	16	には那覇と首里と云ふところが有ります	これは内地の区のやうなもので有ります．其の外
	.	245	11	段のもので有ると申すだけで有りまする	これにて監獄は行政上，如何なる部分に属するか
	.	249	09	頓しなければならないもので有りまする	これよりは監獄と教育との関係を述べませう．此
	.	252	01	た悪事の何たるを知らざる者が有ります	これは純粋の不良少年で有りまして未だ罪人では
	.	253	12	やうなことは考へませぬやうになります	これ等が則ち農民の中には盗賊が少ないと云ふこ
	.	255	14	云ふやうなことも無いではありますまい	これ等の為めに今日の華族は皆な賤しむべきもの
	.	256	10	の外に天災の救助と云ふものが有ります	これは洪水，暴風雨等の為めに田を流し畑を荒さ
	.	257	07	単に救助と云ふに止まるもので有ります	これ等は親族なきに於ては已むを得ず公けの救助

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	258	01	ものと考へられます．第一，貧民の救助	これに二つの種類が有りまして第一種は盲人，聾
	.	258	12	の四は徘徊する所の不良少年で有ります	これは前に申しました所の矯正院に於て掌るもの
	.	258	16	名づけまして監獄の中に置いてあります	これは全国を調べたら随分ありませう．これは放
	.	258	17	．これは全国を調べたら随分ありませう	これは放免者保護会社でも出来たときには，そこ
	.	259	11	ること．第二，土地の区域を定むること	これは東京の養育院に於ては東京府内に起るだけ
	.	259	13	救助の人数を時節によつて定限すること	これは濫りに誰でも来いと云ふやうに救助しては
	.	260	01	ります．第四，救助費の額を定むること	これは最も必要なことで，例へば一万円と定むる
	.	260	05	備はりたる上は更に寄附を受けざること	これも亦，最も必要なことで，例へば一万円の年
	.	260	14	有りまする．第六，監督者を設くること	これは相当の方法が立ちました上は或ひは郡区長
	.	261	02	名は役員の外，他人に知らしめざること	これは貧民救助の点，即ち慈恵の点に於て誠に必
	.	261	14	のが私の論の目的とする所で有りまする	これより欧米の監獄の事を一言いたしませう．初
	.	266	04	し以て犯罪の予防をすることで有ります	これ等に施す方法は教育と教誨と懲戒との三つで
	.	268	03	これより欧洲の監獄の種類を述べませう	これには二つの区別が有りまして一つは軍事の監
	.	271	09	は先づ日本の監獄の種類から申しませう	これにも軍事の監獄と普通の監獄との区別が有り
	.	271	13	普通の監獄を別ちますると第一，留置場	これは裁判所，及び警察署に属するもので，未決
	.	271	16	留め置くこともありまする．第二，監倉	これは未決者を拘禁して置く所であります．故に
	.	272	04	者を拘禁して置きまする．第五，集治監	これは徒刑，流刑，及び禁獄の刑に処せられたる
	.	273	12	治監に差し回すと云ふ趣意でありまする	これ等を合しますると監獄の数は総体にて二百〇
	.	273	16	置者と申す者が千八百六十七人あります	これは監獄にて放免になりましても行きどころが
	.	273	17	ろ無く監獄に置いてある者で御坐います	これ等を合しますると在監人の総数は七万二千二
	.	274	05	千人を殖すことはイト易いでありませう	これにて欧米の監獄のことと，我が国の監獄のこ
	.	275	12	打ち合せ致されたとのことで有りまする	これ，また非常に監獄の整頓を助けたるものに相
	.	276	08	にしてやりたいと云ふ原則でありまする	これ則ち文明国に於て将さに為すべきの事業であ
	.	278	02	する実例監獄の改良のことを述べました	これで監獄全体に係る事柄は了解せられたること
	.	164	16	して贖ふ莫し祇に徒手して帰るを得たり	此に由て之を観れば酒の事を誤るを見る可き也．
	.	247	05	ないことだ」と思つて居るで有りませう	此れ等の人物に向つては其の悪いと云ふことの理
	.	057	14	当路者の尽力多きに居るものと思ひます	是れ私が当路者に謝し又諸君が斯る幸福なる県下
	.	060	13	ルヒネ往生等に極を結ぶ者多くあります	是れ則ち半開化の害でありませう．されば私は尚
	.	076	01	積極的の方と言つても宜しう御坐んせう	是れ等が則ち必要の点は同一にして必要なる所以
	.	246	06	の人を悪まずと云ふことを言はれました	是れ実に万世不変の一大原則で有りまする．因つ
	.	063	08	個にして一千人に付き十五個の割合です	之を以て見れば欧米に在て車の比例は日本より素
	.	069	01	は三箇年を待たねばならぬ訳で有ります	之を以て孛漏生国の司法官吏たること及び代言人
	.	104	08	すれば我々の目的は達するのであります	之を要するにノルマントンの事件は悲しむ可し憤
	.	119	16	働きなり，また酒疫なり」と述べました	之を解して見ると人心に伝染する内密の流行病を
	.	135	04	なりはせぬかといふ不同意で御坐ります	之に答へますには若し世界が狭いものと言はれる
	.	136	06	こと覚ること誠に感心の訳で御坐ります	之に擬へて申しまするならば人が下い所からして
	.	139	04	まふことも風俗を紊乱することも出来る	之を害用するときは甚だ深い害が出て参ります．
	.	141	10	しめらるゝも当然なることで有りませう	之を改良するには小説家の資格からして改良して
	.	230	03	郡区，町村と云ふことになつて居ります	之を行政上の区画と定めましたのは廃藩置県のと
	.	231	06	施政は，一人，議政は数人でやるのです	之を四段に分けまして上から言ひますと，天皇陛
	.	232	01	を施政者が行ふと云ふが原則で有ります	之に付ては府県会規則にありまして，よく其の文
	.	252	05	で，これ等も懲治しなければなりませぬ	之を二た通りに分ちまして親族，又は関係者から
	.	257	10	は無く，言はば資本の前貸しで有ります	之と同じく貧病人を救助するのも一時の資本前貸
	.	275	15	を奏することになりませうと考へまする	之を要するに我が国の現在の監獄改良は維新前の
	.	178	01	かけまはりしも見る人はをかしかりけん	コロンボスがアトランチックの海浜にて古き器物
	.	025	16	少し大きい物さしでなければなりませぬ	今度の物さしは地球の太陽のグルリを回る軌道の
	.	202	17	度現はれることの分つた始めで有ります	今度また七十五六年後にはキットまた来るに違ひ
	.	203	05	近い所に戻つて来るだらうと言ひました	今度はカタヅをのむと云ふ程では有りませんが計
	.	251	10	まする．然れば右のお疑ひは晴れませう	今度は末丁年の不良者でありまして此の者を不良
	.	270	16	考へで取るに足らない説と存じられます	今度，述べまするのは留置場で其の数は三千〇五
	.	271	02	免になりまするからのことで有りまする	今度述べまするのは地方監獄で其の数は三百八十
	.	026	06	里ばかりの所に置かなければなりませぬ	こんな長い距離は地球をグルッと回つても有りま
	.	028	04	万倍位の距離に居る星が確に有る様です	こんな星から出立した明りは一万年から三万年ば
	.	197	13	取つて，太陽のマハリを回つて居ります	コンナ塩梅にして回つて居ることの知れたのは学
	.	255	04	に我々の受ける迷惑で有らうと考へます	コンナことを申すと警察に於ても徳川時代にはオ
	.	006	13	を見なくては講釈をすることが出来ない	今日は物理学でも化学でも動物学でも植物学でも
	.	007	01	．なかなか世間の人にそんな見込は無い	今日の有様は反対した方にばかり流れ益々字を書
	.	017	07	せぬが測量の出来ないことは有りませぬ	今日の所でも三千七百八十五万里余といふことは
	.	021	13	らして見るとハテシが無い位で有ります	今日理学や其の外の学問をする人が満足する有様
	.	035	14	サイチーである」といふことで有ります	今日世界の大変動と思はれまする殖民政略などの
	.	048	16	其の間に道徳の十分行はれる道理が無い	今日各国の間に道徳の行はれぬは決して怪むに足
	.	082	14	が無かったゆゑ遂に亡びてしまひました	今日世界において賢しき国はエジプトとペルシヤ
	.	083	04	ツバリ無かつた故に遂にまた衰へました	今日欧羅巴各国の中で至つて弱い国はイスパニヤ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	093	13	諸君に陳べむと欲することになりました	. 今日我が国には治外法権といふものが行はれて居
	.	144	06	無いが随分不都合なものが流行して居る	. 今日の小説家は皆な学問あり才識あり品行端正な
	.	158	04	も動きません．其れが学問の極点でごす	. 今日，三十七八科に及ぶ学科は今日の大体ではき
	.	158	17	勢ひの雷が今日は電信局の小使となつた	. 今日の学問の極度であるかドウかは私には保証が
	.	180	11	文明国の婦人の有様を比較て御覧なさい	. 今日の米国や英国の婦人の有様と支那印度や土耳
	.	181	09	きことは決して許さぬことで御坐ります	. 今日我が邦の社会に於て改良を加ふべきことは色
	.	190	08	らせるといふのが一般の有様であります	. 今日の裁判は委託裁判といふ有様であります．日
	.	196	04	なさる方などは全く別儀で御坐ります)	. 今日は兎角，物の理屈を知らないで居ながら「何
	.	204	13	心なし」とでも云ふべき時で有りました	. 今日ならば「ミゴトな彗星で有ります」と言ふべ
	.	209	17	文学はまだこの辺に進んでは居りません	. 今日，天文学の駸々として進むのも其の辺ですが
	.	237	13	来ました．マルデ昔とウラヘラになつた	. 今日の学生が骨を折つて勉強されても昔の人のと
	.	048	07	午線のことにも加入する様になるだらう	. さすれば国と国とが段々と相結合して先づ一の社
	.	083	14	は必ず道徳の進歩が無ければなりませぬ	. さもなければ完全なる進歩が迚も出来ませぬ．第
	.	103	15	今時の人は之を信ぜざるが故に気力なし	. さすれば日本人を真面目ならしむるの手段は宗教
	.	129	01	証拠な設理を受け容るものが御坐ります	. さのみならず学術家の中にも箇様なものが無いと
	.	131	16	，また固い証拠を設けることが出来ます	. さすれば学術といふものは決して我が宗教の害に
	.	036	09	財を貯へる様に致したいものと思ひます	. 財を貯へると言つても決して吝嗇になるといふの
	.	189	13	を議決したときには執行権者が裁可する	. 裁可して布告するといふやうに立法権の事柄にも
	.	018	15	くて諸君の御存じのは西郷星で有ります	. 西郷星とは一時の名で実は螢＊惑星とも火星とも
	.	199	02	に長くなりますと抛物線に近くなります	. 最初は円い楕円も引きのばすと其の一部分だけは
	.	190	06	政府である．第三には裁判権であります	. 裁判権の性質は執行権者がドコまでも裁判すると
	.	190	12	やうなことは自為裁判の種類であります	. 裁判権といふものは斯の如きもので，この裁判権
	.	186	03	憫然に堪へぬことどもが多く御坐ります	. 幸に我が国には其れ程のことはありませんが矢張
	.	006	14	さてさて困つたことでは御坐りませぬか	. さういふ訳で有るから私は一刻も早く漢字を無く
	.	015	17	大きくして地球の直径を物さしにします	. さうすると此の距離は三十と云ふ数になります，
	.	017	15	ルリを地球が始終グルグルと回つて居る	. さうすると我々はモウ威張れない．今までは月を
	.	022	08	とし一丈一尺の玉を太陽の雛形とします	. さうすると一番近い星即ち水星は距離が一丁と十
	.	048	10	段々其の運びになるであらうと思はれる	. さうしたら先刻申した法律の主義と云ふものは無
	.	048	11	ふものは無論行はれる様になるであらう	. さうすれば世界が大きな一個の有機物になる．其
	.	053	03	があつて漢語が日本の言葉になりました	. さういふ訳で見ると言葉は漢字を知らなければ分
	.	053	06	理屈で仮名にすると口で言つた様になる	. さういふ所からして，いろいろ今秦の始皇にやら
	.	069	10	には三千八百三十九人となつて居ります	. さういたしまして此のＡｓｓｅｓｓｏｒ即ち試補
	.	074	09	けの効能が別に顕はれるもので御坐んす	. さういふ風の金の使ひ方を原語でＰｏｓｉｔｉｖ
	.	077	03	事柄の多分を占めて居ることで御坐んす	. さう致すと法律は害を除くものであるとか経済は
	.	156	17	い，智慧の有る者まで向ふ鉢巻で驚いた	. さうすると西洋には羅馬法皇と言つて，やかまし
	.	157	07	，トウトウふんじばつて牢に入れました	. さうすると友達や親類が集つてアンナつまらない
	.	157	09	か」「へー申しません」と誓ひを立てた	. さうして「申しませんことは申しませんが地は回
	.	157	17	を折りましたが中々動かんと云ひました	. さうで，ごんせう．動かなくなつたんだから仕方
	.	160	03	のかを穿鑿するのが教法の持ち前でごす	. さう煎じつめると学問は天地間の物をカッキリと
	.	170	12	か満州か又は支那を好んで行きませうか	. さうでありますまい．朝鮮や満州や支那には移住
	.	175	02	と人が人とせぬやうになりはしませぬか	. さうして見ると今の人は後の世の人に義務が無け
	.	182	07	誰でも彼でも平等に之を厳禁いたします	. さうしてこれが即ちキリスト教の儒道や仏道と大
	.	199	14	ふ考へがＮｅｗｔｏｎの頭に起りました	. さうするとグリツト太陽のマハリを回つて見えな
	.	199	15	つた彗星が再び帰つて来るかも知れない	. さういふことが出来やうかと云ふのが其の時の問
	.	210	05	日本では幸にソンナ風説は行はれません	. さう云ふ説の日本に行はれないのは日本人が利口
	.	214	05	田了阿などの所へ買ひ出しに行きました	. さう云ふ訳で有るから上等の学者の目からは何で
	.	237	05	のことを学ぶのは甚だ悪む有様で有つた	. さう云ふ有様で有つたから昔の学者は決して自分
	.	250	17	に，きめまするのは裁判官で御坐います	. さうして今，申した罪人が学期を終りますと卒業
	.	267	01	しまする所に於て之を執行いたしまする	. さうして，これには必ず分房法を適用いたします
	.	174	03	と三十六万二千七百七十四人になります	. 昨明治十九年一月には日本国の総人数は三千八百
	.	210	01	が，進んで居ないのも其の辺で有ります	. 昨日の定説も今日はすたり，今日，可とせし説も
	.	033	08	した趣意を申し上げて見ようと思ひます	. 酒のことに付ては古人も辛苦されたことと見えて
	.	115	14	と，やゝもすれば酒の為めに品行を破る	. 酒の為めに品行を破るやうでは人類といふものの
	.	119	11	誰もよく承知して居ることで有りませう	. 酒の害が世界に及んだことは段々と穿鑿が届いて
	.	161	09	むといふことから導かれたものと見ゆる	. 酒といふものは丁度，鉄炮におそろしい音をさせ
	.	163	15	めに天下を執ることも出来ずにしまつた	. 酒の為めに物事に失敗するといふこともよく知れ
	.	164	09	る英将の邀飲を被り以て地主の情を修む	. 酒酣なる時に当り主，客に請ふて曰く君今航海し
	.	181	11	ずるのもまた大事な改良で御坐りませう	. 酒の社会を害することは実に夥しいことで御坐り
	.	145	10	れをするには困難するところが有ります	. さしあたり出版費と云ふ金のいることが有る．併
	.	013	01	無い，至つて小さいものと私は申します	. 直径は一番大きい処で僅か日本の三千二百四十八
	.	158	11	生も雷のことは知らなかつたと見えます	. サスガの孔子様まで萌黄の蚊帳をつつて線香をた
	.	017	10	里で地球の直径の百八倍半ほど有ります	. さつきの一寸の玉を地球の雛形としまして太陽の
	.	026	05	も二十二万などといふ大きな数が出ます	. さつきの雛形を用ひますと海王星を太陽から三里

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（．）	．	167	06	人世に大功徳を及ぼすやうになりませう	． さつきの宇川さんの「離縁の話し」なども，まだ
	．	205	11	たが，この外に十か十一ばかり有ります	． ざつと一ダースばかり有ることと思へば宜しい．
	．	004	14	どとは，これこそチャンチャンをかしい	． さて日本人は昔から支那を貴んで其の字を用ひて
	．	006	14	講釈の過半は漢学先生の様なものが有る	． さてさて困つたことでは御坐りませぬか．さうい
	．	008	11	少ないから漢字はなかなか廃されませぬ	． さて漢字を廃するなら方法は如何といふに今俄に
	．	013	11	は何と言ふものかと云ふに天と言ひます	． さて天と言ふものは広大無辺なもので地球をグル
	．	015	08	これが最も精密に出来るもので有ります	． さてこの測量の結果はと云ふと地球の中心から月
	．	015	16	里と段々に物さしを大きくして参ります	． さて地球から月までの距離を唱へるには里でも間
	．	020	09	一番よく知れ其の次ぎは火星で有ります	． さて火星の表面にも山が有り谷が有るかと云ふに
	．	025	05	から星のことを言はなければなりませぬ	． さて星が我々の太陽の様なものでは無からうかと
	．	033	10	言はれまして説が両端になつて居ります	． さて酒は世間に数千年来行はれてありますが酒を
	．	035	09	は何と無欲なものでは御坐りますまいか	． さて其のことに付て近頃ヒロソヒーが亨二に教へ
	．	042	05	ことは無い，進歩は大いに有ることぢゃ	． さて法と道とは先刻も申した如くモトは分れなん
	．	049	01	間に其れが行はれぬのは当然のことぢゃ	． さて此の事に就ては猶ほ委しく説かねば意を尽さ
	．	052	06	思ひなさい．今日其れをやられては困る	． さて其の焼かれた翌日は新聞を読うと思つても新
	．	054	13	本は物集先生の御著述を待つて居ります	． さて又今まで修身の道は我が国では孝経をたのみ
	．	054	17	で書いた修身の本を願ひたいと思ひます	． さて書物はヤミクモに作るさへ骨が折れるもので
	．	058	06	ますから此の段は何卒御海容を願ひます	． さて，これから半開化衛生上の害を述べやうと思
	．	059	10	と云つて見ると色々な害が有るものです	． さて其の半開化の害といふは先づ我が邦が開化に
	．	064	01	ず犬馬の業と云はなければなりますまい	． さて営業既に斯の如くなるが故に胃病を起し心臓
	．	065	03	るに足るものと思ひます．諸君如何です	． さて斯の如き類を挙げますれば沢山ありて一朝一
	．	071	01	いことは無いと感ずることで御坐います	． さて今日は卒業諸君の鞏出せらるゝを喜んで沈黙
	．	073	10	との関係に付て一つのお話しを致したい	． さて法律の学科と経済の学科とこの二つの者は社
	．	074	02	ずるといふことを言ふたもので御坐んす	． さて其の二個の全く反対するといふ其の一のもの
	．	076	08	消極的の部類に属することで御坐んせう	． さて又右の如く消極的の学科即ち法律学の如きは
	．	076	13	るといふことを申しましたので御坐んす	． さて私が考へて見ますに利を興すといふことと害
	．	085	17	は既に皆んなお話し申したで御坐ります	． さて，これ等の種々の事柄は演題の確実なこと，
	．	098	06	クスピーヤが曾て申した言葉であります	． さて世の中には随分おそろしいことが有りまする
	．	107	07	の毒なことで之を想像するに忍びませぬ	． さて，このことに付き船長ドレーキに対して求刑
	．	113	07	を悪くするやうなことが有るので知れる	． さて酒のことに付ては先刻から段々お話しの有つ
	．	114	11	身体の害にならぬといふことは能く分る	． さて，かうすれば命に利が有る，かうすれば害が
	．	115	04	を動物的の欲に勝たせなければならない	． さて命が大切だと知つたならば命を長くするやう
	．	115	14	うでは人類といふものの甲斐はあるまい	． さて品行を惜むといふ欲は人類ばかりに有るもの
	．	141	04	は概して卑しめられたるもので有ります	． さて日本で学者が此の小説家を卑しめたるは何か
	．	147	08	並べて見るのも一つの順序でありませう	． さて，スタチスチックと行政法との関係に付て直
	．	150	12	政治学の一部分に属するものであります	． さて行政法と憲法との関係は如何なるものかと言
	．	167	01	見たばかりでは事実も道理も分りませぬ	． さて，昔のは事実と道理とハナレバナレになつて
	．	170	10	日に至つてよく分りませうと思はれます	． さて日本人が一たび海外に移住の運動を始めるや
	．	174	08	則ちスタチスチック学者の術であります	． さて現今の人数三千八百十五万一千二百十七人の
	．	174	13	之を何と見たか聞きたいものと存じます	． さて今，申したやうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食
	．	179	07	係に就て聊か考へを述べやうと存じます	． さて紀元前およそ七百年頃イザヤといふ預言者が
	．	181	16	の悪弊は自ら消滅する道理で御坐ります	． さて其の根本たる弊害とは何であるかとなれば一
	．	198	17	のことは長くなりますから申しますまい	． さて，楕円と抛物線とはドンナ関係の有るものか
	．	199	04	しまつたものと見れば宜しう御坐ります	． さて，このやうな考へをＮｅｗｔｏｎが起しまし
	．	199	08	，はいつて大学までいくには及びません	． さて彗星の毎日の観測を以て其の軌道を取り出し
	．	200	16	いけません．随分厄介なもので有ります	． さてＨａｌｌｅｙの曰く「前々の順でゆけば，今
	．	205	09	ると云つて，こはがつたものと見えます	． さて，前に申した通りに立ち戻つて来る彗星が有
	．	205	16	り面白くないやうなことが有りますから	． さて，このＥｎｃｋｅの彗星と云ふのはマルセイ
	．	206	17	故郷に帰つて来ると云ふに似て居ります	． さて，今度何月何日頃に現はれなければならぬと
	．	213	09	説の間の狂言のやうなもので御坐います	． さて小説は文章で書くもの，演劇は立ち働いて見
	．	215	07	云ふものは実に面白いもので御坐います	． さて閑話休題と云ふ字を馬琴などが使つて「アダ
	．	216	02	をしながら行く中に海を渡つてしまつた	． さて因幡の地へ上つた所が鰐は「兎が私たちをだ
	．	218	05	たのは同体の仮名文だからで有りませう	． さて，伊勢物語，源氏物語などはイサゝカ有つた
	．	219	01	理と云ふものに近い訳でも有りませうか	． さて，其れに付てチト話しが横道に入ります．其
	．	220	09	などが本当のことのやうに思ふ人が多い	． さて足利の時代には物語がやゝ廃れて草紙の世と
	．	221	16	本の口調から変化したものと思はれます	． さて京伝以来，三馬も種彦も画入読本と云ふもの
	．	224	15	関係が有つて離れないことと思はれます	． さて当今，演劇は申すに及ばず小説とても改良論
	．	225	04	なければ迚も改良の効は顕はれますまい	． さて，改良のことに付ての可否討論などは世間に
	．	243	02	第一に監獄の行政上の位置を述べませう	． さて監獄は行政上に於て如何なる部分に属するか
	．	243	10	を御親裁あらせらるゝもので御坐います	． さて，執行権の中には政府があり行政権があり司
	．	244	03	天下のことは，まとまる姿になりまする	． さて，行政権に於て執行いたしまする事柄は第一
	．	245	15	及び方法を申し上げることに致しませう	． さて，監獄は前に申し上げたる通り刑の執行を掌
	．	248	08	が則ち監獄の目的及び方法で有りまする	． さて，こゝで監獄と警察と裁判との関係を明らか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	256	12	は備荒儲蓄法を以て行なつて居りまする	. さて貧民の救助の結果は何かと云へば，ただ二つ
	.	256	17	罪人を減少すると云ふことになりまする	. さて貧民の種類は何かと申しまするとこれ亦，
	.	263	12	四つの中の一つを用ふるだけに止ります	. さて，また欧米諸国に於て実行せる監獄事業の分
	.	267	17	は必ず大いなる効能が有らうと存じます	. さて，これより欧洲の監獄の種類を述べませう．
	.	269	08	生徒の数が八千四百十四人となりまする	. さて，只今申した八千四百十四人の幼年者の罪質
	.	271	06	ると四万八千八百五十六人となりまする	. さて，これよりは日本の監獄のことを申しませう
	.	272	07	者だけを集治いたします所でありまする	. さて，島地集治監と申しまするは俗に島地監獄と
	.	272	15	を監督することに止まるのでありまする	. さて，これよりは明治十七年十二月三十一日の監
	.	275	17	まると，あとは皆な狂つて参りまする	. さて此の一つと云ふのは何であるかと申せば維新
	.	238	02	いゝ加減にしてしまふと云ふやうになる	. 左様になつては小成に安んずる基にならうと思は
	.	086	11	世の富などに係はらぬもので御坐ります	. さらば，これ等のものは如何にして知ることが出
	.	011	12	分，知らないものが半分かも知れませぬ	. さりながら人間の物知りたがりには限りの無いも
	.	012	17	住つて居る国などに比べても随分大きい	. さりながら考へた程大きいものでは無い，至つて
	.	028	01	のが遠くに居るのか知れるものでは無い	. さりながら，ならして言つたら数多の星の中で大
	.	047	16	然の処置であるからであらうと思はれる	. さりながら今日，世界の有様を見ると各国の有様
	.	084	08	着の時節も亦知れぬことで御坐りませぬ	. さりながら人間社会の進歩はさういふものでは御
	.	008	03	すことに気を付けなければならないのに	. されどウチワばかり見て居れば安心高枕で得意に
	.	043	13	てはならぬと云ふことを教ふることぢゃ	. されども其れは，まるで世界の開けた道理とは違
	.	090	17	と熱心などのものが無ければなりませぬ	. されども熱心を起さするは何で御坐りませうか．
	.	116	10	の為めに品行を乱したといふ覚えも無い	. されども二三年前の春二年ほど続いて腸胃痛があ
	.	003	04	ダテで其れを知つただけでは役に立たぬ	. されば其の方便と真の智識との関係を考へて見な
	.	003	07	時間を百般のことに使ふ訳にはいかない	. されば此の八時間の使ひ様で此の国の進歩や学力
	.	007	17	けてよごしたものは，なほやぶるがよい	. さればどうも今日の有様を感心して居らるゝ場合
	.	009	05	い，廃さない方が天下の輿論で有ります	. さればこの演説も時勢に適せぬムダな空論とは知
	.	060	14	ます．是れ則ち半開化の害でありませう	. されば私は尚ほ一層進んで其の害を詳論しやうと
	.	063	12	てツマリ濫用の多きシルシでありませう	. されば人力車濫用の弊たるや国民衛生上頗る有害
	.	064	17	の健康を害することも大いに減じませう	. されば人力車を廃して馬車に代るは頗る緊要なこ
	.	106	12	して寧ろ行政上の処分のものと考へます	. さればノルマントン号の沈没した為め紀海の魚腹
	.	125	06	私が今いたしたいと思ふ所で御坐ります	. されば今頃，よく若い伝道師を困らせるものは何
	.	131	04	つの仕方は皆な誤つた仕方で御坐ります	. されば学術に本づいたる反対論に答ふるに，よく
	.	184	13	ある者の常に憂へ且恥る所で御坐ります	. されば此の悪風を改むるのも今日の一大急務で之
	.	255	08	やうなことまで探すものでは有りませぬ	. されば昔のオカッピキは悪かつたから今の警察官
	.	003	09	も真の智識を得る為めの時は少なくなる	. 三時間方便に使へばあとは五時間になるのは知れ
	.	028	05	かりも，かゝらなければ地球まで来ない	. 三万年の昔こんな星が無くなつて居ても我々は今
	.	109	13	い．然るに三人の人も助かつて居らない	. 三人の人が端艇の効用を知つて居つたら他の二十
	.	222	12	，吉志舞など云ふ固有の舞が有りました	. 三韓来朝の後，三韓とモロコシから伝はつた舞楽
	.	036	12	を以て大慾の社会になることを希ひます	. 賛成いたした趣意をちょつとお話し申しますまで
	.	025	15	さしが地球の直径ではいけなくなります	. 三千二百里も有る物さしが最早間に合はなくなつ
	.	156	13	て猫の眼では無いテ．実に大変革でござす	. 三百年このかた，かういふになりましたが，これ
	.	182	15	ど其の割合が多くなるではありませんか	. シテ見れば今の一夫一婦の風はこれが真理だから
	.	005	09	ルビドへ破裂丸を投げつけたは誰なるぞ	. 字は書ける奴だか書けぬ奴だか知らぬが破裂丸を
	.	007	07	との外は知らざる者が多いで有りませう	. 字が書けると地方でも賞められ書けぬと百姓町人
	.	236	03	言葉を知るにも容易なことでは分らない	. 字を引く字引も無いし，読む本も無いと云ふ始末
	.	060	04	絹衣はまだ見ぬけれども）着て居ります	. しかのみならず人力車が出来ればムヤミに乗り散
	.	185	17	女とも全く同等のものであると教へます	. しかしこれは日本ばかりでは御坐りません．キリ
	.	198	09	で太陽に近いも有れば遠いのも有ります	. しかしソンナことは，この前に言ひましたから，
	.	199	12	極な遠い所にいつて再び帰つて来ません	. しかし今言ひました楕円と抛物線の関係が有るか
	.	201	16	くと暫くはお辞儀をしてヒマがとれます	. しかし木星なら木星が通る時には彗星がジットし
	.	202	13	ところが果して其れが肉眼で見えました	. しかしドコからでも見ゆると云ふ訳にはいけませ
	.	205	14	つしゃるでせうが見えることは見えます	. しかし肉眼では見えません．この十一二の彗星の
	.	207	09	だ，また飛んだ」と云ふことが有ります	. しかし雨のやうにふると云ふことは少ない．雨と
	.	208	01	と流星と彗星との関係が分り出しました	. しかし，これから流星のことを言ひますと長くな
	.	208	08	間にどの位，走ると云ふことが分ります	. しかし一体，汽車とはドンナものか，人力車のや
	.	210	12	らない中に用心をしなければなりません	. しかし彗星が地球に必ず突き当らないとも言へま
	.	211	04	ても何とも無い」と言ふ者も有りました	. しかし両方とも極端に走つた説で有ります．心は
	.	211	08	て地球に疫病でも流行るかも知れません	. しかし尾の中に我々が這入りこむことが有つても
	.	212	10	品物を得ることが出来るかも知れません	. しかし其の様な結構なことは滅多に無いかも知れ
	.	215	04	れば月瓩雲泥の違ひでは御坐いませぬか	. しかし，これとはアベコベで，若し西洋では小説
	.	215	10	り立ちよりして来歴の次第を申しませう	. しかし之を申すには西洋の小説も支那の小説も並
	.	218	13	からドレにも男女の間がらのことが多い	. しかし折々は天人が出たり妖怪が出る位の奇らし
	.	218	17	に斬つたりはつたりのことは夢にも無い	. しかし能く味つて見ると，云ふに云はれない面白
	.	219	14	から，まして下等の風は思ひやられます	. しかし箇様な風俗は当時，漢文で書いたものだけ
	.	221	01	のに向くのを目途としたものと見えます	. しかし其の時代の人情風俗を知るにはよいもので

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
(.)	.	230	10	有財産と云ふものは無いさうで有ります	.	しかし共有財産と云ふ名のものが有るさうです.
	.	235	07	れたことで実に感ずべきことで有ります	.	しかし尚ほ小成に安んずるとイケヌから益々進歩
	.	272	11	ふものは消えた有様になつて居りまする	.	しかし実際は其の性質の区別はあると云ふことで
	.	182	04	宜しきに適はなければ一家が治りません	.	然し一家が治らなければ家族が集つて出来た社会
	.	182	09	会を改良する勢力ある所以で御坐ります	.	然し左様申せば「一夫一婦の教は何もキリスト教
	.	183	11	とはトント説いてないやうで御坐ります	.	然しキリスト教に於ては夫たるものも妻たるもの
	.	183	14	貞操を守るの義務あるもので御坐ります	.	然し，これまでの考へでは妻たる者は必ず貞操を
	.	001	08	ことなれば私は演説をしたいことは無い	.	併し仮名の会の懇親会に付て参議方も御臨席にな
	.	005	15	ればかたつばうも替らなければならない	.	併し，そこに人の気は付かない．具足を着たり甲
	.	006	03	は一方より外には見ることを知らぬもの	.	併し考へて見れば外の方も分る，考へても分らな
	.	009	04	漢字を廃さうとならば先づかういふ方法	.	併し廃さうでは無い，廃さない方が天下の輿論で
	.	011	05	ませう．成るほど一応は御尤で有ります	.	併し神保町の車屋でも呼んで来て「貴様どこだ」
	.	012	10	理学と言つて大層大事な学問で有ります	.	併し其れは私の目的で有りませぬから，地理学の
	.	013	14	まいかと云ふことに自然と眼が着きます	.	併し若しも我々が非常に近眼で五里か十里先きの
	.	015	01	訳にはいくまいが」と疑ふ人が有ります	.	併し測量術を少し心得て居るなら分ります．地球
	.	017	06	ことの出来るものの中にはいつて居ます	.	併し月の距離の様にやさしくは有りませぬが測量
	.	019	05	飲みの詩人で世に知られた人で有ります	.	併しコンナむづかしいことを言はなくつても諸君
	.	020	09	るかと云ふに月の様に精密には知れない	.	併し海も有り陸も有ることは確に知れて居るです
	.	021	17	は火星の表面の上には無いかも知れない	.	併し事によつたら火星の住民はズット野蛮で有る
	.	025	08	が太陽の党類では有るまいかと考へます	.	併し素人は其れにしては星は余り小さいと言ひま
	.	028	14	と一つが親分で，あとが子で有りませう	.	併し太陽系では明りを持つたものは太陽一つでし
	.	029	08	に従つてチットづゝ分りかねて参ります	.	併しモウ少し分るものが有る．其れは何で有りま
	.	031	02	いくつとはなく簇つて居る者が沢山ある	.	併し肉眼では見えませぬ．其れからして又其れと
	.	032	04	数多ある星雲の中の一つだ」と言へます	.	併し此の説は全く確な説では有りませぬからハッ
	.	032	14	話し即ち世界の歴史だと大層面白くなる	.	併しどの国の歴史を書くにも先づ其の国の地図か
	.	034	15	に弊害を及ぼして参りませうと思ひます	.	併し大慾の人はさうで無い，大慾の人は余り酒を
	.	042	13	他人同士の寄り合ひと云ふ様なものぢゃ	.	併しこれは極度を申したことで本当は今日でもさ
	.	043	02	の主義で法律は賤しむる様になりて居る	.	併し支那でも三代時分と其の後の歴朝とは大いに
	.	043	04	る仕事は法律の方がおもになりて参りた	.	併し天子は民の父母，民は天子の赤子などと云ふ
	.	044	02	教が行はれたらば文明は起らぬであらう	.	併しあまり残忍のことも沢山あるし殺伐なること
	.	044	06	矢張り已むことを得ぬことをしたのぢゃ	.	併し極めて必要なる点は越えてしまふて居ること
	.	044	09	のぢゃから罰することは出来ぬことぢゃ	.	併し道徳と雖も矢張り其の説く所の真の主義通り
	.	045	13	の人に不利なる法律が立ちて居るのぢゃ	.	併しこれは多くは其の社会に必要なことぢゃから
	.	046	04	会の維持と進歩との為めに必要な事ぢゃ	.	併し悪い事をした人から云へば政府の為めに害せ
	.	048	03	で随分互に深切を尽すと云ふことが有る	.	併し国と国との間になると万国公法と言ふものが
	.	048	04	己の利これ見ると云ふ有様でやりて居る	.	併し国と国との間にありても近来は交際が益々盛
	.	058	05	りませぬから私は極めて俗語で陳べます	.	併しあまり俗語すぎて高貴の諸君に向つては不敬
	.	064	i1	るとは真にハヤ慨然の至りでありませう	.	併し斯の如く有害なるにも拘はらず日に月に多き
	.	091	06	箇様な例は実に夥しう御坐ります．第七	.	併し人間社会の進歩は一個人と社会とを論ぜず一
	.	093	10	或ひは之を口に唱ふることになりました	.	併し各新聞紙がこれまで喋々して居る所を聞けば
	.	093	14	治外法権といふものが行はれて居ります	.	併し純理上から言へば今回の事件の如きは我が国
	.	094	05	判権理に付するのが至当で御坐りませう	.	併し今日は治外法権が存して居るから英国の領事
	.	094	07	するを要するは英吉利法で御坐りませう	.	併し私は英吉利法は職違ひで御坐りますゆゑ知り
	.	094	15	せう．実に同感ならざるを得ぬことです	.	併し此の悲歎と此の憤怒の感情よりして証拠も無
	.	095	05	道徳上に於て罪すべき人で御坐りまする	.	併し道徳と法律とは自から混同すべからざるもの
	.	095	11	るは俗に言ふ片落ち裁判で御坐りませう	.	併し結局取り調べた上若し充分なる証拠の無い時
	.	097	01	から生かして言はせることは出来ませぬ	.	併し水潜り器機もあれば証拠を尋ねるのは敢て難
	.	108	11	んで乗り移らなかつたといふことである	.	併しかゝることを為したかドウかは我々が粗々判
	.	113	15	まで，むつかしいことになつて居ります	.	併し之を節しないときには先刻からお話しの有つ
	.	116	01	の欲に勝つやうにしたいもので有ります	.	併し理屈づめでは何とでも言へるが実際には至つ
	.	116	03	誰でも理屈の半分も行ふことは出来ない	.	併し其れが出来ないといふは実に全く低い動物的
	.	124	06	も全く無益で有るまいと希望いたします	.	併しまた若し図らず今度のお話しの序に僅でも其
	.	141	16	者が思ひの外，学者になつたものも有る	.	併し是等はたとひ学問は有つても其れを運用する
	.	143	16	人の前で読むことの出来ぬ奴があります	.	併しこれ等は小説の末の余弊でありますから仕方
	.	145	02	無いから徐々と計らなければなりませぬ	.	併し一つの工夫が御坐ります．先づ現今の小説に
	.	145	11	あたり出版費と云ふ金のいることが有る	.	併しこれも出来ないことは有るまい．彼の演劇改
	.	148	06	スチックの方では大事なものであります	.	併し人員を調査するのはドレほどスタチスチック
	.	148	12	させるといふことになると至つて少ない	.	併し地方自治といふことをするには独立させなけ
	.	149	11	相須つて用を為すものに違ひありませぬ	.	併しスタチスチック学者の方では行政法に関係し
	.	151	01	に行政法の原則は憲法の中にあるのです	.	併し斯の如く行政法の範囲を定めると至つて小さ
	.	151	08	官吏であれば戸長役場の書記も官吏です	.	併しこれは文字の定義のお話しです．第二は此の
	.	152	11	く憲法が本で行政法は附属物であります	.	併し珊瑚珠を見て，これは動物か植物かと言ふと
	.	166	17	たものか，たゞ一見しては分りますまい	.	併し之をこはしてケミストリーで見ると，よく分

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	167	05	になり骨も大層に折れるやうになります	. 併し一たび事実と道理とハタと符号するやうにな
	.	175	09	なくなつてしまふと同じ道理であります	. 併し人の増すのは当り前ではあるが増すばかりが
	.	217	10	空中楼閣の話しを作つたものと見えます	. しかしながら天に昇つてしまつたなどと云ふ古め
	.	220	06	も作り事の方が沢山だらうと思はれます	. しかしながら猿楽の能から今の雑劇に至るまで其
	.	180	16	と尋ぬるは最も肝要な問題で御座ります	. 然しながら是は一大問題で中々一席の演説に論じ
	.	181	12	た随分少なからざることで御坐りませう	. 然しながら私の考へには禁酒禁煙は抑も末でまだ
	.	067	13	いませう」と申すより外は御坐いませぬ	. 併しながら我々は隴を得て蜀を望むの欲を抛つこ
	.	081	17	学術の進歩等とよく申すで御坐りませう	. 併しながら商法の進歩と云ふものは実に商法の進
	.	085	02	申すならば以上の如きもので御坐ります	. 併しながら今こゝに弁ずる演題は「基督教は社会
	.	085	04	すゆゑに，これから段々之を弁じませう	. 併しながら私が思ふに此の演題を証拠だてるには
	.	087	03	こと，つまづくことは容易に致しませぬ	. 併しながら不案内の御方が疑ひを起して「イゝエ
	.	089	01	足な所を能く承知しなければなりませぬ	. 併しながら人の本当の有様，人々の不完全なるこ
	.	089	08	知つても能く進歩することは出来ませぬ	. 併しながら人の心の中に厚き志を引き起さするに
	.	089	15	知れませぬが遂にまた退く様になります	. 併しながら高尚な目的を示すものは何であるかと
	.	090	11	即ちｉｄｅａｌが必ず必要で御坐ります	. 併しながら耶蘇基督よりも立派な模範が御坐りま
	.	090	16	と云ふことが決して御坐りませぬ．第六	. 併しながら種々の進歩を成就する為めには骨折り
	.	091	05	為めに常に骨折りしたことが御坐ります	. 併しながら古今に箇様な例は実に夥しう御坐りま
	.	098	17	の魂魄は定めて地下に瞑するに違ひなし	. 併しながら私の考へまするには今このノルマント
	.	105	13	疎漏にして且偏頗なる裁判であると思ふ	. 併しながら該言渡を以て一箇の刑事裁判の如く誤
	.	108	09	世間の報道より外に材料は御坐りませぬ	. 併しながら未だ知り得ない所の事実を考へるのは
	.	113	11	とは誰にもよく分ることで，ありませう	. 併しながら飲食といふものは人の大慾であるから
	.	120	13	原因となつたことであらうと思はれます	. 併しながらモノゴトはたゞ論ばかりでは人に感じ
	.	128	15	亦よい仕方で御坐りませぬと存じまする	. 併しながらこゝに一つの珍らしいことが御坐りま
	.	134	17	所のおもなるものは，これで御坐ります	. 併しながら，こゝにまた一つの不承知を言ふお方
	.	139	02	く且深くて誠に宜しきもので御坐ります	. 併しながら此の小説を利用することを誤りますと
	.	142	08	ませぬ．また見識も無くてはなりませぬ	. 併しながら今，小説の改良が必要だとてお前達は
	.	173	13	くは，説（即ち考へ）だから分りませぬ	. 併しながら我が国人は，世界の道理に従ふと人の
	.	189	10	権の方は皇帝のみで成り立つて居ります	. 併しながらドチラも一国の政治に関係のあります
	.	089	08	願ひと望みと志しが無ければなりませぬ	。然らざれば己れが賤きを知つても能く進歩するこ
	.	100	17	をめぐらすが最も必要であらうと考へる	. 然らば何故日本人は斯く軽蔑されるかといふに其
	.	103	02	要点に非常の改良を加へねばなりませぬ	. 然らば如何なる改良をしたならば日本人は真面目
	.	110	01	も構はぬといつて現に居つたに違ひ無い	. 然らばメンスローターは逃るゝことが出来ますま
	.	110	06	の為めに吹き寄せられて来たのだといふ	. 然らば船長其の他の人々が大勢一つの船に乗つて
	.	143	01	勧善懲悪ばかりが主意では御坐りません	. 然らば小説の本意と云ふものは何だと云ふと人間
	.	143	15	八になつて見たいと云ふ心が生じませう	. 然らば斯様なものは是非排斥してしまはなければ
	.	180	13	地位有様と答へても宜からうと存じます	. 然らば目下我が邦の社会改良を謀り殊に婦人に正
	.	187	07	たことを神に感謝した凱歌で御坐ります	. 然らば，これより我が邦にもキリスト教が漸々行
	.	001	04	とは思ひもよらざることで御坐りました	. 然るに演説をするに立ち至りたるは先日この会の
	.	018	13	のものか，これは調べなければならない	. 然るに近頃地球の同士が沢山あるといふことが発
	.	021	05	外の色々のものが有つたりするからです	. 然るにそんなものはソックリ火星の表面に有るか
	.	030	17	先づアマノガハの中で無ければならない	. 然るに中にはアマノガハの形した星が有る，では
	.	034	03	で之が為めに害を受けぬ者は有りませぬ	. 然るに今日，日本で「文明」と訳字を付けました
	.	034	09	ョンの道理によつて分るもので有ります	. 然る他にかのナルコチカを飲んで食物と同様に思
	.	043	01	人の害をしてはならぬと云ふばかりぢゃ	. 然るに支那は道徳を以て天下を治めると云ふ三代
	.	043	10	の出来ぬものが神様となりて居るのぢゃ	. 然るに進化して開けた教法では必ず道徳と云ふも
	.	044	07	ｅｓｓｉｔｙの点は越えて居ることぢゃ	. 然るに法は大いにヒカヘメなるもので唯人を害し
	.	051	09	ゆくことを御相談いたしたいと思ひます	. 然るにこの月は会員が二千何百人になつた，かし
	.	057	10	健康を得やうとするには衛生が必要です	. 然るに今当路者が斯く衛生に注意せらるゝのは実
	.	064	08	するに由つて心臓病を発するが為めです	. 然るに如何なる者が之を営業するかと云ふに先づ
	.	064	09	派な業を営み得べき屈撓な壮年男子です	. 然るに斯の如く犬馬同様の業を営み新造病否心臓
	.	070	11	て見れば余程の数を要せねばなりませぬ	. 然るに前陳の如く僅で御坐いまして斯の如き需要
	.	095	04	は必ず乗組人を救はなければなりませぬ	. 然るをノルマントン号の船長は我が同胞を助けな
	.	098	10	大息いたさぬものは殆んどありますまい	. 然るに今や我々同胞二十五名の人はウタカタの泡
	.	102	10	洋へ通ずれば感心させるものは尠くない	. 然るに外国に遊んだ人の話しを聞くに西洋で日本
	.	105	17	は決して法廷を開く訳は御坐りますまい	. 然るに諸君も知らるゝ如く英国領事は兵庫県知事
	.	108	06	とを審究するのが必要のことと考へます	. 然るに其の所為はマーダーに当るか又メンスロー
	.	109	12	は端艇の効用を知つて居つたに違ひ無い	. 然るに三人の人も助かつて居らない．三人の人が
	.	114	10	有るか害が有るかといふことは分らない	. 然るに人類には其れが出来る．人類はドウすれば
	.	115	11	の動物は酒を飲まないが人類は酒を飲む	. 然るに人類が其の品行の悪くなるを惜むといふは
	.	123	10	まいかと云ふ御相談を致すので有ります	. 然るべくは此の次ぎの会の問題にでもして篤と御
	.	139	13	せうが，さほど人望家で無いと申します	. 然るに小説家のサカレイと申したら上はクエン陛
	.	165	08	すつた方は至つて少なかつたと申すこと	. 然るに此のことは今も申す通り容易なことで無く
	.	169	09	今日の題の外だから言ふのはよしませう	. 然るに此の両三年以来我が国の人心の東に向くシ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
(.)	.	189	08	とを実際に行ふといふ趣意で御坐います	.	然るに立法権の方はおもに代議士だとかいふやう
	.	214	12	べき人とはツキアヒが出来ませんだつた	.	然る所，近年追々と西洋風が流行つて来て留学生
	.	223	03	にかゝつた方は狂言として別にしました	.	然る所，慶長年中出雲からお国と云ふ女が上京し
	.	248	05	トの善良なる人間になるので有りまする	.	然るを監獄に這入りましてからは益々悪い上に悪
	.	251	01	と卒業してモトの良民に立ちかへります	.	然るところ「お前の説は至つて御尤もなれど終身
	.	252	15	は先づ一と通り終つた筈の者であります	.	然るに未丁年の者はまだ教育最中であつたのです
	.	255	10	て左様なものではない有様でありませう	.	然るを監獄ばかり先祖が悪かつたと云つて賤しめ
	.	262	05	おくと云ふやうな弊が大いに有りました	.	然るところ近世は段々と改良を加へまして監獄の
	.	272	08	と申しまして北海道に設けてありまする	.	然るところ昨年．官制の改革のときに北海道庁に
	.	275	08	野蛮の方法であつたには相違ありませぬ	.	然るに維新の改革と共に監獄も非常の改良を受け
	.	276	02	ツケにしろと云ふ如き主義でありました	.	然るに維新後の主義は罪を犯す者があれば何卒し
	.	096	11	明諸国は大抵証拠裁判になつて居ります	.	然れば証拠が明かでなければいけませぬ．我々が
	.	096	14	早計と言ふべきものでは御坐りませぬか	.	然れば今日吾人が我が同胞の為めに尽すべき第一
	.	105	11	ものである」と報道するものもあります	.	然れどもこれ等は総て誤謬たるを免れませぬ．我
	.	106	01	以下の審問に着手したといふことである	.	然れば則ち該言渡が刑事裁判で無いといふことが
	.	108	15	長等の指図に従ふより外はありますまい	.	然れば誰も彼も端艇に乗うといふ考へはあつたら
	.	110	14	る裁判を下されむことを冀望いたします	.	然れども神戸在留の英国領事は既に一旦船長を怠
	.	111	03	厄難に際会したるを憫むのみであります	.	然れども今回の事たる決して之に止まりませぬ．
	.	226	08	政裁判のこととは事柄が全く分れまする	.	然れども行政と云ひ行政裁判と云ひ何れにしまし
	.	240	07	無くして内務大臣の所有権で有りまする	.	然れば内務大臣の許可なくしては之を他人に言ふ
	.	240	16	ばイクラ褒めても差支ない筈で有ります	.	然れども前に申した「某の娘は温良である」と他
	.	245	06	衛生，勧業，教育，等沢山に有りまする	.	然れども，これ等は行政権と申す立派な道具が有
	.	246	02	てしまへと云ふやうな考へが有りました	.	然れども孔夫子の言はれたる如く，人には多く過
	.	248	15	判の済むまでは監獄に預つて居りまする	.	然れども此の未決者は未だ法律上，罪人と定まり
	.	251	10	とが出来まることになつて居りまする	.	然れば右のお疑ひは晴れませう．今度は未丁年の
	.	262	16	房に一囚づゝ置きまする方法で有ります	.	然れども此の方法はヨホド実際に困難でありまし
	.	270	13	，さうあるべきものに相違ありますまい	.	然れば犯罪人を減少するは教育の普及を図ること
	.	128	15	こゝに一つの珍らしいことが御坐ります	.	頻りに色々の新らしい説，新らしい論を求めて風
	.	030	11	えず或る別の所には星が沢山見えませう	.	而して星の沢山見ゆる部分は帯の形して天を取り
	.	063	05	合にして一千人に付き五個四の比例です	.	而して欧米の馬車の数は何程あると云ふに英国に
	.	067	15	れ赫々の光華を得られむことを望みます	.	而して私は法律科卒業の諸君に特に望む所の事が
	.	068	06	なければ試験を受くることは出来ませぬ	.	而して第一回試験の及第から第二回の試験までは
	.	069	17	来ませう．実に邦国の幸ひで御坐います	.	而して宇漏生の裁判官代言人の数は何程かと言ふ
	.	070	07	はシッカリと調べましたので御座います	.	而して宇漏生と日本との人口を比較するが要用で
	.	073	12	固より優劣も無く同一のもので御坐んす	.	而して其の必要の度は同一では御坐んすが必要な
	.	074	15	欲しまするには人を雇はんければならぬ	.	而じて其の労力に向つて報酬の金を払ふ其の労力
	.	075	07	を除く方に付て居る様のもので御坐んす	.	而じて其所に至つてＭａｃｌｅｏｄ氏の説が御坐
	.	095	13	むを得ず無罪にせぬければなりますまい	.	而して今新聞紙上，我輩に知らする所は充分にノ
	.	096	17	を集め材料を確かめなければなりませぬ	.	而してこの証拠を如何にして集めませうか．死人
	.	099	12	ることは世間の既に認めたる事柄である	.	而して人といふものは災難の場合に当りて殊に義
	.	103	12	大師の非凡なるを感ぜらるゝに相違なし	.	而して日蓮記を読んで見ても昔しの人が物事を深
	.	104	05	むるは，さまでむつかしきことではなし	.	而して西洋人と交際し西洋人をして日本の国情を
	.	109	07	なければならぬことにきまつて居ります	.	而してこれは何の為めにおくものであるかといふ
	.	111	08	当なることを論じなければならぬと思ふ	.	而して将来再たび斯の如き事のなからむことを熱
	.	115	02	方を勝たせなければ人類たる甲斐はない	.	而して動物的の欲の方は熾んなれども其の品等を
	.	117	01	ことは人に対して欺かないやうにしたい	.	而して信用を失はないやうにしたいといふは即ち
	.	122	06	飲んで行ひが悪くつて罪を犯す者が多い	.	而して其の酒を飲むことが子孫に遺伝して「例へ
	.	126	14	我がミコミに拠れば」などと申されます	.	而してたゞ自分のミコミを以てＤａｒｗｉｎ氏Ｓ
	.	127	15	考へなどを誠とし且喜んで受け容れます	.	而して色々の骨折をして近来聞いた所の新発明な
	.	185	12	一大原因であると申さねば，なりません	.	而して仏法や神道は此の如きことにはドチミチ更
	.	186	04	ませんが矢張男尊女卑の風は免れません	.	而して此の不釣合を直すのも亦キリスト教で御坐
	.	250	03	の教育，身体の教育の三つで有りまする	.	而して智慧の教育，即ち智育と申しまするものは
	.	256	04	まするものは慈恵に係るもので有ります	.	而して此の慈恵に二つの種類が有りまして，第一
	.	257	05	ならざる者（即ち不良少年）で有ります	.	而して天然の貧民に属する盲人，聾，唖，癈疾，
	.	257	11	助するのも一時の資本前貸しで有ります	.	而して壮健なる貧民を救助し及び不良少年を矯正
	.	266	12	は専ら懲戒を主として分房法を用ひます	.	而して大分，悔悟の徴をあらはしました者は緘黙
	.	266	14	．此の場合には専ら感化をつとめまする	.	而して感化も其の効があらはれましたと看認めら
	.	272	12	質の区別はあると云ふことで御坐います	.	而して監獄は総て内務大臣の管轄に属するもので
	.	273	13	数は総体にて二百〇一箇所となりまする	.	而して其の在監人の数を見まするとと，未決者は一
	.	274	03	四十六万九千四百五十五円となりまする	.	而して其れを監獄現在人員に割り当てまするとと一
	.	121	03	挙げて見せた方が宜からうと思はれます	.	事実を見せたら其れからして論も起らうし，また
	.	166	14	ナ」と誰でも信じるやうになつて来ます	.	事実から道理を見上げるのだから誰も駁つことは
	.	231	03	隷属すると云ふことの二原則で有ります	.	施政はツマリ天皇陛下御一人でおやりなされば宜

代表形	判	ページ	行			出現文脈
(.)	.	122	05	き徹毒が殖え，また私生の子が殖えます	.	私生の子はフランスではスタチスチック上から大
	.	136	05	見えます．誠に面白いもので御坐ります	.	下から見れば面白いことも無く分ることも御坐り
	.	140	09	モシロミと言ふは別なもので御坐ります	.	時代が同じなれば馬琴と比較しますが馬琴先生は
	.	069	08	百十八人試験を願つた者が御坐いました	.	随つて見習生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒの数も千
	.	012	01	当に知つて居る人は恐らく有りますまい	.	実に其れまでも知りたい訳ですが中々今の有様で
	.	023	10	て来ることが出来なかつたので有ります	.	実に此の世界は広いもの（此の世界とは皆なを概
	.	065	10	せしめむとするは則ち先覚者の義務です	.	実に我が邦は内地雑居の大役が前途に横たはつて
	.	069	17	判官其の他の人を得ることが出来ませう	.	実に邦国の幸ひで御坐います．而して孛漏生の裁
	.	094	15	みならず全国の人も同感で御坐りませう	.	実に同感ならざるを得ぬことです．併し此の悲歎
	.	121	16	盗んだのだと云ふことを調べて居ります	.	実に結構なことと存じます．其れで警視庁の懲役
	.	129	15	に鬼の角を生えさせるもので御坐ります	.	実にをかしいことでは御坐りませぬか．勿論，学
	.	130	16	の中に住む所の道徳法で御坐ります」と	.	実に面白いお話しで御坐ります．数へも出来ぬ日
	.	156	13	グルリと回つて而して猫の眼では無いテ	.	実に大変革でござす．三百年このかた，かういふに
	.	157	10	は申しませんが地は回ります」と言つた	.	実に度胸の大きな奴さネ．これは学問をなすつた
	.	161	15	酒の上で家来などを斬つたことが有つた	.	実に悪いことは酒に基かないものは無いくらゐだ
	.	167	10	，人世に大功徳を及ぼすか知れますまい	.	実に面白いことではありませぬか．前に申したや
	.	180	12	土耳古の婦人の有様を比較て御覧なさい	.	実にキリスト教国とキリスト教を奉ぜぬ国の最も
	.	209	16	に彗星の説を述べるやうになりますから	.	実に天文学はまだこの辺に進んでは居りません．
	.	211	11	の死は遂げやしないと云ふ説が有ります	.	実はコッチが彗星の中へ頭を突こんだことが現に
	.	233	08	も多くなり誠に祝すべきことで有ります	.	実に此の専修学校は私立の専門学校の一番の元祖
	.	237	08	遂げて来たのは実に感服の外ありませぬ	.	実に今日と利害，幸不幸を異にすることは驚くべ
	.	270	01	カタハモノを造り出すことになりまする	.	実に恐るべきことでは有りませぬか．また，不良
	.	274	04	と一人に付き四十八円ほどになりまする	.	実に莫大の費用と云はざるを得ませぬ．此の費用
	.	013	08	か百日で地球を一周することが出来ます	.	して見れば地球は実に小さいものと言はなければ
	.	016	01	即ち地球の直径の三十倍ほどで有ります	.	してこの距離が分りました上は其の大きさは容易
	.	016	10	て居つて月が其グルリを旋つて居ります	.	して見ると月は分明に地球の眷属，地球の家来に
	.	017	01	ぬ．けれども我々みた様なものは居ない	.	して見ると我々の家来の月は形から大きさもよく
	.	01,7	08	い距離に居ながら月と同じ位に見えます	.	して見ると非常に大きいものに違ひない．現に勘
	.	018	08	申しましたことと同じ趣意で御坐います	.	して見ると太陽は我々の為めの生活の根元で有り
	.	021	11	では外の世界にも人民のある事が知れた	.	して見れば外の世界にはどれだけ人間世界より進
	.	026	07	離は地球をグルッと回つても有りませぬ	.	して見ると云ふと此の一番近い星まで往くには非
	.	028	13	陽を回り，月が地球を回る様に見えます	.	して見ると一つが親分で，あとが子で有りませう
	.	028	16	ない眷属が多分有るだらうと思はれます	.	して見れば全く太陽系と同じ様な世界で有ります
	.	029	01	同じ様な運動をして居ますのが有ります	.	して見ますと果して我々の太陽系は外にツレがあ
	.	030	06	様にして天をグルツと取りまいて居ます	.	して見ますと其の中に我々がはいつて居るに違ひ
	.	045	10	とによりて出来ると出来ぬの違ひが有る	.	して見れば只今でも権を得たものは権を得ぬもの
	.	046	05	ら云へば政府の為めに害せられるのぢゃ	.	して見れば他を害することを行ふてはならぬと云
	.	109	12	尽力して居つたといふことで御坐ります	.	して見れば，この人等は端艇の効用を知つて居つ
	.	113	09	有るがドウ見ても害の方が余計に見ゆる	.	して見れば酒といふものは先づ悪い方に勘定をし
	.	114	17	か，いふやうなことは犬猫には分らない	.	して見ると本当に命の惜いといふことを知つて居
	.	139	06	を改良しなければならぬものと思ひます	.	して此の小説と言ふものは普通の学問と違ひ日本
	.	165	09	ドウか其の積りでお聴きなすつて下さい	.	して其の題は「我が日本帝国人民の将来を前知す
	.	203	07	六年の中で僅か三日の違ひで有りました	.	して見ますと，この彗星と云ふものは先づ惑星と
	.	207	16	言ひました流星と同じことと思はれます	.	して見るとＢｉｅｌａの彗星は失せてしまつたの
	.	219	12	一にすることにツマリ論が落着しました	.	して見ると昔の風俗は自由結婚に近かつたものと
	.	229	08	数区に分つと云ふやうな意味で有ります	.	して区と云ふものが全国に三十七あるさうです．
	.	229	14	区長も人民で撰挙しなければなりませぬ	.	して郡長は区長や戸長とは違ひ知事の下役ですか
	.	269	15	十四人，即ち一割一分八厘で有りまする	.	して見まするとと十二歳より十六歳までの間が一番
	.	270	11	り以上を受けたる者は一人もありませぬ	.	して見まするとと教育の一番少ない者に不良の者が
	.	005	03	手にすると西洋人を相手にするとは違ふ	.	支那人を相手にする気ではいかない，西洋人を相
	.	005	10	一如きが，いくらクルベーでも構はない	.	支那の今日の通りになつたのは当り前．我が国に
	.	013	17	として時としては非常に早く動く星です	.	支那人は之をひどく恐れまして螢＊惑がどこそこ
	.	019	09	が有りますが，これは歳星とも唱へます	.	支那では昔し貴まれたもので，正月元日の或る時
	.	041	16	などは西洋のとは甚だしく違ふて居る	.	支那では上の方に十分，権をもたせて上の者は下
	.	044	10	く所の真の主義通りには参らぬものぢゃ	.	支那は道徳の国なれども決して己の利をすてて他
	.	083	07	では昔より儒学が能く開けて居りました	.	支那人決して愚人では御坐りませぬ．其の智慧も
	.	102	02	あるから支那人の豚にも劣ることがある	.	支那人は豚であるから苟くも利があると見たなれ
	.	170	14	ナいやらしい国に行く気はありますまい	.	支那や朝鮮はたゞ商売の地で利を争ふばかり位な
	.	097	01	してこの証拠を如何にして集めませうか	.	死人に口なしであるから生かして言はせることは
	.	184	08	は一夫一婦の教も何の役にも立ちません	.	自分の気に入らぬと云つては妻を出し，子が無い
	.	217	04	ひ寄つた人も多かつたけれど，なびかず	.	しまひには帝王がキサキにしやうとおつしやつた
	.	232	10	ふのでは学問上，決して御坐いますまい	.	諮問もせずに，きめると云ふことは間違つて居る
	.	036	12	した趣意をちょつとお話し申しますまで	.	社会外に道徳なし明治十九年四月二十日哲学会東

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	037	05	めに社会と云ふことから講釈をしませう	. 社会と云ふことは一つのきまりたる解は至りてむ
	.	046	13	支那とかは各々別々の社会になりて居る	. 社会が進化して来た所で其の維持と進歩とに必要
	.	047	02	の間では当然のことであらうと思はれる	. 社会を為して居らぬからには自分の利益を謀るだ
	.	023	12	其れに比べると地球は誠に小さいものだ	. 周囲が僅か一万里ばかりと申しましたのはこゝで
	.	183	09	申しても此処に雲泥の違ひが御坐ります	. 儒者の教にも妻が夫に対して貞操を守るべきこと
	.	090	10	種々の進歩をする訳で御坐ります．第五	. 種々の進歩を致さうと思ふ人には一つの立派な手
	.	176	05	に相応して手段が無ければなりますまい	. 手段は術で学科では無い．学科といふは其の術に
	.	182	10	の教は何もキリスト教に限ることでない	. 儒道や仏道の教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古
	.	074	01	ふ説が御坐んすが必ずしも，さうで無い	. 需要といふものが価値を生じ其れ故に労力が生ず
	.	269	01	関する実例を申し上ることに致しませう	. 順序は前と違ひますが中央獄は二十四箇所ありま
	.	142	14	どでも其の仕組は大体きまつて居ります	. 春水の梅暦が先づお手本でドレを見ても一つこと
	.	011	09	車屋位では答へは出来ないかも知れない	. 小学校へでも参つたことの有るものなら「日本は
	.	095	12	若し充分なる証拠の無い時はドウするか	. 証拠が無ければ輿論は何と言つても已むを得ず無
	.	137	14	して今日其のお話しを致さうと存じます	. 小説と申すものは面白いか面白く無いか言はずと
	.	138	08	すと果して，ぢきに眠つてしまひました	. 小説を読みましては斯様に眠つてしまふことは出
	.	141	11	の資格からして改良して行かねばならぬ	. 小説家の資格は只今述べたる三箇条なれども其れ
	.	142	03	を削り塀を塗るは普通の職人にも出来る	. 小説家は其の仕組をこしらへたる上に仕上げまで
	.	142	06	才智では旨く出来ないもので御坐ります	. 小説家もたとひ其の文章が流暢なばかりではいけ
	.	144	13	がタカが少数で中々満足いたされません	. 小説を書く人が多数の中には和漢の古今に通じて
	.	212	15	づ其れまではお預かりにしておきませう	. 小説と演劇との関係明治二十年二月二十日東洋学
	.	222	08	は見るのを恥るやうな様子が有りました	. 小説の来歴はこれまでとして，これから演劇のこ
	.	182	13	あるかと尋ねたら如何で御坐りませうか	. 上等にも中等にも矢張万人に一人の割合だといふ
	.	021	15	に既になつて居る所が有るかも知れない	. 条約書に一筆加へたとか加へなんだとか消したと
	.	035	02	にし財を惜む欲の深い人だと思はれます	. 小欲の人は酒を飲むことを好んで前に述べた様な
	.	054	02	を知つても用事を弁ずることを知らない	. 初学で下り而して舟を漕ぎ，畑へ弁当を持つて行
	.	162	13	飲の者を以て死刑に処すべしといふのだ	. 書経には偽書が有るといふことだがこの酒誥だの
	.	029	11	て居るといふことが粗分る様で有ります	. 諸君御存じで有りませうが秋の頃に天を見てお出
	.	034	13	の人は酒を飲まぬものだらうと思ひます	. 諸君はドウ思し召すか知れませぬが私は酒を飲ん
	.	035	04	すが何と面白いことでは御座りませぬか	. 諸君はドウお考へなさるか知れませぬが私は面白
	.	036	06	言つたら調子に外れたものと思ひませう	. 諸君は「大いなる社会は大いなる欲」といふ方に
	.	041	15	今の欧羅巴と支那とは大いに違ふて居る	. 諸君も知らるゝ通り支那の君臣父子夫婦と云ふこ
	.	062	09	．第三は衣服の歩行に適せざることです	. 諸君試みに御覧なされ和服を着て歩行するときは
	.	063	14	に至つては更に一層の危害あるものです	. 諸君御覧なされ，人力車夫の業たるや農工商等の
	.	065	03	文明如何を卜するに足るものと思ひます	. 諸君如何です．さて斯の如き類を挙げますれば沢
	.	067	09	所を諸君の前に申し述べようと思ひます	. 諸君は我が天父の無形なる愛護と教師諸君の深切
	.	068	03	べて諸君の御参考に供しようと思ひます	. 諸君の中に御承知の方も御坐いませうが孛漏生国
	.	083	06	申しますならば隣りの支那で御坐ります	. 諸君御案内の通り支那では昔より儒学が能く開け
	.	094	10	て法理に付て考へを述べやうと思ひます	. 諸君．我輩は日本人で御坐ります（これは言はず
	.	099	05	黙慮するが必要のことであらうと考へる	. 諸君は如何にして斯くの如き不幸なことが起つた
	.	099	09	のが此のことの原因となりしに相違なし	. 諸君試みに思へ．若しノルマントン号の船長が我
	.	100	06	遙かに世間に尊まれたといふことである	. 諸君今試みに，この王の如く尊まれたる羅馬人が
	.	107	02	すべき言語の無きを憾むのみであります	. 諸君は我が同胞中に如何なる種類の人があつたか
	.	139	16	其の最も長じたる所は小説で御坐ります	. 諸君も其の著作を御覧になつたら面白いと言ふこ
	.	147	07	講究して見たいといふことで，あります	. 諸君がお分りになつて居るには違ひありますまい
	.	173	12	よく，滋養もありさうな心持ちがします	. 諸君はドウいふ味がしますか．これは後の歴史で
	.	195	04	年ほど前にヨホド立派な彗星が出ました	. 諸君は定めて御記臆で御坐りませうが，これは朝
	.	195	09	て互に挨拶を致したことが御坐いました	. 諸君も定めてネムサをこらへて彗星を御覧になつ
	.	205	13	の一ごとには戻つて来るもので有ります	. 諸君は其れならば見えさうなものだと，おつしゃ
	.	238	03	小成に安んずる基にならうと思はれます	. 諸君は何卒，昔の人の二大難事に耐へて其の時分
	.	006	07	の方はお留守で字の講釈に止るのが有る	. 諸県へお役で出た人の話にも偏がドウだとか傍が
	.	227	17	，また管轄権を有つて居つたのでも無い	. 諸侯の一つで丁度，列国の一国主が其の列国の世
	.	269	05	生徒の数は六千七百七十七人ありました	. 女子の部は公立のもの二箇所，私立のもの二十二
	.	125	14	ぬことなどに本づいたもので御坐ります	. 書生がよく言ふＳｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰せら
	.	241	04	得て言ふことと致さなければなりませぬ	. 所有権の点に於ては無論，言ふを得られぬものと
	.	090	03	さきを知らずと云ふことが御坐りませぬ	. 知らぬことが御坐りませぬに由つて進歩せぬと云
	.	148	08	ときは調べ直しをしなければなりませぬ	. 人員疎密を調べるといふことはドレほど日本に備
	.	123	11	もして篤と御相談を致したう御坐います	. 神学卒業生の心得明治十九年六月二十二日神学校
	.	097	11	英国の法律に照して論ぜられませうから	. 真正の改良明治十九年十一月十八日「ノルマント
	.	081	03	て用ゆる所の品々の進歩で御坐りませぬ	. 進歩といふものは内部から起つて来て外部に発現
	.	084	04	て居るか或は後れてあるかも知れませぬ	. 進歩の種々の種類が皆な一所に並んで進み行くな
	.	091	03	てる為めには至極善い宗教で御坐ります	. 新約聖書の使徒行伝と云ふ書物に委しく書いてあ
	.	117	05	では節酒会にはいつて居て申し訳が無い	. 信用を破つては済まないといふのが人類的の貴い
	.	111	09	如き事のなからむことを熱望いたします	. 人類的の欲をして動物的の欲を制せしむべし明治

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	114	10	分らない．然るに人類には其れが出来る	. 人類はドウすれば身体の害になる，ドウすれば身
	.	115	16	から，これが人類の第二の高い欲で有る	. 人類の第一の欲は前に言つた通り身命の惜いとい
	.	015	07	例の角度で月までの距離を測り出します	. 随分此の測量はむつかしいが天文学の測量の中で
	.	200	16	道によつて考へて来なければいけません	. 随分厄介なもので有ります．さてＨａｌｌｅｙの
	.	155	13	間も大学の総理先生は十七八，数へたネ	. 数学，星学，化学，地質学（中々覚へて居られな
	.	134	11	ば其の原因は必ず善いもので有りまする	. 末が貴いものならば其の本は勿論貴いもので御坐
	.	089	15	ならば進歩を成就することが出来ませぬ	. 少しづゝ進歩するかも知れませぬが遂にまた退く
	.	141	05	卑しめたるは何か原因が無くてはならぬ	. 少し酷な様なれども一概に申せば作者に学問が無
	.	144	11	．また西洋の小説を多く読んで貰ひたい	. 少し悦ばしいことには此の節は追々西洋の本を読
	.	210	08	，アトで大こまりをした者も有りました	. 少したつと今度はまた山師が「ベルリンのプロフ
	.	085	07	証拠を立てることが出来やうと存じます	. 既に申しましたことを取り撮んで其の大意を繰り
	.	094	06	事に於て支配することになつて居ります	. 既に英国の領事に於て支配することであれば法律
	.	096	09	坐りまして充分の証拠とは看做せませぬ	. 既に我が治罪法にも情況の裁判は禁じて御坐りま
	.	109	11	るか知らぬといふことは御坐りますまい	. 既に三人の同胞は端艇を下すことに尽力して居つ
	.	149	06	係なさざるものは無いだらうと思ひます	. 既にこのスタチスチックはベルジウムでも行政ス
	.	220	02	けに小説が交つては居らぬかと思はれる	. 既に先日，学士会院でも重野先生が太平記と云ふ
	.	045	12	るので他を害する法が立ちて有るのぢゃ	. 則ち一方の人を利して一方の人に不利なる法律が
	.	061	08	は無い位で其の数は実に夥しきものです	. 則ち明治十一年には人力車の数十四万二千五百七
	.	073	06	育の盛んなること実に欣喜に堪へませぬ	. 則ち其れだけが祝詞で御坐んすが，これに付て何
	.	246	05	ぬまでも悪い人と云ふ訳では決して無い	. 則ち其の所行が悪いので有るから其の罪を悪んで
	.	252	17	へると云ふ此の三つの方法を要しまする	. 則ち監獄よりも教育だけ余計の用が有りまする．
	.	264	01	は重もに家族法と称する方法を用ひます	. 則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別を正しくし以
	.	044	16	も矢張り主義通りには行はれぬことぢゃ	. 即ち己を利することを許すなれども他を害しては
	.	079	14	づ進歩と云ふ漢字の和訓でも分りませう	. 即ちスゝミユクと云ふことで御坐ります．けれど
	.	085	09	へして言ふならば此のことで御坐ります	. 即ち社会の進歩と云ふものは劣りたる所より優れ
	.	090	06	云ふ聖書の極古い所に申して御坐ります	. 即ち「神の御言葉はこの浮世の旅人の道を照す光
	.	099	08	蔑」といふ二字に過ぎないことであらう	. 即ち彼等は我々を軽侮するの心あり彼等は我々を
	.	100	16	ず，外に多くの考へが無くてはなるまじ	. 即ち我々が斯く軽蔑されたる原因を深くたづね遠
	.	101	02	は真面目でないことが一つの原因である	. 即ち日本人は怒ることもするが併しながら長く怒
	.	101	17	あるが日本人はヤマアラシの勇気も無い	. 即ちチョイとツッツクとプーと怒る．怒ることは
	.	103	01	因たるところの弊を矯め直さねばならぬ	. 即ち私が示したる二個の要点に非常の改良を加へ
	.	103	07	のは矢張り信仰心の然らしめたのである	. 即ち弁慶が天台の宗旨を信仰し清正が法華宗を信
	.	104	02	革を行ふには最も適当の人民であります	. 即ち国語を変ずるといふことは他国にありては最
	.	107	03	の人があつたかを記憶せらるゝであらう	. 即ち暫く東京に遊学して居つて今度久しぶりに故
	.	111	05	類の人類でないと思つて居るに違ひ無い	. 即ち今回の事件の如きは彼等が平常我々を虐待す
	.	128	08	暫時の間，待つ方が宜しう御坐りませう	. 即ち各国の学者皆よく互に同意して近来の色々の
	.	132	16	に答へるには最もよいものが御坐ります	. 即ち卒業生が己が身に基督教を行ふの仕方で御坐
	.	134	12	す．先づ基督教は善の教で御坐りまする	. 即ち世の中に於て善の勢ひを以て総ての悪を止め
	.	135	08	分諸君皆お聞きなされたで御坐りませう	. 即ち「万国を周りて万民に此の教をのべ伝へよ」
	.	143	05	即ち無形の人情を写すは筆より外は無い	. 即ち小説の管内で御坐ります．凡そ人情と申すも
	.	151	13	すことの出来るものが無形人であります	. 即ち日本では府県，町村等でこれは如何して設け
	.	181	08	は先づ第一に一夫一婦の教で御坐ります	. 即ち一人の夫にして一人以上の妻を有つことを許
	.	188	10	と言ひイギリスではパウァーと言ひます	. 即ちこれを立憲権力と言ひます．この立憲権力と
	.	189	06	と相対して独立して居るものであります	. 即ち立法権は法律をきめるものであり，執行権の
	.	190	01	坐んすが其の中に三つの者があるのです	. 即ち第一には政府といふものが一国の政治をきめ
	.	191	05	たのにイギリスには力の種類が三つある	. 即ち法律を制定するの力其れから政を行ふの力，
	.	226	15	す．先づ第一部から申し上げて見ませう	. 即ち行政官権及び行政議会のことで御坐います．
	.	231	01	まして先づ第一に二つの原則が有ります	. 即ち第一には施政者は一人と云ふこと，第二には
	.	250	11	以て二つに区分いたして申し上げませう	. 即ち丁年以上の者が悪い事をすると不良民，所謂
	.	117	09	うといふやうに致したいもので有ります	. すべて会を設けてすると一人でするのとは違ひま
	.	014	12	れは其の遠さが知れない間は分りませぬ	. 総て物は同じ大きさに見えても大きくて遠いもの
	.	057	07	を陳べなければならぬことが御坐います	. 総て我々の健康と云ふものは実に必要なもので曾
	.	080	11	れば三つの明らかな手続きが御坐ります	. 総ての改正改革と云ふものに付ても此の三つの手
	.	081	02	方法は斯の如きもので御坐ります．第三	. 総て人間の進歩と云ふものは其の本心本性本質の
	.	125	11	か．イゝエ決してさうでは御坐りませぬ	. 総て真の学術また其の色々の正しき結局は基督教
	.	151	10	来ないといふ制限をしなければならない	. 総て人民の公法上で定まつてある権理と義務を行
	.	141	17	先生では本当の小説の仕組は出来ません	. 凡て物事と言ふものは仕組と言ふものが肝腎なも
	.	007	17	といふ訳ならば唐紙などはやぶるがよい	. 墨を付けてよごしたものは，なほやぶるがよい．
	.	007	11	あるので少輔も大輔も字を習ふ様になる	. すると書記官も仕方が無いから習ふと属官までが
	.	160	01	る外はなく余所へ行き天へ上りはしない	. するとタマシヒのことで，なければならん．其の
	.	201	10	すと丁寧にジットしてお辞儀を致します	. すると極丁寧な人はコッチへ向いて答礼をしてく
	.	042	14	希臘羅馬で道と法とが始めて分れて来た	. 政治上のことは法律でゆく様になりた．それから
	.	082	03	学術に付て人々自分の進歩で御坐ります	. 政事の進歩経済の進歩などは皆んな其の通りで御

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	138	16	社会の道徳を改良することも出来まする	. 政治小説には其れに連れて政治を改良することに
	.	135	14	つて其の見渡す所が広く且遠くなります	. 聖書を手に持つて而して聖書に説く所の高い所よ
	.	193	04	行政権も裁判権も天子に属して居ります	. 政府は天皇陛下及び内閣大臣より成り立つて居る
	.	193	05	皇陛下及び内閣大臣より成り立つて居る	. 政府の名義を以てやることは天皇陛下のなされる
	.	243	11	府があり行政権があり司法権があります	. 政府は即ち内閣にして，こゝに於ては天下の政治
	.	029	13	なります．これはアマノカハと言ひます	. 西洋では「乳道」と言ひます，其れは乳をこぼし
	.	035	02	好んで前に述べた様なことは致しませぬ	. 西洋の諺にも「酒が腹中に入れば，智慧は徳利の
	.	046	15	徳の行はれると云ふことは無い道理ぢゃ	. 西洋人が亜米利加や澳地利や印度などに往いて残
	.	101	12	は二十余年の変遷でよく分つて居ります	. 西洋各国の歴史を見まするに何れの国にても一事
	.	126	17	方法は決して，よいもので御坐りませぬ	. 西洋の高名なる学者といふものは大抵皆な専門家
	.	127	02	仕方は随分ケンノンな仕方で御坐ります	. 西洋の有名な専門家が其の専門とする所の区域に
	.	137	16	馬琴の八犬伝や春水の梅暦の方が面白い	. 西洋のスペンサーやミル，ベンサム等の本を読み
	.	157	03	の代理だといふから実に強気なものさネ	. 西洋各国の天子様が羅馬法皇の御免許を受けない
	.	159	09	とも言ひ，仏学とも仏教とも言ひました	. 西洋の教へ方は天で，天主を立て天上，天国，天
	.	159	16	洋では教法と学問と切り放すはしにくい	. 西洋では学問と教法とウラハラで両立して居るけ
	.	167	08	ては迚もあれだけのことは分りますまい	. 西洋に往つて理合をつめて来たからこそ分つたの
	.	168	12	，かも吹き倒さんずる有様でありました	. 西洋でも千百年の頃に天が落ちるとか云つて大屋
	.	037	05	一つのきまりたる解は至りてむづかしい	. 世界の全人類は一つの社会であると云ふ説も有る
	.	120	03	有ると解して然るべきことと思はれます	. 世界に名高い経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ人は
	.	166	15	るのだから誰も駁つことは出来ますまい	. 世間に「百聞一見に如かず」とかいふことがあり
	.	032	16	全世界の地理をザットお話し申しました	. 節酒会を賛成するの趣意明治十八年三月二十二日
	.	123	07	に付ては沢山に色々なことがありませう	. 節酒と云ふことは先刻湯本さんの演説にも言はれ
	.	037	15	細胞）と云ふものが集合して出来て居る	. Ｃｅｌｌと云ふものは矢張り一個独立の活物で有
	.	106	02	判で無いといふことが明かでありませう	. 千八百五十四年に英国政府に於て制定されたる商
	.	109	03	ふことはドンナ愚鈍の者でも分りませう	. 千八百五十五年に英国政府にて頒布されたパッセ
	.	146	02	ふと随分利益も有る．また能く売れます	. 千部売れゝば大いなることは無けれども資本の取
	.	152	16	すが行政上の法律規則は始終変りませぬ	. 千七百九十年の大革命の時からのものがイマダに
	.	040	09	て野蛮の国と開けた国と全く違ふて居る	. 善と悪とが，まるでウラハラで有る．其の開けの
	.	065	08	するも偏に先覚者の方寸にあることです	. 先覚者たる者は能く事物の是非を淘汰し健康に害
	.	077	04	すものであるとかいふ様にも参りませぬ	. 浅近の例を挙げて見ますと勉強して金を拵へまし
	.	073	08	んせぬから甚だお聞き苦しう御坐んせう	. 先刻も卒業諸君の中で法律と経済との関係といふ
	.	123	02	さまでむつかしいことでも有りますまい	. 先刻も人が参つて話しましたが其の人は木曽の三
	.	232	16	日は先づこれまで申し上げて置きませう	. 専修学校生徒卒業式祝辞明治二十年七月十三日専
	.	204	02	の代りに星占学と云ふものが有りました	. 星占学とは星で占をする学と云ふことで実は学で
	.	235	17	事柄を知ると云ふことが容易で無かつた	. 先生と云ふものも無く本と云ふものも無い．初め
	.	237	11	人は右二つの大難事が全く消滅しました	. 先生もあり，本もあり，西洋語でやらうと，日本
	.	098	13	憤怒となるも蓋し当然のことであります	. 全体我が日本人は友愛のこゝろに富むで居ります
	.	185	10	ふことは思ひも寄らぬことで御坐ります	. 全体，日本にはドウして此のやうな悪風が始まつ
	.	104	01	といへば英語を盛んにするのであります	. 前段にも申したるが如く日本人は浮薄の本性を備
	.	108	10	事実を考へるのは敢て難いことでは無い	. 船長運転手等は我々同胞に再三端艇に乗ることを
	.	108	14	ウいふことを攻究しなければならないか	. 船長等の指図に従ふより外はありますまい．然れ
	.	183	13	於ては決して男女の区別は御坐りません	. 双方共に貞操を守るの義務あるもので御坐ります
	.	270	14	及を図ることが第一の仕事でありまする	. 俗に智識がひろまるほど不良の奸智も殖ると申す
	.	014	15	離はと言ふと現に既に測量して有ります	. 測量をしますとはドンナことかと言ひますと地球
	.	002	12	を廃さうといふものなら何でも左袒する	. そこでナゼそんなに漢字を嫌ふかといふ問題にな
	.	003	06	る時間も有り遊ぶ時間も無ければならぬ	. そこで内八時間寝て八時間遊んで八時間勉強する
	.	011	10	の表面の一部分だ」と言ふで有りませう	. そこで其れから先き「地球は何の一部分だ」と問
	.	013	03	，ひつこんだ所とふくれた所が有ります	. そこで直径を知つて居りますと幾何学を少しやつ
	.	014	14	距離を測るのが第一番のことで有ります	. そこで月までの距離はと言ふと現に既に測量して
	.	015	05	んでドンナに遠い所までも測量致します	. そこで地球と月とありますに地球の表面に於て二
	.	016	05	十一に割つて其の三つにほか当りませぬ	. そこでザット地球と月との位置を比べて見ますと
	.	018	09	分と貴んでも我々は恥る所は有りませぬ	. そこで太陽のグルリを地球が回つて居る，其の一
	.	018	11	ます間が即ち一年と言ふもので有ります	. そこで太陽が地球を引きつれて居るばかりで外に
	.	021	07	も無ければ其れの方が却つて解しにくい	. そこで地球の表面に我々の住つて居ると同様に火
	.	022	02	ズット進んだのが有るに違ひ有りませぬ	. そこで其の通りにイクラも地球の仲間が有ると云
	.	027	04	し時間を費さないで行つたら不思議です	. そこで明りが或る所から出て或る所に達するには
	.	028	02	へば平均の上では大違ひは有りますまい	. そこで色々な星の明りの分量を比較して段々と距
	.	028	08	遅い新聞を受け取る様なことが有ります	. そこで此等の星を観測して見ると中には面白い星
	.	029	05	る惑星があると云ふことが察せられます	. そこで我々の太陽の同士が即ち此の星と云ふもの
	.	030	12	取りまいて居る様に見ゆる筈で有ります	. そこから見ますとアマノガハは星のかたまりで太
	.	031	13	と方角の違つた様に見ゆるのも有ります	. そこで又アマノガハの中にも大分瓦斯体であつて
	.	035	17	酒を飲んではそんなことは出来ますまい	. そこでヒロソヒーでは「大いなる社会は大いなる
	.	037	08	せばネーション即ち国民と云ふことぢゃ	. そこで此のネーション即ち社会を動植物の如き有

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	037	12	々が此の如き説を主張して居ることぢゃ	. そこで社会は実に動物植物の様に生きて居て生滅
	.	038	02	機物ぢゃと云ふことを知るべきことぢゃ	. そこで日本国民は日本国民と云ふ一つの有機物,
	.	040	02	で何でも強いのが徳義で有りたと見える	. そこで事柄が一つぢゃから随ふて字が一つぢゃと
	.	043	11	は必ず道徳と云ふものが附き添ふて居る	. そこで十分開けた．耶蘇教では仮令敵でも愛せね
	.	048	01	様な有様になりて互に利害の関係が有る	. そこで今日国と国との間には道徳に合はないこと
	.	077	05	はれると矢張り己れの財産にはならない	. そこで法律と経済とは社会上同一に必要なもので
	.	108	04	も亦マーダーと為す如きものであります	. そこで自分は今ノルマントン号の船長ドレーキ等
	.	125	02	の妨げと邪魔になるものも亦少なからず	. そこで私今専ら弁じたいと思ひまする所は則ち若
	.	134	01	一切皆な喜んでこの人に任せて置きます	. そこで私が基督教を見たので有ります」と答へま
	.	135	17	が縦横にチャンと引つ張つて御坐ります	. そこで見物人が表の口にはいり裏へ出まして其の
	.	145	04	一つの小説改良会を組み立てるが宜しい	. そこで互に討究して智識を交換するが面白からう
	.	159	14	十万年位かゝつた証跡があると言ひます	. そこで天主が一時にこしらへたと，いふことは出
	.	169	06	，さういふ風に方向を取つたに違ひない	. そこにまた疑ふといふものは我が日本の海外貿易
	.	197	15	ｔｏｎから惑星の運動の律が分りました	. そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動のことを発明し
	.	198	13	形ちで，抛物線はコンナ形ちで有ります	. そこで彗星が惑星と同じもので有りますなら是非
	.	199	16	かと云ふのが其の時の問題で有りました	. そこでＮｅｗｔｏｎの友だちのＨａｌｌｅｙが千
	.	204	05	主の俸給をお殖しなさい」と言ひました	. そこでＬｏｕｉｓオヒトヨシは大心配をされて，
	.	223	14	劇の有様を見るに足るもので御坐います	. そこで操人形と云ふものが慶長の時分から有つた
	.	233	09	ラも専門の学校が出来たことで有ります	. そこで私立学校では重もに日本語で教ふることで
	.	234	01	ければならないと云ふことを言ひました	. そこで私が答へましたには其れは甚だヲカシイこ
	.	235	03	になればソコに至るのは必然で有ります	. そこで此の専修学校は日本語を以て教ふる専門学
	.	213	14	応じなければならないもので御坐います	. ソコデ少し小説と演劇と違ひが御坐います．維新
	.	215	16	らうと思つても海を渡ることが出来ない	. ソコデ計略を考へて或る日，鰐と相談をして「貴
	.	218	11	，仮名文は女が書いたもので御坐います	. ソコデ物語は婦人の作が多い．其れゆゑ先づ婦人
	.	247	02	圧しつぶすと云ふことが有つたさうです	. ソコデ今，此の母親を捕へて処刑し監獄に入れた
	.	008	17	いが，むづかしい漢字はよして貰ひたい	. そして傍ら仮名か羅馬字で綴つたものを短い言葉
	.	125	01	りませぬ．逆風に妨げられる所もあらう	. 卒業生の助けになるものが多けれども其の妨げと
	.	128	13	か無いかと問ふことも宜う御坐りませう	. 卒業生が各国の学者たちの判断を待ちまする間に
	.	131	14	せぬ．第五．また善い仕方が御坐ります	. 卒業生が学術のよくシッカリした事実を取つて而
	.	132	01	皆な此の仕方を用ふるもので御坐ります	. 卒業生若しよく謹んで無証拠な設理を避けて学術
	.	168	06	本もモウ其れきりに望みはありますまい	. その新しい物の我が日本に入り来つたのは三百年
	.	001	11	へが無いなら会員になつては居りませぬ	. 其の考へはもとより参議方どころでは無く天子様
	.	003	07	八時間寝て八時間遊んで八時間勉強する	. 其の八時間を百般のことに使ふ訳にはいかない．
	.	008	14	年になつたら仮名か羅馬字になるだらう	. 其の用意には今から子供に教ふるに一つには字も
	.	014	03	陽，月，星，アマノガハなどで有ります	. 其の中一番近いのは月で有ります．この月と云ふ
	.	019	14	だけが昔し五星と言つたもので有ります	. 其の後ち天王星，海王星と言ふものが発見になり
	.	022	10	の所に置いたのが水星の雛形になります	. 其の次ぎは宵の明星即ち金星で有ります．これは
	.	022	12	も，大凡は地球と同じと言つても宜しい	. 其の次ぎは地球で有ります．これは三丁半，半は
	.	022	13	三丁と十四間程で大きさは即ち一寸の玉	. 其の次ぎが螢＊惑星即ち火星で太陽の雛形から四
	.	022	16	から木星に移る間に距離が離れて来ます	. 其の間に非常に小さな惑星が有ります．其の数は
	.	022	17	．其の間に非常に小さな惑星が有ります	. 其の数は夥しいことで今日まで発見になりました
	.	023	04	て地球からの距離は太陽よりは余程遠い	. 其の次ぎに土星は三十一丁の所で木星より小さい
	.	023	05	より小さい，幾ど九寸三分程で有ります	. 其の次ぎが天王星，これは三寸八九分の玉で距離
	.	024	10	を並べた様に四つとも一直線に見えます	. 其の次ぎには土星これは余程贅沢な星で八つほど
	.	024	12	は親父で惑星は子，衛星は孫であります	. 其の中で地球は第何番の子だと云ふことも知れま
	.	029	06	と云ふもので有るといふことが分ります	. 其の同士は非常に沢山あるのですから太陽系みた
	.	033	14	総て酒を飲むことが慣習になつて居ます	. 其の外，近来国を開化させるとか文明にしようと
	.	038	01	で動植物のＣｅｌｌと全く同じことぢゃ	. 其の様なる訳ゆゑ社会は全く動植物同様にＣｅｌ
	.	038	08	し来り漸々に進化したるものぢゃと云ふ	. 其の証拠には道徳の開けた人民と開けぬ人民が有
	.	039	03	強盗などをする者を貴ぶ社会さへも有る	. 其の様な社会では強盗をする者が一番貴ばれる．
	.	039	06	多いことで其れが善いことになりて居る	. 其の様な社会では殺す者が善人で殺さぬ者が却り
	.	040	06	で一人の女房を共有して居る社会が有る	. 其の様な社会では男女共同の方が正しいので若し
	.	040	10	る．善と悪とが，まるでウラハラで有る	. 其の開けの度に応して道徳善悪が定まることで其
	.	041	05	度は彼様な風習を通りて来たに違ひ無い	. 其の時，孔子や耶蘇が言ふ様なことをして居たな
	.	041	06	をして居たならば其の社会は立ちはせぬ	. 其の時の道徳は其の時に適せねばならぬ，開けぬ
	.	048	12	すれば世界が大きな一個の有機物になる	. 其の時に至りたら一つの国は有機物の一部分ぢゃ
	.	052	09	にした人はこの時に差しつかへてしまふ	. 其の外秦の始皇に出かけられたと思ふと大層な不
	.	052	12	とやる様になり手紙を書くにも甚だ困る	. 其の外一旦に大決断をやるのは宜い様で御坐りま
	.	052	13	，いろいろまた困難のことも起つて来る	. 其の訳は全体この御国はもと古事記日本書紀より
	.	052	17	を書いたのが流れて来たので御坐ります	. 其の間に平仮名を使つたのは草紙物語より出でま
	.	054	11	ら三角術までも仮名で書いた本がほしい	. 其の外，天文，地理，本草，地質もつと欲深く鉱
	.	054	14	ですが漢字が無くなると孝経がなくなる	. 其の時，修身はといふと仏道と耶蘇，其の仏道を
	.	067	04	業式に招かれましたことが御坐いました	. 其の後はコチラに居りませぬ故に其の後の卒業式

代表形	判	ページ	行			出現文脈
(.)	.	073	13	至つては必ずしも同一とは言はれませぬ	.	其の同一で無いと言ふことに付ては一己説では御
	.	075	04	けるとかいふことをしなければならない	.	其の他，雨がふりつゞいて田地を耕すことが出来
	.	076	04	で徹頭徹尾違ふといふ訳では御坐んせぬ	.	其の訳は右の如く申して参りますと経済学はドウ
	.	079	09	は進歩と云ふことが聊かも御坐りませぬ	.	其の進歩すると云ふことは実にひろく世の中に行
	.	079	13	の進歩と云ふものは何で御坐りませうか	.	其のワケはドウいふもので御坐りませうか．先づ
	.	083	07	た．支那人決して愚人では御坐りませぬ	.	其の智慧も随分明らかに御坐りますけれども本当
	.	085	12	ず三つの段或は三つの仕方が御坐ります	.	其の一は人の悪しき性質，人の損害になる原素，
	.	096	02	意及び殺害の所為が無ければなりませぬ	.	其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀殺又は故殺に
	.	096	06	殺したることは之を証せねばなりませぬ	.	其の暗礁に乗りあげてより沈没に至るまで充分の
	.	096	16	証拠の蒐集に尽力することで御坐ります	.	其の証拠が充分なるに無罪と決するなら充分駁撃
	.	101	01	かといふに其の原因は二つあらうと思ふ	.	其の一つは何であるか．兎角日本人は真面目でな
	.	116	05	などは至つて宜しいものだと思はれます	.	其の訳は節酒会といふ申し合せが有ると，なるた
	.	122	02	でも少いことでは有るまいと思はれます	.	其の外に売淫女などが殖えます．これは外のこと
	.	122	09	に罹つて死んだと云ふことで有りました	.	其の外御承知の通り卒中だの中風だのと云ふ病を
	.	124	10	た通りのことを経験いたさうと存じます	.	其の一つはこれで御坐ります．彼の卒業生が其の
	.	128	09	知するまで待つ方が宜しう御坐りませう	.	其の外に学術の色々の論の中にたゞ一人か二人が
	.	131	06	は如何なるもので御坐りませうか．第四	.	其の一つの至極よい仕方はこれで御坐ります．洋
	.	131	12	係の本当の道理は分ることが出来ませぬ	.	其の両方の論を読む者は世の中の色々の激しき論
	.	139	17	言ふことをお看認めになるで有りませう	.	其の効力と言ふものは兎に角ナポレオン三世を逐
	.	140	15	多くは作者自ら為したことと思はれます	.	其の時分には日本ではまだ小説の地位と言ふもの
	.	143	03	星辰山水の現象を写すが如きもので有る	.	其の流派にも南北宗或ひは狩野派其の他種々の流
	.	143	06	きもので種々雑多の情を起すに遑ひ無い	.	其の情を有りのまゝに写すが小説と云ふ美術で有
	.	145	05	に討究して智識を交換するが面白からう	.	其の中にまた和漢洋兼備の先生たちを撰り出して
	.	145	07	之を出版せしめ続々売り出すがよからう	.	其の中には段々小説の真面目を顕はす様にもなり
	.	156	16	んでトウトウ地が回るのだと言ひ出した	.	其の時はみんな驚いたネ．たゞの者が驚いたとこ
	.	157	14	れから，まだ四百年にはなりませんテネ	.	其のお弟子のガリレオ，これは支那では明の時分
	.	158	05	ものでも無いが狂ふと極点が違つて来る	.	其のかはり今，知れんことはまだ知れん，まだ知
	.	160	02	るとタマシヒのことで，なければならん	.	其のタマシヒは天に上るものであらうか，死んだ
	.	161	14	には酒の上から人を斬つたことが有つた	.	其の後，旗下ぐらゐでも酒の上で家来などを斬つ
	.	162	03	のが酒のことに付て文章を為した元祖だ	.	其の酒詰は至極面白い文章では有るが，むづかし
	.	168	01	て御覧なさい，日本はヤミになりませう	.	其の外，色々ありませうが先づそんなものです．
	.	168	08	の勢ひが弱くて振ふことが出来なかつた	.	其の後，二百六七十年すぎて北亜米利加合衆国の
	.	170	01	めやうといふ考への者のやうに見えます	.	其の亜米利加に行く者の中には随分下等の人物も
	.	173	16	動をしなければ，ならぬことがあります	.	其の訳はといふと我が国の人数が年々増しに増し
	.	177	04	また変つた有様を見ることも出来ませう	.	其の年々の大数を得るに従つて其の運動の有様に
	.	178	03	ならんと笑ふの類に止まるは面白からず	.	其の頃の時代なれば兎もあれ，今日の文明たゞ一
	.	182	17	を蓄る力があつたらドウで御坐りませう	.	其の結果は実に思ひ遣られます．また我々の最も
	.	186	11	つては更に高下の別なきことを教へます	.	其の他に尚ほ例を挙ればキリスト教に於ては女子
	.	188	11	といふものは他の二つの大権力を定める	.	其の二つの大権力といふものは立法権と執行権と
	.	192	12	，これも公議輿論に従ふといふことです	.	其の議決したことは天子みづから御親裁といふこ
	.	192	16	在るので執行は天子がなさつて居られる	.	其の下に文武百官を使つても執行権は天子が持つ
	.	196	10	とがイクラも書物などに書いて有ります	.	其の様にこはがりました所以は畢竟，品物の性質
	.	200	01	の八月に出ました彗星で勘定をしました	.	其の時に観測をした人はフランスではＰｉｃａｒ
	.	200	02	ではＦｌａｍｓｔｅｅｄなどで有ります	.	其の観測の結果を取つてＨａｌｌｅｙが調べまし
	.	202	05	ゝと云ふことを勘定する式を与へました	.	其の式によつて勘定を仕出さうと云ふに随分大変
	.	204	01	綽号でオヒトヨシと云ふことで有ります	.	其のオヒトヨシと云ふ帝の時には天文学の代りに
	.	204	07	かしてトウトウ三年の後に死なれました	.	其の後に出ました一番の大きいのは千五百三十一
	.	206	07	番大きな道をあるいて居るので有ります	.	其の後発見しましたのはＥｎｃｋｅのよりは大き
	.	206	14	方にいつてトウトウ見えなくなりました	.	其の後に天文学者がモウ戻つて来さうなものだと
	.	207	02	いつたか今度は全く見えなくなりました	.	其の後も待つて居りましたがドウしても見えませ
	.	207	15	分らなくしてしまつたやうに思はれます	.	其の星が隕ちたと云ふのは今言ひました流星と同
	.	208	13	ん．彗星は大抵頭と尾と云ふものが有る	.	其の尾と云ふは即ち箒の形ちになつて居る所で頭
	.	211	13	時間が六時間，居つたに違ひ有りません	.	其の時に日本あたりは昼で有つたがフランスやイ
	.	212	05	其れも地球の一部分だけかも知れません	.	其のぶつつかる所の人たちの為めには実に気の毒
	.	212	14	をするのも随分面白いことで有りませう	.	其の時こそ学問も今日より進んで彗星の物理学上
	.	216	01	隠岐から因幡の方へ一パイになりました	.	其の上に兎が乗つて一つ二つと勘定をしながら行
	.	216	17	物語と云ふツクリモノが出来て来ました	.	其の中，竹取物語が始めで源氏物語にも物語の出
	.	217	01	にも物語の出来始の親と記して有ります	.	其の作者は分りませぬが文体の古雅な所を見れば
	.	217	11	説を編み立つた始めで有らうと思ひます	.	其の次に古いのは宇津保物語で，此の作者は源の
	.	218	10	やうと云ふ心組で作つたものと見えます	.	其の時分には男は漢文で書き，仮名文は女が書い
	.	221	11	の小説は全く地に墜ちたものと見えます	.	其の時分，京伝は元来，洒落本，草双紙の作者で
	.	221	13	後には画入読本と云ふものを作りました	.	其の趣向は重もに浄瑠璃本に出たもので有るから
	.	223	08	の成り立ちとも云ふべきもので有ります	.	其の後，女歌舞伎，若衆歌舞伎などと云ふものか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	223	10	改め，京と江戸とに狂言座を立てました	. 其の始めは踊とヲカシミとが主になつて居つたが
	.	228	15	府県知事の下役のやうなもので有ります	. 其の郡の下に町村が有ります．この町村の区別に
	.	230	01	これは内地の区のやうなもので有ります	. 其の外間切と云ふもの即ち内地の郡の如きものが
	.	230	06	海軍区に一つの鎮守府を置いてあります	. 其の外，裁判区山林区，学区など色々あります．
	.	230	07	，裁判区山林区，学区など色々あります	. 其の外，行政上で無形人と認むるものは全国，府
	.	235	15	したことと云ふものは一と通りでは無い	. 其の大難事は二た通りで有つた．第一は書物を読
	.	236	02	語を仮名で書いたことださうで有ります	. 其の様の次第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古も実
	.	236	15	学をした為めに災にかゝつたので有つた	. 其の外，西洋学をした為めに藩を逐はれ，また苦
	.	242	05	十名の前に於て一場の演説を致しました	. 其の演説の大趣意は其の時の諸新聞に出ましたが
	.	242	12	まする．此の学をペノロジーと申します	. 其の意味は刑の学，即ち刑を執行するの学問と云
	.	244	14	益に関することを総て執行いたしまする	. 其の中にても殊に秩序安寧のことが著しきもので
	.	247	03	捕へて処刑し監獄に入れたと御覧なさい	. 其の母親は右等のことに無頓着で有りますから「
	.	247	11	人心の改良を図りまするもので有ります	. 其の第一は懲戒法と申しまして罪人を懲らしめる
	.	247	15	部の道具じかけを用ふることと致します	. 其の第二は，教誨法即ち心の教育法で有りまして
	.	253	09	させるのが宜しいと云ふ実験が有ります	. 其の故は種子を蒔いて之を世話をして其の実を収
	.	253	17	出ました者の中で種類が三つ有りまする	. 其の第一は資金を多少有する者，第二は資金のな
	.	257	01	すると，これ亦，二種類しか有りませぬ	. 其の第一の種類は天然の貧民で有りまして，例へ
	.	261	03	に於て誠に必要の点で有らうと思ひます	. 其の方法は異名又は番号を以て行つても宜からう
	.	262	01	しては監獄のことをプリゾンと申します	. 其の意味はツカマへておく場所と云ふことで有り
	.	262	10	しまするに其の方法が四通り有りまする	. 其の第一は分房法と云ひまして，これは一房に一
	.	263	15	事業の分ち方はこれまた四部となります	. 其の第一は犯罪予防部と申しまして，此の部に於
	.	266	02	は二つの場所にて之を執行いたしまする	. 其の甲の場所は矯正院（則ち俗は感化院と申すと
	.	266	06	此の所に於ては幼年犯罪者を入れまする	. 其の方法は最初は分房法を用ひ沈黙させて其の所
	.	267	01	これには必ず分房法を適用いたしまする	. 其の趣意は未決者はまだ罪人では有りませぬ故に
	.	274	16	直轄と定め以て大いに改良を加へました	. 其の二国の改良の中で最も重もなる者は一房一囚
	.	275	10	られましてから非常の改良を加へました	. 其の後，内務省に於て各府県の典獄，即ち監獄長
	.	276	12	の罰に止めて然るべきことと考へまする	. 其の他，何事につけても此の大原則を了解しませ
	.	080	01	の方へ段々と進んで行くことを申します	. 抑も昔よりこのかた人間社会の種々の進歩に気を
	.	113	12	を節するといふことは至つてむつかしい	. 抑々飲食は人類ばかりで無く広く動物にも通ずる
	.	116	16	ふことが一つ殖えて来るからのことぢゃ	. 抑々約束を破らぬといふことはヤッパリ人類の高
	.	003	10	あとは五時間になるのは知れきつたこと	. それで今我が国の有様を見るにドコへ時が一番か
	.	003	13	ば直に分ること，考へなければ分らない	. それで今我が国の有様で居ますと文字を習ふヒマ
	.	004	06	と共に競争をやつて居なくてはならない	. それに平気になつて多くの字を頭に繰り込んで唐
	.	035	07	のと，よく事実に合ふことで有りませう	. それで酒を飲む者は無欲だといふことがよく分り
	.	042	15	．政治上のことは法律でゆく様になりた	. それから後，欧羅巴では政治上のことに至りては
	.	085	11	明開化の所へ進み行くことで御坐ります	. それから続いて改良と進歩とに付て必ず三つの段
	.	085	16	添へ加へること．此の三つで御坐ります	. それから，また完全なる進歩を成就する為めに道
	.	089	10	には基督教が極優れたもので御坐ります	. それのみならず真理の高尚なることなどを兼ねて
	.	154	02	行政の三つに付て講究しやうと思ひます	. それに付てはこれだけのスタチスチックを要する
	.	193	08	講談の目的でありませぬから後にします	. それから追々憲法を立るとか，またかういふこと
	.	215	17	眷族の多少競べをしやう」と云ひました	. ソレデ鰐が眷族を連れて来て隠岐から因幡の方へ
	.	004	12	者よりは余計に知つて居るに違ひは無い	. 其れでもそんな目にあふ訳なれば其れにも及ばな
	.	005	05	通りにやられてしまはなければならない	. 其れだから支那人に今まではお世話になつたがこ
	.	007	03	といふものが今日盛になつて来るばかり	. 其れだから役人などが地方へ巡回に出ると直に毛
	.	007	08	られ書けぬと百姓町人までが馬鹿にする	. 其れだから役所から帰ると字を習ふ．習ふと益々
	.	007	09	帰ると字を習ふ．習ふと益々上手になる	. 其れだから漢字を廃するのが益々イヤになる．其
	.	007	10	だから漢字を廃するのが益々イヤになる	. 其れでよいことで有るかは知りませぬが歎はしい
	.	007	13	位は反古にしようといふ意気ぐみになる	. 其れですから親王様や大臣参議方は滅多にお書き
	.	008	07	に往て見ると賑で押し返されぬ程の騒ぎ	. 其れは豆粒の中の盛なので外を見れば盛でも何で
	.	012	14	をしておかねばならないことが有ります	. 其れは地球の大きさのことで御坐います．地球は
	.	013	02	い所は三千二百三十七里と八分の一です	. 其れで地球は立派な球では無い，ひつこんだ所と
	.	014	06	知つて居つたのは先づ其の位なものです	. 其れから望遠鏡で月を見ると中々妙なもので肉眼
	.	016	13	だ少くて迚も我々の測量に届かないです	. 其れでは月の世界には．人間みた様なものは有る
	.	016	14	様なものは有るであらうかドウであらう	. 其れは出さなくてもよい問題で有ります．毎度こ
	.	017	14	けれど太陽の方は地球よりも遙に大きい	. 其れのみならず月が地球のグルリを回つて居ると
	.	018	07	云ふことを桜井先生が講談になりました	. 其れが私の今申しましたことと同じ趣意で御坐い
	.	019	01	起るなどと言つて恐れたもので有ります	. 其れから宵の明星或は明の明星とも云ふ星で有り
	.	019	06	」と云ふのが此の星のことで御坐います	. 其れからまだ辰星と申しまして太陽のソバに居て
	.	020	14	ます．これなぞは全く地球と同じ事です	. 其れから火星と云ふ惑星の大きさはどの位かと言
	.	021	06	動物植物などもソックリ有るに違ひない	. 其れに若しも無ければ其れの方が却つて解しにく
	.	023	03	が明日はウソになりますかも知れませぬ	. 其れから木星は十七丁の距離に在りまして太陽を
	.	023	14	ぬ位だから小さいと言つたので有ります	. 其れでは太陽からして海王星までの距離は夥しい
	.	023	16	云ふに，さう言へない場合が出て来ます	. 其れは跡でお話ししませう．今まで申したことを

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	026	13	いふに不幸にして東京からは見えませぬ	. 其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で有りますが
	.	027	02	ら星学者は広大無辺の物さしを作ります	. 其れは何で有るかと云ふと明りの一秒時間に行く
	.	027	08	行きますにも二セコンドはかゝりませぬ	. 其れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来るには三年と六
	.	029	08	参ります．併しモウ少し分るものが有る	. 其れは何で有りますかと云ふと一体，星と云ふも
	.	029	16	せです，迚も銀などの及ぶことでは無い	. 其れも昔は銀河はどんなものだかよく知れなかつ
	.	030	05	な星がアマノガハの方に行く程多いです	. 其れからして此のアマノガハと云ふものは地球か
	.	030	07	つぶした様な形したもので有るさうです	. 其れだけは幾ど確に見ゆる様で有ります．其れに
	.	030	08	其れだけは幾ど確に見ゆる様で有ります	. 其れには譬へを取らないといけませぬ，こゝによ
	.	030	13	地球の仲間もそこの中に居るに違ひない	. 其れですから，さつきの問題をのばして「地球は
	.	031	02	者が沢山ある．併し肉眼では見えませぬ	. 其れからして又其れと類似したもので矢張り肉眼
	.	031	04	のかたまりの様に見えないのが有ります	. 其れは星雲と言ひまして近世になつて大層名高く
	.	031	07	ても矢張り雲の様に見ゆるのも有ります	. 其れとても矢張りアマノガハみた様な星のかたま
	.	035	11	か知れませぬが私どもは善いと思ひます	. 其れは外のことでも無い「大いなる社会は大いな
	.	036	03	いなる社会」と言つては通り兼る様です	. 其れを信仰する人が有れば其れまでのことですが
	.	039	03	な社会では強盗をする者が一番貴ばれる	. 其れのみならず強盗をする者が善で，せぬ者は悪
	.	039	04	で，せぬ者は悪と云ふことになりて居る	. 其れはナゼぢゃと申せば強盗をするほどの者で無
	.	039	07	す者が善人で殺さぬ者が却りて悪人ぢゃ	. 其れは如何なる訳かと云ふと開けぬ社会には人口
	.	039	13	ときに其の社会を保ちゆくことが出来ぬ	. 其れぢゃから働かぬ者を生かしておくと部落一般
	.	039	15	云ふ字が同じことで別に二つは無かりた	. 其れは剛勇即ち徳義と云ふことでありて行ひの正
	.	040	12	様な社会から変遷して来たのに違ひ無い	. 其れは今から言へば道徳に背いた様なれども全く
	.	041	10	，為めにならぬものは悪いこととなりた	. 其れも進化した国では分れて来るのが当然ぢゃが
	.	043	06	道徳のことが，おもになりて居る様ぢゃ	. 其れぢゃからドウも本当に分れたとは申せぬこと
	.	044	14	那の道徳にかなふて居るものと思はれる	. 其れぢゃから他人を利して己の利益を顧みる勿れ
	.	044	15	と云ふ主義も本当に行はれるもので無い	. 其れのみならず法律の主義も矢張り主義通りには
	.	045	05	の上で一般人民を害する法が有るのぢゃ	. 其れなら共和政治は公明正大ぢゃから其の様なこ
	.	046	08	悪い事をした人は到底害を受けるのぢゃ	. 其れぢゃから法律と道徳との本主義を云へば先刻
	.	047	04	他の利益を顧みる訳には参らぬことぢゃ	. 其れは固より当り前のこととせねばならぬ．其れ
	.	047	04	れは固より当り前のこととせねばならぬ	. 其れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く人も有る
	.	047	08	行はれぬのを歎くのは順序を失して居る	. 其れよりは一つに寄りて大きな社会を拵へる様に
	.	047	09	大きな社会を拵へる様にしたいものぢゃ	. 其れの出来ぬのを歎息するのが歎息の順序で其の
	.	048	15	話しなれども間違ひ無いことと思はれる	. 其れまでの間は各国が何分にも社会を異にして，
	.	053	05	にすることだか船の出るのだか分らない	. 其れと同じ理屈で「しぶんくゎい」と言ふとカラ
	.	054	03	を漕ぎ，畑へ弁当を持つて行く様になる	. 其れを用の弁ずるまで学ばさうとすると不毛の地
	.	054	17	を学んだが修身は支那よりは日本がよい	. 其れ故矢張り仮名で書いた修身の本を願ひたいと
	.	055	07	日だと思つても已むことを得ず教へます	. 其れはナゼだと申せば漢字の本をやめて仮名の本
	.	057	17	諸君に向つてお断り申すことがあります	. 其れは外でもありませぬが凡て話しと云ふものは
	.	068	13	なり少くも四年間実務の練習を致します	. 其れより第二回の高等官吏登用大試験及第の後試
	.	068	17	は平均三箇年を待たなければなりませぬ	. 其れはＡｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁判官となるに
	.	074	14	除くといふことは必要なことで御坐んす	. 其れを務めて除かむことを欲しまするには人を雇
	.	115	04	等を言へば至つて低いものに違ひは無い	. 其れだから人類的の欲を動物的の欲に勝たせなけ
	.	115	09	とだがモウ一つ人類に必要のことが有る	. 其れは外でも無い，人類といふものは品行をよく
	.	117	08	ち動物的の欲を節することが出来ませう	. 其れでこそ此の会が必要になることぢゃ．其れが
	.	117	08	其れでこそ此の会が必要になることぢゃ	. 其れが守れぬといふやうな人は仕方が無いが成る
	.	117	17	の類の人は禁酒会を設くるも宜しからう	. 其れは決して悪いといふでは無いが此の会はこれ
	.	119	07	めに趣向を考へることが出来かねました	. 其れで昨夜フト思ひ付いて今度は諸君に御相談を
	.	119	09	御賛成で有るなら何分お骨折を願ひたい	. 其れは外では無い矢張り酒の事で今も三島先生の
	.	120	10	辺は商家と云ふものは有りませんだつた	. 其れが只今ではあの通りに商家が出来て麦酒など
	.	121	09	弥々節酒の効能も起らうかと思はれます	. 其れに就ては酒の弊害の及ぶ箇条が有りますがド
	.	121	17	て居ります．実に結構なことと存じます	. 其れで警視庁の懲役場の罪人の上から調べて見ま
	.	144	10	と云ふものを高めておきたいと思ひます	. 其れには西洋の学問が第一入りまする．また西洋
	.	145	01	ぎこむ様にしたら宜しからうと思ひます	. 其れも急激に致したとて間に合ふ訳でも無いから
	.	145	09	政治を改良する様にもならうと思ひます	. 其れをするには困難するところが有ります．さし
	.	145	12	と云ふ作も有れど今の所ではこればかり	. 其れでも貴顕の人のお言葉がかゝつたとか何とか
	.	147	16	益になることが大いなることであります	. 其れからまた季候の如きにしましても季候を調べ
	.	152	05	三つに分けて研究しなければなりませぬ	. 其れで憲法との関係を一言して見ますと憲法では
	.	153	09	だとか，いふのは行政法で定めるのです	. 其れから人民の所有権は侵すべからざるものとい
	.	156	02	点といふと極意を言はなければならない	. 其れだからむつかしい．先づ一つ，むつかしいこ
	.	156	04	は天が円くつて地が四角だといひました	. 其れは天円地方と言つて支那以来のおキマリにな
	.	156	08	ら地の方で回つて，いくのださうでござす	. 其れが今では小学校のコレンバカリの小僧がたで
	.	158	04	学でやるのだからドウしても動きません	. 其れが学問の極点でござす．今日，三十七八科に及
	.	163	05	拠，酒を嗜んで狂乱の様子が有つた様だ	. 其れが信長の大疵だ．或るとき七合入の盃を出し
	.	166	08	間はドコまで開けるものか分りますまい	. 其れだから事実によりて色々に考へ種々様々な論
	.	169	05	らなければならないと云ふことが起つた	. 其れからして自由心が，さういふ風に方向を取つ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	170	15	ふばかり位なことであらうと思はれます	. 其れならばオースタラリヤに行かうか，どんな所
	.	170	16	たからといつて行くものではありませぬ	. 其れでは欧羅巴はドウだらう．欧羅巴は人民が多
	.	171	05	いふことは，むづかしからうと存じます	. 其れならドコの国に行くだらうか．学術を研究し
	.	171	13	北亜米利加に向つて行く因縁があります	. 其れはナゼかといふことを申しますれば北亜米利
	.	172	17	て恩を報ずることがあらうと思はれます	. 其れはなぜかといふと我が国人は古より恩といふ
	.	184	11	邦のやうに離縁の多い所は有りますまい	. 其れは兎に角に今日我が邦に於て離縁の造作ない
	.	188	10	関する事をきめる権力が無ければならぬ	. 其れをフランスではプーヴォアールと言ひイギリ
	.	189	02	法権の種類に属すべきものでありませう	. 其れから執行権の事は絶えず分れて居つたやうに
	.	189	06	ふといふ主義に違ひ無いやうに見えます	. 其れで立法権といふものは執行権と相対して独立
	.	189	16	て居る国もあり其の他，色々ありませう	. 其れで，この執行権の方になりますと執行権は共
	.	191	15	も調べたら色々面白いことがありませう	. 其れで立憲権力即ち一国に関することをきめる権
	.	192	11	以て万事を議することになつて居ります	. 其れからよいと思つたことは直言しろ肺肝を吐露
	.	192	14	権は天子にあるといふことで御坐います	. 其れから執行権は誰に在るかといふと天皇陛下に
	.	192	16	使つても執行権は天子が持つて居られる	. 其れで今日まで執行権は天子となつて居りますが
	.	193	03	り，ツマリ小田原になるといふことです	. 其れで執行権力が天子に在れば行政権も裁判権も
	.	193	06	ることは天皇陛下のなされることである	. 其れから裁判のことも無論，天子がなされるとい
	.	193	07	ことは前にも申し上げた通りのことです	. 其れから行政のことも天子がなされるですが行政
	.	197	02	とが知れゝばモウこはくも何もなくなる	. 其れと同じことで有ります．天文学は近来進歩し
	.	198	06	づくるには最も容易いテダテが有ります	. 其れは春の頃にタケノコがのびまして，まだ竹に
	.	198	11	と，これはモット早いテダテが有ります	. 其れは石を空に向けて斜に抛りますと真直で無く
	.	200	05	勘定した彗星のに，よく似て居りました	. 其れで，これは先に現はれた彗星に違ひないと云
	.	201	17	るきますが多少其れが為めに後れるです	. 其れでＨａｌｌｅｙの彗星も七十五六年目に戻つ
	.	202	07	，寐食を廃する位にして勘定をしました	. 其れも充分の計算にはゆきませんが多分千七百五
	.	206	03	を勘定しましたが抛物線では有りません	. 其れならば楕円かと云ふに楕円でよく合ひました
	.	206	04	合ひました．楕円ならば是非戻つて来る	. 其れならば前にも有るだらうと段々穿鑿をしまし
	.	206	08	ａｌｌｅｙのよりも小さいので有ります	. 其れからして，この外にイクラも有ると言ひまし
	.	206	13	を生んだと云ふ方が宜しう御坐りませう	. 其れは丁度サトイモに子の出来たやうな塩梅で親
	.	208	10	ふことはたゞ旅をした位では分りません	. 其れと同じことで彗星はドンナものか瓦斯体か固
	.	209	09	部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有ります	. 其れからして尾の長さのことで有ります．尾と云
	.	210	02	も説を述べられぬ一つの理由で有ります	. 其れからモウ一つ世間にやかましい問題が有りま
	.	210	03	ウ一つ世間にやかましい問題が有ります	. 其れは彗星が地球に突き当つて地球がこわれてし
	.	210	10	」などと騒ぎ立てたことなどが有ります	. 其れでエウロッパの通俗天文のことを調べる人は
	.	214	01	風俗を害するなどと云ふ説も有りました	. 其れから演劇と云ふものは維新前よりしてホンノ
	.	216	13	ことからして始まつたもので有りませう	. 其れから我が国に古く霊異記だの感霊録だのと云
	.	216	16	小説とは少し性質が違ふことと思ひます	. 其れから山城に都を遷されてから仮名文章と云ふ
	.	217	15	目を立てたのに拠つたもので有りませう	. 其れは源氏物語の標目は仏道に拠つたと云ふ旧説
	.	217	16	説の有るに倣つた私の臆測で御坐います	. 其れから色々の物語が出来ましたが今以て名高い
	.	219	02	，其れに付てチト話しが横道に入ります	. 其れは源氏物語の頃（一条天皇の時代）の風俗の
	.	219	07	なら，よさせると云ふやうなことが有る	. 其れで妻は大かた自分の家に引き取らないで親の
	.	219	16	歴史編纂などの大いなる資けとなります	. 其れからして保元平治物語，源平盛衰記，平家物
	.	220	11	て女子供のモテアソビモノとなりました	. 其れは画の方が重もで其の上へ説き明しを附けた
	.	220	15	しも此の頃に出来たものかと思はれます	. 其れから徳川時代になつて寛文，天和の頃より浅
	.	225	02	が強盗や情死でなくては面白がりませぬ	. 其れに劇場は金主が有つて儲けづくも有りますか
	.	227	06	づ只今の知事のやうなものが有りました	. 其れから封建の世になりまして或ひは州と云ひ或
	.	227	14	も異なる所は無かつた位の様で有ります	. 其れならば天子は何をして居られたかと云ふと真
	.	227	16	無かつたかとも存じられる所も有ります	. 其れなら徳川のやうな将軍は何であるかと云ふと
	.	228	05	数が多く有つたやうな有様で御坐います	. 其れで地方の区別を見ますと大名の下に今の郡長
	.	229	03	な此の数の中に籠つて居るとのことです	. 其れから村の数は五万九千三百八十ありまして合
	.	229	04	五百九十七の町村と云ふものが有ります	. 其れから区と云ふものが有ります．区は市街の大
	.	229	11	ば区は郡の下につくべきもので有ります	. 其れならば区は郡の中にあるかと云ふと中では無
	.	229	15	民の公撰すべきものでは無いと思ひます	. 其れから沖縄県内は前と別もので，これには那覇
	.	230	10	共有財産と云ふ名のものが有るさうです	. 其れを近ごろ調べて見ますと例へば十五の町村が
	.	231	05	は総て執行権に隷属するもので有ります	. 其れから，また施政は，一人，議政は数人でやる
	.	231	08	とか云ふ行政議会が有つて議政に与かる	. 其れから各省の大臣は行政事務を部分けして担任
	.	234	05	様な学校は何の益にも立つことでは無い	. 其れよりか今少したつと留学生も帰つて来るし日
	.	234	08	を講義として教ふるやうになるで有らう	. 其れで無ければ迚も日本語の専門学校と云ふもの
	.	234	16	用ひられるもので無いと思つて居ました	. 其れが段々開けて今日ではギリシャローマの言葉
	.	235	05	となつたは実に祝すべきことで有ります	. 其れに次では諸君の今日卒業されたことを祝する
	.	235	08	望しまするといふことを一言いたします	. 其れに付て序ながら昔の学者は多く骨を折つて，
	.	236	08	志が厚くつても思ふ半分も出来なかつた	. 其れが一つの大難事で有つた．モウ一つの大難事
	.	237	09	異にすることは驚くべきことで有ります	. 其れに反して御一新後，今日になつて学問をする
	.	237	15	の大利益となることだから申し分は無い	. 其れだから今日の学生は昔し厄を身に引き請けな
	.	241	11	るがよいと云ふことは沢山に有りまする	. 其れで先づ私が諸君にお話し致しまることは前

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	244	09	ず立法権の制定に係るもので御坐います	. 其れから第三は政治の執行で，これは内閣で定め
	.	244	13	執行は執行権の中の行政権に属しまする	. 其れから第六は全国の利益に関することを総て執
	.	250	16	施して此の罪人の心の教育を致しまする	. 其れに此の罪人は二年でよからう，また三年でよ
	.	253	14	府に沢山製造されまする訳で有りまする	. 其れから放免囚即ち監獄を出ました者の中で種類
	.	254	01	資金のなき者，第三は仕事を知らざる者	. 其れで，この第一の資金を多少有する者は長い間
	.	256	05	公けの救助，第二は私の救助で有ります	. 其れで第一の公けの救助と申しますものは全国，
	.	260	15	云ふことは最も必要で有ると思ひまする	. 其れは右の行政官に於てはコレコレまでは全国の
	.	262	17	何しても話しをしない訳には参りませぬ	. 其れで話しをするとロクなことは稽古しないと云
	.	251	05	に死刑に処するやうなことは致しませぬ	. 其れとも到底終身，心の改良は覚束ないだらうと
	.	182	05	出来た社会が治まらう筈は御坐りません	. それ故に今社会を改良するに最も必要なことは一
	.	016	04	月の直径は八百八十七里ほか有りませぬ	. 其れ故に地球の直径十一分の三，即ち地球の直径
	.	043	05	する主義ぢゃが其れは全く昔の主義ぢゃ	. 其れ故政府の上でも矢張り道徳のことが，おもに
	.	046	14	徳と法律とが進化して来て居ることぢゃ	. 其れ故ドウしても一つの社会を為さぬ者同士の間
	.	048	17	の維持と保存との為めに出来たものぢゃ	. 其れ故，社会を為さぬ者同士の間に其れが行はれ
	.	067	07	観まして大いに感ずる所が御坐いました	. 其れ故に私は聊か諸君に祝辞を呈し併せて私の感
	.	087	16	或はつまづくことは容易に御坐りませぬ	. 其れ故にまた箇様な論じ方に由つて見れば社会進
	.	139	04	用するときは甚だ深い害が出て参ります	. 其れ故今日の小説中に之は害の有るものと認めた
	.	040	14	維持と進歩とを謀りてゆくには必要ぢゃ	. 其れゆゑ今申した様に今日から見れば悪人とも云
	.	218	11	坐います．ソコデ物語は婦人の作が多い	. 其れゆゑ先づ婦人の心得になるやうに作つたので
	.	224	08	の見物するもので無いやうになりました	. 其れゆゑ維新以来は官からも不都合のことは禁ぜ
	.	002	06	あつたか，いろは会であつたか知らない	. そんならナゼ月の部へはいつたといふに私は別に
	.	051	14	簿ばかりでは盛大と私に於ては思へない	. そんなら一旦に仮名のみを用ひてモロコシ文字を
	.	022	06	海王星で十一億三千七百万里で有ります	. そんな大きな数を持ち出しても例の通り見当が分
	.	208	06	ドンナものかと調べるのは，むつかしい	. ソンナことを調べるのは，むつかしいが運動を調
	.	094	13	塁に於て悲歎に堪へぬことで御坐ります	. 他の乗組人は大抵助かつて居りながら我が人民は
	.	114	04	の人類が他の動物の通りでは言訳が無い	. 他の動物は却つて自然のものを食して腹が満つれ
	.	115	10	ければ，ならないといふことで有ります	. 他の動物は酒を飲まないが人類は酒を飲む．然る
	.	004	11	のさめたのでは無い眠つて居る蟻である	. だが其の蟻は字を知つて居ることは日本人の上手
	.	007	06	育を受けた者が十人に八九は有りませう	. だが実際裸にしてふるつて見たら字を書くことの
	.	034	17	飲んで大事業を仕遂げたといふ人は無い	. 大事業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲の深い
	.	025	14	から見ますと余ほどむつかしくなります	. 第一今度は物さしが地球の直径ではいけなくなり
	.	062	07	して上等社会をまねる様になつたのです	. 第二は身体運動は衛生上に必要なものと云ふこと
	.	062	09	の身体の価直の廉なるとは原因の二です	. 第三は衣服の歩行に適せざることです．諸君試み
	.	080	04	述べ而して後に本論に取りかゝりませう	. 第一．凡そ社会の進歩は一個人の進歩に由るもの
	.	080	09	歩せいで止まつて居る訳で御坐りませう	. 第二．人間の進歩の働き方，其の発達の仕様，其
	.	081	01	ゆべき方法は斯の如きもので御坐ります	. 第三．総て人間の進歩と云ふものは其の本心本性
	.	081	14	ます．また鞏固ならぬもので御坐ります	. 第四．人間の器量は様々にして其の常に為す所ま
	.	083	15	なければ完全なる進歩が迚も出来ませぬ	. 第五，また人間社会の進歩に付てかう云ふことが
	.	088	06	す故に其の中の重もなる所を申しませう	. 第一．先づ種々の進歩を致さうと思ひます人は己
	.	089	05	分らぬことが御坐りますまいと存じます	. 第二．また種々の進歩をせむとする御方は必ず賤
	.	089	12	れば進歩せぬことが決して御坐りませぬ	. 第三．また人の種々の進歩を励ます為めには人の
	.	090	03	つて進歩せぬと云ふことが御坐りませぬ	. 第四．また人の進歩を助くるには人の導きになる
	.	090	10	は必ず種々の進歩をする訳で御坐ります	. 第五．種々の進歩を致さうと思ふ人には一つの立
	.	090	16	歩せぬと云ふことが決して御坐りませぬ	. 第六．併しながら種々の進歩を成就する為めには
	.	091	06	古今に箇様な例は実に夥しう御坐ります	. 第七．併し人間社会の進歩は一個人と社会とを論
	.	107	11	ホミサイドを分つて四種としてあります	. 第一種をジャスチファイァブル，ホミサイドと言
	.	107	13	令に依つて人を殺すことなどであります	. 第二種をエキゼキューサブル，ホミサイドと言ひ
	.	107	15	弁別なしに人を殺すなどの類であります	. 第三種はメンスローターで，これは世間で「殺人
	.	108	02	のもあれば或ひは終身徒刑のもあります	. 第四種はマーダー即ち謀殺でありますが，これは
	.	126	10	上げ，また兼ねて其の得失を弁じませう	. 第一．年若き卒業生の中に珍らしい勇者が御坐り
	.	127	12	者の仕方をよしとすることは出来ませぬ	. 第二．また或る説教師は総て学術の趣意を感心し
	.	129	04	るもの，またタシカなもので御坐ります	. 第三．また只今説いた所に丁度反対したる仕方が
	.	131	05	る仕方は如何なるもので御坐りませうか	. 第四．其の一つの至極よい仕方はこれで御坐りま
	.	131	13	に不安心なることは滅多に御坐りませぬ	. 第五．また善い仕方が御坐ります．卒業生が学術
	.	132	03	す．この仕方の益は少なく御坐りませぬ	. 第六．また総て神学卒業生は常に研究する所の新
	.	132	15	も真を立てる方がよい仕方で御坐ります	. 第七．基督教の反対論に答へるには最もよいもの
	.	151	03	すが其の実際に至ると甚だ広いものです	. 第一行政法の中に，はいるものは日本の行政法の
	.	151	08	す．併しこれは文字の定義のお話しです	. 第二は此の公法の原則，即ち憲法で定めた原則を
	.	151	11	の法律規則で行はれるやうにするのです	. 第三は無形人即ちモーラル，ペルソンヌでこれは
	.	152	01	憲法との関係を調べなければなりませぬ	. 第二には行政官吏，行政議会，行政裁判所の組織
	.	152	02	の組織職務を研究しなければなりませぬ	. 第三には憲法で，きまつて居る原則，例へば政事
	.	152	04	政法律規則を研究しなければなりませぬ	. 第四には全国，府県，町村を所有者，負債主，債
	.	184	04	制を取り除かんとするもので御坐ります	. 第二には聖結婚の教即ちキリスト教に於ては結婚

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	185	14	スト教の力を借りなければ，なりません	. 第三には男女同等の教で御坐ります．前の弁士も
	.	190	02	政治をきめて執行するといふものである	. 第二は行政府である．これも法律規則の執行を為
	.	190	05	の法律規則を執行するのが行政府である	. 第三には裁判権であります．裁判権の性質は執行
	.	235	16	は無い．其の大難事は二た通りで有つた	. 第一は書物を読んで事柄を知ると云ふことが容易
	.	244	10	めた政治を実際に行ふことで有りまする	. 第四は憲法の執行で，これは憲法に於て定めたこ
	.	244	11	めたことを実際に行ふことで有りまする	. 第五は裁判の執行で，司法権に於て罪人あるとき
	.	257	17	ぶる如くに定むべきものと考へられます	. 第一，貧民の救助．これに二つの種類が有りまし
	.	258	02	せざる者，又は親族の無き者で有ります	. 第二種は貧病人にして親族の救助し能はざる者，
	.	258	04	せざる者，又は親族なき者で有りまする	. 第二，貧民の救助，兼犯罪人の予防．此の両性質
	.	258	07	助せざる者，又は親族なき者で有ります	. 第二種は不良少年にして親族の矯正なき者，又は
	.	259	09	次の如く定めたら宜しからうと信じます	. 第一，救助其の宜しきを得て濫救の予防を主とし
	.	259	10	を主とし惰民製造の予防に注意すること	. 第二，土地の区域を定むること．これは東京の養
	.	259	12	民を救助すると云ふ如きことであります	. 第三，救助の人数を時節によつて定限すること．
	.	259	17	と云ふことに，きめたいもので有ります	. 第四，救助費の額を定むること．これは最も必要
	.	260	04	補ふとも引き足らないやうになりませう	. 第五，必需入額及び予備入額の備はりたる上は更
	.	260	13	かは宜しく注意すべきもので有りまする	. 第六，監督者を設くること．これは相当の方法が
	.	261	01	使ふと云ふことの無いやうになりませう	. 第七，被救助者の姓名は役員の外，他人に知らし
	.	262	13	すとキチガヒになる者が多く有りまする	. 第二は緘黙法と云ひまして，これは昼間は厳密な
	.	263	02	法はアマリ面白くないもので有りまする	. 第三は雑居法と云ひまして，これは多くの囚徒を
	.	263	06	方法は最も不完全なるもので有りまする	. 第四は階級法と申しまして，これは分房法と雑居
	.	264	05	育をも施しますことになつて居りまする	. 第二は懲必＊感化部と申しまして，此の部に於て
	.	264	07	て則ち俗に称する所の監獄で有りまする	. 第三は未決者監禁部と申しまして，此の部に於て
	.	264	09	決者を一時監禁しておくので有りまする	. 第四は出獄人授業部と申しまして，此の部に於て
	.	266	16	いときには仮出獄を許すことで有ります	. 第三の未決者監禁部の事業は警察署の留置場，及
	.	267	07	は必ず分房法を用ひなければなりませぬ	. 第四の出獄人授業部の事業は慈恵上より成り立つ
	.	268	12	はこゝに於て執行することも有りまする	. 第二は地方監獄で有りまして，こゝには通常の罪
	.	271	15	られたる者を留め置くこともありまする	. 第二，監倉．これは未決者を拘禁して置く所であ
	.	272	01	ります．故に之を未決監とも申しまする	. 第三，懲治場．こゝには刑法に於て不論罪懲治者
	.	272	02	者（未丁年）を懲治する所でありまする	. 第四，已決監．こゝには懲役の刑，及び禁錮の刑
	.	272	04	に処せられたる者を拘禁して置きまする	. 第五，集治監．これは徒刑，流刑，及び禁獄の刑
	.	007	14	方は滅多にお書きなさらぬ様に願ひたい	. 大臣参議が碁を好むと属官までが碁をうち，大臣
	.	208	07	つかしいが運動を調べるのはヨホド易い	. 大抵の人が時計を持つて汽車の出る時に時計を見
	.	227	08	襲知事のやうなものになつて居りました	. 大名の上には将軍と云ふものが有りましてイクラ
	.	227	11	と云ふことが歴史などに見えて居ります	. 大名は何であるかと云ふと，テもなく一地方の君
	.	017	05	と我々の目につくものは太陽で有ります	. 太陽は距離を精密に測量することの出来るものの
	.	017	17	我々が太陽の家来と言はざるを得んです	. 太陽と云ふものは非常に明るい非常に熱いもので
	.	024	12	王星に四つ海王星に一つしか見えませぬ	. 太陽は親父で惑星は子，衛星は孫であります．其
	.	198	08	すと其の切り口が楕円の形ちになります	. 楕円は先づ円のやうなものですが細長いもので，
	.	206	03	ば楕円かと云ふに楕円でよく合ひました	. 楕円ならば是非戻つて来る．其れならば前にも有
	.	234	03	云ふやうでは迚も十分なことは出来ない	. タカダカ中学ぐらいなら出来るかも知らぬが中学
	.	236	14	自分の命まで取られるやうな人が有つた	. 高野長英や渡辺華山なども西洋学をした為めに災
	.	015	14	ては，どの位の距離だか少しも分らない	. だから寸や尺で間に合はない処は間で測り，間で
	.	217	02	所を見れば延喜以前のもので有りませう	. 竹取物語の大意は竹取の翁と云ふ人が竹を割つた
	.	008	08	の盛なので外を見れば盛でも何でも無い	. 他国の有様を見れば気違ひにでもならなければな
	.	211	09	ホド稀なことと云はなければなりません	. 確には分りませんが双六や其の外のアタリハヅレ
	.	002	08	からといつて左袒したといふ訳でも無い	. たゞ月の部は人数が多い，雪の部や花の部は人数
	.	042	16	徳のことを以て責めると云ふことは無い	. たゞ自分の利益を謀ることは固より許すが其れが
	.	051	04	とんと演説を致したことは御坐りませぬ	. たゞ生徒を集めて講釈を致したことは御坐ります
	.	051	08	れましたから今日私はそこは申しませぬ	. たゞ愈々広く益々盛んに此の会の成りゆくことを
	.	053	09	ばならぬ所は気を短くする所も有ります	. たゞ気を長くばかりしては，いつまでも事は出来
	.	067	12	が諸君に向つて言ふことは御坐いませぬ	. たゞ「御目出たう御坐います，御愉快で御坐いま
	.	070	13	上にも沢山にお出来なさる様に願ひます	. たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に招か
	.	107	01	より外は私は言を尽すことが出来ませぬ	. たゞこの感情を言ひ現はすべき言語の無きを憾む
	.	131	10	げることが出来ませぬほどで御坐ります	. たゞ一方の論のみを読みまするお方はドコまでも
	.	156	16	と言ひ出した．其の時はみんな驚いたネ	. たゞの者が驚いたところでは無い，智慧の有る者
	.	166	11	の学風といふものは事実の穿鑿をしない	. たゞ考への上の道理を以て事実を見下す仕方だか
	.	172	11	，これは貿易表を見ると，よく分ります	. たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価の不平均なの
	.	190	15	にしろドチラも同一の裁判であるのです	. たゞ其の違ふ所は行政裁判では行政上に関する事
	.	212	03	星の中へ這入れるのは推して知れませう	. たゞ少し恐ろしいのは若しや彗星の心がぶつつか
	.	237	17	いなるイサヲシを為すことが出来ませう	. ただ今日のヤサシイことを知つて昔の二大難事を
	.	245	10	らぬと申す趣意では決して御坐いませぬ	. たゞ其の性質が第二段のもので有ると申すだけで
	.	247	14	ると云ふことを分らせるので有りまする	. たゞ道理を講釈するだけでは分らない位な者で有
	.	180	17	演説に論じ尽せることでは御座りません	. 只私は是より其の二三の要点を挙げて婦人矯風会

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	015	03	を打つたり足ぶみをして調べはしませぬ	. 唯最初の一個所だけを直に測りまして，あとは器
	.	044	17	ふ欧羅巴でも実際に十分行はれて居らぬ	. 啻に道徳が行はれぬのみならず法律の本趣意も行
	.	094	14	らず諸君も定めて御同感で御坐りませう	. 啻に諸君のみならず全国の人も同感で御坐りませ
	.	110	07	ら我々同胞を出さぬかつたかも知れない	. 啻に其れのみで無い．今日の新聞で船長は四千弗
	.	083	16	の進歩に付てかう云ふことが御坐ります	. 只今申した通り進歩の中には種類がありますに由
	.	109	16	見ますと尚ほ一層怪しむべき事実が有る	. 只今申した数多の事実によつて考へて見れば日本
	.	119	13	ことは実に容易ならざることで有ります	. 只今此の会へ出る前に少しばかり其の事を書いて
	.	134	02	督教を見たので有ります」と答へました	. 只今説きまする仕方に就て聖書の明文が御坐りま
	.	242	11	はない者などを拘禁する所でありまする	. 只今では監獄のことも警察学と同様にエウロッパ
	.	246	11	心の改良を掌ると云ふもので有りまする	. 只今申したる点は非常に大切なるところで若し此
	.	250	08	は死亡するまで良民を以て終わりまする	. 只今，申したのは本街道で有りまするけれども，
	.	271	14	，未決者を一時留め置く所でありまする	. 但し時宜によりますると拘留の刑に処せられたる
	.	104	04	さまでむつかしきことではありますまい	. 設令全国を挙げて英語を談ぜしむるは，むつかし
	.	082	08	貴い道徳的に付て人の進歩で御坐ります	. たとひ，人が種々の進歩いたしても道徳的の進歩
	.	082	09	全なる進歩を成就することが出来ませぬ	. たとひ，イクラ人の智慧が開けても学術が盛んに
	.	171	03	とはドウもむづかしいやうに思はれます	. たとひ出かけて行つても，よく新聞紙などに書い
	.	084	02	る時は殆んど無い位なことも御坐ります	. たとへて申すならば或る国の人が機械のこと学術
	.	126	03	結果を全く覚らざる者が多う御坐ります	. 例へて申しますならば箇様な人は未だイロハを知
	.	079	08	は只人間のみに限つたことで御坐ります	. たとへば牛馬などの様なものには進歩と云ふこと
	.	081	07	らにして完全して行くもので御坐ります	. たとへば屋敷の立派なこと機械の盛大なこと新発
	.	081	16	筋のもので無く其の種類多く御坐ります	. たとへば能く人が智慧の進歩商法の進歩製造の進
	.	084	06	流れる如くに進み行く筈で御坐りませう	. たとへば横浜から亜米利加のサンフランシスコま
	.	084	09	の進歩はさういふものでは御坐りませぬ	. たとへば或る時欧羅巴で不意に商法が盛んになつ
	.	087	06	ばかりこの趣意の委しい所を申しませう	. たとへば彼の人の悪しき性質，人の害になる原素
	.	088	10	極其の困つた所は丁度こゝで御坐ります	. たとへば亜米利加の土人は自分の不完全なること
	.	141	13	のが大切ゆゑ非常の智能力が入りまする	. たとへば経書を読みましても其の意味通りに講じ
	.	143	13	様なものは之を擯斥する積りで有ります	. たとへば米八丹治郎の本ならば之を見て男なら丹
	.	166	05	のが半は分つても，まだ半は分りませぬ	. たとへば引力の働きは分つて居るがドウして其の
	.	002	16	智識の方便に過ぎざる智識が有りまする	. 例へば家を建るとか織物を織るとか大砲を拵へる
	.	015	13	なりますと，寸で測つては間に合はない	. 例へばこれから本郷までは九万七千五百寸あるな
	.	024	02	太陽から仕送りをして貰つて居るのです	. 例へば太陽は一軒の主であつて，あとのものは其
	.	045	02	でも極十分には行はれぬであらうと思ふ	. 例へば英国は自由国ぢゃが貴族と平民が有りて上
	.	045	06	無からうと云ふであらうが，さうで無い	. 例へば亜米利加の共和政治と云ふて民権家は喜ぶ
	.	052	02	悪いことで順序が悪いときには効が無い	. 例へば仮りに秦の始皇の様な大決断の人があると
	.	113	05	節するといふことは善いことに違ひない	. 例へば学問を修業するなどといふことは少しも非
	.	134	03	する仕方に就て聖書の明文が御坐ります	. 例へばＰｅｔｅｒｏが仰せられまするに「爾等，
	.	151	09	めた原則を実地に適用し，また制限する	. 例へば人民は言論の自由があると言つてもムヤミ
	.	189	11	権にも執行権が関係することがあります	. 例へば法律の草案を出すとか，また法律を議する
	.	190	10	権者が自分でする裁判といふものがある	. 例へば人を死刑に処するといふときには必ず勅裁
	.	231	10	，各大臣の側らに専門の議会を置きます	. 例へば内務省に中央衛生会とか地方官会議とか，
	.	240	03	私が勝手に申し上げることは出来ませぬ	. 例へば内務大臣が「監獄実際の有様を巡閲して来
	.	240	08	しては之を他人に言ふことは出来ませぬ	. 例へば私の友人に○○と云ふ人が有りまして，此
	.	240	15	ても不都合は無いと云ふことも有ります	. 例へば人のことを褒めると云ふことならばイクラ
	.	241	16	ことを聞かれても何も役に立ちますまい	. 例へば或る人の邸を見に行つて其の邸の全体を見
	.	246	13	と枝葉に至つて大変な間違ひを来します	. 例へば監獄に罪人が這入りますると之に対して其
	.	246	17	の心は益々ねぢくれるもので御坐います	. 例へば昔は北の方の或る地方に於ては母親が子を
	.	181	12	ることは実に夥しいことで御坐りませう	. 煙草の害もまた随分少なからざることで御坐りま
	.	158	02	をカッキリと落ち付けるのが学問でござす	. 誰でも知つて居る通り万物万事が政治は政治学，
	.	183	03	いふ者を何とも思はぬことで御坐ります	. 男子は妾を蓄ることを何とも思はず婦人もまた人
	.	182	01	ければ男女の関係が宜しきに適ひません	. 男女の関係が宜しきに適はなければ決して真の文
	.	021	12	世界より進んだものが有るかも知れない	. 段々と想像を回らして見るとハテシが無い位で有
	.	029	07	系みた様なものは天の中に沢山あります	. 段々先きへ行くに従つてチットづゝ分りかねて参
	.	156	08	らうが，所が其れが出るとは言はれない	. 地が円いのだから地の方で回つて，いくのださう
	.	156	10	に地が回ると聞いては，みんな驚いたネ	. 地が回ると聞いてはヂットして居られない，血の
	.	156	11	よいよ地が回ると決着したが，をかしい	. 地が回るとなると天が円いだの天が回るのとは言
	.	156	12	天が円いだの天が回るのとは言はれない	. 地が一昼夜の間にグルリと回つて而して猫の眼で
	.	159	11	地を天主がこしらへたことは言はれない	. 地が動くのをビックリすると同じことで軍配がド
	.	020	15	位かと言ひますと地球よりは少し小さい	. 小さいと云つても月と地球との割り合ひ程では無
	.	025	09	其れにしては星は余り小さいと言ひます	. 小さいとは眼で見て小さいので眼で見て小さいの
	.	004	10	ふ者もあれど実はまだイクサにならない	. 小さな蟻を大きな足で踏みつける様なものだが其
	.	164	02	国廃家に至つた者は古来歴々としてある	. 近ごろ西学考略といふ書を読みましたが，これは
	.	205	05	社会には災が絶えずに有るので有ります	. 近頃，望遠鏡の発明が有りましてから少くも一年
	.	260	11	するから一方にばかり偏しても困ります	. 近ごろ婦人慈善会と云ふ会が東京で大層，立派に

代表形	判	ページ	行		出現文脈
(.)	.	009	06	ムダのことを一言演るまでで有りまする	. 地球の位置明治十八年三月二十一日理医学講談会
	.	012	15	其れは地球の大きさのことで御坐います	. 地球は我々の身体に比べると非常に大きなもので
	.	013	04	た人は直に周囲を知ることが出来ませう	. 地球の周囲を測つて見ますと長い所が僅か一万二
	.	015	01	し測量術を少し心得て居るなら分ります	. 地球上で測量をしますにも十里も二十里も先きを
	.	016	03	来ます．月の大きさは地球よりは小さい	. 地球はさつき申しました通り其の直径三千二百四
	.	016	09	みならず地球のグルリを回つて居ります	. 地球が真中にチャンとして居つて月が其グルリを
	.	023	07	ること二里二十五丁幾ど三里で有ります	. 地球の雛形の一寸の玉を太陽の雛形一尺一寸ばか
	.	024	03	ば月は地球の眷属で太陽の孫で有ります	. 地球の外にも眷属を持つた惑星が有るかと云ふに
	.	026	03	の物さしの二十二万千八百倍で有ります	. 地球から太陽までの距離が三千七百八十五万里で
	.	197	11	をひつぱると同じやうに，ひつぱります	. 地球が只今でも止まつてしまつたとすると直に太
	.	204	17	ら戻つて来たまでのことで有つたのです	. 地球と同じやうなもので有るのに，あのやうにこ
	.	041	04	る様になる」と云ふ理屈は立たなくなる	. 中華と誇る国でも文明を以て鳴る国でも一度は彼
	.	222	14	た神楽，催馬楽に古風を伝へて居ります	. 中古以来，僧家に延年の舞と云ふものが有り，婦
	.	174	14	二倍して二十二億八千万円となりませう	. チョイと考へると百年は遠いやうで死んだアトの
	.	198	12	と真直で無く抛物線の形ちにあるきます	. チョイト図に書きますと楕円はコンナ形ちで，抛
	.	170	12	うになつたらドコを好んで行きませうか	. 朝鮮か満州か又は支那を好んで行きませうか．さ
	.	170	12	んで行きませうか．さうでありますまい	. 朝鮮や満州や支那には移住を為すものが多くあり
	.	231	13	の方は府県会また常置委員会が有ります	. 町村になると町村会が議政者で戸長が施政者で有
	.	231	15	政の仲間入りをしてやることが有ります	. 町村会で戸長が議長になつて議場を整理し可否同
	.	028	13	く，かたつ方がかたつ方を回つて居ます	. 丁度地球が太陽を回り，月が地球を回る様に見え
	.	042	12	ならぬと云ふことが本趣意になりて居る	. 丁度道と云ふものは親類同士の寄り合ひで，法と
	.	168	09	合衆国の人が和親貿易を請ひに来ました	. 丁度私が二十四五の時だつたが其の時は大あらし
	.	168	14	ぎ立て大抵古いものは押し倒されました	. 丁度私が二十四五の時のことだから今でも時々思
	.	169	02	ばかりで何の道理も無いものと見えます	. 丁度この時分に我が国の人心が印度や支那の旧物
	.	195	04	備門構内講義室に於て寺尾寿君講談諸君	. 丁度，只今から三年ほど前にヨホド立派な彗星が
	.	200	12	同じ形ちにはなりませんもので有ります	. 丁度俳優が舞台に出ます時に男になつて出るかと
	.	203	13	なことは有りませんやうに，なりました	. 丁度二十四時間，過ぎると同じ太陽が同じ所に戻
	.	205	07	ことも一年に三度位はキット有りませう	. 丁度同じ位なもの故，イツもイツも彗星の出る度
	.	233	12	ると云ふのが誠に宜しいことで有ります	. 丁度，今から十年余も前で有りましたらうが或る
	.	122	13	多くは酒の上から来るもので有りませう	. 就ては此の節酒会の会員も四百五十人ばかりも有
	.	188	06	法との関係を一言申し上げておきました	. 就ては今日よりは全国行政といふ部を申し上げる
	.	245	16	たる通り刑の執行を掌る所で有りまする	. 就ては刑とは何かと申しまするとと昔は悪い事をし
	.	250	06	に於て或ひは学校に於て之を行ひまする	. 付ては此の三つの教育を終りまして並の人間にな
	.	253	01	獄よりも教育だけ余計の用が有りまする	. 付てはこれ等の者の為めに矯正院を設くることに
	.	271	07	れよりは日本の監獄のことを申しませう	. 付ては先づ日本の監獄の種類から申しませう．こ
	.	057	15	に居らるゝことを賀する訳で御坐います	. 次で本題を陳べやうと思ひますが其の演説の前に
	.	068	10	吏登用の大試験を受けることが出来ます	. 通例学漏生に於て学生となることの出来るものは
	.	016	02	上は其の大きさは容易に勘定が出来ます	. 月の大きさは地球よりは小さい．地球はさつき申
	.	016	11	地球の眷属，地球の家来に違ひ無いです	. 月の上には山も有り谷も有りますから水も有り空
	.	016	16	と水が無くては人間の生活は出来ませぬ	. 月には空気も無く水も無い以上は人間は居る気づ
	.	020	10	有り陸も有ることは確に知れて居るです	. 月の観測の時には海は無いと云ふことを申しまし
	.	027	08	くに瞬きをする程の時間はかゝりませぬ	. 月まで行きますにも二セコンドはかゝりませぬ．
	.	019	08	が有ります．此の星を水星とも申します	. 次に木星と言ふ星が有りますが，これは歳星とも
	.	024	06	hHallと言ふ人が発見いたしました	. 次ぎに木星には月の様なものが四つついて居る．
	.	024	11	星で八つほど眷属を引きつれて居ります	. 次ぎに天王星海王星これにも眷属が沢山ありませ
	.	038	03	国民と云ふ一つの有機物で有ることぢゃ	. 次に「社会外に道徳なし」と云ふことを説くに付
	.	103	16	んにするにあることは明瞭でありませう	. 次ぎに日本の国情を外国に知らしむる方便は何か
	.	218	02	もので有ることは云ふまでも有りませぬ	. 次に狭衣，取替へバヤ，住吉などの類の色々の作
	.	151	16	ら此の学は一科の学問になつて居ります	. ツマリ行政法は憲法と密接して居るものです．故
	.	152	12	の分界は甚だむづかしいことも有ります	. ツマリ行政法は被治者と治者との関係をきめるも
	.	199	03	殆んど抛物線に違はないやうになります	. ツマリ抛物線は楕円のカタッパウが開いてしまつ
	.	100	04	出来あたはざる所であらうと考へまする	. つらつら歴史を案ずるに昔し羅馬の盛んなる時代
	.	013	12	居るもので実に心細いもので有りまする	. で有りまするからして学者が天のことを調べます
	.	027	10	れの幾ど三倍で九年と三ケ月かゝります	. でありますから其の星に何か一朝変動が生ずるか
	.	250	07	間になりましたのを丁年者と申しまする	. 丁年者は則ち良民と唱へまして，終りを善くする
	.	054	12	学問などの本が出来なくつては困ります	. 手紙の書き方の本は物集先生の御著述を待つて居
	.	202	12	「各々カタヅをのんで待つて居つた」と	. でも言ひませう．ところが果して其れが肉眼で見
	.	014	02	したから先づ其れからお話し致しませう	. 天の中にありて一番我々の眼に着くものは大陽，
	.	004	01	我が国ばかりで成り立つことが出来ない	. 天下万国と交際し天下万国と競争しなければなら
	.	159	10	るが西洋の教へ方で東洋には向きが悪い	. 天地を天主がこしらへたことは言はれない．地が
	.	125	07	師を困らせるものは何で御坐りませうか	. 伝道師が度々聞く所の反対論といふものはドコか
	.	203	01	五六年後にはキットまた来るに違ひ無い	. 天王星と云つて土星の先きに大きな惑星が有りま
	.	243	09	閣大臣等を設け之に執行の事を掌らしめ	. 天皇陛下が此の二大政権事務の上部を握られて天